平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

子どもの身体的・精神的・社会的(biopsychosocial) な 健康課題に関する調査研究

研究報告書

研究代表者

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

五十嵐 隆

平成30 (2018) 年 3 月

目次

研究の概要			1
研究内容の報告	냨		
研究課題I		統計等を用いた年齢別疾病その他構造について な健康課題の有病率の算出―	5
章末資料	斗 I -1	収集データの除外リスト	42
章末資料	¥ I -2	収集データ表	46
章末資料	¥ I -3	e-stat 政府統計データより作成した図表	69
章末資料	¥ I -4	小児の年齢区分別主な健康課題(サマリー表)	92
研究課題Ⅱ	GBD	研究における日本の子どもの主な疾病負担とリスク因子	93
章末資料	¥ Ⅱ- 1	図中の略語表	101
章末資料	¥ Ⅱ- 2	GBD cause コードと ICD10(大分類)の対応表	102
章末資料	¥ Ⅱ- 3	日本の子どもの性別・年齢区分別 DALY 集計表及びグラス	フ . 105
研究課題Ⅲ	小児丼	朝生活習慣の長期疾病インパクト推測モデル	119
研究課題IV		保健・医療領域における積極的予防に関する系統的レビュー 交における子どもの健康課題に関する介入の有効性―	
章末資料	斗 各分	介入研究の詳細表	140
まとめと今後の	の課題		175
事業担当者から	うの報行	告	
— 子どもの	身体的	」・精神的・社会的(biopsychosocial)な健康課題に関する	調査研
究・取り組み	みの紹介	$\hat{\Gamma}$ —	
報告 I.	•••••		179
報告Ⅱ.	•••••		185
報告Ⅲ.	•••••		191
報告Ⅳ.	•••••		195
報告V.	•••••		197
調杏研究報告書	事 サー	マリー	207

研究の概要

I 研究の背景

近年わが国では、小児医療に求められる役割が変化してきている。医療技術の進歩と予防接種等の普及により、従来であれば死に至っていた重症疾患の小児が救命されている一方、小児期医療の進歩は、これまでになく多くの小児期発症疾患を有する患者が、家庭や地域医療を必要としながら、成人期を迎える現状を生み出している。

また他方では、乳幼児健診や学校健診が、子どもの健康増進と健康指標の向上に大きく貢献してきたものの、現在の小児保健・医療提供体制では、進行する疾病構造の変化によって顕在化・深刻化している子どもの心身問題や、成人に至るまでの養育問題等への個別レベルでの対応が出遅れている。このような状況の中で、「予防的」視点に立ち、子どもの健康と成長を包括的に支援する役割が、今後の小児保健医療には求められる。

しかし、わが国の小児医療は未だに、特定の疾患に対応するパターンのみであり、予防的な視点から、well child を含めたすべての子どもを身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial)な面から包括的に支援・指導する体制が不十分である。また、現行の健康保険制度では、かかりつけ医が定期的にすべての子どもを対象に、身体的・精神的・社会的な面から評価・対応することを目的とした健診に、正当な対価を支払う仕組みがない。米国の小児健康診断制度に関する Bright Futures 等を参考として、わが国でも、小児期の健診制度の改善や、その健診に対して正当な対価を支払う制度の構築を、推進する必要がある。

子どもの成長段階に応じて、彼らの健康を切れ目なく包括的にサポートする有効な支援制度を検討するためには、まずは現在の子どもの健康課題に関する現状を把握することが重要である。したがって、本研究事業では、子どもの身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)な健康課題の疫学的特徴を年齢別に把握し、各健康課題に応じた保健指導や予防的介入方法に関する科学的根拠をまとめることを目的とした。

Ⅱ 研究の内容

本研究事業は、主に下記4つの内容を含む:

- (1) 研究課題 I 政府統計等を用いた年齢別疾病その他構造について 一主な健康課題の有病率の算出-
- (2) 研究課題 II GBD 研究における日本の子どもの主な疾病負担とリスク因子
- (3) 研究課題Ⅲ 小児期生活習慣の長期疾病インパクト推測モデル
- (4) 研究課題IV 小児保健・医療領域における積極的予防に関する系統的レビュー 一学校における子どもの健康課題に関する介入の有効性―

Ⅲ 本研究のコンセプトノート

~子どもを biopsychosocial な点から支援するために必要な健診とは?~

国立成育医療研究センター/五十嵐 隆

わが国の小児科医はこれまでに子どもの発達評価や予防接種などに時間をかけてきたが、それ以上に疾病への対応に多くの時間を割いてきた。小児科医の多くは基本的に disease oriented であった。一方、予防接種の充実、医療の進歩等により、実地医家や病院小児科医のいわゆる common disease への対応が減ってきている。一方、子どもも成人と同様に biopsychosocial な存在で、子どもの健康を守り増進するには、病気への対応だけでなく、病気以外の様々な問題への対応が必要である。わが国の子どもの約 85%は入院の経験なく成人に至る。このような well child も疾患に罹患するため、対応が必要である。しかしながら、わが国の多くの小児科医は well child を含めすべての子どもを psychosocial な面からも理解し、問題点を抽出し、子どもを psychosocial な面から支援・指導することができていない。従来の小児医学の教育にはその様な視点が少なかった。さらに、わが国の健康保険はかかりつけ医が定期的にすべての子どもを psychosocial な面から評価・対応する健診に正当な対価を支払う制度になっていない。

わが国では乳幼児健診や学校健診が有効に機能している。公費負担による乳幼児健診は 小学校入学までに3回、その後は学校検診が年1回実施されている。最近では乳幼児健診 を個別検診として行う自治体が増えているが、学校検診のほとんどは集団で行われる。しか も、学校検診では児童・生徒にかける診察時間は一人あたり数分以内である。そのため、子 どもが保護者、兄弟や友人に相談できない様なデリケートな問題を学校検診の現場で拾い 上げることができない。

米国では出生から 3 歳までにかかりつけ医による 12 回の健診が行われている。さらに、3 歳から 21 歳になるまで年 1 回かかりつけ医での健診が行われる。いずれも個別検診で、health supervision(健康の監督)と呼ばれる。健診には一人あたり 30 分程度の時間がかけられる。わが国と同様に身体や発達の評価の他に、学校や地域での活動評価、うつを含めた精神面の健康度評価、タバコやアルコール、ドラッグ、妊娠、性感染症に対する対策、シートベルトやヘルメット着用、薬物乱用、暴力、いじめなどの傷害・暴力の危険性などが評価される。特に、思春期までの子どもの場合、保護者と子ども本人に別々に問診し、親子関係をも評価する。この様な評価でリスクとなる項目が明らかになった場合、その問題解決のために科学的な見地から具体的に指導を行う(anticipatory guidance)。一例を挙げる。知的障害を持つ女児は米国でも性的被害を受ける危険性が高い。小児科医は、知的障害を持つ11 歳の女児に、男性が言い寄ってきたときにどのように拒絶するかロールプレーを行って具体的に指導する。重要な点は、健康保険の種類によって異なるものの、健診 1 回あたり約150 ドルが医療側に医療保険会社から支払われることである。

今後、わが国の小児科医が成人に至までの子どもを biopsychosocial に捉え、それらの問題点に対応できるスキルを持ち、そのような健診に対する正当な対価が健康保険から支払われる制度を構築する事が求められている。

文献

Hagan JF, Shaw JS, Duncan PM: Bright Futures: Guidelines for Health Supervision of Infants, Children, and Adolescents, 3rd Edition, The American Academy of Pediatrics, U.S.A. 2008

Ⅳ 事業担当者・研究協力者リスト

(敬称略、順不同)

花屋
所属
国立成育医療研究センター
国立保健医療科学院国際協力研究部
国立成育医療研究センター政策科学研究部
獨協医科大学公衆衛生学
愛知医科大学衛生学
久留米大学医学部小児科
東北医科薬科大学医学部衛生学·公衆衛生学
国立成育医療研究センター政策科学研究部
国立青少年教育振興機構
国立成育医療研究センター社会医学研究部
国立成育医療研究センター社会医学研究部
東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室
国立成育医療研究センター総合診療部・教育研修部
国立成育医療研究センター政策科学研究部
国立成育医療研究センター臨床疫学部
国立成育医療研究センター社会医学研究部
厚生労働省子ども家庭局母子保健課
文部科学省初等中等教育局

研究課題I

政府統計等を用いた年齢別疾病その他構造について 一主な健康課題の有病率の算出-

研究要旨

本研究では、主に GBD 研究(Global Burden of Disease Study)及び母子保健・医療情報データベースのデータソースを用いて、子どもの健康課題に関する有病率を示す調査データの収集を行った。データの種類としては、政府統計、学術論文、研究報告書、学会による疫学調査や疾病登録などが含まれた。人口動態調査や患者調査に関しては、ICD10 を参考に有病率等に関する大まかな集計を行った。今後の課題として、性別や疾患別での、有病率に関するより詳細な集計や、今回検討ができていないデータベースを用いた文献収集、厚生労働省のレセプトデータ(NDB)や各自治体が行っている乳幼児健診・就学時健診などのデータ、各学会が行っている疫学調査や疾患登録データについても検討が必要である。また、psychosocial な健康課題に関しても、研究方法、調査年、対象者数などを考慮して、より幅広くデータ収集を行い、情報を整理する必要がある。

I 背景

本研究事業の最終的な目標として、子どもの健康課題に対する予防的介入や、小児期の健 診制度の方案を示すことが求められている。スクリーニングや保健指導といった介入方法 を検討し、その評価をする上では、それらの介入が目的とする、各健康課題の有病率が把握 されている必要がある。そのため本研究では、子どもの主な健康課題の年齢別有病率の算出 に関して、利用可能なデータソースの整理を行うことを目的とした。

Ⅱ 方法

各種疾患の有病率の把握には、主に、人口動態調査(死亡率)、患者調査(受療率)、国民生活基礎調査(有訴率・通院者率)の3つの政府統計が基本となる。また、小児慢性特定疾患登録やレセプトデータなども有効なデータソースとして検討している。

いわゆる「病気」と認識されているものに関しては、これらの政府統計などのデータを利用して、ある程度、有病率(正確には、疾患ごとの受療率や通院者率など)を把握できる。しかし、今回の研究では、psychosocial な健康という観点から、医療機関での受診には至らない、もしくは従来の病院受診には該当しないような子どもの健康課題に関しても検討するため、政府統計の他にも、幅広く疫学調査等を収集したいと考えた。本研究では、主に下記の2つのデータベースを中心に検索することで、各健康課題に関して、より代表性のあるデータを、可能な限り系統的に収集することを目指した。

Ⅱ-1 文献収集に用いたデータベース

①GBD 研究のデータリスト:http://www.healthdata.org/gbd

GBD 研究では、疾患別の死亡や障害、及びそれらの原因となり得るリスク因子に関して、世界各国の調査研究のデータを集めている。死亡数や罹患数、財政コストといった、病気やけが(injury)による影響を、地域別や性別・年齢別に算出することで、介入方法の選定や評価などを可能にし、各国の保健医療政策の立案に、有益な情報を提供することを目指している。もとは、1990年代に世界銀行やWHOなどが中心となって始まり、現在ではワシントン大学に事務局があり、東京大学なども含む世界7機関の共同プロジェクトとなっている。

この GBD 研究では、分析に含める調査研究を選定する際に、調査対象者のサンプリングの方法や、症例の定義、バイアスのリスクといった点を評価しており、GBD 研究に含まれている研究のリストはオープンソースで把握することができる。そのため、今回の研究においても、一定の基準を満たしたデータベースとして、この GBD 研究に含まれている研究のリストを活用することとした。

②母子保健・医療情報データベース: http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/

上述の GBD 研究は、世界各国のデータを収集しており、日本に関するデータとしては、 日本の主な政府統計と、英語で出版された論文、もしくは英語タイトルが MEDLINE など に登録された日本語論文を対象にデータ収集が行われている。そのため、日本国内でのみ発 表されている、日本語論文や、厚労科研などの研究報告書などは含まれていない。

この点も含め、今回の研究では、2つ目のデータベースとして、健やか親子 21 事業の一環として運営されている「母子保健・医療情報データベース」に関してもスクリーニングを行い、関連する調査研究のデータ収集を行った。この「母子保健・医療情報データベース」も、本研究と同様に、母子保健に関する各種情報を系統的に集積することで、今後の母子保健の取り組みの目標となる指標を提示することを目的としている。政府統計や研究報告書、研究論文など 5,456 件ほどを含んでいて(2017 年 8 月時点)、主要な政府統計や学術雑誌を中心に、現在まで随時更新もなされている(GBD 研究とは反対に、英語で出版された調査研究は含まれない)。今回、健やか親子 21 事業の研究チームに協力を依頼し、この母子保健・医療情報データベースに含まれている全調査研究リストの提供を受けた。

Ⅱ-2 収集データの包含基準

今回の研究課題では、子どもの年齢別健康課題の有病率の算出を目的としているが、データ収集の際には、一定の基準を設けて、各種の調査研究をスクリーニングする必要がある。 そのため、包含基準として、①0歳から24歳頃までの子ども・青少年含む調査研究である、 ②調査時期は2000年以降のもの、③Population-basedの研究である(単施設での調査など ではなく、全国あるいは特定の地域での全数調査や (無作為抽出等) 適切な方法による標本調査)、といった点を考慮した。

文献収集の際の主な除外理由を、表 I-1 に示した。

表 I-1 調査・データの除外理由

Population	成人が対象							
	ハイリスク児対象(例:糖尿病児の QOL、知的障害児の性行動、							
	低出生体重児の予後、中途退学者、犯罪被害者)							
	民間企業委託のモニター調査							
Outcome	「健康課題」に関係なし							
	年齢別(年代別)の集計結果が記載されていない							
Setting	調査実施年が 2000 年より前							
	単施設での調査							
その他	二次データは元の調査データを参照							
	詳細なデータ情報が不明(WHOレポートなど)							
	政府統計との調査項目の重複(例:喫煙率、インターネット利用状							
	況など)							
	入手不可							

Ⅱ-3 調査票情報の提供に関する利用申請

各種政府統計に関しては、統計法(平成 19 年法律第 53 号)第 33 条の規定に基づき、調査票情報の提供に関する利用申請を行った。表 I-2 に申請先リストを示した。

表 I-2 政府統計データの二次利用申請先

	調査名	申請先
1	人口動態調査	厚生労働省・政策統括官付参事官
2	患者調査	付審査解析室
3	国民生活基礎調査	
4	国民健康・栄養調査	厚生労働省・健康局健康課
5	歯科疾患実態調査	厚生労働省・医政局歯科保健課
6	乳幼児身体発育調査	厚生労働省・子ども家庭局総務課
7	乳幼児栄養調査	
8	全国家庭児童調査	
9	レセプト情報・特定健診等情報デ	厚生労働省・保険局医療介護連携
	ータベース	政策課

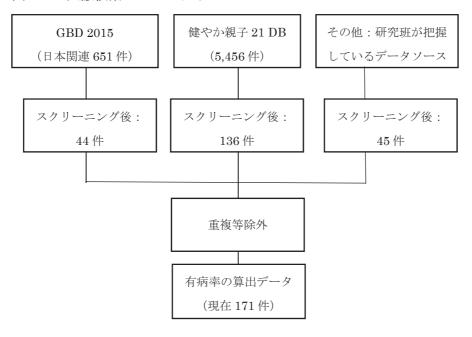
10	労働力調査	総務省統計局統計調査部調査企
11	社会生活基本調査	画課
12	生活と支え合いに関する調査	国立社会保障•人口問題研究所情
		報調查分析部

Ⅲ 結果

Ⅲ-1 スクリーニング結果

図 I -1 に、本研究の文献検索のフローチャートを示した。GBD 研究と健やか親子 21 事業のデータベースの他に、本研究班のメンバーが把握している調査データも含めた(除外文献のリストは章末に掲載:章末資料 I -1)。

図 I-1 文献検索のフローチャート



Ⅲ-2 収集データの概要

章末に、現在までに把握している、子どもの健康課題の有病率の算出に活用できると考えられる調査研究(調査結果の代表性、妥当性などに関しては今後の検討必要)を一覧にしている(章末資料 I-2)。政府統計、疾病登録、学術論文、研究報告書、その他疫学調査が対象となっている。なお、母子保健・医療情報データベースに含まれていたデータソースのうち、厚生労働科学研究成果報告書に関しては、今回内容を検討することができていない。

健康課題の内容は、ICD10 を参考に大まかに分類したところ、疾患全般(人口動態や患者調査など)、感染症、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患、精神疾患、神経系、循環器、呼吸器、歯科、尿路性器、婦人科疾患、妊娠・分娩、周産期、先天異常、食中毒、アレルギー、

予防接種、事故、自殺、危険行動、喫煙・飲酒・ドラッグ、性行動、非行・犯罪、運動、食事・栄養、生活習慣・Well-being、電子メディア、いじめ、虐待、悩み、その他、に分けられた。

Ⅲ-3 政府統計を用いた、主な疾患の有病率に関する集計

二次利用申請を行った政府統計に関して、年齢別の集計を行い、表及びグラフを作成した (表のグラデーションの設定:最小「白」、中間「黄」、最大「赤」)。

※なお、本報告書における集計は、研究実施者によるものであり、各省庁により集計及び 公表されている結果との整合性があるとは限らない。

(1) 人口動態調查・死亡票:死亡率

年次:平成28年(平成28年1月1日~12月31日)

対象地域:全国

提供データ件数:6,965件

集計対象: 24 歳以下の日本における日本人(計6,733人: 男子4,146、女子2,587)

集計項目:年齢別死亡率(各年齢の年間死亡数/「人口推計」10月1日現在の同年齢日

本人人口×100,000) (ICD10 大分類・中分類別)

表 I-3 平成 28 年年齡別死亡率 (人口 10 万対): ICD10 大分類

	***	** 444			4+44 1 (- E) a 9+m	*****			/m =m nn -	
0.45	感染症・寄生虫症	新生物				下近水の水心	眼および付属器の疾患	耳および乳様突起の疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患
0歳	7.00	2.64	1.72	2.54	0.00	3.35	0.00	0.00	4.77	9.74
1歳	3.17	1.48	0.11	0.53	0.00	2.96	0.00	0.00	2.11	4.12
2歳	1.46	2.40	0.42	0.42	0.00	1.04	0.00	0.00	1.25	2.19
3歳	1.50	1.30	0.10	0.30	0.00	1.00	0.00	0.00	0.90	1.70
4歳	0.90	1.49	0.10	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.50	1.69
5歳	0.97	2.03	0.19	0.10	0.00	0.58	0.00	0.00	0.68	1.65
6歳	0.68	2.12	0.00	0.29	0.00	1.35	0.00	0.00	0.39	0.29
7歳	0.19	1.91	0.00	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00	0.38	0.48
8歳	0.47	1.96	0.00	0.09	0.00	0.47	0.00	0.00	0.47	0.75
9歳	0.28	1.41	0.09	0.00	0.00	0.85	0.00	0.00	0.28	0.66
10歳	0.00	2.28	0.00	0.19	0.09	0.57	0.00	0.00	0.19	0.38
11歳	0.28	1.61	0.09	0.00	0.09	0.66	0.00	0.00	0.66	0.57
12歳	0.27	1.37	0.09	0.09	0.00	1.00	0.00	0.00	0.91	0.91
13歳	0.09	2.15	0.09	0.09	0.00	0.63	0.09	0.00	0.36	0.81
14歳	0.09	1.92	0.09	0.09	0.00	0.35	0.00	0.00	0.87	0.52
15歳	0.17	1.80	0.00	0.26	0.00	0.77	0.00	0.00	1.03	0.43
16歳	0.08	2.61	0.34	0.08	0.00	0.84	0.00	0.00	1.01	1.01
17歳	0.25	3.44	0.08	0.08	0.00	1.43	0.00	0.00	1.26	0.42
18歳	0.33	1.65	0.00	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.66	0.25
19歳	0.42	1.67	0.17	0.25	0.00	1.00	0.00	0.00	1.50	0.67
20歳	0.34	2.28	0.00	0.00	0.08	0.68	0.00	0.00	1.78	0.68
21歳	0.17	2.85	0.17	0.25	0.17	1.59	0.00	0.00	2.51	0.92
22歳	0.42	3.45	0.08	0.08	0.08	0.84	0.00	0.00	2.61	0.67
23歳	0.17	2.50	0.00	0.60	0.17	1.55	0.00	0.00	3.02	0.69
24歳	0.34	3.83	0.26	0.94	0.00	1.53	0.00	0.00	3.07	0.43

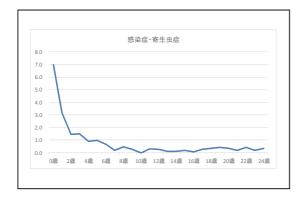
	消化器系疾患	皮膚・皮下組織疾患	筋骨格系·結合組織疾患	腎尿路生殖器系疾患	妊娠・分娩・産褥	周産期疾患	先天奇形・変形・染色体異常	他に分類されないもの	接傷・中毒・その他の外因の影響	傷病および死亡の外因
0歳	6.39	0.00	0.10	0.41	0.00	51.72	67.24	27.79	0.00	10.95
1歳	0.74	0.00	0.00	0.11	0.00	0.63	8.34	3.80	0.00	4.86
2歳	0.42	0.10	0.00	0.10	0.00	0.31	4.17	1.56	0.00	2.40
3歳	0.70	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	1.50	0.60	0.00	2.00
4歳	0.30	0.00	0.10	0.20	0.00	0.00	1.59	0.60	0.00	1.20
5歳	0.48	0.00	0.10	0.29	0.00	0.00	0.97	0.29	0.00	0.97
6歳	0.29	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.68	0.48	0.00	2.80
7歳	0.19	0.00	0.00	0.10	0.00	0.19	0.57	0.10	0.00	2.00
8歳	0.09	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.56	0.37	0.00	1.31
9歳	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.19	0.00	1.41
10歳	0.09	0.00	0.28	0.09	0.00	0.00	0.57	0.19	0.00	1.90
11歳	0.38	0.00	0.09	0.09	0.00	0.09	0.47	0.38	0.00	2.18
12歳	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.64	0.09	0.00	1.64
13歳	0.36	0.00	0.00	0.18	0.00	0.00	0.27	0.00	0.00	3.14
14歳	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.52	0.17	0.00	5.49
15歳	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.26	0.00	7.82
16歳	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.08	0.00	10.59
17歳	0.25	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.50	0.17	0.00	
18歳	0.41	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00	0.66	0.33	0.00	16.54
19歳	0.50	0.00	0.00	0.17	0.00	0.08	0.50	0.92	0.00	19.02
20歳	0.34	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.59	0.59	0.00	21.07
21歳	0.42	0.00	0.08	0.17	0.00	0.00	0.59	1.51	0.00	27.03
22歳	0.34	0.00	0.08	0.17	0.00	0.00	0.51	1.43	0.00	25.59
23歳	0.60	0.00	0.09	0.09	0.09	0.00	0.78	1.29	0.00	24.40
24歳	0.43	0.00	0.09	0.00	0.00	0.09	0.60	1.19	0.00	25.47

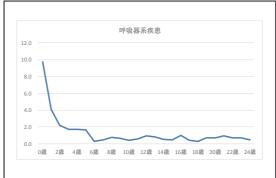
表 I-4 平成 28 年年齡別死亡率(人口 10 万人対): ICD10 中分類

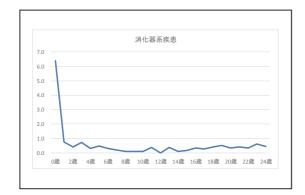
· 管成込症	0歳 0.91	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳 0.68	6歳 0.10	7歳 0.10	8歳	9歳 0.00	10歳 0.00	11歳	12歳	13歳	14歳 0.00	15歳	16歳	17歳 0.00	18歳	19歳	20歳 0.00	21歳 0.00	22歳	23歳	2
<u>管感染症</u> の他の結核	0.91	0.84	0.31	0.60	0.30	0.00	0.10	0.10	0.19	0.00	0.00	0.09		0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.09	
血症	4.06	1.06	0.10	0.60	0.40	0.10	0.29	0.00	0.00	0.19	0.00	0.09	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.17	0.00	0.17	0.09	
の他のウイルス肝炎	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
免疫不全ウイルス[HIV]病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	
他の感染症及び寄生虫症	0.00	0.00	0.52	0.30	0.20	0.19	0.29	0.10	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.00	0.17	0.25	0.17	0.08	0.00	0.00	H
_ 口腔及び咽頭の悪性新生物 の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	H
易の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	t
状結陽移行部及び直腸の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.00	t
び肝内胆管の悪性新生物	0.20	0.00	0.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	Ī
う及びその他の胆道の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	Γ
の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	Ļ
、気管支及び肺の悪性新生物	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	Ł
喜の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.17	H
房 <u>の悪性新生物</u> 宮の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	H
ミの恋性新生物 巣の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.17	0.00	H
は腺の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	t
区神経系の悪性新生物	0.10	0.32	0.42	0.20	0.70	0.97	1.06	0.86	0.65	0.47	0.47	0.85	0.37	0.63	0.61	0.43	0.67	0.34	0.25	0.08	0.42	0.25	0.34	0.43	t
生リンパ腫	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.09	0.09	0.09	0.00	0.00	0.08	0.17	0.08	0.08	0.34	0.43	Ι
血病	1.01	0.53	0.31	0.60	0.20	0.29	0.29	0.29	0.28	0.66	0.66	0.47	0.46	0.36	0.26	0.43	0.42	1.18	0.25	0.58	0.25	0.84	0.42	0.26	L
ひとい 福風、北血経線及び間直接線の悪性軟化物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	L
り他の悪性新生物	0.30	0.53	0.83	0.40	0.50	0.39	0.58	0.38	0.47	0.28	0.57	0.28	0.55	0.90	0.52	0.34	1.01	1.60	0.83	0.50	1.10	1.00	0.84	0.52	Ł
神経系のその他の新生物	0.10	0.11	0.21	0.10	0.00	0.39	0.19	0.38	0.47	0.00	0.28	0.00	0.00	0.18	0.00	0.17	0.25	0.08	0.08	0.08	0.17	0.17	0.34	0.00	ł
神経系を除くその他の新生物 加	0.81	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.09	0.25	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.17	0.26	f
	1.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.09	0.00	0.08	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	t
の血液及び止血器の係息及びに免疫機構の除害 不病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26	t
の内分泌、栄養及び代謝疾患	2.54	0.53	0.42	0.30	0.00	0.10	0.29	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.09	0.09	0.26	0.08	0.08	0.00	0.25	0.00	0.25	0.08	0.34	ſ
他の精神及び行動の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.17	0.08	0.17	Γ
莫炎	0.51	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.09	Ĺ
性筋萎縮症及び関連症候群	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	Ĺ
り他の神経系の疾患	2.64	2.85	1.04	1.00	0.60	0.58	1.35	0.29	0.47	0.85	0.57	0.57	1.00	0.63	0.35	0.77	0.84	1.43	0.66	0.92	0.68	1.59	0.76	1.47	1
及び付属器の疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	H
生リウマチ性心疾患 生心筋梗塞	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	ł
生心助使器 D他の虚血性心疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09		0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.17	H
非リウマチ性心内膜疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	t
防症	1.83	0.42	0.21	0.20	0.10	0.10	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.18	0.00	0.17	0.25	0.17	0.17	0.25	0.08	0.33	0.34	0.09	t
を脈及び伝導障害	0.41	0.11	0.21	0.20	0.00	0.19	0.10	0.00	0.19	0.00	0.00	0.09	0.18	0.00	0.17	0.26	0.25	0.25	0.08	0.25	0.51	0.92	0.08	0.34	
不全	0.30	0.42	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.17	0.00	0.17	0.17	0.17	0.51	0.52	ļ
の他の心疾患	1.62	1.06	0.31	0.30	0.20	0.19	0.10	0.19	0.00	0.00	0.00	0.09	0.18	0.00	0.17	0.09	0.08	0.17	0.08	0.33	0.42	0.17	0.42	0.52	Ļ
膜下出血	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.09	0.00	0.09	0.09	0.00	0.17	0.09	0.00	0.34	0.00	0.17	0.17	0.17	0.42	0.26	ł
<u>为出血</u> 更塞	0.20	0.11	0.21	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.19	0.19	0.19	0.19	0.18	0.09	0.09	0.26	0.00	0.00	0.17	0.08	0.00	0.00	0.34	0.26	H
の他の脳血管疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00		0.00	0.00	t
助脈瘤及び解離	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.00	0.09	t
り他の循環器系の疾患	0.20	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.08	0.00	0.33	0.34	0.17	t
ノフルエンザ	0.20	0.63	0.31	0.40	0.60	0.39	0.00	0.00	0.19	0.09	0.00	0.38	0.27	0.09	0.17	0.09	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.17	Γ
Ł	2.84	1.37	0.42	1.00	0.80	0.77	0.10	0.38	0.28	0.28	0.28	0.00		0.36	0.26	0.09	0.25	0.17	0.08	0.50	0.42	0.59	0.25	0.17	L
生気管支炎	0.61	0.21	0.31	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	
生閉塞性肺疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	
	0.00	0.21	0.10	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	ł
D <u>他の呼吸器系の疾患</u> 貴瘍及び十二指腸潰瘍	0.00	0.00	0.10	0.30	0.20	0.29	0.19	0.00	0.19	0.19	0.09	0.19	0.37	0.27	0.09	0.17	0.50	0.25	0.17	0.17	0.25	0.25	0.42	0.34	H
レニア及び腸閉塞	1.22	0.21	0.10	0.30	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.09	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.26	t
変(アルコール性を除く)	0.20	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	t
の他の肝疾患	0.91	0.11	0.10	0.10	0.00	0.10	0.10	0.00	0.09	0.00	0.00	0.19	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	r
の他の消化器系の疾患	4.06	0.11	0.10	0.30	0.30	0.19	0.10	0.19	0.00	0.09	0.09	0.19	0.00	0.18	0.00	0.09	0.25	0.08	0.25	0.25	0.08	0.08	0.17	0.26	1
及び皮下組織の疾患	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	ļ
格系及び結合組織の疾患	0.10	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.08	0.08	0.09	1
体疾患及び腎尿細管間質性疾患 ・ BX エム	0.10	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00		0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.08	0.09	H
生腎不全 生腎不全	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00		0.00	0.00	
田不明の腎不全	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09		0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
他の腎尿路生殖器系の疾患	0.10	0.00	0.00	0.10	0.10	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.00		0.00		+
辰. 分娩及び産じょく	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.09	I
期間及び胎児免育に関連する障害	4.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	Ĺ
全外傷	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	Ļ
に特異的な呼吸障害及び心血管障害	28.60	0.32	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1
期に特異的な感染症	4.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	ł
び新生児の出血性障害及び血液障害	7.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
他の周産期に発生した病態 圣系の先天奇形	2.94	0.32	0.10	0.10	0.30	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.00	0.00	
歳の先天奇形	16.33	2.96	1.25	0.50	0.60	0.19	0.19	0.19	0.00	0.09	0.19	0.19		0.00	0.26	0.00	0.17	0.25	0.33	0.33	0.25		0.08	0.52	ı
他の循環器系の先天奇形	8.52	0.63	0.63	0.10	0.20	0.10	0.10	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00		0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.00		0.00		I
と器系の先天奇形	2.03	0.32	0.42	0.00		0.00		0.10	0.00	0.00		0.00		0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.08	0.00		ſ
他の先天奇形及び変形	16.33	1.27	0.63	0.10	0.20	0.39	0.00	0.00		0.00	0.09	0.09	0.09	0.09	0.17	0.09	0.00	0.17	0.00		0.08	0.17	0.25	0.09	
本異常、他に分類されないもの	21.10	2.96	1.15	0.40	0.30	0.19	0.29	0.29	0.28	0.00	0.09	0.09		0.09	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08	0.08		0.00		
力児突然死症候群	11.05	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00		0.00		ŀ
他の一で他に分類されないもの	16.73	3.80	1.56	0.60	0.60	0.29	0.48	0.10	0.37	0.19		0.38	0.09	0.00	0.17	0.26	0.08	0.17	0.33	0.92	0.59		1.43	1.29	ł
<u> </u>	0.30	1.06	0.94	0.70	0.20	0.19	0.77	0.95	0.47	0.85	0.85	0.28	0.18	0.63	0.44	1.37	3.03	2.77	4.30	5.59	4.06		3.62	2.67	f
到・転落 歳の溺死及び溺水	0.00	0.21 1.69	0.00	0.30	0.10	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.18	0.18	0.26	0.26	0.17 1.09	0.17	0.25 1.24	0.50 1.33	0.51	0.75	0.76	0.69	
■の溺死及び溺水 畫の窒息	6.29	1.37	0.42	0.40	0.30	0.00		0.10	0.09	0.28	0.38	0.28		0.00	0.44	0.52	0.08	0.42	0.25		0.08		0.76		
<u>悪の至尽</u> 火及び火炎への曝露	0.00	0.11	0.10	0.00	0.10	0.19	0.29	0.00	0.09	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	0.00		0.08		0.00		
質による不適の中毒及び有害物質への母露	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.41		0.17		0.67		
の他の不慮の事故	0.30	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00		0.00	0.09	0.00	0.00	0.00		0.09	0.09	0.17	0.17	0.17	0.33		0.68		0.34		
OL STATE OF THE ST	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.85	0.64	1.44	3.40	4.64	5.21	6.80	8.77	10.68	13.28	17.41	17.68	17.93	
in X	1.01	0.00	0.21	0.20	0.10	0.10	0.58	0.10	0.19	0.09	0.09	0.28	0.00	0.00	0.17	0.09	0.17	0.08	0.17	0.25	0.00		0.17		ſ
	2.54	0.42	0.31	0.20	0.20	0.19	0.19	0.48	0.00	0.09	0.19	0.38		0.18	0.52	0.60	0.59	0.50	0.83		1.27		1.43	1.21	

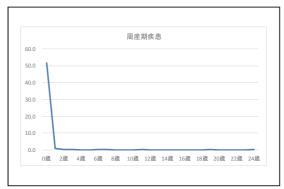
図 I-2 平成 28 年年齢別死亡率の分布 (人口 10 万対): 大分類

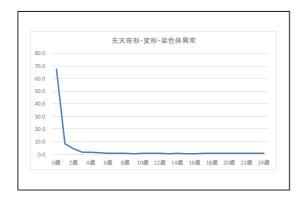
● 乳幼児期にピーク、その後減少

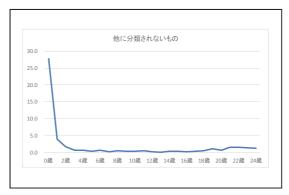




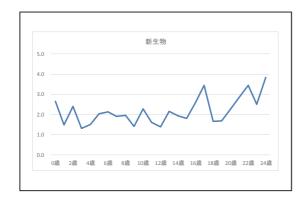




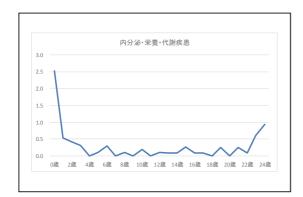


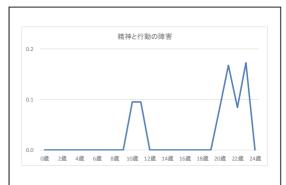


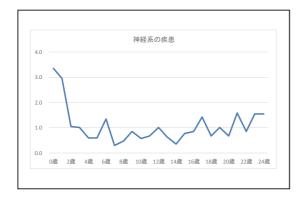
● その他の分布を示すもの

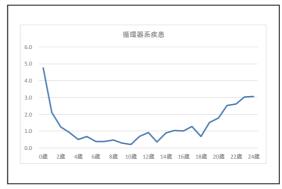


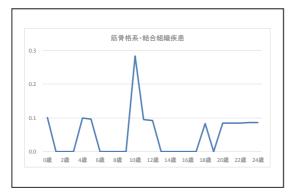


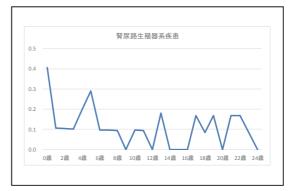


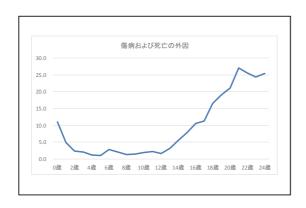




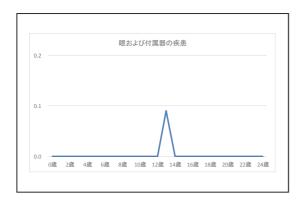


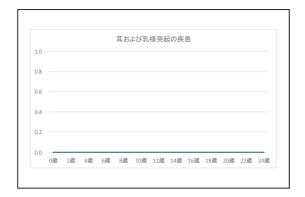


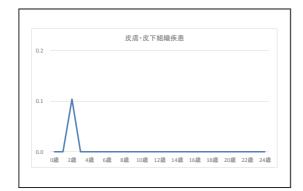




● 希少ケース (/該当なし)







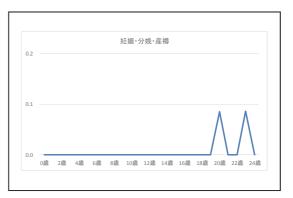


表 I-5 平成 28 年年齡別死亡率(人口 10 万人対): 交通事故

六语声#4	合	計	男	子	女子			
交通事故	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率		
0歳	3	0.30	3	0.59	0	0.00		
1歳	10	1.06	5	1.04	5	1.08		
2歳	9	0.94	4	0.81	5	1.07		
3歳	9	0.90	6	1.18	3	0.61		
4歳	2	0.20	2	0.39	0	0.00		
5歳	2	0.19	1	0.19	1	0.20		
6歳	8	0.77	5	0.94	3	0.59		
7歳	10	0.95	6	1.12	4	0.78		
8歳	6	0.56	3	0.55	3	0.58		
9歳	9	0.85	6	1.10	3	0.58		
10歳	10	0.95	9	1.67	1	0.19		
11歳	3	0.28	2	0.37	1	0.19		
12歳	2	0.18	2	0.36	0	0.00		
13歳	7	0.63	5	0.88	2	0.37		
14歳	5	0.44	4	0.68	1	0.18		
15歳	16	1.37	15	2.51	1	0.18		
16歳	36	3.03	31	5.06	5	0.87		
17歳	35	2.94	31	5.07	4	0.69		
18歳	54	4.47	44	7.09	10	1.70		
19歳	68	5.67	54	8.78	14	2.40		
20歳	50	4.23	42	6.90	8	1.40		
21歳	62	5.19	50	8.14	12	2.07		
22歳	44	3.70	35	5.75	9	1.55		
23歳	34	2.93	25	4.21	9 7	1.59		
24歳	34	2.90	27	4.49	7	1.22		

表 I-6 平成 28 年年齡別死亡率 (人口 10 万人対): 自殺

自殺	合	計		子	女子			
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率		
0歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
1歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
2歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
3歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
4歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
5歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
6歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
7歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
8歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
9歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
10歳	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
11歳	9	0.85	6	1.11	3	0.58		
12歳	7	0.64	4	0.71	3	0.56		
13歳	17	1.53	8	1.40	9	1.66		
14歳	41	3.57	26	4.42	15	2.68		
15歳	56	4.81	35	5.86	21	3.70		
16歳	64	5.38	40	6.53	24	4.16		
17歳	81	6.80	54	8.82	27	4.67		
18歳	107	8.85	76	12.24	31	5.28		
19歳	129	10.76	100	16.26	29	4.97		
20歳	160	13.54	121	19.87	39	6.81		
21歳	211	17.66	165	26.87	46	7.92		
22歳	212	17.85	162	26.60	50	8.64		
23歳	212	18.28	154	25.93	58	10.25		
24歳	224	19.08	155	25.79	69	12.04		

図 I-3 平成 28 年年齢別死亡率 (人口 10 万人対): 交通事故の分布

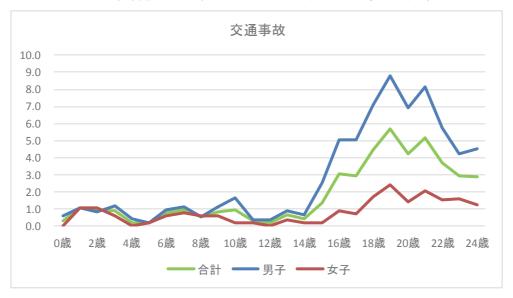
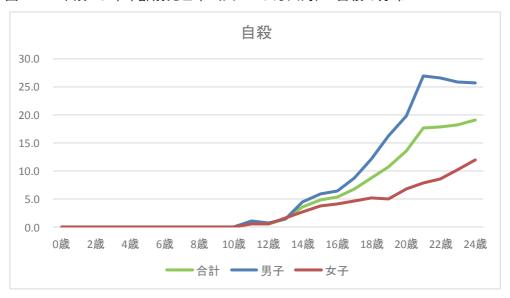


図 I-4 平成 28 年年齢別死亡率 (人口 10 万人対): 自殺の分布



(2) 患者調査・奇数票:受療率

年次:平成26年(平成26年10月21日(火)~24日(金)の3日間のうち病院・診

療所ごとに指定した1日)

対象地域:全国

提供データ件数:101,692件

集計対象:調査日当日に、病院・診療所で受療した24歳以下の者

集計項目:年齢別受療率(推計患者数/「人口推計」10月1日現在の同年齢総人口)

(ICD10 大分類別)

※推計患者数は、厚生労働省より提供を受けた拡大乗数を用いて算出

図 I-5 平成 26 年患者調査における年齢別推計患者数 (外来)

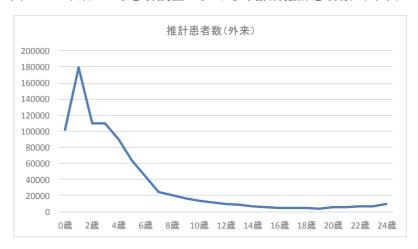


図 I-6 平成 26 年患者調査における年齢別推計患者数 (入院)

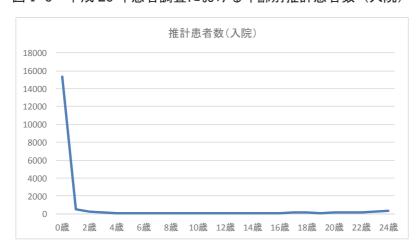


表 I-7 平成 26 年年齡別受療率(外来)

	感染症・寄生虫症	新生物	血液·造血器疾患·免疫機能維苦	内分泌・栄養・代謝疾患	精神と行動の障害	神経系の疾患	眼および付属器の疾患	耳および乳様突起の疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患
0歳	0.92	0.02	0.01	0.02	0.00	0.00	0.10	0.54	0.00	49.02
1歳	1.24	0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.07	2.62	0.00	138.20
2歳	0.69	0.00	0.00	0.01	0.05	0.03	0.10	1.05	0.00	87.41
3歳	0.62	0.01	0.00	0.01	0.19	0.06	0.25	0.88	0.00	80.74
4歳		0.00	0.00	0.01	0.19	0.07	0.23	0.75	0.00	70.65
5歳	0.87	0.01	0.00	0.01	0.31	0.05	0.28	0.56	0.00	46.38
6歳	0.75	0.01	0.00	0.01	0.34	0.07	0.36	0.38	0.00	26.54
7歳	0.59	0.00	0.00	0.01	0.12	0.04	0.26	0.11	0.00	13.77
8歳	0.62	0.00	0.00	0.01	0.08	0.06	0.25	0.07	0.00	11.86
9歳	0.45	0.00	0.00	0.02	0.13	0.05	0.30	0.06	0.00	8.90
10歳	0.36	0.00	0.00	0.02	0.11	0.07	0.21	0.02	0.00	7.43
11歳		0.00	0.00	0.02	0.06	0.04	0.17	0.02	0.00	5.28
12歳	0.15	0.00	0.00	0.03	0.11	0.03	0.12	0.01	0.00	4.44
13歳	0.12	0.00	0.00	0.01	0.18	0.09	0.07	0.01	0.01	3.25
14歳	0.08	0.01	0.00	0.03	0.14	0.07	0.15	0.01	0.01	2.26
15歳	0.06	0.00	0.00	0.01	0.11	0.05	0.15	0.01	0.01	1.78
16歳	0.05	0.00	0.00	0.01	0.12	0.09	0.18	0.01	0.00	1.15
17歳	0.04	0.00	0.00	0.01	0.18	0.06	0.26	0.01	0.01	0.95
18歳	0.08	0.01	0.00	0.01	0.13	0.04	0.13	0.01	0.01	0.75
19歳	0.05	0.01	0.00	0.01	0.14	0.03	0.16	0.00	0.00	0.61
20歳	0.07	0.01	0.00	0.01	0.17	0.03	0.15	0.01	0.00	0.64
21歳	0.06	0.01	0.00	0.01	0.20	0.05	0.14	0.00	0.00	0.71
22歳	0.10	0.02	0.00	0.02	0.25	0.04	0.14	0.01	0.00	0.83
23歳	0.13	0.03	0.00	0.03	0.37	0.04	0.20	0.01	0.00	0.82
24歳	0.15	0.02	0.00	0.04	0.47	0.04	0.19	0.00	0.01	1.04

		皮膚・皮下組織疾患			妊娠・分娩・産褥			他に分類されないもの	損傷・中毒・その他の外面の影響	検査・健診・管理など
0歳	0.28	7.14	0.00	0.01	0.00	0.97	0.77	0.13		39.97
1歳	0.11	3.28	0.01	0.01	0.00	0.04	0.38	0.11	1.01	25.36
2歳	0.09	2.76	0.02	0.01	0.00	0.01	0.16	0.07	0.54	12.27
3歳	0.06	1.66	0.02	0.01	0.00	0.01	0.07	0.05		17.83
4歳	0.07	1.40	0.02	0.01	0.00	0.00	0.05	0.06	0.36	11.70
5歳	0.07	1.10	0.01	0.01	0.00	0.00	0.06	0.07	0.54	10.19
6歳	0.03	1.14	0.01	0.01	0.00	0.00	0.05	0.06	0.42	10.57
7歳	0.04	0.54	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.05	0.64	6.41
8歳	0.03	0.36	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.05	0.59	5.34
9歳	0.01	0.38	0.04	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.70	4.71
10歳	0.03	0.31	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.91	2.64
11歳	0.01	0.38	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.83	2.94
12歳	0.02	0.27	0.21	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	1.18	2.04
13歳	0.05	0.31	0.36	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	1.55	0.86
14歳	0.05	0.32	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	1.21	0.80
15歳	0.03	0.47	0.14	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.61	0.86
16歳	0.05	0.32	0.26	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.86	0.88
17歳	0.06	0.46	0.10	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.84	1.23
18歳	0.07	0.37	0.07	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.57	1.76
19歳	0.05	0.41	0.02	0.03	0.00	0.00	0.00	0.01	0.43	1.28
20歳	0.06	0.43	0.05	0.03	0.00	0.00	0.00	0.01	0.50	2.12
21歳	0.11	0.50	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.01	0.50	2.37
22歳	0.12	0.49	0.04	0.07	0.01	0.00	0.00	0.02	0.34	2.80
23歳	0.14	0.41	0.08	0.10	0.01	0.00	0.00	0.01	0.38	2.79
24歳	0.20	0.46	0.09	0.14	0.02	0.00	0.00	0.02	0.34	4.23

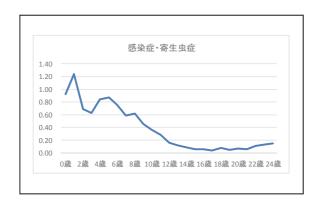
表 I-8 平成 26 年年齡別受療率 (入院)

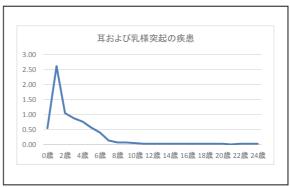
	感染症·寄生虫症	新生物	血水-血血原水水-火火吸吸溶水	内分泌・栄養・代謝疾患	精神と行動の障害	神経系の疾患	眼および付属器の疾患	耳および乳様突起の疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患
0歳	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.01	0.48
1歳	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.36
2歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.14
3歳	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.08
4歳	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.06
5歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.03
6歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01
7歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01
8歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
9歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01
10歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01
11歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
12歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
13歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
14歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
15歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
16歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
17歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
18歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
19歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
20歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
21歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
22歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
23歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
24歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00

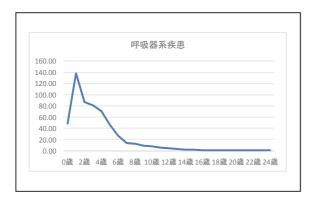
	消化器系疾患	皮膚・皮下組織疾患	筋骨格系·結合組織疾患	智尿路生殖器系疾患	妊娠・分娩・産褥	周産期疾患	先天音形・変形・染色体異常	他に分類されないもの	番集・中島・その他の外面の影響	検査・健診・管理など
0歳	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	13.80	0.61	0.01	0.00	0.01
1歳	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00
2歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00
3歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00
4歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00
6歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
13歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
14歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
15歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
16歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
17歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
18歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
19歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
20歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
21歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
22歳	0.01	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00		0.00
23歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
24歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00

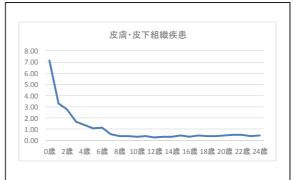
図 I-7 平成 26 年年齢別受療率(外来)の分布

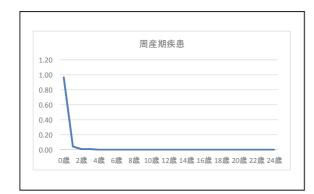
● 乳幼児期にピーク、その後減少

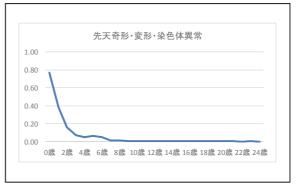




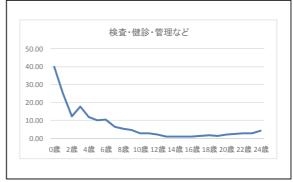




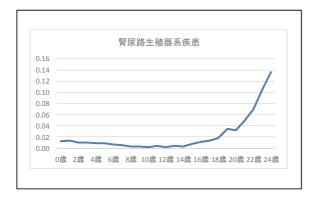


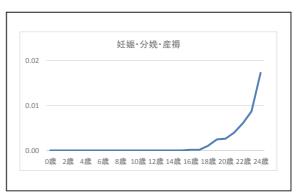






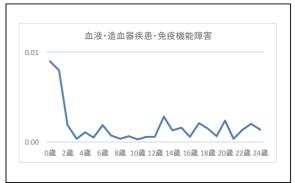
● 年齢とともに増加傾向





● その他の分布を示すもの



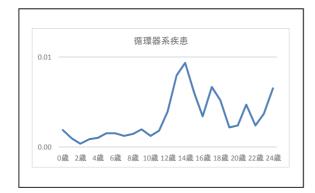




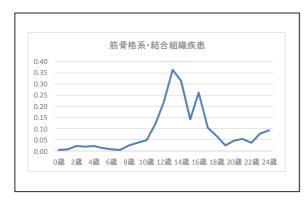














(3) 国民生活基礎調査・健康票:通院率、有訴率、悩みやストレス

年次: 平成28年(平成28年6月2日)

対象地域:全国

提供データ件数:70,765件(世帯単位)

集計対象: 入院者を除く 24歳以下の世帯員(計 75,883人: 男子 53,225、女子 22,658)

集計項目:年齢別有訴者率(各年齢の有訴者数/同年齢世帯人員imes1,000)、年齢別通院

者率(各年齢の通院者数/同年齢世帯人員×1,000)、悩みやストレスの原因(各年齢の

該当者数/同年齢世帯人員)

表 1-9 平成 28 年年齡別有訴者率(人口千人対)

## 1	振	1.91	12.23	2.95	6.43	7.91	2.94	3.53	2.49	2.02	2.09	2.71	0.33	1.58	2.95	2.02	2.47	4.67	4.57	5.78	6.23	7.59	6.03	6.54	7.39	89.9
### 14	食欲不	1	0	9	9	8	6	0	0	2	2	9	1	2	1	4	7	8	2	1	7	6	4	7	3	7
世帯 (14 元		10.5	5.3	9.6	14.4	9.8	6.9	5.3	3.2	4.7	6.9	5.7	6.2	4.7	5.3	9.5	7.9	11.6	9.6	8.5	6.6	15.1	15.2	16.6	14.1	15.9
##学	便秘	17.19	35.48	14.32	14.46	11.46	6.25	4.24	4.98	5.39	5.22	5.76	6.21	5.69	9.74	13.01	7.97	12.20	12.95	14.90	99.6	14.53	14.93			19.16
世帯人を	中下衛	00	32	34	01	61	74	32	12	35	39	38	86	98	81	30	30	33	90	1	74	67	66	20	39	12
世帯人の表表 (株分代之人) (現代代表) (現代代表) (日本) (本の元十年 (日本) (年本) (本の元十年 (日本) (日本) (年本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	胃のもたれ・むねや	0.0	0.8	0.6	7'0	17	.0	0.0	1,4	1.3	1.3	0.6	0.6	1.1	1,4	2.6	3.0	3.6	4.0	5.1	3.	4.3		8.6	11	
世帯人の語名	・イゼイする	17.67	37.52		17.68	16.21	15.82	13.08		7.41	9.39	4.74	98.9	6.64	4.13	4.92	3.85	3.63	4.82	3.34	2.49	4.29	4.76	3.27	4.18	4.65
世帯人の機 (つまる・鼻汁が出る一七	97.42	207.18	144.48	160.71	117.39	114.79	94.03	83.63	79.88	74.41	73.48	73.48	56.63		59.86		52.44	52.31	44.69	42.69	46.88	49.22	43.48	43.37	46.17
世帯人義整 (株分社を) (本分社を) (本分社を) (本分社を) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名) (本名	やたんが出る 鼻が	61.13	140.70	89.30	112.49	88.93	85.36	63.27	51.25	43.48	41.03	34.88	35.27	28.47	22.43	20.82	23.35	22.85	19.55	20.67	23.06	26.08	27.63	29.42	35.01	32.52
世帯人の長 勝が多る (株分ける人) (0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	0.00	0.00	0.36	0.00	0.00	1.02	0.33	0.95	0.00	1.45	1.37	2.34	2.54	2.43	4.36	1.98	5.08	5.56	7.39	4.65
世帯人の極端		0.00	0.41	0.00	0.40	0.40	0.00	0.00	0.71	0.34	0.35	1.35	0.33	1.58	1.48	2.31	1.10	1.30	3.56	1.82	5.61	3.30	4.76	6.21	4.18	4.65
世帯人の極端を		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	19.0	0.00	0.34	0.65	0.63	0.59	2.02	1.37	1.56	2.29	3.95	2.80	3.63	5.08	98.9	5.14	7.84
世帯人の音響 勝が多る 体がだる人に 振行ない。 1 (14) (1	にくい	0.96	2.04	1.68	4.02	3.56	6.25	5.30	3.56	4.04	2.09	2.37	1.96	1.58	2.95	2.60	3.30	4.15	2.79	3.65	3.12	2.64	5.72	6.54	6.75	5.23
世帯人を置く 解析がある 株式	する きこ	0.48	00.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.36	0.34	0.35	2.71	1.96	2.21	4.43	3.47	2.20	3.12	4.06	4.26	4.05	3.63	6.35	6.54	0.92	7.84
世帯人高数 (Н	0.48	0.00	0.00	1.21	1.98	1.47	1.41	2.85	3.71	5.56	4.40	3.92	5.06	6.49	6.36	5.22	4.67	5.08	3.95	4.36	2.97	4.45	3.60		89.9
世帯人高度 勝が多を (株分で2人) (物を見つ	_											_						-		-		_	,		
世帯人高度 駒がちを (株分で27.0 現代27.0 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	目のかすみ									l .		l .	1											1.		
世帯人員数 腕がある	めまい	0.00	0.00	0.00	08.0	00:0	00:0	0.35	1.7.1	0.34	0.70	89:0	2.29	3.80	6.20	8.10	7.97	7.53	09:9	8.51	9.35	10.23	12.07	13.73	12.21	14.52
世帯人高度 腕がある	缩	0.00	0.41	0.00	2.01	3.95	4.05	6.36	8.54	8.09	12.87	10.50	15.68	16.45	26.27	29.21		27.78		26.15		30.70	33.34	40.86	39.51	40.36
世帯人高整 腕がある 体がださい 1847 に 10.5 に	П	0.00	00.00	0.00	0.40	00:00	00:00	0.35	0.71	0.34	3.13	1.02	2.29	2.21	4.72	4.34	3.30	3.63	4.82	80.9	71.17	5.28	7.62	9.15	10.60	6.97
世帯人の画像 腕がある 24.05 1847年71.7 1847年7	こいらしやすい も	0.48	2.04	0.00	2.01	1.19	3.31	3.53	3.56	3.03	5.91	6.77	8.16	9.81	14.76	16.48	12.91	14.28	13.46	18.55	17.45	19.81	27.95	25.83	29.55	24.10
世帯人高整 熱が分支 (株が5-5μ)	ш	3.34	6.12	2.95	1.61	1.19	1.47	0.35	0.36	1.01	0.70	2.71	2.29	1.27	5.61	5.78	5.22	6.23	7.11	7.30	9.04	12.88	18.42	16.35	14.78	20.62
世帯人高隆 熱が方を 2452 80.75 2452 80.75 2452 80.75 2452 81.75 2 1550 17.35 2 1550 17.35 2 1550 17.35 2 1550 17.35 2 1550 17.35 2 1550 17.35 2 1551 81.65 2 1551 81.65 2 1551 81.65 3 1551 81.6	П	1.91	8.56	4.63	6.43	3.95	5.52	4.24	4.27	4.04	5.22	7.79	10.12	9.17	20.37	24.29	23.35	23.62	22.35	27.97	26.49	34.66	38.42	37.92	44.01	45.01
世帯人 2004 2014 2014 2014 2014 2014 2014 2014	П				43.79		25.75	17.32		11.46	6.95	5.76	8.16	9.17	4.72	5.21	5.77	7.01	5.84	5.17	4.99	9.57	6.67	9.15	9.64	9.29
<u> </u>	带人員数	2094	2452	2374	2489	2530	2718	2829	2810	2967	2876	2953	3062	3161	3388	3458	3640	3852	3938	3289	3209	3029	3149	3059	3113	3444
	却	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳

症状名不詳	0.48	1.22	0.84	1.21	0.40	0.37	1.06	0.36	0.34	0.70	0.68	0.98	0.32	0.59	0.87	1.37	0.78	0.76	0.61	0.93	0.99	2.22	0.33	0.64
前	5.25	6.93	4.63	10.04	5.53	5.89	8.48	7.83	9.77	6.61	7.79	16.33	16.13	17.12	14.17	14.01	16.61	13.46	8.21	7.17	8.58	13.34	8.17	11.56
。その他	96	.53	7.	.45	74	.45	60	.22	7	17	.55	0/	.02	.64	30	16	.53	.43	09	54	94	.84	19	09
切り備・やけどなどのけが	0.96	6.5	9.27	12.4	13.04	15.4	19.0	19.2	15.1	20.1	13.5	14.7	12.0	15.6	13.3	10.1	7.5	11.4	7.6	6.5	5.9	8.6	7.1	10.6
骨折・ねんざ・脱きゅう	0.48	0.41	1.26	2.81	1.19	1.47	4.24	4.98	6.40	11.13	11.18	21.55	20.25	24.50	27.47	19.78	19.21	21.33	8.82	4.99	3.63	5.08	3.92	3.85
月経不順·月経痛 骨物	00'0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00:0	00.0	0.33	1.58	3.54	3.76	5.22	7.2.7	8.13	10.34	9.04	12.22	18.10	17.65	18.95
束がむれる)	0.00	00'0	00'0	0.40	00'0	0.37	0.35	0.00	1.01	0.35	0.34	0.33	0.00	0.00	0.58	0.00	0.52	0.25	1.22	0.31	66.0	1.27	0.65	1.28
維尿(尿の出る医数が食い) 駅失業()	00.0	00'0	00'0	00'0	00'0	1.10	0.71	1.78	1.01	0.70	0.34	0.65	0.32	0.59	0.87	0.82	0.52	1.02	0.30	00:0	2.64	3.18	2.29	2.89
保が出にない(経路時後い) 経路(限6	0.48	0.41	00'0	0.40	00'0	0.37	00.0	00'0	0.67	0.35	00'0	00.0	0.32	00'0	0.29	00'0	0.78	97.0	0.30	0.31	66.0	0.95	1.31	1.93
足のむくみやだるさ Mが出に0	0.00	0.00	0.42	0.00	0.00	0.00	00:00	0.00	0.34	1.74	0.00	0.98	0.95	2.66	2.89	2.20	2.60	2.54	3.34	3.74	9.24	66.9	10.13	14.78
足が冷える 足のむる	0.00	00'0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35	0.00	0.00	0.35	0.34	0.33	0.00	2.66	2.02	2.47	4.67	4.32	3.95	5.92	6.93	66.9	98.9	6.75
びれ手	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.35	0.36	0.34	0.35	0.00	0.33	1.27	1.18	1.16	0.82	2.60	4.06	2.13	3.74	3.30	3.49	4.58	6.75
手足の	00.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.37	00:00	0.00	0.34	1.39	1.35	0.98	2.53	0.89	1.74	1.65	2.34	1.27	1.52	1.25	1.65	0.95	2.94	1.93
む 手足の動きが悪い	0.00	0.00	0.00	080	0.00	.10	77.	2.14	3.71	4.87	5.76	12.08	70.	17.12	69	12.91	10.90	.93	9.12	.48	8.91	.94	6.21	8.67
手足の関節が痛む						1	-						11		3 21			11		7		10		
腰痛	00'0	00'0	0.42	0.80	00'0	00'0	00:00	00:00	1.01	1.04	1.02	2.61	6.01	11.51	17.93	14.29	17.65	23.62	17.63	18.07	24.76	27.31	31.38	49.47
肩こり	00'0	00'0	0.42	0.40	00'0	00.0	00'0	0.36	1.35	1.39	1.02	6.21	5.06	10.04	11.57	15.11	17.65	17.27	18.85	23.37	29.38	40.97	41.84	55.25
報節・水虫など)	31.52	32.63	33.70	42.99	41.50	39.00	37.82	33.45	32.69	27.47	28.45	23.19	21.83	15.35	16.77	17.58	21.29	18.28	19.46	19.63	17.17	33.66	27.46	25.38
CURB-TREDZE) BIRDIG	40.11	30.18	19.80	24.51	29.25	26.86	22.62	18.15	17.53	15.30	13.88	14.70	14.87	15.94	13.88	10.99	16.36	9.40	13.38	13.09	11.89	19.37	22.23	20.24
かみにくい ※800	0.00	0.41	0.42	0.80	0.40	0.37	0.71	1.07	0.34	1.04	0.68	1.31	0.95	1.48	1.16	0.55	1.30	1.02	0.30	1.25	1.32	1.59	1.63	2.57
歯ぐきのはれ・出血 かみ	0.00	00:00	0.84	00:00	1.19	0.74	3.18	3.91	3.71	3.13	4.06	3.27	3.48	1.77	2.89	1.37	2.86	2.79	3.65	2.49	4.29	6.67	7.85	8 99
歯が痛い 端<	00:0	00'0	00'0	3.21	2.77	8.83	6.01	9.25	9.10	2.43	4.40	4.57	4.11	4.13	5.78	2.75	5.97	8.13	66.9	8.73	11.22	10.16	12.75	16.70
第二よる森み・出血など 関	00.00	0.82	0.84	08'0	0.40	0.37	00.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.00	1.18	1.16	0.82	0.52	2.29	2.43	1.56	1.98	1.59	2.62	6.10
(痛·胃痛 (*)*(-)*	00:0	0.41	2.11	4.42	5.93	6.62	4.60	7.12	7.41	7.30	8.47	7.51	9.49	17.71	17.35	12.64	14.28	13.97	16.42	11.22	17.17	16.83	19.29	22.17
類別	0歳	- 2	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	報!!	2歳	3歳	14歳	5歳	16歳	17歳	8歳	19職	20歳	21歳	22歳	23歳

表 I-10 平成 28 年年齡別通院者率(人口千人対)

肝臓・胆のうの病気	00.00	0.82	0.42	00.0	0.00	0.37	00.0	0.36	0.34	0.70	0.34	00:00	0.95	0.30	00.00	0.27	0.78	0.25	0.91	0.93	0.33	0.32	0.33	0.64	0.87
十二指腸の病気	1.43	0.82	0.00	0.00	0.40	0.37	0.71	0.36	0.34	0.35	0.34	0.98	0.00	0.59	0.58	0.82	1.30	1.27	2.13	1.25	1.32	1.59	1.96	2.25	3.19
その他の呼吸器系の病気間・	5.73	13.05	3.79	8.84	6.32	6.25	5.66	9.61	5.73	4.17	2.37	2.61	1.90	0.89	2.02	0.82	0.78	1.27	1.22	0.31	0.99	0.95	2.94	2.57	1.16
ený	3.34	11.83	19.80	22.90	31.62	32.74	34.64	33.81	26.63	28.51	26.75	24.17	17.40	10.92	12.15	6.04	5.19	5.33	5.17	3.74	3.30	4.76	2.94	3.85	4 94
製性閉塞性肺疾患 端	0.00	00.0	00.0	0.40	0.00	00.0	00.00	00.0	00.00	0.00	0.00	00.0	00.0	00.00	00.00	00.0	00.0	00.0	0.00	0.00	00.0	0.32	00.00	00.00	00 0
アレルギー性鼻炎 慢性	2.39	9.38	8.00	16.87	20.95	30.91	40.65	53.74	50.56	51.11	52.83	47.35	39.23	38.37	33.55	26.92	24.40	19.05	13.68	13.09	12.55	13.02	13.73	11.89	12.78
咽頭炎	19.58	47.72	26.96	25.71	21.74	22.44	14.49	12.46	7.41	7.30	4.06	5.55	2.53	2.95	2.60	3.30	2.34	1.52	2.13	0.62	1.98	1.91	1.31	0.64	261
・の他の有理器系の解放 急性鼻目	4.30	5.30	2.90	4.42	3.56	5.52	2.47	3.91	2.36	2.78	5.42	2.61	1.90	3.25	3.18	2.75	3.37	2.79	2.43	1.25	2.97	3.81	2.29	1.61	261
狭心症・心筋梗塞 その物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	000
卒中	00:0	00:0	00'0	00'0	00:0	00:0	00:0	00'0	00'0	00:00	00.00	0.33	00'0	00'0	00:00	00:0	0.26	0.25	00:0	00:0	00:00	0.32	00.00	00:00	0.58
高血圧症 脳	00:0	00.0	00.0	00.0	0.00	0.37	00.0	00.0	00.0	0.35	00.00	00.00	0.32	0.30	0.29	00:0	0.78	0.25	0.91	0.62	99.0	0.32	0.65	1.93	0.58
の病気	6.21	17.13	15.16	14.46	10.28	13.25	9.19	97.9	8.09	5.22	6.43	5.55	3.80	2.07	2.02	2.75	2.08	1.78	1.22	0.31	1.32	2.54	86.0	3.21	261
眼の病気 耳	2.39	3.26	5.05	6.43	8.70	10.30	14.14	13.17	13.48	13.21	10.16	10.12	9.81	8.56	4.63	5.49	4.93	2.79	3.95	2.80	3.30	3.49	4.90	5.46	0 6 0
その他の神経の病気 眼	96.0	0.41	0.00	1.61	2.77	1.84	1.77	3.91	2.02	4.17	3.05	4.25	5.06	2.95	2.31	1.65	1.04	3.81	3.95	3.43	3.30	2.22	5.56	4.50	4 07
パーキンソン病 もの	00.00	00.0	00.0	00.0	00.00	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.0	00.00	00.00	00.0	00.0	00.0	00.0	000
認知症が	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	0.00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	0.00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	00:00	0.00	00:00	0.33	00:00	00:00	00:00	000
うつ余やその他にころの病気	0.00	00:00	00:0	0.40	1.58	0.74	1.06	1.42	3.03	3.13	3.73	4.25	3.80	6.20	5.21	6.32	6.49	8.13	69.9	9.35	10.23	13.97	15.04	14.46	18.00
甲状腺の病気が	1.91	0.41	1.68	1.21	1.19	0.74	1.41	0.36	1.69	1.04	1.02	0.65	00.0	68.0	1.16	0.82	1.30	1.52	0.61	1.56	2.31	3.18	3.27	1.93	2 61
脂質異常症 甲	0.00	0.00	00:0	00:0	0.00	00:0	0.35	00:0	00:0	00:0	0.34	00:00	0.32	00:0	0.29	0.27	0.52	00:0	0.61	0.31	1.32	1.59	0.33	1.28	0.58
肥満症	00:00	00:00	00'0	00'0	0.00	00:00	0.35	0.36	0.67	1.04	0.34	0.98	1.27	00'0	1.16	0.27	0.52	1.02	0.91	0.62	66.0	0.95	0.33	00:00	0.58
糖尿病	00'0	00'0	00'0	0.40	00'0	00'0	0.35	0.36	0.34	1.39	00'0	86.0	0.32	0:30	0.58	0.82	0.52	92'0	0.91	1.25	66'0	2.54	2.29	1.61	2.03
世帯人員数	2094	2452	2374	2489	2530	2718	2829	2810	2967	2876	2953	3062	3161	3388	3458	3640	3852	3938	3289	3209	3029	3149	3059	3113	3444
꾸	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	二 勝	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	₩76

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歲	8歳	16	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歲	18歳	19歳	20歲	21歳	22歳	23歳	
その他の消化器系の病気	4.30	4.89	2.53	1.21	1.58	2.21	1.41	1.78	1.35	2.78	89'0	86.0	1.58	3.25	2.31	1.92	3.12	3.81	1.52	2.49	2.97	1.27	2.94	4.82	
* 歯の病気	96.0 0.96	9 2.45	3 3.37	12.86	17.79	1 25.75	30.75	80.88	5 39.10	8 34.42	35.56	8 29.39	8 20.56	5 21.84	16.77	15.38	2 18.69	17.78	10.64	.9 15.89	7 22.12	7 21.59	4 22.56	26.98	
アトピー性皮膚炎	6 16.24	26.	7 24.01	6 20.49	9 32.81	5 30.54	5 29.34	8 25.62	0 24.94	2 22.60	6 22.35	9 25.15	6 16.77	14.46	7 14.75	8 15.66	9 17.39	13.97	16.11	9 12.46	2 25.42	17.47	6 19.29	8 22.81	
炎 その他の皮膚の病気	41	10 23	01 26.12	25	24	54 25.75	34 24.04	52 19.22	94 21.23	50 17.73	35 18.29	15 12.41	11.71	14.17	10.70	56 13.19	39 12.20	97 8.13	11 10.03	11.53	11.55	16.20	16.67	12.21	l
* 痛風	.55 0.	.65 0.		.71 0.	.51 0.																				
関節リウマチ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	00.00	00.00	00.00	0.00	00.00	0.00	00.00	00.00	0.59	0.00	0.00	0.00	00.00	00.00	0.31	0.00	0.32	0.33	0.64	
ウマチ 関節症	00.0	00.0	00.0	00.0	00:00	00.0	00.0	0.36	00.0	00.0	00.0	0.33	0.32	0.30	00.0	00.0	00:0	00.0	0.61	0.62	00:0	00:00	00.0	00.0	
匠	1.43	0.41	0.42	0.40	0.00	0.00	0.00	0.71	1.01	0.35	0.68	0.65	3.48	2.07	4.05	1.65	1.30	5.33	2.13	0.31	0.33	1.91	1.63	1.28	
こり症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	00.0	0.00	00.0	00.0	0.00	0.95	1.48	2.02	1.92	1.82	2.54	1.22	2.49	1.98	4.13	98.9	6.10	
腰痛症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	1.01	0.35	0.68	0.33	2.21	3.25	5.21	6.59	7.27	9.40	3.95	98.9	7.59	4.76	7.19	9.32	
骨粗しょう症	00'0	141	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	0.25	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	
腎臓の病		1.		2.	1	2.	1	1				1			1	0	1		0	1	0		0	+	
気 前立腺肥大症	1.43	.63	0.42	.41	.58	.58	77.	.42	2.36	0.35	0.34	.63	3.16	1.77	.45	55	.82	0.76	91	.87	66	1.27	86	.61	
巴大症 閉経期又は閉経後降害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.32	0.00	0.00	
₩₩₩₩ 骨折	00.0	00.0	00.0	00.0	00:0	00:00	00:0	00:0	00.0	00.0	00.0	00:0	00:0	00.0	00:0	00.0	00:0	00.0	00.0	00.0	00:0	00:00	00.0	00.0	
*	0.00	0.82	1.26	0.80	0.79	0.37	2.83	4.98	2.36	4.87	2.37	8.49	8.23	6.49	10.12	6.04	5.19	5.84	3.65	1.87	1.98	1.27	1.63	1.93	
特なめのけがやけど 貧血	00.00	1.22	4.21	4.42	2.77	2.58	3.18	2.85	4.04	7.30	10.50	16.00	17.72	21.25	24.87	18.68	17.91	23.62	8.82	4.99	5.28	6.35	4.58	6.75	
質由・由液の物気	1.91	2.04	00.00	0.40	1.19	0.37	0.35	0.71	00.00	0.70	89.0	0.65	0.95	1.48	4.34	2.75	2.60	3.56	0.30	0.31	2.31	1.59	2.29	0.64	
惠性新生物	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.74	0.35	1.07	00:00	00:00	0.68	00:00	00:00	0.59	0.00	00'0	0.26	0.25	00:00	00.00	99.0	0.00	0.33	00:00	
妊娠·産褥	00.00	00.00	00.00	00.00	00.00	00'0	00.00	00'0	00'0	00.00	00.0	00.00	00'0	00'0	00.00	00.0	0.26	00'0	0.30	1.25	99.0	2.22	1.31	3.21	١
不妊症	00'0	00.00	00.00	00.00	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00'0	00.00	00'0	00.00	00'0	00'0	00.00	00'0	00'0	00'0	00'0	0.33	00.00	0.65	96.0	
その他	21.	21	24	20	19.	15	. 72	0 18.	23	18	23	0 24.	22.	52	24	23	50	19	0 16.	0 12.	3 16.	16	11	18	
不明	97 0.	.62 2.	.01 0.	.49 0.	76 0.	.08 0.	22 0.	15 0.	.26 0.	.08 0.	.03	.0 0.	78 0.	.00	.00 00.	.63	.0 0.	.55 0.51	72 0.91	15 0.	18 0.	.83 0.	.00 00.	.95	
傷病名不詳	0.48 0.96	2.04 1.63	0.84 2.1	0.80	0.79	0.74 2.58	0.35 0.71	0.36 2.49	0.34	0.70 0.70	.35 2.37	0.00	0.63 0.63	0.89 2.66	0.87 3.18	.10 2.20	0.52	1 19	1	0.93 3.12	99.0 66.0	0.32	0.65 0.65	1 1 1	

Ė	世 一 二 日 彩	家権との人間関係	家権との人間関係。家族以外との人間関係	恋愛・性に関すること	结据	鄭 45	いじめ・セクシュアル・ハラスメント	生きがいに関すること	自由にできる時間がない	収入·家計·借余等	自分の病気や小護	家権の病気や企業
12歳	3161	_	4.68	0.25		_	1.08		1.74		0.44	_
13號	3388	4.01	89.8	0.94	90.0	00.00	1.12	1.03	3.36	0.41	0.71	0.27
14歳	3458	8 4.11	9.14	1.24	0.03	3 0.06	0.75	1.30	2.69	0.20	0.64	0.32
15歳	3640	3.43	8.16	1.26	0.05	5 0.03	0.47	1.95	3.96	99.0	77.0	0.4
16歳	3852	3.50	7.87	1.84	0.03	3 0.00	0.39	2.08	3.40	19.0	1.14	0.3
17歳	3938	3 2.92	7.16	1.80	0.02	5 0.03	0.53	2.36	2.72	1.07	1.14	0.38
18歳	3289	3.25	8.03	2.83	90.0	00.00	0.30	3.04	2.74	2.92	1.37	0.33
19歳	3209	3.46	8.88	3.61	0.59	9 0.16	0.28	4.14	3.61	5.14	1.34	0.72
20歳	3029	4.26	9.34	4.59	99.0	00.00	0.26	6.01	3.76	06.9	2.11	69'0
21歳	3149	4.35	8:38	4.76	1.08	8 0.16	09.0	6.29	4.32	9.18	2.00	86.0
22歳	3059	4.02	8.11	4.38	1.93	3 0.07	0.26	5.88	3.86	10.36	2.16	
23歳	3113	3 4.82	10.54	4.82	2.79	9 0.03	0.74	6:29	4.63	11.56	2.47	1
24歳	3444	1 4 70	10.31	5.57	2.76	0.12	0.52	6.39	5.52	14 23	2 93	

包不詳	1.99	2.66	2.26	2.69	2.44	2.92	2.55	2.59	2.44	2.57	2.71	2.60	2 99
悩みやストレスの原因不詳													
わからない	1.14	1.30	1.50	1.32	1.53	1.37	1.25	1.56	1.22	1.56	1111	96.0	1 30
その他	1.23	2.30	2.37	3.02	3.37	2.31	3.01	3.61	2.87	4.89	3.56	3.47	3 2 2
住まいや生活環境	0.54	0.35	0.67	69.0	0.91	0.91	1.28	1.71	1.49	2.03	2.26	3.02	2 51
家族の仕事	0.00	0.27	0.26	0.22	0.16	0.20	0.30	0.41	0.26	0.67	0.75	0.61	0.73
自分の仕事	0.06	0.15	0.20	0.44	0.67	1.22	4.38	8.91	12.58	17.69	22.79	27.05	21 13
子どもの教育	0.00	90.0	60.0	80.0	0.02	80.0	00.00	0.16	0.07	0.32	0.29	0.32	0.64
自分の学業・受験・進学	10.47	17.65	24.90	23.65	23.75	28.77	20.52	15.99	16.87	14.39	9.38	4.63	9 7 0
家事	0.00	0.09	60'0	0.16	0.10	0.10	0.49	0.65	69.0	0.73	0.88	0.87	1 10
2111	0.03	0.03	0.00	0.03	0.00	0.05	0.03	0.28	0.33	0.44	1.18	1.16	1 74
育児													
妊娠・出産	0.00	0.03	00.0	00.0	00.0	0.03	90.0	0.28	0.20	0.16	0.29	0.51	0.75
世帯人員数 4	3161	3388	3458	3640	3852	3938	3289	3209	3029	3149	3059	3113	3444
+	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	₩76

(4) 小児慢性特定疾患登録

年次:平成25年度

対象地域:全国

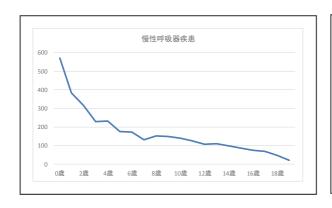
集計対象:小児慢性特定疾病情報センター登録データ

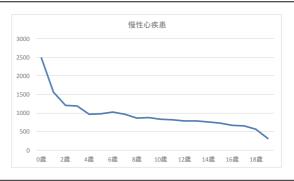
表 I-12 平成 25 年年齡別小児慢性特定疾患登録件数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液	神経 筋疾患	慢性消化器疾患	成長ホルモン初回	成長ホルモン継続申請
0歳	226	62	570	2478	378	41	10	140	151	294	162	25	8
1歳	449	68	383	1555	385	73	27	135	190	378	155	46	33
2歳	565	174	315	1204	446	77	58	161	204	363	138	76	68
3歳	729	240	229	1193	774	100	81	201	208	359	152	260	238
4歳	800	236	232	958	1053	91	116	228	181	352	162	276	493
5歳	858	290	175	984	1233	137	131	224	221	361	162	193	694
6歳	781	352	171	1025	1534	150	164	271	199	373	145	202	849
7歳	805	400	131	965	1776		184	242	220	392	152	119	
8歳	792	431	152	863	2144	191	213	248	211	317	153	143	1172
9歳	765	549	148	876	2472	208	260	254	209	364	159	160	
10歳	766	502	140	833	2719	197	317	342	228	293	156	185	1397
11歳	762	585	123	811	2845	223	387	293	246	282	171	201	1575
12歳	789	659	107	779	2861	233	474	340	247	253	171	183	1669
13歳	801	677	110	777	2755	247	526	294	256	239	188	176	
14歳	806	731	98	748	2513	280	601	293	257	203	154	104	1197
15歳	788	734	86	729	2016		693	268	268	250	147	26	
16歳	834	728	72	659	1648		672 734	287	239	192	148	8	
17成	807 663	682 603	67	649 562	1498 1209	287 279	734	293	185 208	179 147	144	2	93 40
18歳	363	369	48	306	735	148	465	221 127	142	102	151 79	0	
不明	363	369	21	306	735		465	127	0	102	/9	0	18
合計	14151	9073	3378	18955	32994	3701	6819	4863	4270	5694	3050	2387	14217
口前	14151	9073	33/8	18955	32994	3/01	6819	4863	4270	5694	3050	2387	14217

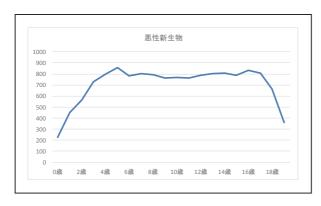
図 I-8 平成 25 年年齢別小児慢性特定疾患登録件数の分布

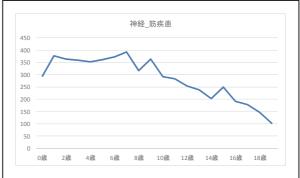
● 乳幼児期にピークが来る疾患



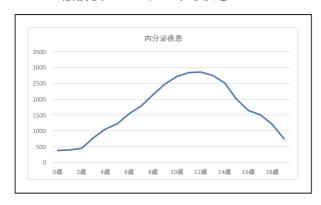


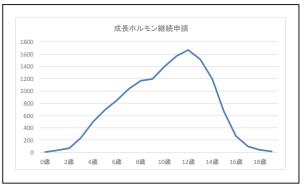
● 就学前後にピークが来る疾患

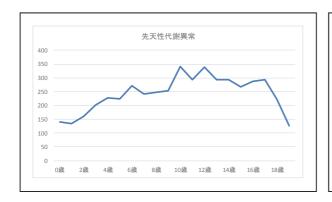


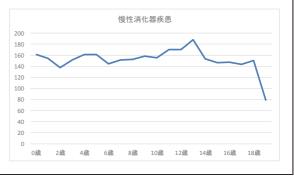


● 12 歳前後にピークが来る疾患

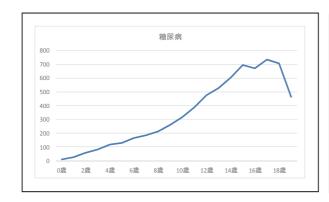


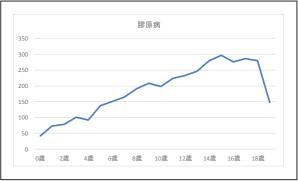


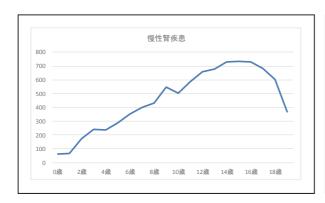


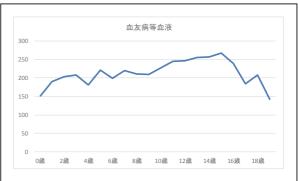


● 15歳前後にピークが来る疾患









(5) レセプトデータ (JMDC): 診断率、医療費

集計対象:JMDC 社保有のレセプトデータ(入院、DPC、入院外)

データ保有数:0-24 歳人口で約120万人(全年齢カバー率:日本人人口の約2%)

対象地域:全国

年次: 平成28年(1月~12月)

集計項目:診断率(患者数/加入者数)、医療費(レセプトの総点数を明細の枚数で割り、疾患分類ごとに集計(主傷病以外も含む)※厚生労働省による「国民医療費」(医療給付

実態調査報告)の集計方法とは異なる)(ICD10大分類・中分類別)

表 I-13 2016 年疾患分類別診断率: 大分類

藤生命 - 寄生 虫症 032 072 068	3 0.03 4 0.03 1 0.09 3 0.05	3 0.66 0.03				2000		200	12 JUX	2000	1,000	2000	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	7 70%	0 10%	3 JBX	20版	7 一次 7	2 日	次 2+成
003 004 代謝疾患 005 007 代謝疾患 001 003 確害 002 002 器の疾患 018 035 交起の疾患 013 003			0.65	0.62	0.56	0.52	0.48	0.43	0.39 0.	.35 0.3	30 0.28	8 0.25	0.22	0.20	0.19	0.17	0.17	0.16	0.16	0.14 0.
たび&後継続等 0.05 0.01 代謝疾患 0.12 0.14 0.01 0.03 日本の大龍 0.18 0.35 日本の大龍 0.17 0.45 と記の疾患 0.17 0.45 0.18 0.26			0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04 0.0	0.04	4 0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04 0.04
保勤疾患		0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02 0.	0.03 0.0	0.04	4 0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03 0.03
検書 0.01 0.03 8の疾患 0.02 0.02 20の疾患 0.17 0.45 20の疾患 0.03 0.03 0.03 0.03 0.03 0.18 0.26 0.26		60.0	60.0	60.0	80.0	0.07	0.07	0.07	0.07	0.08 0.0	80.0	8 0.08	80.0	80.0	80.0	0.07	80.0	80.0	0.07	70.0
(200 005 005 005 005 005 005 005 005 005		0.05	90.0	90.0	0.07	90.0	90.0	90.0	0.06	0.05 0.0	0.05	5 0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04 0.04
器の疾患 0.18 0.35 突起の疾患 0.17 0.45 0.03 0.03 0.18 0.26	2 0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04 0.0	0.05	5 0.05	0.05	90.0	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04 0.04
突起の疾患 0.17 0.45 0.03 0.03 0.55 0.92 0.18 0.26	5 0.33	3 0.35	0.36	0.39	0.42	0.44	0.45	0.46	0.46 0.	0.45 0.4	.43 0.42	2 0.42	0.42	0.36	0.34	0.30	0.26	0.24	0.22	0.20
0.03 0.03 0.05 0.92 0.18 0.26	5 0.43	13 0.43	0.40	0.38	0.34	0.28	0.25	0.22	0.20	0.16 0.1	15 0.12	2 0.10	80.0	20'0	90.0	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03 0.03
0.55 0.92	3 0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04 0.0	0.05	5 0.05	90.0	90'0	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03 0.03
0.18 0.26	8 0.84	84 0.83	0.82	0.81	0.79	0.78	0.77	0.74	0.73 0.	0.70	37 0.65	5 0.61	0.55	0.51	0.45	0.37	0.35	0.32	0.30	0.27 0.26
00	1 0.21	1 0.22	0.20	0.19	0.17	0.16	0.15	0.15	0.15 0.	0.15 0.1	.15 0.17	7 0.17	0.17	0.17	0.16	0.14	0.15	0.14	0.13	0.13 0.13
皮膚·皮下組織疾患 0.63 0.82 0.73	3 0.64	0.60	0.58	0.54	0.51	0.47	0.44	0.41	0.39 0.	0.37 0.3	35 0.34	4 0.33	0.31	0.27	0.26	0.23	0.21	0.19	0.17	0.15 0.14
筋骨格系•結合組織疾患 0.02 0.05 0.08	80.08	0.07	90.0	90'0	0.07	80.0	60.0	0.11	0.14 0.	0.16 0.2	20 0.22	2 0.19	0.17	0.17	0.13	0.08	80.0	80.0	0.07	0.07 0.07
腎尿路生殖器系疾患 0.05 0.07 0.07	7 0.10	0 0.12	0.11	0.11	60.0	80.0	80.0	0.07	0.06	0.05 0.0	0.05	5 0.05	0.05	90'0	90.0	0.05	0.07	0.07	0.07	0.07 0.07
妊娠・分娩・産褥 0.02 0.00 0.00	00.00	00.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 0.0	00.0	0.00	00.00	00'0	00.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01 0.02
周産期疾患 0.03 0.06 0.03	3 0.02	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 0.0	00.0	0.00	00.00	00'0	00.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
先天奇形、変形および染色体異常 0.13 0.11 0.06	6 0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.03	0.03 0.0	0.03	3 0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01 0.01
ませ、映画、東京監察所展、で図に分類されないもの 0.26 0.35 0.33	3 0.31	11 0.32	0.31	0.30	0.27	0.24	0.23	0.22	0.21 0.	0.20 0.2	20 0.19	9 0.18	0.17	0.15	0.14	0.11	0.11	0.10	0.10	60.0
員傷、中毒およびその他の外因の影響 0.11 0.37 0.37	7 0.31	11 0.27	0.25	0.25	0.26	0.26	0.27	0.28	0.30	31 0.	32 0.33	3 0.28	0.25	0.23	0.17	0.10	0.09	0.08	0.07	0.06 0.05
(場) (200 0.0	0	.00 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 00.0	00.0	0.00	00.00	0.00	00.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	00.00	00.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00	00.00	0.00	00.00	00'0	0.00	00.00	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00

2 iii. 3 iii. 4 iii. 5 iii. 6 iii. 1 ii.
6 kg 6 kg 7 kg 8 kg 9 kg 1 kg <th< td=""></th<>
4,250 4,250 1,250 <th< td=""></th<>
7.86 9.86 9.86 9.86 10.06 11.86 12.86 13.86 13.86 12.
8.8 0.9 1.9 1.8 1.5 1.9 1.9 2.0
9.0g 10.0g 11.0g
1985 170 1882 128
118 11.28 1
1286 1386 1386 1486
1.58 1.48 1.48 1.58
44,329 15.8g 17.8g 17.8g 22.8g 22.8g <t< td=""></t<>
148
168, 178, 22, 25
1786 1886 1886 255.416 556.510 556.710 61275 6
18 20 20 20 20 20 20 20 2
1948 20.08 218 228 228 238 2
25691 2587 228 228 229 21139 2
2.08 2.08 2.08 2.08 2.08 2.08 2.08 2.08
22.8 88.4726 58.6175 58.6176 58.6176 58.6176 58.659

表 I-15 2016 年疾患分類別診断率:中分類

腸管感染症	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳
結核	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人畜共通細菌性疾患 その他の細菌性疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主として性的伝播様式をとる感染症 その他のスピロへ一タ疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
クラミジアによるその他の疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
リケッチア症 中枢神経系のウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
##深び料理病変を特性とするウイルス感染症 ウイルス肝炎	0.03	0.21	0.18	0.00	0.00	0.20	0.21	0.19	0.00	0.16	0.14	0.12	0.10	0.00	0.07	0.06	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
その他のウイルス疾患 真菌症	0.10	0.22	0.18	0.15	0.16	0.15	0.12	0.09	0.07	0.06	0.05	0.04	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
原虫疾患	0.00	0.00	0.07	0.04	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ぜんく螺>虫症 シラミ症、ゲニ症及びその他の動物寄生症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の感染症 ロ唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
消化器の悪性新生物 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
骨及び関節軟骨の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
乳房の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<u>女性生殖器の悪性新生物</u> 男性生殖器の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
腎尿路の悪性新生物 ■ BADYで00000日初日5050000円ままり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
部位不明確、結発部位及び郵位不明の悪性新生物 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
独立した原発性多部位の悪性新生物 上皮内新生物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
良性新生物	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
性状不詳又は不明の新生物 栄養性貧血	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
溶血性貧血	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無形成性貧血及びその他の貧血 凝固障害、栄養病及びその他の出血性病等	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
血液及び造血器のその他の疾患 免疫機構の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
甲状腺障害	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01
糖尿病 その他のグルコース開節及び篠内分泌維害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
その他の内分泌腺障害 栄養失調(症)	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
その他の栄養欠乏症	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
肥満(症及びその他の過栄養<過剰摂食> 代謝障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
症状性を含む器質性精神障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
経神作用物質使用による精神及び行動の障害 飲合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
気分[感情]障害 ####1988. ストレス第連第第及び希望表別的第	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成人の人格及び行動の障害 知的障害〈精神遅滞〉	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
心理的発達の障害	0.01	0.02	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
詳細不明の精神障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中枢神経系の炎症性疾患 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
錐体外路障害及び異常運動 神経系のその他の変性疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中枢神経系の脱髄疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<u>挿間性及び発作性障害</u> 神経、神経根及び神経そう、表>の障害	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
多角性ニューロバチにな一及がその他の未被物級系の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
神経筋接合部及び筋の疾患 脳性麻痹及びその他の麻痺性症候群	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<u>神経系のその他の障害</u> 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
結膜の障害	0.15	0.30	0.29	0.26	0.28	0.28	0.29	0.28	0.30	0.30	0.30	0.29	0.28	0.24	0.23	0.22	0.21	0.16	0.14	0.11	0.10	0.09	0.08	0.07	0.06
強維、角維、紅彩及び毛様体の障害 水晶体の障害	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.03
脈絡膜及び網膜の障害 緑内障	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
硝子体及び眼球の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
視神経及び視覚路の障害 眼筋、眼球運動、調節及び屋折の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
視機能障害及び盲<失明> 眼及び付属器のその他の障害	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
外耳疾患	0.14	0.36	0.35	0.34	0.33	0.30	0.28	0.26	0.21	0.19	0.17	0.15	0.13	0.11	0.09	0.07	0.06	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
中耳及び乳様突起の疾患 内耳疾患	0.05	0.25	0.26		0.26		0.22	0.17	0.13	0.11	0.09	0.08	0.06	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
耳のその他の障害 急性リウマチ熱	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
慢性リウマチ性心疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高血圧性疾患 虚血性心疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
肺性心疾患及び肺循環疾患 その他の刑の心疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の型の心疾患 脳血管疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
動脈、細動脈及び毛細血管の疾患 BBL Scripping MC 988455540	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
循環器系のその他及び詳細不明の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性上気道感染症 インフルエンザ及び肺炎	0.45	0.86	0.82	0.77	0.75 0.45	0.73	0.70	0.67	0.63	0.61	0.58	0.56	0.53	0.49	0.48	0.44	0.38	0.36	0.32	0.25	0.25	0.23	0.21	0.19	0.19
その他の急性下気道感染症 上気道のその他の疾患	0.27	0.67	0.66	0.62	0.61	0.57	0.52	0.47	0.43	0.41	0.37	0.34	0.31	0.29	0.28	0.25	0.20	0.19	0.16	0.13	0.13	0.12	0.11	0.10	0.10
慢性下気道疾患	0.15	0.45	0.48	0.47	0.49	0.46	0.43	0.38	0.36	0.33	0.30	0.28	0.24	0.20	0.18	0.38	0.33	0.10	0.08	0.07	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05
外的因子による肺疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
下気道の化膿性及びえ<壊>死性病態	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
胸膜のその他の疾患 呼吸器系のその他の疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
口腔, 唾液腺及び顎の疾患	0.01	0.03	0.04	0.05	0.05	0.06 0.05	0.05	0.05 0.05	0.05 0.05	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
食道、胃及び十二指腸の疾患 虫垂の疾患	0.02	0.05	0.04	0.04	0.05		0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.07	0.09	0.10	0.11	0.11	0.12		0.00	0.00	0.00	0.09	0.09	0.09

ヘルニア	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳 0.00	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	0.00	17歳 0.00	18歳	19歳	20歳	21歳 0.00	22歳	23歳 0.00	24歳 0.00
非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	0.00	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
腸のその他の疾患 腹膜の疾患	0.11	0.16	0.11	0.12	0.11	0.09	0.08	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.03	0.00	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03
肝疾患	0.02	0.04	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
胆のうく妻〉、胆管及び膵の障害 消化器系のその他の疾患	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01
皮膚及び皮下組織の感染症 水疱症	0.08	0.18	0.20	0.19	0.18	0.17	0.16	0.13	0.12	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03
皮膚炎及び湿疹	0.57	0.76	0.63	0.53	0.49	0.46	0.43	0.39	0.36	0.33	0.31	0.29	0.26	0.23	0.21	0.20	0.18	0.17	0.16	0.14	0.13	0.12	0.12	0.10	0.10
E###せべ届>ペリルせつ(業界>>性障害 じんまく蕁麻>疹及び紅斑	0.03	0.16	0.15	0.13	0.12	0.00	0.09	0.08	0.00	0.06	0.06	0.06	0.05	0.04	0.04	0.00	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
皮膚付属器の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
皮膚及び皮下組織のその他の障害	0.31	0.47	0.40		0.31	0.29	0.27	0.24	0.21	0.19	0.17	0.15	0.14	0.13	0.12	0.13	0.12	0.10	0.09		0.07	0.07	0.06	0.06	0.05
感染性関節障害 炎症性多発性関節障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00 0.01	0.02	0.00	0.02	0.02	0.03	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
関節症 その他の関節障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
全身性結合組織障害 変形性脊柱障害	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
脊椎障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の脊柱障害 筋障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.05	0.06	0.06	0.00	0.06	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
滑膜及び腱の障害 その他の軟部組織障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
骨の密度及び構造の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の骨障害 軟骨障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
筋骨格系及び結合組織のその他の障害 糸球体疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
所不住 所不管間質性疾患 腎不全	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
尿路結石症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
腎及び尿管のその他の障害 尿路系のその他の疾患	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
男性生殖器の疾患	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
女性骨盤臓器の炎症性疾患	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.02	0.02	0.00
女性生殖器の非炎症性障害 腎尿路生殖器系のその他の障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
流産に終わった妊娠	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金として妊娠に関連するその他の母体障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
始度記げる原理に開催する日本ケアを 切らず表示も公開の 開開 分娩の合併症	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
分娩 主として産じょく(梅)に関連する合併症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の産料的病態、他に分類されないもの	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
####################################	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
出産外傷 同産期に特異的な呼吸障害及びG血管障害	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
周産期に特異的な感染症 助児及び新生児の出血性障害及び血液障害	0.07	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
他児及び新生児に特異的な一適性の内分泌障害及び代別障害	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
胎児及び新生児の消化器系障害 MRAU#STONEAU#ZEEN: Elef C 68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
周産期に発生したその他の障害 神経系の先天奇形	0.04	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
眼、耳、顔面及び頚部の先天奇形 循環器系の先天奇形	0.02	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
呼吸器系の先天奇形	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
唇裂及び口蓋裂 消化器系のその他の先天奇形	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
生殖器の先天奇形 腎尿路系の先天奇形	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
筋骨格系の先天奇形及び変形	0.03	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の先天奇形 染色体異常、他に分類されないもの	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
修理器系及び呼吸器系に関する症状及び微検 消化器系及び機能に関する症状及び微検	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
皮膚及び皮下組織に関する症状及び微検	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候 野尿路系に関する症状及び微検	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2008 年度 日本代表などの動に関する症状及び衛性 言語及び音声に関する症状及び微検	0.00	0.04	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
全身症状及び徴候	0.12	0.20	0.17	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05
尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他の企業、提出に対いるが機能の発生の実施が良、認用をの登集がないもの 医療型形式が機能機等における異常形象、効能をの必要がないもの	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
診断名不明確及び原因不明の死亡 頭部損傷	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
頚部損傷 胸部<郭>損傷	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
腹部、下音部、原推及び骨盤部の損傷 肩及び上腕の損傷	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
肘及び前腕の損傷	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
手首及び手の損傷 股関節部及び大腿の損傷	0.00	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04	0.05	0.07	0.08	0.09	0.09	0.09	0.07	0.06	0.05	0.04	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
膝及び下腿の損傷 足首及び足の損傷	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03 0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.06	0.05	0.04	0.04	0.03		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
多部位の損傷	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
動は不明の非計もしては四度の資保及は割日不明の適信 自然間口部からの異物侵入の作用	0.01	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04 0.02	0.04	0.04 0.01	0.04 0.01	0.04	0.05 0.01	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.03	0.02	0.02 0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
<u>熱傷及び腐食</u> 凍傷	0.00	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00		0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬用を主としない物質の毒作用 外因のその他及び詳細不明の作用	0.02	0.09	0.11	0.08	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
外傷の早期合併症 ####&UR###770###. #EX###hGLY&0	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
## ・##U to #o ### は意の自像及び自殺	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
検査及び診査のための保健サービスの利用者	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
財文の兵差及び保健ケアのための保健サービスの利用者 その他の理論下での保健サービスの利用者	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
TO SO DE L'ESTA PER L'ESTA DE L'ESTA	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				0.00	0.00	0.00		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00

表 I-16 2016 年疾患分類別推計医療費(点数):中分類

#170	74983	3770064	129411.5	00000	1138183	030100	75423.24	99.4	33613.38	1397370	695181.9	454175.8	1765929	9084.612	16914.2	1969.74	16644.2	287732.2	7 2 2 3 2 4 2 5	30845.67	13235.81	49930.16	290657.4	351673.1	37260.8	328206.1	97900.97	727885.5	2794 25	1449412	2088672	1941601	5685632	3565266	444519.4	1300410	1544776	17806.23	1507751	7 6 9 6 9 6 9	1190649	3917446	159388.5	186331.8	3537306
\$100	67433	2984150	(0)	878.6667	836930.7	?	51278.37	\vdash	1059.5	1126904	767750.1	378092.4	1142276		14437.09	492	52848.25	0	180879.6	_	_	13887.63	0.	274071.8	_	3669.476	ш	4 1	405893.7	1614386	1888738	1891157	_		_	1196167	1205657	31725.63	_	5040157	0		115628.5	222234.9	2077362
#100	61375	3320361	162107.9	0 0 0 0	77410.8	1/4/9/	48169.68	\vdash	1353.462	1216601	612728.8	295727.9	1181232	3152.106	27993.38	8167.142	80091.58	40294.11	2348473	2267525	17559.27	241123.1	51655.39	239435.3	62621.19	179160.6	214263.5	263395	1642 217	1289879	1903993	1285334	587644 3	1072100	207187.2	170049.1	1581067	44043.27	1456579	75634.01	944202.1	3655027	210189.1	158141.1	1934888
# 10	55870	2914793	171648.1		828625.3	1.1000000	34579.91	00 00 11	1246.25	1031093	610158.4	429934.5	1090492	1239.389	9201.502	3507.125	26203.6	21492.63	345444.4	6407872	12252.42	321838	19603.2	329275.1	19081.67	62259.84	20593.33	29131.27	218180.5	1201765	1881916	1521523	556816 F	731493.9	146538.6	1106505	1173068	38804.03	1459002	149809.9	58759 44	2524871	180527.9	260283.7	2015698
# 00	55691	3524839	218233.9	00000	1043260	000000	32297.16	572.75	32225.46	1312044	507496.7	503507.3	334656 9	1870.958	7196.86	6833.125	86394.69	2967.667	150107 2	811297.9	88154.25	231353.9	22493.88	204295.3	79386.03	20427.05	124599.6	130898.5	734.8	1116909	1840559	1394756	4044626	1405451	265696.5	148 /08.7	1544948	25786.33	1344095	28495.61	25877.05	2754413	202911	275388.2	3003376
# 4	55216	3224261	191409.4	000000	1013336	707	22221.7	100.00	32467.51	1248806	545187	550670.2	1081835	_	10614.94	460.1667	30656.22	2815.217	1698726		26370.38	14626.49	29620.25	138130.5	98636.7	207965.1	36237.89	152151.4	7082.075	995718.7	1626081	1389046	251248.8	3153320	302666.9	125561.3	161 7894	31554.07	1173575	79918.05	11 2277 2	2470353	126364.8	119433.5	1999165
40,	47219	3328428	161990	197.3333	1096//8	66/067	7794.485	281.6	/95/8.04	1665541	469190.5	522406.7	1363124	693.6667	9819.7		33245.5	1539.167	1026782		17803.28	68661.58	84264.28	245083.5	40654.16	47098.35	85698.17	560561.4	2506.611	1028852	1760416	2270667	6743839	868946.4	307417.9	403821.8	1361670	33535.93		122/09.8	1510937	2708411	105962.3	28151.77	1826761
41.	44169	3199658	145783.1	, 0, 000,	105507 1	1./0000	9669.169		30390.08	1552894	962756.2	481919.1	1108083	D.	8356.583	151.0625	_	ထ္၊	306156./	-		414868.8		194443	_	25285.48		100664.6	15/9164	546212.7	1592380	1583550	_	\vdash	649401.2	1476920	1579324	36337.59		56112./1	175466 F	2954240		8179.911	1839848
#14	10原 45405	3253559	125566.1		1692484	1 6. 1004 /	5085.358		109198.4	2056592	422310.9	499834.3	3174975	1698.881	5859.933	_		4410.15	70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70 7			m	3926.737	50180.84		305503.7	71758.56	205984.1	343.6667	1425401	1942105	1511548	- 1		7	0044409	1619888	97292.26		33009.33	8913083	4391699	\perp	_	1516691
41.	44170	3386174	58979.99	000000	1642366	_	10758.53	_	_	2558959	270338.6	512030.5	1366087		18135.48	_	_	6	479188				_	107271.9	_	162584.3	ш	_	2594/09	1270225	2101734	2166114	480666	-	_	2207050	2011406	-		5446207		7	ш	-	1009192
477	44328	3940297	\mathbf{H}	2953.524	1503135	19090.94	13023.79	\vdash	61/02.91	3117503	123968.1	647289.9	1041860	_	12252.42	3442.107	_		90163.28		_	241929.5	3242.622	110210.4	_	902852	30421.9	507417.2	1484848	1298493	2165738	1769516	-		_	241658.6	1538403	414214.1		9/338.96	0 0	5 4	52759.1	2301.829	1316662
幸くす	43641	3991134	\perp	 .	2231/31	+	18355.78	\vdash	186525.1	3784274	158552.6	762524.7	3470002	-	12963.05	4	191061.1	22067.65	401337.3	-	_	6071	1422.5	7975.308	19296.96	15702.83	24476.42	91790.41	2453488	1081156	1493439	1128721	- 10	00		258138.9	1372587	207466		94482.08		0 00	59065.84		1393566
4101	43724	4709776	_	522.25	23/5884	_	10206.54		31813.67	4807693	175725.6	863143.8	1299046	-	30693.49		4	LO I	7945/./	_	_	47391.54	532	112517.8	28038.25	299331.2	25849.04	01.0	1560		1703411	1472150	-	0	- 0	319545.8	1592071	596423	<u>ر</u>	7350719	1757433	2901725	34797.8	382	669311.1
4	42574	4885680	+	601.9231	2809634	_	26540.33	\vdash	_	5806588	102190.8	985528.4	2169367	-	51369.72	-	22244.11		6396004	-		27734.76		2452.614	-	169672.8	83143.58	876363.4	1272.267	-	1584948	641089.1	-	\vdash	_	1670202	1394437	152783.2		53301.62	-	3087302	22553.47		61600919
寺く	43746	5326633	10349.26	1464.161	3320525	6333.73	23413.63	10 007 01	13423.31	6739203	125469.5	1434874	1934918	5690.426	74691.58	1484.185	22109.81	364	1838681	1141824	45815.92		1665.667	23262.65	6233.751	273317	2018.902	982439.7	1364.933	848600.5	1402611	437432.1	523203	1791781	1245699	1910507	855941.8	138150.6	7671980	66958.23	77138 58	2899185	18055.56		515506.3
40	9版	6921156	22960.11	735.2833	3807/18		10241.27	\vdash		7971543	107909.1	1397721	1199307	10865.22	94567.64	_	_	10004.5	10.494.87	-	_		1070.667	1815.878		180288.4	18971.74	141376.1	299.6667		_	542786.3	529970.4	3592341	312316	3/6544.6	8902116	373181.5		21083.59	-	3043775	42338.41	_	643980.1
40	45150	7421808	9865.419	7312.722	4389524	20220.91	27596.52	-	80295.22	8062026	110763.2	1969208	1381068	9712.607	125006		53930.28	45048.97	9559.804	6579.389		66727.69		9467.5	4881.771	587297.5	13135.48	484066.8	748.25	912639.2	1147118	1108815	3393959	1965382	550573.1	343589.9	969839.1	239710.8		70447.63	6166284	3522329	65426.29	- 1	375722.6
4	45260	8609220	50047.91	199.5	2738872	133 3333	21305.74	0 1 1000	3/045.18	8048327	69104.93	2563969	4179814	12378.13	136763.2	1531.381	122713.6	4895.686	2076.852	2731 733	35071.2	25629.12		04 00000	21200.95	932288.3	44130.22	34271.04	314686.4	856831.6	1365232	681799.7	1653077	2867488	364158.6	9454279	833142.2	428751.3	4400857	65191./4	63320 64	3531748	51152.2	514	242537.6
47	0版	13305435	13115.77	251.75	2100 001	180.93	17966.94	000000	39/62.09	8327724	120661.7	3528127	1133084	17310.12	195243.9		125335.3	306.2	10800 65	116.8	31448.62	881632.5		3891.303	3080.91	481636.8	7135.565	10126.29	214.5	1226475	1072187	1263682	2428932	3033651	221231.5	360932.5	4209262	444943.1	3747322	24069.56	22550 95	4325263	36575.17	1097	167291.9
4	5原 46609		-	_	1920990		39094.54	0000	45/02.57 39/62.08	7559673		4485153	1265122		170991.8 195243.			521.8	4286U.64 3829 763	_	22822.56			10000 25		761000.6			12/1688	868684.3		1729879				1196942	-		4188761	49/96.03			-	2446.692	138880.2
4,	4 RX 46803			_	85838 /2		-		225553	6124787		5094503	1598555		139848	_	_	1234 12000.98			-	-		305.75	69242.87	_			2419675	946237.7		888783.8	_				623090.1				_				
40	3原2			0000000			15189.46				_	4961099	1655094	20671.86	104811.6		251023	1234	475652 2 80419 00.16	410002.2	9138.25			8958.162 4729.018		1181831 423194.9 394227.5 674488.1	622298.6				1427557	1406404	828536 5	2106327	399120.6	2522001 1660462 061247 021420	186704 4 623090 1	1013370 756476.2 646622.7 618326.8	1555353	159565 63341.39 87/54.81		5738542 6398558	43908.84	55325.64	5450.4 8493.744 95475.29
40	43263	28370637	52672.26 41857.63		7126573		22728.36	04040	24640.39	5992952		7523538	2411239	12049.23			588205.5		801052 5/3038.9		30739.88			1159 8958.162 4729.018	18419.51	423194.9	64329.04	746959.2	/28103 1060014 12/9428 611585.5 49.14286 214.5				1874504	2626796 2106327	1272428	1660462		756476.2	1043143	1219540		8193541	15004.56	42357.09	5450.4
4	42156	34804549	111804.1		9/1000/		19434.6 22728.36	5812.25	405		287673.2	11458882	2029227 3685056 2411239 96692 66 438295 6 538554 8	7645.825 12049.23	33775.32	5388.494	1236436 838823.1 588205.5		2020 726 163969 1	6998 167		763	278.5	1159		1181831	301563.6	1278070 746959.2	1060014	2575144	2067831 1777383	10457566 3020119	2936751	6250461	872405.9	1298912	71244 5 38160 88 300775 9	1013370				16630254	9486.417		763.2595
40	39413	8907627	101081.6			10/42.29		0 100	341435.9	1012897		7410362	2029227	256.6	12708.25		1236436	816.6667	15/519.8		4612.1			253.5556	2023	4781.412		34778.1	/28103	2275178		11583870 1	_	9627548		1940017	71244.5		917035.4	10649683.6 409503.5	5023 53	17743643 16630254 8193541		682	5793.357 763.2595
	加入老数	陽管感染症		_	_	王として住的伝播株式をとも影楽師が一を発展しました。	といしのヘトロ・・・ケケボ クラミジアによるその他の疾患 117254.2	Jケッチア症	中植神器系のウイルス際操作 341435.9 /917.333 24640.39 62534.43 mmmmmmon/commission/commi	r	П	イルス疾患	真菌症面中疾患	t 抗	動物寄生症	懸染症及び寄生虫症の誘発・後遺症	その他の感染症		月化器の悪性新生物	T WEB X D	泉の果色緑及びその物の皮膚の悪性刺生物	中皮及び軟部組織の悪性新生物 782.3333	\rightarrow	_	<u>男性主連番の急性新生物</u> 腎尿路の悪性新生物	-		位不明建、统务部位及过 部位不明の 医性新生物	ン・SER MAN MEN SERVICE トラロ新牛物	良性新生物	明の新生物	米泰性質自	中央の外の作品	(回答者: 東京成及びその他の出血性検管	の疾患	知労機構の厚書 田井晦隆宝	十	- ス製飲及び緑内分泌等害	泌腺障害	米 後 矢 調 (矩) オ ラ サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ カ ラ カ		代謝障害	症状性を含む器質性精神障害	神作用物質使用による精神及び行動の障害	转合失調症, 转合失调症型抑素及び妄想性抑害

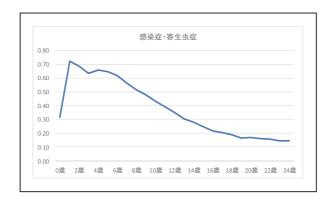
24歳	3099004	270884.3	55636.68	517227.4	805252.7	320756.5	69519.53	253576.3	54508.05	740378.2	0.00.00	5174024	1604020	631800 2	2073765	387782.4	624400.5	1316888	1743324	863875.5	379529.6	654788.7	275820.8	81201.94	27148.78	4827399	119080.4	5071428	502663.5	183304.5	444405.9	172.1111	13555.25	927576.8	53700.13	2062165	506771	107951.2	1222586	185816	4308048	2661756	7505898	2527196	103205.4	88802.29	1754754	567121.7	950611
23歳	2511470	266755.5	116817.7	2	_	4	ω		6	476368.2	4	411//.8	2 0		0	_	254453	957904.4	1598527	_	54780.37	_		6	23285.8		_	489114	557450.2	က	693037.1	1372.533	က	344331.2	9.	2914576	552785.9	298860.2	964261	154952.4	3494746	2381499	5198533	1922701	_	43926.18	2064677	- 10	468458.4
22歳	2676107	199416.9	80584.61	က	_	_	29		4	665667.5	+	70600 /9. I	7 67 6966	591423.9	2129776	572631.4	791548.5	1137397	1972457		4	4	_	4	56926.34		128355.9	5471765	625181.1	182647.4	399982.2	321.8571	_	354294	173866	2596923	851991.3	192912.1	696604.5	7242160	3869277	2461876	6397428	2735514	_	_	1905883		559112.1
21歳	2304137	242274.8	53265.12	6		m	-		9	381045.3	_	795455.4	- c		٠	-	576349	925343.3	1764560	796403.9	7	_		-	26711.68	4538024	101970.2	_	409860.2	00	315924.6	564.8468	2 0	302359.2	76612.44	2698174	400 798.1	က		148000.9	40000404	2543387	6176554	2633844	_		1667611	1067752	419953.8
20歳	2277629	167325.4	83027.26	467280.3		2	4		_	297334.8	_	1204//.4 6946493	2 -		2687265	388326.9	684120.4	1170004	2156287	991451.2	162864.8	_		-	25989.44		_	5544364	673093.7	176409.1	515802.5	470.3692	_	350119		2940763	399661.7	r.		150538.8	4821685	2803153	7022297	2407486	_	_	3166390	1233891	364845.2
19號	2281137	244030.2	40739.47	33	_	6.	53011.1		2	538298.4	020.13	476 994	-	_	1673204	453854.4	611916.8	1358584	2194230	_	7.	454547.4	225728.8	63435.35	79099.78		-	580659 2	543314	174469.5	428578.1	686.2286	- 0	322608.6	48466.64	2226570	653336.2	153206.8	685292.3	220929.3	4325454	2608228	7224710	2307471	157737.4	53091.04	138980	91 7003	464769.8
18號	3280159	323467.3	65656.73	423746.3	1339015	543630.8	133402	236409.9	24043.65	176910.4	04005 44	795597	1070701	564353 6	1188311	810640.9	518927.5	1230393	2510340	959669.3	186523.6	501977.2	241602.7	98952.82	97429.28	6757294	177255.3	705157 4	793573.6	7	556609.7	274.5455	56546.83	234213.8	100803.8	2225972	892641.8	97165.77	783303.1	289392.1	5345482	2929977	7743351	2768201	243340.6	75316.09	3484005	916401.2	886208.1
17歲	2607012	820079.8	44744.23	461281.5	1377255	747054.3	134336.2	218875.4	10981.84	555833.3	33020.31	1820.931		-	2317625	633175.6	1191087	1286085	2781770		4	440732.4	281489.9	60519.02	61228.27	7180048	224512.6	7327888	672643.9	134622.4	435478.7		24306.76	480135.2	330339.9	4019494	614686.1	250374	755335	372191.5	6800008	3506248	8212687	3072243	130503.6	73088.67	305593.06	1152163	991216.6
16歳	2536013	279274.2	30296.16	352494.8	1233377	830405.4	90853.28	378480.6	34477.44	346367.7	20000	1.0090.01 5460055	2005522	7225854	2048451	922260.5	1107808	1270471	4314956	1010105	43080.01	223557.7	266759.6	42661.99	58849.86	9157619	256367.7	9.7960.56	1244207	-	535760	260.5	155592.3	402028.6	159290.5	3191713	746523.6	397384.8	540855.5	404817	6617031	3850424	11547063	4861882	82425.28	28982.38	2666482	1133795	759545.5
15歳	3074351	385990.3	36856.44	488762.1	1686317	1284347	199612.4	318650	67922.12	193102.8	100000000000000000000000000000000000000	4755110	9011200	3319579	365400.3	656163.4	888197.3	1500002	5292185	984177.6	74868.57	414016.6	355109.3	57268.09	70225.27	9729197	303061.6	1349819	1272673	175381.3	592143.4	2298.93	112852.7	186632.8	85033.69	3294542	634924.2	227375.6	821099.4	812608.8	8669893	4659626	13787936	5582288	57260.48	62016.58	1120210	931037.1	655782.6
14歳	3156606	1021802	33824.1	560710.9	2077030	1428363	76404.45	368150.4	13942.25	226063	004.14	5260201	770030	5107516	7823477	1206622	569124.5	1372637	5434425	967639.9	169306.7	425138.7	181268.9	96433.43	70129.99	10893369	484791.5	1654428	1680501	90168.25	681505.3	2143.427	50221.97	204373.4	63313.02	2256671	1019743	222553.6	805754.7	575944.3	10312718	5549584	14048491	5606455	58436.32	26151.79	333430	913109.4	1027874
13歳	1956039	1055774	42128.37	788908.4	2796024	2103508	106815.7	205792.2	103302.7	205130.4	100000	4200072	1927100	4236777	2469932	1650417	755814.2	1389189	5401885	951953.4	53532.98	243710.5	243054.5	53722.63	88636.58	11760377	432825.4	33626.65	1906418	105130.3	1028719	12291.44	78303.22	3412962	247054	2739804	585151.8	77769.09	269490.5	353772.6	11003824	5805391	15126582	7377087	43644.37	4747.68	1247319	981586.2	591547.8
12歳	1551783	501236.9	28585.84	~	2336048	2226655	_		78074.49	389508.7		2034660	100067 2	1337469	70205 18	1637924	545138.9	1430269	6810646		~	162382.3	223050.4	61806.76	178895.4	12174854	454615	2400417	1997611	77345.73	873043.1	32410.59	11867.76	210919.8		2005361	686337.9	169109.7		436981.2	11677041	6725826	17919681	8617271	241028.1	8076.103	2332542	1272618	724611.3
二 競	1609332	122749.2	23527.69	504732.3	3050161	2529549	100421	244828.8	5622.167	156684	4	2005001	1,		L		771552.2	1636446	7108826		`	_			77687.73	•	527522.5	2879714	2828601	106480.4	929362.9	571.1111	_	46091.74		1953457	874015.2			152298.8	11886346	7371962	18365330	10701735	_	_	211009	931080.4	712182.8
10歳	1374606	358956.7	24829.64	_	_	_	4	50187.88	_	342591.17	_	+			29306	_	530017.5	1998868	7679266			_	_	_	57644.05			3300341	2954274	128038.7	745801.6	3986.677	_	47776 96		1567792	322239.9	_		20741240	13336457	8753711	19228370	11395668	_	_	7782487	\blacksquare	1000674
9號	1257677	108739.4	17163.43		_		72		•	180880.9	┸	2165941	ı.		0		344993.8	2079597	7645434		1	_		_	52106.32			3903661	3292089	53536.87	788630.8	8181.747	_	54930.76		1376782	204706.5	٠,		121116.6	14217205		21239991	13543157	\rightarrow		9935 203		1022483
8	1083682	133103.7	17609.01	_			_			32887.62		2041626	1,		┺	_	1016495	2567118	8234888		m .	_		_				4731319			821439.9	856.6328		152870.2	-	1335724	985889.7			28495.68	15939848	ľ	23801466	15823017	_		20729 49		1091104
7歳		142364.7	11122.91				_		4	82995.8					13		1144402	2245750	7347229					_		-		7813928			1416515	92840.56	232847.5			2024279	454609.8			21695195	16250214	-	26512863	18327831			14945 13		911286.8
6歳	1108492	243436.3	7634.802					618958.6		22900 60		4121400					1149450	2684260	8384105	926108.9	91052.03	_	142061.3					7623117	-		1362573	_	_	1349354		1843154	1266377	_		27439.83	18466578	19707343	33258591	23839917			46068.28	1426393	1221685 1272488 1322515
5歳			7 5478.792				-	364925.8	109091.6	67800.86		2007440	152001	1873178		-	3 1059302	2580449	5 8166267	9 891215.2	41965.15				-			1 9284822	т.	_	1286503	3 2094.554		168867.2		9 2613878	359160.8	_	413698.8	183068.7	2070262	7 27514423	36168106	1 31364306		3 19258.86	1451925	_	1272488
4歳		4 271373.6	5 2756.967		1 8353193	3 548055.8		_		22730.84		5 2002001	000000	7 4151313		_	2 1037356	3 2500551	7913425	4 676180.9	172537.6		5 205908.4					7 10356984			3 1356876	15970.76	1 22853.73	ш.		3 2071049	5 176604.1	03	457668	9 82964.42	20035006	4 3445349	33044418	34934054		32987.83	713651		
3歳		2 285518.4	3593.5		6 5691591	5 312417.	"			15296.61			200740	32744 18 6133 502	6 1773201		7 1250192	2 2457633		6 585081.4	4 57884.5							3 10603937			1 3152588		6 174997.	7 453000.1	5 1148003		7 198792.5	_	1 430692.7	8 37798.3	1061832	3 37936694	4 27845329	1 33547989		4 40330.98	7 2395965	0 2256554	1 965012.
2歳	127676.9 334609.5 373283.2	320975.1 290007.2	3		1 4278546		_			7 12274.92	2 000.720	0 4010022	_	3 32744 15	_		9 1673647	1 2415772		8 669816.6	വ				_			12646462 11480803	0 14143491		7 2824571	8		296577.2 306323.2	9 1320625	2 4736956	8 665918.7		9 536414.1	699536.3 406480.4 81938.6 37798.39	925/3013 1.03E+06 34000/30 06230634 01430360 34202834 0355827 25803808 24731723 19618320 20035006 20368736	59272549 51397363 37936694 34453497	6 29076114			3 106459.4	2208/2.5 31842.61 //8./143 8/004.59 25414.98 654096 6 555598 7 3649167 236596 5 713651	9 4088150	1057492 1078101 965012.8
- 一	9 334609.		793		6 4170951	4 32908.9.	-	2 2139759		6 69024.87	_	-	403430	3 290733	_		9 2924999	5 2809071	0 9206033	7 728689.8	7 178473.	_			_	4			1 15217340		7 1883627	498	2 163538.				0 1008848		1 765541.9	3 406480.	7 2580 2895	3 5927254	5 26878546	9908352 40192146		7 230685.3	6 555598 7	1 7008759	5 105749
0歲	_	102215.1			3693436	4		+	+	36739.56		# 2405021		_	۰	C2	写 3213739	丰 1404205	5504400	_	_				+	-	_	3737181	H	-	2514867	_	_	514273.5	Н	12426946	1536100	+	_	_	-	-		Н	-	+	-	+	± 265479.
	神経症性障害、 やしス価素等別及び身体教践性障害	东西的 學術 及び身 体的 東図工 諸進した 行動官 保護	成人の人格及び行動の障害	知的障害〈精神遅滞〉	心理的発達の障害	の見の歌 関かり事を到に最後を出する行政ものが確認を開る	詳細个明の精神障害	中枢神経系の炎症性疾患	生に中枢神経系を障害する系統萎縮症	館体外路降害及び異常運動	「有信米の大の信の実は状態 十さ、140m 次 ○ 3.5 株件	中枢神栓糸の脱髄疾患 拝闘件 ひんめん 神隆事	押間は次の光打工庫	神経、神経性及り神経亡が強うの対策	### 1015 00 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	14 社 的は G BPS C 的の対象 協作解解及びその他の解釋性症候群	神経系のその他の障害	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	結膜の障害	強親、角膜、虹彩及び毛様体の障害	水晶体の障害	脈絡膜及び網膜の障害	徽内障	硝子体及び眼球の障害	視神経及び視覚路の障害	概託、曖昧運動、調節及び駆折の障害	視機能障害及び盲(失明)	服及び付属器のその他の障害外耳疾患	中耳及76型標空記の存出	内耳疾患	耳のその他の障害	急性リウマチ熱	慢性リウマチ性心疾患	同単圧は狭時間一件で発売	計性心疾患及び 所権 は	その他の型の心疾患	脳血管疾患	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	作用・リンパ性なのリンパ間の利用、他に分割さわないもの	信理器系のその他及び詳細不明の障害 40年 下年 治販 込作	のロース国際米押ぐコーン・ボタルに開火	・ノングナノングの記文	上気道のその他の疾患	慢性下気道疾患	外的因子による肺疾患	主込、切割を降害するその他の呼吸器疾患	下気道の化催性及び久は、現性的態質に関節のチの生の生の生物	呼吸器系のその他の疾患	口腔, 睡光隙及び顎の疾患 265479.5 1057492 1078101 965012.8

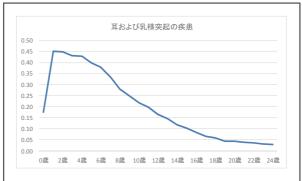
24歲	1017653	254836.4	1962737	4941768	166644.6	1773658	3355532	1114410	1835	5735193	121412	829019.5	24906.33	2497180	2394/44	735815.5	284565.8	593205.7	536555.7	403337	432491	3475490	134/1/3	796973 9	464856.8	96413.39	43710.58	22168.17	3586975	298055 9	342862.9	586777	1397912	2339916	1072851	3555082	3711.125	421085.1	1110563	4007161	1387588	268237.2	127945.1	272501.6	1209137	10193.67	87916.99	1712.778
23歳	7	-	2117103		(0)	2319307	2 -	+	3414,365	5310525	155074.5	611333.4	37973.75	2432155	2282451	469523.4	272892.5	ш	-	716215.7	_	2753141	0 0	0 9	_	23879.53	15502.85	8348.226	4 65	126845	421690.2	237432		2568615	726181.3	2657579		372467.3	4	2420402	660388.5		4	_	7057130	-	66949.93	
22歳	809071.2	232849.9	1637817	4283130	269641.9	1 98002 7	349707 5	1100164	11113.72	5730103	77978.18	1300939	18168.43	2663148	2519614	629805.3	162115.4	1052589	304658.9	1016558	454513.7	2836208	2154447	697217	504491.3	108540	18234.43	43719.5	455240.8	4277674	255137.7	290808.7	1141836	135680.4	762452.8	2281304		181516.9	E00000	923932.0	530677.9	63719.39	49829.77	194431.1	81445 91	241	64169.01	
21歳	1590916	66935.43	2044444	3848904	245904.6	1297866	2679821	1120042	VI OI	5661148	49288.02	6.988969	15061.04	2664464	2004000	550959.6	178771.8	1210388	421227.4	660076.2	181863.7	2345609	233000	933334 1	702707	70657.38	51071.44	27856.55	3778465	187450	241318.9	250830.6	909179.3	103994.2	616697.2	2117095		240850	0.000000	77.017.01	328537.9	62833.84	47910.42	90088.09	10809.23	01.	41139.87	_
20歳	1726249	168399	1653800	3310024	279283.3	1548919	1363426	1202742	3609.143	5584886	30494.62	1065420	16567.56	3125574	1450 225	436590.8	181025.2	1405369	702806.5	895959.9	208661.7	2572483	456019 E	1362719	750667.3	132855.4	93972.21	59772.46	4033527	173464 5	0.	216642.1	1359013	6453309	554956.9	1413061		219688.3	29290.38	750967 1	144422.3	18700.11	40973.72	45817.92	2921.95	247278	19214.31	_
19號	1221848	153330.2	1767681	3343896	152821.4	1264141	193989 6	1916100	2957.104	5561129	80155.65	765179.9	13561.9	3623931	2518623	603 700.2	190194.1	1796717	579418.9	372509.5	292494.1	2180860	7619769	9126916	632965.3	107420.8	31121.72	75882.17	6362997	332428 5	225921.2	221055.6		58509.35	347538.5	1400476		127713.3	31000.130	200541.4	41134.28	8598.847	25787.99	7083.37	336	000	4732.806	
18歳	1888174	90550.36	1454464	3417125	393431	1181446	973310	1697610	4993.486	5596091	41711.77	773664.6	13842.79	3540239	2823813	803172.6	295601.4	2580112	490890.1	1545634	380630.6	2827335	323437.7	1614099	1094498	209141.8	307086.4	70455.34	3582855	5922199	137297.8	260448.4		53483 95	197843.3	1121252	24.33333	52887.67	2003.002	7 709000	18323.75	775.4047	5713.085	56158.15	1003001	8185	18956.98	8589.515
17歳	1936299	185807.2	678312.1	2731897	290183.8	1744720	373500 9	1616760	1819.756	5799402	52213.2	912553.8	26970.86	3551496	2/2/666		247445.5	3246261	362672.2	2888828	401960.8	3388314	223044.0	2395088	1351631	242525.3	814234.8	94373.65	195653.6	1101265		552886.9		6416608	-	844578.8	1794	79028.77	41/00/04/	3919419	30039.21	755	1846.889	1067.143	3/3.022/	66 14286	348.4488	390.1396
16歳	1408687	220768	1599378	3505117	257227.3	1266552	397846 1	1606100	4332.429	6495652	41807.13	1886518	18941.19	5662183	1069507	785188.8	554181.1	3752305	587244.9	4935618	381346.7	2999836	E01300 1	2321482	1638940	316529.5	1161258	9776.883	1933547	2708176	91146.27	355701.4	970573.7	41879 72	42161.66	595937.1	16.22222	10734.7	2012	7240 201	4807.75	143.5198	3852.952	755.8516	2850803	2000000	5731.893	1064.708
15歳	1897709	37071.56	704966	3194249	179190.3	950907.4	3707952	1742105	5448.69	8245445	37998.93	1029725	28170.36	4823587	3932175	9471743	212565.6	3459894	272796.5	6247423	433449.2	3366507	4045901	3213304	1711049	438957.2	1600415	7645.136	4468449	2979694	59344.24	257581.6	906353	232320.9	26510.74	519312.8	120.1833	12492.92	14505	0008000	2020.000		2506.538	1000	01/02/44	2145.444		2868.577
14歳	2371407	74728.48	776876.8	2460388	319969.1	1329443	308440 5	1 70 700 1	6217.083	7758573	63457.46	1149527	34036.43	4050444	38/1286	1093459	197987.3	4566296	434201.4	3970857	345764.5	3403083	970676	3338135	1528067	306880.5	2250995	4520.055	4092865	1982626	74250.88	285626.9	746946.9	92314 39	28291.47	331558.9	97.33333	2691	010	3077 070	199.75		837.5556		1018/13/2	146	3579.582	3275.39
13歳	1918492	256318.1	1448930	2288334	241558.4	1051014	2404191	1 7022 00	5711.608	8203290	58162.28	1233934	20299.21	3339099	4595/99	1061585	177436.1	3204056	533019.3	3970295	370882.8	2102963	2008000	290405.2	866011	361441.3	2052598	11625.25	3983676	83949 82	45739.47	484048.9	1051118	53008 14	50491.69	136886.9	527.6	1976.144		17 JOE 21	1398		1769.167	10000	1136719	3584 996	9945.163	855.5
12歳	2494490	121258.9	492031.7	2177597	171805.4	964192.8	_		5546.767	9547957	62371.88	1491759	13817.51	2362132	4939297	802405.2	82083.17	3706989	830786.3	2392547	288355.4	1186872	233307.4	2475769	987021.4	212534.5	1774310	62003.65	4477436	4826365	131996.9	430870.1		4599188	18926.83	113995.5	200.8333	4411.1	9 00	1515 0 44	35964.5	1 1	7401.475	10000	18480.7	767 0546	36094.23	
11歳	1821104	_	264029.4	2659234	92402.85	1075973	140043.2	1004055	4393.95	9287628	56749.45	1265336	11773.64	1470527	2104607		97235.49	2696744	451965.4	1348385	99826.02	680854.3	1794117	2305136	606543.2	355273.9	1358477	2673.36			111	220831.6		421346.3	36274.6	50996.26	204.2111			000 200	15295.83	9	1201		14623.64	1239155		
10歳	1941454	643495.7	186428.9	2530185	258841.7	1326992	202209.3	1000300	7834.667	10640404	53590.04	1443446	13202.03	821574	5505417		67619.76	1516100	670445.1	1403242		508010.4	II.		506648.1	105441.6	1109672	52669.58	'n		54296.3	261654.4	_	2159667	25231.82	26720.53	80			770 8081	1136.333		1710.433	_	13905.35	1371	6453	
9號	1563539	_	- 1	_	_	990018.7			8061.538	11477560	114046.2	1816208	12177.2	611337.8	190000	-	41603.72	1879226	4		_	474912.6			7		351025.4	108275.8		_	1	260314	_	29444 66	┖	6950.911	- 1	156.5714		307.0000	2279.722		17061.26		4400.036	3103874	101650.4	2126.83 19311.22 7715.913 7169.642
8號	05	_	`			4 20050	L	٠	9660.233	13707920	64987.79	2280510	12326.6		1058083				_			220321.5	_			121782	199874.4	6296.142	7		Ш	286867.7		31287 1	2	4411.702	14.6	1695.417		1740 500	2000		18099.38		3946.669	_	76654	
7歲	7	_	186935		•	1082551	4	_		14334717	72012.85	2194325	77984.68		80894/0		20857.98					219854.4		_			88069.67	12762.05		86348 58	\perp	385254.8		18190 96	_	36040.84	18490.68			2002 057			5097.05		300522	7	_	12404.33
6歳	_	_	256672.8			908827.6				17817156	42200.59		8111.928		9263016	_						187027.7			-	28006.9	42571.77	4319.886			100	291798	1494984	1086503		4089.089	516.	295	0061100				7496.763		15985.63 5686207		_	
5歳	-	_	_		_	1251973	314949 0	E 100101	8043.043	21124083	45744.06	3308488	12113.68	_	10960120	839963.2					19021.32	109076.5 99111.97			_		123307.2	43177.61	8388623	1003669		370495.8		5637 095	-	29605.99		819.4444	064 5000	-	_	ш	1689.75		10951.36	001220.7	115791.7	11847.32
4 競						0107510	216702	E20704.76	6225.833	22830484	190291.6	3792165	8394.905	_	021/1271 8									314592	(.)	222432.8	1 27706.68	74271.27	5599797	143759	56521.08	256947.9		1648 417		7227.084	110.5167		0470.00			က			86333.23	2500 667		21084.95
3號		3 4035615				5 884315.4	1 5501671	TOTO 107.		9 25576828	9 28852.11		2 119413.8	_	0 13318/88	3 511699.3			8 6159904	5 281982.	1 8608.174	64115.99 87784.26		3281087			3 10381.54	10836.7		274010	41340.85	7 245663.6		33922	۲	3 13346.6	- 1	48.4127	1 00 14613	14577 00	7720.143		4097.16		3031593 750998 603434 5 551938 7	7 2278 346		30192.20
2歳		1 5093573	3 291951.	2 7632881	_	1 1/16085		0.40104.0		1 36943729	9 32012.39	3 5085292	3 9437.852		24554089 1/9/1396 13318/88	7 266067.3			4 7284218		4 5407.251	6 64115.99				59311.75 58217.92	8 105651.8	25684.76 19764.26	1177667	4 3327894	14460.21 47304.22 330009.2 41340.83	467808.8 558990.4 318525.5 245663.6 256947.9		2 10431 12	_	2 20933.58	1 2452.947		T1351 00 000000 00 14611	0 00.93333		3 2	3240.75 11631.03 21742.11 4097.164	927.5445				81836.26
- 一	~	7205081				7 540000	1 987822	691 4149		3 58050211	8 23838.9	-	5 3143.133		3 24554089	4 118355.7	_	-				7 23431.66				3 59311.7E	2 2991.458				1 47304.22	3 558990.4		3 16131 72	1 40295.14	9 5794.712	5 3321.991					5 313.8333	5 11631.0;	3	0 643649.8			7 167976
0	5885.677	-	-	10854682	1532885	1498654	+	۰	-	33041503	# 6156.378		2698.85	_	123541/3		_		-	87039.37	2663.447	1988.867	130034 52 50 567	-	+		1310.2	+	2516549	-	14460.21	_	_	1015883	_	-	李 27.75	1321	10/10000	2624501	133532.9	9236.15	3240.7	_			-	2498923
	虫垂の疾患	ヘルニア	非恐染性腸炎及び非恐染性大腸炎	腸のその他の疾患	腹膜の疾患	肝疾患	題のう(業)、歴官及び降の障害 当か 器 女 の その 社 の 体 出	月に都来のてい世の株部	皮膚及ひ皮下粗膜の感染症 水疱症	皮膚炎及び湿疹	日毎落せつ (縁) くりんせつ (健康) 仕段者	じんまく蕁麻>疹及び紅斑	REAL SOLET WE COME ON SHEEK OF SECTION OF SECTION SECT	皮膚付属器の障害	皮膚及び皮下組織のその他の障害 成 3九64 開 4次7倍 年	形术工展即降品	関節症	その他の関節障害	全身性結合組織障害	変形性脊柱障害	存在障害	その他の脊柱障害	四世中 20 四世中	/ 自族人の限りは日子の年の十分の年の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の	骨の密度及び構造の障害	その他の骨障害	軟骨障害	抗骨格系及び結合組織のその他の障害 クェナナー 中	尔琴体状形 學匠貓绝配如存存曲	整 不 全	尿路結石症	腎及び尿管のその他の障害	尿路系のその他の疾患	お仕生煙器の狭思型 中の暗車	女件を登職器の必存件条票	女性生殖器の非炎症性障害	腎尿路生殖器系のその他の障害	流産に終わった妊娠	日本、今年末の前にく(前十八年十八年間、ウムが小田の・10年の前の日日日日	主と、て好雑に開選するその物の母体課業	分類の合併作	2 数 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元	主として登じょく、博りに関連する合併位	その他の変料的病態、他ニ分類されないもの	STATE OF THE PARTY OF SALES AND SALE	社会研究の記述者に認識する理論	111 /元 / F 189 別産期に特別的な呼吸障害及び心血管障害	周差期に特異的な膨発症 24988237 1679766 81836.26 30192.29 21084.95 11847.32 Reachestochamber and analysis 83909182 8528257 573543.3 87853.85 51451.13 44784.28

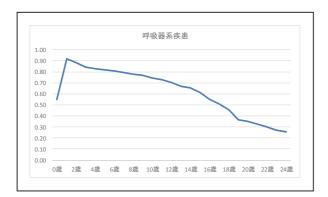
24歳			67905.59	35832.72	1924 933	19810.66	45455.99	27300.96	153297.6	65993.52		22942.41	681915.8	2025459	108624.7	212641.3	201297.5	0.0447.00	2052225	02504 06	93304.90	1536.167	134632.6		986341.4	273005.9	325969.2	1013823	783448.8	1149814	1133921	301237.4	1116719	21226.05	805191.8	152992.4	79886.57	20/5.96/02	100005 6	200000	58287.28	1294435	116167.4		1105.718	1 50007 0	31232 5	2	312701.6
23歳		481.7	23143.08	78481.56	3612192	57615.21	85794.1	27793.66	21815.09	474962.4	119552.5	51376.3	675001.7	2006710	99826.56	175409.7	ZU0088.9	4,017	91007.32	7020225	1058725	2	129004		886484.5	412221.3	431324	805824.5	818091.4	726040.8	996259.7	30/323.8	764844.8	28616.85	918943.6	115020.3	93803.38	1144001	93824 42	044252	105788.4	1498839	115488.7		2244.841	5441.064	11775 53		450609.4
22歳	130.3333	271.5714	89193.74	130/61.5	7476 897	73086.43	124782.6	102005.7	265926.5	134925.8	217862.4	64480.45	1024398	2000362	124673.3	247244.4	7 57 107 7	4500004	9150619	0027700	105979.92	5534.794	127524.8		1203457	309094.9	387890.3	553265.3	1350992	663542.7	12266/2	319385.5	987814.9	108116.7	755903.9	129096.8	133586.1	0.200011	1389093	2694751	182346.8	1044865	91313.94	1657	2037.348	21461.25	11085.21	251.1667	335919.4
21歳 2026		328.25	35603.68	2/16/41	5205 121	87408.52	72621.07	41358.47	83264.09	460666.6	164220.3	31273.88	689771.5	1377878	84040.76	118790	1/3123.9	400374.3	200104	4221052	7084687	1522.667	143502.8		1121716	194865.3	262682.6	890503.2	1096641	914969.5	10//5/3	532195.8	1143084	69088.26	826572	109620.8	154837.8	833.000/	107530	261225 1	134921.1	1268926	30248.08		14974	12980./1	13447 75		635964.8
20歳	442.5	1036.11	56675.29	133837	32693 13	118435	63225.05	28504.33	87882.24	426782.9	233237.6	32243.8	1054554	1723523	95882.11	114968	195131.6	100101	01091.31	0752273	7447544		117301.2		1403483	401393	323886.7	853252.7	1062540	1067067	1484/53	453/21.9 6043229	1495016	109798.7	973951.3	139764.6	202168.8	3 307001	1311441	202041 E	215291.9	1432295	87824.56		26027.28	681.8333	33439.46	2000	620776.4
19號		369.3556	76496.18	116600.2	1275074	153817.8	11556.96	23920.94	167767.3	439199.5	264566.5	157970.7	776538.5	1500557	144350.1	107266.5	181681.1 505405 o	400000	42003.83	02020	87708 94	933.25	129803.5		1313723	335465.7	369725.9	262462.3	1010250	949842.3	12634/9	265407.3	1514652	159758	1006280	97179.75	129283.9	7247.80/	9964176	47000E 2	162068.1	1373611	152984.7		3379.361	98147.62	8081207		224080.8
18號		28203.26	54702.34	319814.4	44986 42	147132.1	53681.33	32880.49	78937.27	302576.7	168452.8	57069.34	856072.9	1910449	225667.4	421406.4	173985.5	7100017	2040420	1100011	82224 93	00.00	201064.6		2200072	359648.5	363659.8	561219.2	1506737	1554586	3036/51	11832210	2897841	37066.74	1969083	92714	173444.1	892./202	99971.04	9794940	223142.6	2403838	50690.55		1600.786	5348.209	31399.37	87.5	359897.7
17歳		7556.821	337633.7	263104.3	28570 79	56864.97	119797	54432.98	85888.21	1123629	470968.1	247468.4	816749.4	1641678	144946.9	289483.8	1 / U948.b	20704 40	79701.42	211027 5	2821368	200	194273.6 201064.6		2914117	322270.4	438218.6	831753.3	1898482	2342478	4194845	1355562	4577984	93387.68	2232453	130761.4	113282.4	4991044	1536168	462220.2	381276.9	1984042	134701.5		1911.297	100500	46007 64	2	496048.4
16歳		18566.73	186973	2063/3.4	86013 79	425144.5	295342.3	101887.2	178228.8	658202.4		70375.27	1560476	1896158	123050.5	411507	760020 4	4,000004	2252626	2202030	211228 4		258592		2965200	250919.6	475799.4	1141288	2431765	2018022	4116/99	960106.2	4238855	١,,	2181103	111099.3	186331.5	2450.237	168608 4	6 44020 0	264986.5	2308725	95427.86		S	69902.6	41950 22	466	475239.8
15歳		\mathbf{L}	_	3183/9.1	_	_	184214.6	60643.31	139581.7	1257200	595848.8	449966.2	1292783	2339509	207146.4	319565.2	0004195	000412.3	25,004.73	2106967	212597	10011	156974.9		1856631	308673	393679.7	1254457	1494687	3054356	4868382	9542320	4500412	56186.55	2428030	106234.4	106737.4	0100.030	253557	1000574	216210.6	1441636	155500.8			32087.01	307521		662238.5
14歳 220.6 36.5		21398.31	114713.6	201669.2	1872633	_	163547.2	47851.08	89247.95	1149433	531822.2	861062.1	1019701	2107908	246905.1	464049.4	7 0 5 0 2 0 2	190919.1	2402525	201522	2423025	1001	207434.1		2532886	367739.9	511408.3	1596673	2205737	4550694	6163568	7420681	5538128	137394.7	3496511	117828.1	294756.2	1120201	2168618	1 200 4 4 0	238036.1	1 793036	107127	19468.56	_	/591.913	1355	-	268603
13歳 1561.8 7133.806		14910.89	314360.1	1633 / 2.4	213917	135084.8	44287.48	108226.7	186958.4	1289755	536499.9	236150.5	1152158	2160550	149923.4	338051.9	310363.6	113132.2	270000	2221 40 1	175976		216114.6		2169604	443003.6	347922.3	1234027	1718164	4253911	5596219	1233/56	4924342	28582.55	2577680		142561.2	3004.726	271288 5	1120750	145844.3	1788518	85115.98		3499.25	91/2016	2113853	_	580263.4
12歳 356.1471 113.875	274.7333	ш	_	5/5053.7			83395.25		222166.9	2405049	507666.1	572478.9	1143036	2275844	180861	_	234481.8	_	2217000	1077904 0	1524746	0.1	305505.4		2116068	290310.3		~	_	_		2882225	4556841	``	2230036		149946.6	1607 001	343649 7	1201040	183800.2	1131415	100418.9		_	35312.07	79985	6725.972	710049.2
11歳	155.5	\perp	198910.1	1001745	Ľ	77645.64	241092	456585.5	226809.8	1251016	649477.3	300249.9	1316670	2485647	149511.3	318930.9	484208.3	000000000000000000000000000000000000000	200108	1216902	7 7 7 7 7 7		157596.3		2016421	237387.8	- 1	-/	1415454	3912799	4/34950	2328030	3728001	8022.976	1880659		186117.3	10004 27	3599027	1404700	62753.36	1178304	176549			19428.23	31536 43	_	401439.1
10歳		\perp	2	35/952	1830128	_	201434.1		226476.2	1157439	518605	_	979887.7	2727064	149628.2	307290.2	458515	_	2196942	1405252		_	118753.4		2381197	217985.2	_	۳,	1726522	3585670	3698138	2200219	3224592	91927.92	1519906	282931.9	150804.6	674 5073	481 791 3	1600050	78436.8	610285	45035.5		12030.87	1361.648	55937 76	_	547831.8
9歳		\perp	_	323299.5	_		213921.6		208166.9	1014055	673999.3	`'	1005583		_		480043.2	_		1		_	83324.2		2692644	240573.5	_		_	4	_	1652618	\perp	361	1378243	_	_	548/.001	-	┺			83562.36	ш	_	113248./	1737009	_	634435.8
8歳 1234.017 34.7619		\perp		411966.9			421533.8		349774.2	2040883	810088.2	~	1062707	_	_	_	4760000	_	_	11		_	99545.67		2983328	271462.2		-/	_	_	4	282/4/.5	\perp	Ÿ.	1185828		2	4642.03	_	┺	11.	944007	33335.23	Ш		51969.53	5048688		642381
7歳 616.7149 1139.449	1213.497			352908.2			513744.1		206968.9	1293334	570221.9		1130646		4		313491			1			129675.9		3395451	241084.9						1391986	_	٠,	1089358			1014/39	_	_		_	36686.75			89/8.0/5	3298128	1	567267
6歳 2178.124			ന	853413			225028.9		234476.6	ш	l		_	(,	_	-	389084.7	-	4050000	_	1		70320.65		3425543	_			_	_		1081401			1049739			6027 444					38894.76	-		8366.085	17257 15	٠.	421247.5
5歳 15283.08 30.20588	12648.62	91790.78		2.101717		_	615876.1	-	407401.9	1865113	1154960		- 1				2100167		_	0172100			141898 563527.9		3931569	_	185917.6			- 1	_	8378302	975639		1047808	721722.5	383995		_				90111.37	Ш	_	Ĭ	308.5	<u>"</u>	1587681
4514.019 647.3919	357.9333			590038.6			426673.7		369941.9	1408098			- 1	_	_		469464.4						ı		4456898		57582.94	216992.1	_		_	552789.1		_	1029366	_		0111 562					50957.77	ш		32326.37	9530 042		1215718 558207.3 435082.5 1587681
3歳 5541.95 998.0558	14383.37			710433.2		356064.5	1051005 617683.5	1429312	531073.1	2396318		_		_	_		53/9/0.4				2621217		93569.93		4998729		26970.77	74406.07		- 1	11//138	5170221	770058.8		1052042			3/91./14					34613.73	Ш	_	124534.1	5092 25	1	558207.3
1歳 2歳 3歳 2370019 26429.62 5541.95 257216 60667.66 998.0558	13839.72			10674051	100/4031				1158414	-							263154			7162007		239.0897	526951.5 319787.4 105031.6 93569.93		6449235		78049.81		1626065	_	11156/4	368196.6 2/4063.8 211/81.3	746613		$\boldsymbol{\vdash}$		1272995	- 1					111507.3			27.7	98.8	٠.	
				2/24458	22333491		4186411		1477521	ш		4036405	- 1	4403396	-	738402.4	3/1015.4		99044.38	1006250			319787.4		5488207				375742.5	242029.4	_			_	876432.3		_	10125.2		_			46655.86				1388577	-	1823572
0歳 28080236 2210359		_	5248593	1408494		2850560	10410337	1121104	1923147		4334550	3584331	_	3172818	824882.3	_	341293.9	_	_	0257202	4		526951.5	205.9167	1814933	15052.45	141068.2	76846.57	118391.9	17071.63	32/953	311216.1	31680.62	19322.88	458699.6	178647	291316.5	31 55.333	_	-	+	2531252	6730.967			1069514	845083	3225.4	1182924
arabasasasasasasasasasasas 胎児及び新生児の消化器系維害	的现在分割生物的 外集及26年温度加工提准する条件	周産期に発生したその他の障害	神経糸の先天奇形	限. 耳. 鎖面及び鎖部の先天寺形 年 1回 昭 か 一十 十 大 5.		日 ※ は が の が の が の が の が の が の が の が の 新 数 の が 口 蓋 数	消化器系のその他の先天奇形	生殖器の先天奇形	腎尿路系の先天奇形	筋骨格系の先天奇形及び変形	その他の先天奇形	染色体異常、他に分類されないもの	指理器系及び呼吸器系に関する症状及び物核	消化器系及び接 掘に関する症状及び微核	皮膚及び皮下組織に関する症状及び微核	神経系及び筋骨格系ニ関する症状及び微核	育尿路糸に関する症状及び微模	認識、知覚、情報状態及び行動に関する症状及び解析	言語及び音声に関する症状及び微核 今 电・中・中・ワッドの外は	十分消火公司表示	自治体表の異似形見 1986 名の記載がないもの		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	診断名不明確及び原因不明の死亡	頭部損傷	頚部損傷	胸部<郭>損傷	数化、下件的、吸根及び青盤的の損傷	肩及び上腕の損傷	肘及び前腕の損傷	于自及い手の損傷	股関節部及び大騒の損傷 味 みパ 木 観 の 垣 恒	歴代の「	多部位の損傷	新島 7年の本計し人(22年での著名 201 新島子 町の番店	自然関ロ部からの異物侵入の作用	熱傷及び腐食	(東) (東)	集物・乗用及び生物学的設計による中等 神田 キュンニナニン物館の 非佐田	THE STATE OF	外域の早期合併市外の	0.00 pp.00 pp.07.70 pp.01.10	育成・母節の子の他のお別にお店舗での物の一年間を	故意の自傷及び自殺	核査及び診査のための保健サービスの利用者	伝染品に開達する健康保護を売上す近れのある者	生態に開業する開発下での保護サービスの利用者	R 2 col Ek 2 kg 7 x 2 x col 4 x 2 x 4 kg 8 その他の環境下での保健サービスの利用者	THE RESIDENCE AND PROPERTY OF STREET, SHE

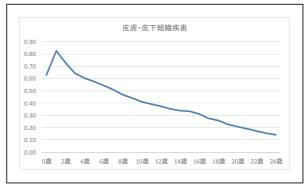
図 I-9 2016 年疾患分類別診断率 (大分類) の分布

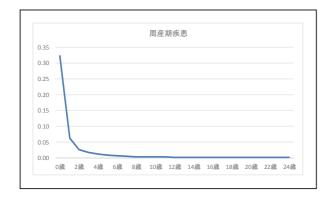
● 乳幼児期にピーク、その後減少

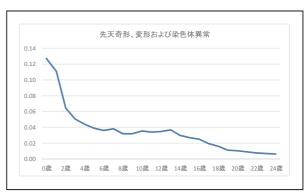


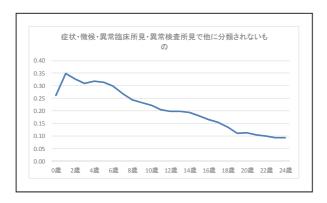




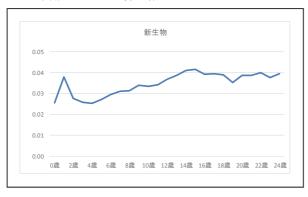




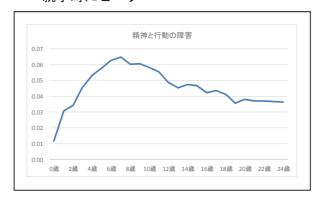




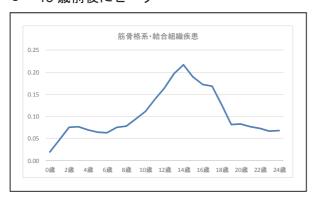
● 年齢とともに増加傾向

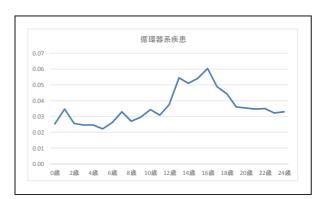


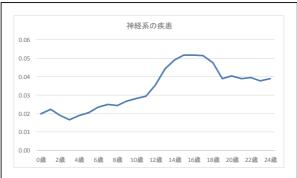
● 就学時にピーク



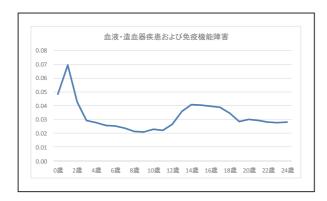
● 15 歳前後にピーク

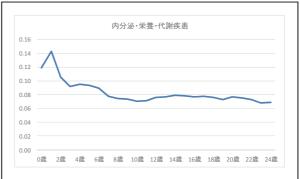


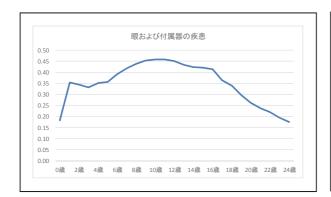


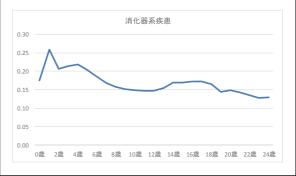


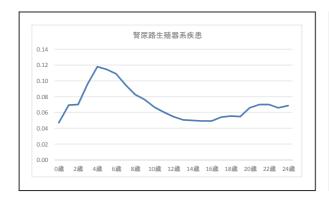
● その他の分布を示すもの











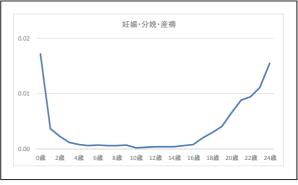








図 I-10 2016 年医療費の年齢分布(単位:点数)

Ⅲ-4 政府統計を用いた、その他の集計(主な疾患以外)

章末に、総務省統計局「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」に掲載されている政府統計データから、本研究に関連のあるデータを抽出して作成した表及びグラフを添付している(章末資料 I-3)。

また、二次利用申請を行っている政府統計(国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査、乳幼児身体発達調査、乳幼児栄養調査、全国家庭児童調査、労働力調査、社会生活基本調査、 生活と支え合いに関する調査)に関しては、来年度以降のデータ集計を予定している。

Ⅲ-5 その他参考資料

個々の調査研究の他に、各種の政府統計や調査研究のデータを年度ごとに収集している 以下の資料も、各健康課題の有病率の把握に関して、有効な資料となり得る。

- 『わが国の母子保健(平成29年)』公益財団法人母子衛生研究会
- 『母子保健の主なる統計(平成28年度刊行)』公益財団法人母子衛生研究会
- 『教育アンケート調査年鑑(2017年版)』教育アンケート調査年鑑編集委員会編
- 『日本統計年鑑(平成29年)』総務省統計局編 日本統計協会
- 『国民衛生の動向(2017/2018年版)』厚生労働統計協会
- 『人口統計資料集』国立社会保障 · 人口問題研究所編
- 『厚生統計要覧(平成 28 年度)』厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当)編

Ⅳ 結果のまとめと今後の課題

本研究で収集したデータソースの結果から、小児の年齢区分別健康課題に関する表をまとめた(章末資料 I・4)。患者調査や国民生活基礎調査、レセプトデータなどから、乳幼児期(0~5 歳頃)に多い疾患は、急性上気道感染症、慢性下気道疾患、皮膚炎及び湿疹、腸管感染症であった。学童期(6~10 歳頃)になると、これらの疾患に加え、アレルギー性鼻炎やインフルエンザ・肺炎、歯の病気に関する受療が多い結果であった。また思春期(11~15 歳頃)及び青年期(16~20 歳頃)に多い疾患は同様に、アレルギー性鼻炎や急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、皮膚炎及び湿疹、歯の病気などで、これらに加えて、眼筋・眼球運動・調節及び屈折の障害、結膜の障害による受療も多くなっていた。学校保健統計調査での集計においても、視力やう歯に関する異常の割合が多い結果であった。

病院での受診に至らない、疾患以外に関する健康課題に関して、学童期・思春期の子どもを対象にした「悩み」に関する調査では、学業・進路に関することが圧倒的に多かった。また、小学生・中学生ではテレビやゲームの長時間使用、高校生以上になると、スマホやネット依存に関する問題を指摘する調査結果も多く見られた。いじめや暴力行為は、中学生に多く、高校生になると、女性では、ダイエットや性行動、男性では、喫煙や飲酒、交通事故の加害者としての問題が増加している傾向にあった。

人口動態調査・死亡票の集計結果では、乳幼児期・学童期では、周産期に特異的な障害、 先天奇形や染色体異常の他に、不慮の窒息や交通事故による死亡率が高く、思春期・青年期 以降では、自殺および交通事故の死亡率が、他の要因に比べ、圧倒的に高い結果であった。

データ収集の情報源

本研究では主に、GBD 研究及び母子保健・医療情報データベースのデータソースを用いて調査データの収集を行った。母子保健・医療情報データベースについては随時更新作業が行われているものの、今回提供を受けたデータリスト(2017年8月時点)では、とくに2014年以降に出版された学術論文(日本小児科学会雑誌、小児保健研究、学校保健研究など)や調査報告に関する情報が少なかった。GBD 研究で収集される研究論文も含め、母子保健分野のデータ収集・整理のあり方は、今後の課題となり得る。

また、GBD 研究及び母子保健・医療情報データベース以外でも、例えば厚生労働科学研究成果データベースや、厚生労働省のレセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)、あるいは各自治体が行っている乳幼児健診・就学時健診などのデータ、学会が行っている疫学調査や疾患登録データなどに関しても、有益な情報が得られる可能性があり、今後の情報収集が必要である。

政府統計のデータ集計

各種疾患の有病率の把握に関して、人口動態調査(死亡率)、患者調査(受療率)、国民生活基礎調査(有訴率・通院者率)の3つの政府統計を中心に、データ集計を行った。今回

は、ICD10 大分類・中分類での大まかな集計しか行っておらず、今後は、性別や疾患別でのより詳細な有病率の把握が必要である。

例えば、本報告書では、交通事故と自殺の各年齢別死亡率に関して、年齢・性別に表及びグラフを作成した。交通事故に関しては就学を迎える 6・7歳、あるいは運転免許が取得可能となる 18歳頃の年齢において、死亡率が前年齢に比べて、増加する傾向がみられる。また自殺に関しては、11歳から一貫して増加し、男子の死亡数は女子に比べ圧倒的に多い。こういった性別・年齢別の分布を把握することで、より適切な予防的介入方法のあり方を検討することができると考えられる。

また、政府統計の利用に関しては、それぞれの調査方法やデータの特徴をよく把握する必要があるため(例:国民生活基礎調査では、対象者が疾患名を回答している(自己申告制)、患者調査で示される受療率は、調査日当日の入院患者と外来受診患者の推計値である、など)、これらの調査ごとの特徴を踏まえたうえで、今後は各調査間での有病率や年齢分布の違いなどについても詳細な検討が必要である。

Psychosocial な健康課題に関するデータ収集

病院の受診に至るような一般的な疾患に加え、psychosocial な健康課題の有病率に関しても、適切なデータをより幅広く把握したいと考えている。このようなテーマの有病率の提示に関しては、健康課題ごとに実施可能な研究のレベルも異なるため、それぞれの健康課題で、最も代表性のある調査研究を選んで、データ抽出を行う必要がある。研究方法、調査年、対象者数などを考慮して、より代表制のある調査研究を収集し、整理する作業が今後必要である。

研究課題I章末資料

章末資料 I-1 収集データの除外リスト

カテゴリー	データの種類	タイトル	調査実施主体	除外理由	DB
737 - 17 -	レポート	WHO and UNICEF Reported Disease Incidence Time Series	WHO report	ニ次データ	GBD
疾病全般	レポート	World Health Statistics 2013	WHO World Health Statistics	二次データ	GBD
2000	調査	病院報告	厚生労働省	内容対象外	GBD
	レポート	Annual Dengue Data in the Western Pacific Region	WHO Western Pacific Region	二次データ	GBD
			(WPRO)		
	レポート	Spatial Distribution of Plasmodium Falciparum Malaria Endemicity Map	Malaria Atlas Project	二次データ	GBD
		2010			
	レポート	WHO Global Health Observatory - Cholera: Number of Reported Cases	WHO (Global Health Observatory)	二次データ	GBD
		by Country			
	レポート	WHO Tuberculosis Case Notifications	WHO	二次データ	GBD
	レポート	Food-borne trematodiases, Morbidity, Neglected tropical diseases	WHO/FAO	二次データ	GBD
	レポート	Syphilis in Japan as of 2001	国立感染症研究所	二次データ	GBD
	レポート	Japan Report to UNAIDS—HIV/AIDS Trends 2012	UNAIDS	二次データ	GBD
	レポート	Global leprosy situation, - Weekly Epidemiological Record	WHO: Weekly Epidemiological Record (WER)	二次データ	GBD
	原著論文	2006~2008年の麻疹流行と、2012年国内麻疹排除に向けた取り組み	-	二次データ	母子
	原著論文	愛知県麻しん全数把握事業における2007年患者報告状況と感染症発生	-	二次データ	母子
	W. P mid >C	動向調査との比較			13.
	原著論文	アンケート調査によるRSウイルス感染入院例の検討	-	内容対象外	母子
	原著論文	新潟県における麻疹ワクチン接種率と患者数動向からの麻疹制御対策	-	二次データ	母子
		への研究			
感染症	原著論文	インフルエンザ脳症特殊治療の全国調査	-	内容対象外	母子
	原著論文	Demographic Features of Imported Dengue Fever Cases Serodiagnosed	-	有病率に関するデータなし	GBD
		in Japan during 2000			
	原著論文	Incidence of sexually transmitted infections in asymptomatic healthy	_	調査年記載なし	GBD
1	医苯酚土	young Japanese men		左縁回 ラ カナー	000
1	原著論文	Nationwide cross-sectional population-based study on the prevalences	[年齢別データなし	GBD
1	原著論文	of asthma and asthma symptoms among Japanese adults	_	対象:ハイリスク	GBD
1	冰白洲人	Comprehensive detection of causative pathogens using real-time PCR to diagnose pediatric community-acquired pneumonia		/対域・ハイソヘン	GBD
	原著論文	Molecular and epidemiological trend of rotavirus infection among	_	対象:ハイリスク	GBD
1	B min ~	infants and children in Japan			1 22
1	原著論文	Detection and genetic characterization of rotavirus infections in non-	-	対象:ハイリスク	GBD
1		hospitalized children with acute gastroenteritis in Japan, 2007–2009			
1	原著論文	Reemergence of new variant G3 rotavirus in Japanese pediatric	-	対象:ハイリスク	GBD
1		patients, 2009-2011			
	原著論文	The burden of rotavirus gastroenteritis and hospital-acquired rotavirus	_	対象:ハイリスク	GBD
		gastroenteritis among children aged less than 6 years in Japan: a			
		retrospective, multicenter epidemiological survey			
	原著論文	Shifting seroepidemiology of hepatitis A in Japan, 1973-2003	-	対象:ハイリスク	GBD
	レポート	CI5(5大陸のがん罹患)	WHO International Agency for	二次データ	GBD
	医苯酚去	Diff.	Research on Cancer	24 +/r =n.=m -/r	ODD
	原著論文	Differences in prognostic factors according to viral status in patients	_	単施設調査	GBD
	原著論文	with hepatocellular carcinoma Recent trend of clinical features in patients with hepatocellular		単施設調査	GBD
新生物	が自己	carcinoma		平旭政嗣且	GDD
	原著論文	Demographic, clinical, and virological characteristics of hepatocellular	-	対象:成人	GBD
	W. P mid >C	carcinoma in Asia: survey of 414 patients from four countries		7,130.1707	1000
	原著論文	The incidence of hepatocellular carcinoma associated with hepatitis C	-	対象:ハイリスク	GBD
		infection decreased in Kyushu area			
	原著論文	BMI centile curves for Japanese children aged 5-17 years in 2000-	文部科学省	二次データ	GBD
		2005			
	原著論文	Association between body mass index and asthma among Japanese	-	年齢別データなし	GBD
	FF ## 50 -4-	adults: risk within the normal weight range			
	原著論文	Relationship between prevalence of childhood obesity in 17-year-olds	文部科学省	二次データ	GBD
		and socioeconomic and environmental factors: prefecture-level			
内分泌・栄養・	医苯酚去	analysis in Japan	St	左松田で ねむ	ODD
代謝疾患	原著論文	The relation between self-reported body weight and health-related	ジャパンリサーチコンサルタント: Health Diary Study (HDS)	年齢別データなし	GBD
1	原著論文	quality of life: a cross-sectional study in Japan 大学生のBMI値の日本と台湾の比較	-	調査年:1995年	母子
	原著論文	小学校肥満児童の体力と生活習慣について	_	調査年:1995年	母子
1	原著論文	幼児期における皮脂厚(上腕,背部,腹部)の発育に関する横断的研究	-	有病率に関するデータなし	母子
1	原著論文	秋田市小中学生における肥満児比率および肥満症検査値10年間の検討	-	二次データ	母子
1	原著論文	Age-dependent associations of smoking and drinking with non-high-	-	年齢別データなし	GBD
		density lipoprotein cholesterol			
I	原著論文	Prevalence and correlates of bipolar spectrum disorder in the World	WHO World Mental Health Survey	年齢別データなし	GBD
I		Mental Health Survey Initiative	Initiative		4
I	調査	WHO World Mental Health Survey Prevalence of Alcohol Use, Abuse,	WHO World Mental Health Survey	詳細情報なし	GBD
	ab mr	and Dependence Tabulations	Initiative	64 /m /= +0 +- 1	00-
	書籍	WHO World Mental Health Surveys: Global Perspectives on the	WHO World Mental Health Survey	詳細情報なし	GBD
I	百茎恰立	Epidemiology of Mental Disorders Recovery from psychotic illness: a 15- and 25-year international	Initiative	左齢別デーカセン	CDD
I	原著論文	Recovery from psychotic illness: a 15- and 25-year international follow-up study	international study	年齢別データなし	GBD
1	原著論文	Somatic symptoms for predicting depression: one-year follow-up study	_	年齢別データなし	GBD
	B min ~	in annual health examinations		, ,	1 22
I	原著論文	The cost of schizophrenia in Japan	_	二次データ	GBD
I	原著論文	高校生の攻撃性、自己効力感、社会的スキルならびに精神的健康の関	-	有病率に関するデータなし	母子
精神疾患		連性			
作州大忠	原著論文	中学生の攻撃性、社会的情報処理過程ならびにストレス反応の関連性	-	有病率に関するデータなし	母子
1	原著論文	子どもの情動調整尺度の開発	-	有病率に関するデータなし	母子
	原著論文	二次医療県との関連からみた福岡県における精神障害者の受療実態	-	対象:精神障害者	母子
	原著論文	わが国における自傷行為の実態 2010年度全国調査データの解析	-	二次データ	母子
1	原著論文	Age differences in the prevalence and co-morbidity of DSM-IV major	-	年齢別データなし	GBD
I		depressive episodes: results from the WHO World Mental Health Survey			1
I	医苯酚士	Initiative	<u> </u>	左参加 ラ カナー	lone.
1	原著論文	Twelve-month prevalence, severity, and treatment of common mental	_	年齢別データなし	GBD
		disorders in communities in Japan: preliminary finding from the World			
	原著論文	Mental Health Japan Survey 2002-2003 Lifetime and 12-month prevalence, severity and unmet need for	_	年齢別データなし	GBD
	小日 入	treatment of common mental disorders in Japan: results from the final		一声問リカリノーブなし	Lapp.
		dataset of World Mental Health Japan Survey			1
	-	, varia monas riodiai oapan oaivoy	*		

カテゴリー	データの種類	タイトル	調査実施主体	除外理由	DB
カナコリー	原著論文	Temporal trends and geographic clusters of mortality from amyotrophic	- 調宜天肥土体	二次データ	GBD
	原著論文	lateral sclerosis in Japan, 1995-2004		F#ADI → Atal	ODD
A4 69 75	原者	Increased prevalence, incidence, and female predominance of multiple sclerosis in northern Japan	_	年齢別データなし	GBD
神経系	原著論文	Changes in prevalence and incidence of Parkinson's disease in Japan	-	年齢別データなし	GBD
	原著論文	during a quarter of a century		年齢別データなし	CDD
	原有調人	Prevalence of Parkinson's disease and atypical parkinsonian syndromes in a rural Japanese district		中町がナータなし	GBD
	原著論文	Analysis of chronic heart failure registry in the Tohoku district: third	Chronic Heart failure Analysis and	年齢別データなし	GBD
		year follow-up	Registry in the Tohoku district (CHART)東北慢性心不全登録		
	原著論文	Management and two-year long-term clinical outcome of acute	PACIFIC Registry	年齢別データなし	GBD
		coronary syndrome in Japan: prevention of atherothrombotic incidents			
循環器	百茶岭立	following ischemic coronary attack (PACIFIC) registry		二次データ	GBD
7/目 4米 省計	原著論文 原著論文	Chronic heart failure in Japan: Implications of the CHART studies Incidence of Total Stroke, Stroke Subtypes, and Myocardial Infarction	_	有病率に関するデータなし	GBD
		in the Japanese Population: The JMS Cohort Study			
	原著論文	Trend of stroke incidence in a Japanese population: Takashima stroke registry, 1990–2001	_	年齢別データなし	GBD
	原著論文	Ischemic Stroke Subtypes in a Japanese Population Takashima Stroke	_	年齢別データなし	GBD
		Registry, 1988-2004			
	原著論文	Three-year study of viral etiology and features of febrile respiratory tract infections in Japanese pediatric outpatients	_	単施設調査	GBD
	原著論文	[Epidemiological study of respiratory viruses detected in patients under	_	単施設調査	GBD
		two years old who required admission because of lower respiratory			1
		disease]	_	当体犯細本	CDD
0.000	原著論文	Clinical characteristics of severe community-acquired pneumonia among younger patients: an analysis of 18 years at a community		単施設調査	GBD
呼吸器		hospital			
	原著論文	Etiology and clinical study of community-acquired pneumonia in 157 hospitalized children	_	単施設調査	GBD
	原著論文	Etiology and factors contributing to the severity and mortality of	_	単施設調査	GBD
		community-acquired pneumonia			
	原著論文	Sibship size and prevalence of allergic disorders in Japan: the Ryukyus Child Health Study	_	内容重複(Tanaka K et al. 20	1 GBD
	原著論文	Changes in the prevalence of Helicobacter pylori infection and	-	単施設調査	GBD
	医类胚 土	gastrointestinal diseases in the past 17 years		¥+	000
	原著論文	No association of coffee consumption with gastric ulcer, duodenal ulcer, reflux esophagitis, and non-erosive reflux disease: a cross-	_	単施設調査	GBD
消化器		sectional study of 8,013 healthy subjects in Japan			
	原著論文	Etiology of liver cirrhosis in Japan: a nationwide survey	日本肝臓学会	年齢別データなし	GBD
	原著論文	Prevalence of hepatitis C virus infection among patients with hypertrophic cardiomyopathy	_	単施設調査	GBD
	原著論文	Monitoring time-related trends in dental caries in permanent teeth in	-	二次データ	GBD
45.24	E * 10.4	Japanese national surveys		24 +F =n.=m =	m =
歯科	原著論文 原著論文	3歳児乳歯う蝕と母親の育児不安 Oral health behavior and metabolic syndrome and its components in	_	単施設調査 年齢別データなし	母子 GBD
		adults			
	原著論文	Prevalence of low back pain as the primary pain site and factors	-	モニター調査	GBD
		associated with low health-related quality of life in a large Japanese population: a pain-associated cross-sectional epidemiological survey			
筋骨格系	原著論文	Prevalence of low back pain and factors associated with chronic	-	年齢別データなし	GBD
	E # N +	disabling back pain in Japan	3°. 2°. 1111 == > 11 11 45 1	F-#A Di →	onn
	原著論文	Sex differences in the change in health-related quality of life associated with low back pain	ジャパンリサーチコンサルタント: Health Diary Study (HDS)	年齢別データなし	GBD
	レポート	United States Renal Data System Annual Data Report	United States Renal Data System	二次データ	GBD
			Coordinating Center (USRDS)	左4A Dd =	onn
	Letter	Lower fasting plasma glucose criteria and high triglycerides are effective for screening diabetes mellitus in the rural Japanese	_	年齢別データなし	GBD
		population: the Tottori-Kofu Study			
	原著論文	Prevalence and epidemiological characteristics of urolithiasis in Japan:	日本泌尿器科学会	二次データ	GBD
尿路性器	原著論文	national trends between 1965 and 2005 The association between the incidence of urolithiasis and nutrition	_	二次データ	GBD
		based on Japanese National Health and Nutrition Surveys			
	原著論文	縦断的検討による女児の思春期の成熟と初経年齢の標準化	-	内容対象外	母子
	原著論文 原著論文	月経前症候群におけるストレスと生活習慣との関連分析 Associations between the intake of miso soup and Japanese pickles	_	年齢別データなし 年齢別データなし	母子 GBD
		and the estimated 24-hour urinary sodium excretion: a population-			
	百茎恰立	based cross-sectional study	フブ七和会会院	当体記調本	CBD
	原著論文	Blood pressure measured in the clinic and at home during pregnancy among nulliparous and multiparous women: the BOSHI study	スズキ記念病院	単施設調査	GBD
	原著論文	Comparison of risk factors for major obstetric complications between	-	二次データ	GBD
	原著論文	Western countries and Japan: a case-cohort study Prevention of postpartum hemorrhage by uterotonic agents:	_	単施設調査	GBD
紅框. 用产地		comparison of oxytocin and methylergometrine in the management of		平地 認剛且	GBD
妊娠・周産期	TT +11 = A - 1	the third stage of labor.			1
	原著論文	Seasonal variation in the prevalence of pregnancy-induced hypertension in Japanese women	_	二次データ	GBD
	原著論文	Risk factors for eclampsia in Japan between 2005 and 2009	_	二次データ	GBD
	原著論文	Mortality rates for extremely low birth weight infants born in Japan in	-	対象: 低出生体重児	GBD
	レポート	2005 International Clearinghouse for Birth Defects Surveillance and	ICBDMS	二次データ	GBD
先天奇形					

+	- 4 o 15 kT	5 (1))		N 1 78 1	
カテゴリー	データの種類 レポート	タイトル WHO and UNICEF Estimated Immunization Coverage Time Series	<u>調査実施主体</u> WHO report	除外理由 ニ次データ	DB GBD
	V/\- -	1980-2014	WHO report		GBD
	レポート	WHO and UNICEF Reported Estimates of Immunization Coverage Time	WHO report	二次データ	GBD
		Series 2014			
予防接種	原著論文	種子島の保育所・幼稚園における予防接種状況 第2報 - 予防接種に対	-	内容対象外	母子
1 1071文1主		する意識調査-			
	原著論文	1999/2000年の三重県における乳幼児に対するインフルエンザワクチン	_	内容対象外	母子
	原著論文	の有効性		内容対象外	GBD
	原有調义	Efficacy and safety of pentavalent rotavirus vaccine in Japan: a randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter trial		内谷对家介	GBD
	調査	インターネットによる青少年の薬物乱用に関する調査(平成21年度)	内閣府	年齢別データなし	母子
	調査	青少年のタバコ等に関する意識調査	総務庁青少年対策本部非行対策担	年齢別データなし	母子
	B-722	The state of the s	当(現 警察庁少年課)	1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	
	調査	JT全国たばこ喫煙者率調査	JT	年齢別データなし	母子
	レポート	World Drug Report 2012	United Nations Office on Drugs and	二次データ	GBD
			Crime (UNODC)		
喫煙·飲酒·薬	レポート	Patterns and Trends of Amphetamine-Type Stimulants (ATS) and	United Nations Office on Drugs and Crime Regional Centre for East	二次データ	GBD
物		Other Drugs of Abuse in East Asia and the Pacific 2005	Asia and the Pacific		
190	調査	Japan Gender, Alcohol and Culture: An International Study (GENACIS)	日本学術振興会	詳細情報なし	GBD
	D-7.E.	2001	T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-T-	I THE IS THE O'C	455
	レポート	WHO Global Health Observatory - Recorded Alcohol Per Capita	Global Health Observatory data	二次データ	GBD
		Consumption from 2000	repository		
	原著論文	Japan: alcohol today	-	レビュー	GBD
	原著論文	未成年者喫煙防止対策評価のための成人式における喫煙率調査の試	-	単施設調査	母子
	 	か 旧音点体及び短地和の投送性四等	黎安庁ルチウムセルた神		四マ
	レポート 調査	児童虐待及び福祉犯の検挙状況等 男女間における暴力に関する調査	警察庁生活安全局少年課 内閣総理大臣官房男女共同参画室	内容重複:「平成28年における 年齢別データなし	母子
	묘	ノンヘロコーロンバンの外ノバーはする時点	(旧 総理府男女共同参画室)	一	44.
	調査	配偶者等からの暴力に関する調査	内閣府男女共同参画局	内容重複:「男女間における暴	母子
	レポート	Partner Violence against Women: Statistics and Legislation, 2nd	Queen Sofía Center for the Study	二次データ	GBD
		International Report 2007	of Violence		1
	レポート	Partner Violence against Women: Statistics and Legislation,	Queen Sofía Center for the Study	二次データ	GBD
虐待⋅DV	レポート	International Report 2003 Japan WHO Multi-country Study on Women's Health and Domestic	of Violence WHO Multi-country Study(日本:国	/r-#Δ□1 = 0 /s+√1	GBD
	レルート	Violence Against Women 2000–2001	WHO Multi-country Study(日本:国立社会保障・人口問題研究所など)	年齢別ナーダなし	GBD
	原著論文	Prevalence of intimate partner violence and related factors in a local	立社会体障・人口问题明光所なと)	年齢別データなし	GBD
	W. E min X	city in Japan]		1 8777 7 300	455
	調査	GENACIS Childhood Sexual Abuse and Intimate Partner Violence Data	Gender, alcohol and culture: an	二次データ	GBD
			international study (GENACIS)		
			[Unpublished]		
	原著論文	埼玉県内の医療機関における児童虐待に関する実態調査	_	内容対象外	母子
いじめ	原著論文	中学生における「ネット上のいじめ」に関する心理社会的要因の検討	- 中間在自然分类推進室	単施設調査	母子
	調査	自殺対策に関する意識調査	内閣府自殺対策推進室	年齢別データなし	母子
白鉛	Lati-L	白鉛の状況(内関府)	内即庇白染动等堆准索 整察庁生	原仕労働少に我動(白鉛対等)	유고
自殺	レポート	自殺の状況(内閣府)	内閣府自殺対策推進室 警察庁生 活安全局生活安全企画課	厚生労働省に移動(自殺対策	母子
自殺			活安全局生活安全企画課		母子 母子
自殺	調査	自殺の状況(内閣府) 保護統計調査		厚生労働省に移動(自殺対策 対象:仮釈放	
自殺	調査 レポート	保護統計調査 少年非行情勢	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査統計課 警察庁生活安全局少年課	対象:仮釈放 内容重複:「平成28年における	母子
自殺	調査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策につ	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査統計課	対象: 仮釈放	母子
自殺	調査 レポート レポート	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 查統計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁	対象: 仮釈放 内容重複: 「平成28年における 年齢別データなし	母子 母子 母子
自殺	調査 レポート レポート	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 查航計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし	母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート レポート	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 国俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調查部調 查航計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁 <u>警察庁生活安全保安課</u> 警察庁	対象: 仮釈放 内容重複: 「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし	母子 母子 母子 母子
	調査 レポート レポート	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養航計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁 整察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし	母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート レポート	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 營察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年	母子 母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート リポート 関査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 国俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養航計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁 整察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整	対象: 仮釈放 内容重複: 「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし	母子 母子 母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート レポート 調査 調査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について いて 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査)	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート レポート リポート 加索 調査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 地で 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的 調覧の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重復:「平成28年における 年齢別デーダなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 自治体	母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート 助査 助査 原著論文	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の接挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重複・「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 12 対象: 2 対象: 2 対象: 2 対象: 3 対象: 4 対象: 3 対象: 4 対象: 4 対。4 対。4 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5 対。5	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
	調査 レポート レポート レポート レポート リカ 調査 調査 原著論文	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について いて 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 ハ・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁生活安全保安課 といいます。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート 助査 助査 原著論文	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 引幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコービング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といる。 管察庁生活安全保安課 といる。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 浦導少年 対象: 1936年 対象: 203年 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(上取洋子・母性衛生	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート リポ査 調査 原著論文 原著論文	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について いて 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 ハ・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 査航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 といる。 管察庁生活安全保安課 といる。 管察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート レポート 助調査 原著論文 原著論文 原務	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間負行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 一 - - 厚生労働省政策統括官付政策評価 官室	対象: 仮釈放 内容重複・「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 福澤少年 対象: 12事被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年	母子 母子 母子 母子 母子 母子子 母子子子子子子子子子子子子子子子子子子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート レポート 助調査 原著論文 原著論文 原務	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の接挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 一 - - 厚生労働省政策統括官付政策評価 官室	対象: 仮釈放 内容重複・「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 福澤少年 対象: 12事被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポートレポートレポート リカ 変素 論文 原著 着論文 原産者論文 原産者論文 原産者論文 原産者論文 関連 を表表 を表表 を表表 を表示しています。	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 地イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁内關府政策統括官総合企画調整四月關府政策統括官総合企画調整四月關府犯罪被害者等施策推進室内關府犯罪被害者等施策推進室。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 1936年 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 別を手: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者	母子母子母子母子母子母子母子母子母子
非行・犯罪	調査 レポートレポート レポート レポート リカ 変 調査 調査 原著 論文 原産 著論 論文 原産 著論 強文 原産 著論 強文 関査 関査 関査 関査 関査 関査 関係 アプラスティー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・デ	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 国俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間長行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活の異念調査)	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 「中国市犯罪被害者等施策推進室」 「中国市犯罪被害者等施策推進室」 「中国市犯罪被害者等施策推進室」 「中国市犯罪被害者等施策推進室」 「中国市犯罪被害者等施策推進室」 「中国市犯罪被害者等施策推	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(上取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポートレポートレポート リカ 変素 論文 原著 着論文 原産者論文 原産者論文 原産者論文 原産者論文 関連 を表表 を表表 を表表 を表示しています。	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の接挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 北方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活の関係のまたといての調査を表すの意識に関する調査	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁内關府政策統括官総合企画調整四月關府政策統括官総合企画調整四月關府犯罪被害者等施策推進室内關府犯罪被害者等施策推進室。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 1936年 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 別を手: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者	母子母子母子母子母子母子母子母子母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート リカ 変 調査 原著 論文 原 著 論文 原 変 著 論文 原 変 著 論文 原 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 関格関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活及び東洋な事業を関査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査)	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁内關府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当人付青少年調查担当人内關府犯罪被害者等施策推進室内關府犯罪被害者等施策推進室。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 祖導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者	母子
非行・犯罪	調査 レポートレポート レポート レポート リカ 変 調査 調査 原著 論文 原産 著論 論文 原産 著論 強文 原産 著論 強文 関査 関査 関査 関査 関査 関査 関係 アプラスティー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・デ	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の接挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 北方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活の関係のまたといての調査を表すの意識に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 一 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(上取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者	母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子 母子
非行・犯罪	調査 レポート レポート レポート リカ 変 調査 原著 論文 原 著 論文 原 変 著 論文 原 変 著 論文 原 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変 変	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 関格関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活及び東洋な事業を関査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきもりに関する実態調査)	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁内關府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当人付青少年調查担当人内關府犯罪被害者等施策推進室内關府犯罪被害者等施策推進室。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 祖導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者	母子
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポート レポート レポート レポート レポート リカ 査 調査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 国俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一パ・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法とも物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査の意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の考え方についての調査(若者の仕事観や将来像と職業的自立就労等支援等に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の考え方についての調査(若者の仕事観や将来像と職業的自立就労等支援等に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養航計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 国力開府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内關府犯罪被害者等施策推進室 一 一 「厚生労働省政策統括官付政策評価 內關府政策統括官(共生社会政策 担当)府政策統括官(共生社会政策 担当)府政策統括官(共生社会政策 担当)府政策統括官(総合企画調整 担当)青少年調查担当	対象: 仮釈放 ハ容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 浦導少年 対象: 1934年 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 元字一調査 対象: 中途退学者 モニター調査	母子 母子 母子子 母母子 母子子 母母子 子子子子 母母子 子子子子子 母子子子 母子子子 子子子子子 子子子子子 子子子子子子
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポート レポート レポート レポート レポート リカ 音 音 論文 原療者 音 論文 原療者 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の考え方についての調査(若者の仕事観や将来像と職業的自立就労等支援等に関する調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成25年度) 中学生の生活と意識に関する調査報告書	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁内關府政策統括官(総合企画調整 四人關府政策統括官(総合企画調整 四人關府犯罪被害者等施策推進室 一一厚生労働省政策統括官付政策評価 官室 一一原府政策統括官(共生社会政策 担当) 方人關府政策統括官(共生社会政策 担当) 方人關府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 人間縣方政策統括官(共生社会政策 担当) 人間原政策統括官(共生社会政策 財団法人 日本青少年研究所	対象: 仮釈放 ハ容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 凡容重複(土取洋子: 母性衛生 関査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 大字重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし	母子 子子子 母母母 母母子 母母母母子 子子子子子子 子子子子子子子子子子
非行·犯罪 食生活	調査 レポートレポートレポートレポートレルでを 動画 原産 著論 論文 原産者論文 原産者論文 原産者論文 調調	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 現児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活に関する同金(できこもりに関する調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 株が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成25年度) 中学生の生活と意識に関する調査報告書 高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁 医察庁生活安全保安課 等等方 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 一 一 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複: 上取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重復: 「青少年のインター: 年齢別データなし 人手不可 人手不可	母子 子子子 母母母 母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポート レポート レポート レポート レポート レポート リカ 査査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 国俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と複物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 活者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者者の考え方についての調査(若者の制定)に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の考え方についての調査(若者の仕事観や将来像と職業的自立就労等支援等に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の考え方についての調査(若者の仕事観や将来像と職業的自立就労等支援等に関する調査(いきこもりに関する事質を表しませた。) まないまとは、表情に関する調査(平成25年度) 中学生の生活と意識に関する調査報告書 高校生の学習意識と日常生活、高校生の学習意識と日常生活	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府和罪被害者等施策推進室 一 「厚生労働省政策統括官付政策評価 「厚生労働省政策統括官付政策評価 「内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所	対象: 仮釈放 内容重複、「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 相連少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年に関するデータなし 調査年に関するデータなし 調査年に1995年 内容重複(上取洋子・母性衛生 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複:「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可	母子 母母母 母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポート レポート レポート リカ 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 関俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的 別切の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養 素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 精報化社会と青少年に関する意識調査 技が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成25年度) 中学生の生活と意識に関する調査報告書 高校生の学習意識と日常生活 中学生・高校生の学習意識と日常生活 中学生・高校生の学習意識と日常生活 中学生・高校生の学習意識と日常生活 中学生・高校生の学習意識と日常生活	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当,内閣府犯罪被害者等施策推進室一門。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 中途の重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 モニター調査	母子 子子子 母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポート レポート レポート レポート レポート レポート リカ 査査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 現児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活に関する事業の表示方についての調査(苦者の考え方についての調査(苦者の未満を実施調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(いきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(中き、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府和罪被害者等施策推進室 一 「厚生労働省政策統括官付政策評価 「厚生労働省政策統括官付政策評価 「内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策 担当) 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所	対象: 仮釈放 内容重複、「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 相連少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年に関するデータなし 調査年に関するデータなし 調査年に1995年 内容重複(上取洋子・母性衛生 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複:「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可	母子 母母母 母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母母
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポポート レポイート レポイン ボボート レポイン ボボート レポート レポート 連動額 原 原原著書籍 文 原原著書籍 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 助谷関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー が、中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 精彩化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(できまり、関する実態調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査後半の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活一部学生・高技生の学習・生活実態調査 東空の放課後の生活時間調査・子どもたちの時間の使い方[意識と実態] 連載版 [2013]	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当,内閣府犯罪被害者等施策推進室一門。	対象: 仮釈放 ハ容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子: 母性衛生 モニター調査 大字: 中途退学者 モニター調査 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし	母子 子子子 子子子 子子子子子 子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポイート レポイート リカイート レポイート リカイート リカイート リカイ できる	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 関格関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 現幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(できこもりに関する実態調査) 大学生の学行を校生活及び中学校生活に関する意識調査 大学生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活。一中学生の生活と意識に関する調査・特別を表現している意味に関する調査・表現している意味との言意は、日本の主活を意味といる意味との学習意識と日常生活。一日では、日本のよりに対している。 「本知文の意味といる意味との学習意識と日常生活。一日では、日本のよりに対している。 「本知文の意味といる意味といる意味といる意味といる意味といる意味といる意味といる意味といる	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当,内閣府犯罪被害者等施策推進室一門。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複: 土取洋子: 母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 大三字・調査 内容対象外 単施股調査	母子 子子子 子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子
非行·犯罪 食生活	調査 レポート レポポート レポイート レポイン ボボート レポイン ボボート レポート レポート 連動額 原 原原著書籍 文 原原著書籍 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査 査	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 助谷関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況についてー が、中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 精彩化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(できまり、関する実態調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査後半の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活一部学生・高技生の学習・生活実態調査 東空の放課後の生活時間調査・子どもたちの時間の使い方[意識と実態] 連載版 [2013]	活安全局生活安全企画課法務省大臣官房司法法制調査部調查統計課整察庁生活安全局少年課警察庁生活安全局少年課警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当,内閣府犯罪被害者等施策推進室一門。	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複(土取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可 入手不可	母子 子子子 子子子 子子子子子 子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子子
非行·犯罪食生活	調査 レイ・トートート が できます できます できます できます できます できます できます できます	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 型格関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 現児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 第2回 放け学校不登校生徒の緊急調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(中来後と職業的自立就分等支援等に関する調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(中成25年度) 中学生の生活と意識 大学生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活 東学生、高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活の世上表記録 第2回 放課後の生活時間調査 ー子どもたちの時間の使い方[意識と実態] 連報版 [2013] わが国の大学生における運費音響的骨評価値と生活習慣との関連性 3歳児におけるテレビ・ビデオ視聴時間と発達との関連 児童生徒の性一東京都幼・小・中・高・心障学級・養護学校の性意識・性行動に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 警察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府政策統括官付政策評価 官室 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会投策 担当) 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所 財団法人 日本青少年研究所	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複: 上取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 大手不可 大手不可 大手不可 大手不可 大字・回動査 内容対象外 単施段調査 有病率に関するデータなし 入手不可	母子 子子子 母母 母 母母母母 母 母母母母母 母 母母母母母母 母母母母母母
非行·犯罪 食生活	調査 レートレー レード は 一ト レード は 一ト レード は 一ト レード は 一ト レード で 一	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 風俗関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の核挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 乳幼児の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一パ・中学生の問食行動の実態とコーピング・スキルの関係 乳児期の役割、栄養法と検物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 高校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者及び中学校生活の関係到急額査) 清校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者者の意識に関する調査) 清校生活及び中学校生活に関するアンケート調査(高等学校中途退学者者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の表え方についての調査(苦者の仕事観や将来像と職業的自立就分等支援等に関する調査) 情報化社会と青少年に関する意識に関する調査(平成25年度) 中学生の生活と意識に関する調査報告書 高校生の学習・進活実態調査 状が国と諸外国の若者の意識に関する調査報告書 高校生の学習・生活実態調査 東江 放集後の生活時間調査 ー子どもたの時間の使い方[意識と実態]連報版[2013] わが国の大学生における予レビ、ビデオ視聴時間と発達との関連性 現査・生徒の性一東京都幼・小・中・高・心障学級・養護学校の性意識・性行動最新調査データと性教育の課題	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府政策統括官付政策評価 官室 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策	対象: 仮釈放 ハ容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 年齢別データなし 対象: 補導少年 対象: 1935-1936年 内容重複: 1935-1936年 内容重複: 1937年 モニター調査 対象: 中途退学者 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 大手不可 モニター調査 大手不可 モニター調査 大手不可 モニター調査 大手不可 モニター調査 大手不可 モニター調査	母子 子子子 母母母 母 母母 母 母母 母母母母母母 母母母母母母母母母母
非行·犯罪食生活	調査 レイ・トートート が できます できます できます できます できます できます できます できます	保護統計調査 少年非行情勢 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について 型格関係事犯の取り締まり状況等について サイバー犯罪の検挙状況等 青少年の社会的適応能力と非行に関する調査 地方公共団体における犯罪被害者等施策に関する調査 犯罪被害類型別継続調査(旧 犯罪被害類型等ごとに実施する継続的調査) 別切の食生活に関する全国実態調査一離乳食および乳汁からの栄養素などの摂取状況について一 小・中学生の間食行動の実態とコーピング・スキルの関係 現児期の授乳・栄養法と食物アレルギーに関する調査研究 高校生と大学生の食生活と健康意識に関する調査 若者の意識に関する調査 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査) 第2回 放け学校不登校生徒の緊急調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(中来後と職業的自立就分等支援等に関する調査) 情報化社会と青少年に関する意識調査 表が国と諸外国の若者の意識に関する調査(中成25年度) 中学生の生活と意識 大学生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活 東学生、高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活。高校生の学習意識と日常生活高校生の学習意識と日常生活の世上表記録 第2回 放課後の生活時間調査 ー子どもたちの時間の使い方[意識と実態] 連報版 [2013] わが国の大学生における運費音響的骨評価値と生活習慣との関連性 3歳児におけるテレビ・ビデオ視聴時間と発達との関連 児童生徒の性一東京都幼・小・中・高・心障学級・養護学校の性意識・性行動に関する調査	活安全局生活安全企画課 法務省大臣官房司法法制調査部調 養統計課 整察庁生活安全局少年課 警察庁生活安全保安課 警察庁生活安全保安課 警察庁 内閣府政策統括官(総合企画調整担当)付青少年調查担当 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府犯罪被害者等施策推進室 内閣府政策統括官付政策評価 官室 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会股策担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 内閣府政策統括官(共生社会政策	対象: 仮釈放 内容重複:「平成28年における 年齢別データなし 年齢別データなし 生齢別データなし 対象: 相導少年 対象: 自治体 対象: 犯罪被害者 有病率に関するデータなし 調査年: 1995-1996年 内容重複: 上取洋子・母性衛生 調査年: 1997年 モニター調査 対象: 中途退学者 モニター調査 内容重複: 「青少年のインター: 年齢別データなし 入手不可 入手不可 入手不可 大手不可 大手不可 大手不可 大手不可 大字・回動査 内容対象外 単施段調査 有病率に関するデータなし 入手不可	母子 子子子 母母 母 母母母母 母 母母母母母 母 母母母母母母 母母母母母母

カテゴリー	データの種類	タイトル	調査実施主体	除外理由	DB
	データベース	Natural Earth Vector and Raster Map Data	Natural Earth	二次データ	GBD
環境	レポート	WHO Urban Ambient Air Pollution Database Draft 2016	WHO report	二次データ	GBD
	原著論文	A nation-wide survey on indoor radon from 2007 to 2010 in Japan	屋内ラドン全国調査	年齢別データなし	GBD
	調査	大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査	労働基準局労働条件政策課	モニター調査	母子
	調査	高校生に対するアルバイトに関する意識等調査	労働基準局労働条件政策課	対象:労働法セミナー参加者	母子
労働	調査	青少年の就労に関する研究調査	内閣府政策統括官(共生社会政策 担当)	年齢別データなし	母子
刀铡	データベース	International Labour Organization Database (ILOSTAT) - Employment by Sex and Economic Activity	ILO Database	二次データ	GBD
	データベース	International Labour Organization Database (ILOSTAT) - Fatal Injuries	ILO Database	二次データ	GBD
	ナーダベース	by Sex and Economic Activity	ILO Database	一次アータ	GBD
	調査	地域児童福祉事業等調査(届出統計・承認統計)	厚生労働省大臣官房統計情報部 (元厚生省大臣官房統計情報部保 健社会統計課)	内容対象外	母子
福祉	レポート	公・私立高等学校における中途退学者数等の状況	文部科学省初等中等教育局 児童 生徒課	内容重複:「児童生徒の問題行	母子
THTIL	調査	子供と家族に関する国際比較調査	内閣府政策統括官(総合企画調整 担当)付青少年調査担当(旧 総務 庁青少年対策本部)	詳細情報なし	母子
	調査	東京都社会福祉基礎調査 福祉のまちづくりに関する都民の意識(東京都)	東京都福祉局総務部計画調整課	内容対象外	母子
	調査	Japan International Social Survey Programme: Health and Health Care 2011	International Social Survey Programme (ISSP)(日本:中央調査 社)	内容対象外	GBD
	データベース	Japan Human Mortality Database Exposure-to-Risk Period Data	Human Mortality Database (日本版 死亡データベース:国立社会保障・ 人口問題研究所)	二次データ	GBD
その他	調査	平成12年国勢調査	総務省統計局	内容対象外	GBD
ての旭	調査	Health Diary Study (HDS)	ジャパンリサーチコンサルタント: Health Diary Study (HDS)	詳細情報なし	GBD
	原著論文	大學低学年生におけるデイリー・ハッスルと入学前後のストレスフルで重 大な出来事との関連		単施設調査	母子
	原著論文	The International Prevalence Study on Physical Activity: results from 20 countries	_	年齢別データなし	GBD
	疫学調査	子どものからだの調査	子どものからだと心・連絡会議	内容対象外	その他

章末資料 I - 2 収集データ表

	λŧ	e-Stat	e-Stat	e-Stat	e-Stat	e-Stat		
編		nttp://www.mhlwgo. p/toukei/list/81– I.html	/www.mhlwgo. اا	/www.mhlwgo.	http://www.mhlwgo. Dychwillist/27— 9.html http://www.mhlwgo. pir.coulei/list/27— 22.html	http://www.mext.go. jp:/b.menu/toukei/c fousa65/hoken/126 8826.htm	http://www.mhlw.go. ip/stf/seisakunitsuit e/bunya/kenkou.iry ou/iryouhoken/rese puto/index.html	an.jp/research/
	出典・URL	http://www.mhlw jp/toukei/list/81 1.html	http://www.mhlw ip/toukei/list/10 20html	http://www.mhlws. ip/toukel/list/20- 21.html	http://www.mhlw. jp/toukei/list/27- jp/toukei/list/27- jp/toukei/list/27- 22.html	http://ww jp/b men housa05/ 8826.htm	http://ww ip/stf/sei e/bunya/ ou/iryouh	https://www.sh an.jp/research/
DB	母子 その保健 他	<u> </u>	_	-	-	-		-
	GBD	-	-	-	-	1		
結果の概要			21		(第16回版本 中枢 13年出生児) 3 ・ 報食を食べない、800/2810人(33896) 1 ・ 年日の放廃時間「0時以降」:9730/28810人(33896) 1 ・ 年日の放廃時間「0時以降」:9730/28810人(33896) 3 ・ 44.596 1 ・ 1560 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中成20年度 本編、集集の政権事業の対象を ・ 1年202年度 本語・ 14年2 (1997年) 16年3 (1997年) 16年3 (1997年) 16年3 (1997年) 16年3 (1997年) 1732 (1998年) 178年3 (1998年3 (1998年) 178年3 (1998年3 (199	ı	※二次利用申請有 (報告書でのデータ公開あり) (報告書でのデータ公開あり) 1.889 件(130%)、クレテン値ののは作(50%)、1 型種原病 苦年 1389 件(130%)、クレテン値ののは作(50%)、1 型種原病 苦年 型機展病 50.82 件(130%)、甲状腺機能方法値に(74だ)があ 5.798 件(136%)、2位10.7代性白血病 3.73 件(135%, 7セエン 症候群 信頭でんかん)3.149 件(2.5%, ネワコービ症候群 3.003 件(2.8%)、ファコー四級能定 5600 件(2.4%)、心室中隔欠 損症 2.868 件(2.2%)、胆道閉線症(先天性胆道閉線症)および 苦年性関節リワマ子 各 2.283 件(2.1%)の順]
	社会的健 康	出生率、 (死因别) 死亡率、死 産率、婚 姻・離婚率	本 本 本 本 数 、 受 、 、 受 、 、 、 、 、 受 、 、 受 、 、 受 、 、 例 、 、 例 、 、 例 、 例	通を記録を日本の記録を表現の記録を表える。	(本)		疾病別患者数(入院・外来)	
調查項目	精神的健 康							
	身体的健 康				(14.) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	疾療・反上 酸・送・位 動・反・ 動・の・ 診・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の・ の		小児慢性 特定疾患
研究方法	データ収 集方法	国出集計	医療 からの報 生のの報	世記 対 選	資	鉴	アセプト 情報	田 無 業
事	研究デザ イン	1	横断	横断	横脚	横層		1
	分析対象 者数	1	(13,573 施設: 2014年調 查)	224,208 住計 (2016年 東瑞) 健 東票)	1回目 47010 (平成13 (4成13 (38.554 (平成22 年児)	(発育状 (発育状) (発育状) (発育 ((((((((((((((((((ı	1
数 卷	年齡	全年齡	全年	全年	8 計15回 0 (平政13 2 年月);計 22年月)		全年齡	0-19歲
	対象者	全 国 民	金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	KH #E Ⅲ	2001年お よび2010 年出生児 	学校(分 雅 一	全 国 民	小児
サンプリングカング ングカボ (全数・無	9他)	後	層化無 参井田 (5000米以 上の効系 は、 は、 が は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	層化無作 沙田田 外	人鵬 重を を を を を を を を を を を を を を	層	(レセプト 情報)	색 쫤
調査実施地域		# #	囲 供	Ⅲ ᡧ	囲 4H	데 선H	色	테
開		毎年	3年に と	毎年(優禄子皇) (アン) (アン) (東海) (アン) (アン) (サン) (サン) (サン) (サン) (サン) (サン) (サン) (サ	中	伸	ı	推
調査実施時期		1947-	1953-	- 1986- - 1	2001-: 2010-	1948-	-6003	2003-(報 告書)
調査実施士体		阿 全 全 名	阿生 全 一	世 神	海 治 治 治		厚生労働 省	小児優性 特定疾病 情報 セン ター
調查名		人口動態調査	患者調査	国民生活基礎調査	2.世紀出生児練斯 調査 (平成13・22年 出生児)	東	レセプト情報	小児慢性特定疾患 登錄事業
データの 種類		政府統計·資料	母母 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		被 表 。 · · · · · ·	特 學 · · · · · ·	その音	イータ ベース (サーベ イブンス・ 疾患 等)
カテゴリー		疾患全般						
ŝ		_	7	м	4	വ	9	_

	T				Ī				
	¥								
羅	出典·URL	清水晃ほか:小児保健研究62(3);365-372, 2003.	石和田稔彦ほか:日本小児科学会雑誌 111(12):1568- 1572, 2007.	藤井奈緒ほか:母性 衛生44(1);30-38, 2003.	八田真理子 まか:母性衛生50:4;629-636, 2010.	Shinjoh M, et al. Childhood bacterial meningitis trends in Japan from 2009 to 2010. J. Jpn Assoc Infec Dis. 2012; 86(5): 582-91.	Toyama N. Shiraki K. Epidemiology of herpes zoster and its relationship to varicella in Japan: A 10-year survey of 48.38 herpes zoster cases in Myazaki prefecture. J Med Virol. 2003:	Imai H, et al. Population-based study of asymptomatic Chlamydia trachomatis among female and male students. Int u STD AIDS. 2010; 21(5): 362-6.	Nate 0.5, et al. The impact of heat of the
DB	平をの無し								
٥	GBD 保健	-		-	-		-	-	-
精果の概要		- 熱性けいれん:0歳10%(8/817)、1歳6.7%(97/1439)、2歳8.0%(140/1742)、3歳104%(215/2070)、4歳11.0%(24/2163)、5-6歳12.1%(281/2160)		・クラミシア 感染症を知っている: 男子42.9%、女子42.0% ・性交経験あり: 男子33.7%、女子32.5% ・避妊[していない]: 男子18.7%、女子33.2%	- OO服用率: 16-18歳2.4%、19-24歳7.6%	(17月7年間/第10の人本大学/Jの細菌性髄膜炎症例数: -2010年128人(147/14582) -2010年121人(146/120718)	70-20章279-6 (2828/115,341) (男性2279-5女性265%) -10-19章280-6 (2828/115,341) (男性2.37%女性2.79%) -20-29歳227% (2866/126,119) (男性2.18%女性2.86%)	- 全体 男性後性後次 (クラミンア) ・全体 男性6.7% 女性9.5% ・18歳 男性6.9% 女性10.0% ・10歳 男性6.9% 女性10.2% ・20歳 男性7.3% 女性8.9% ・21歳 男性7.3% 女性8.9% ・23末 男性6.2% 女性6.8% ・33十歳 男性6.2% 女性5.8%	### \$6 CAPE \$6 CFE
	社会的健康			性感染症に 関する知 識、避妊行 動	低用量経 口避妊薬 (OC)の服 用				
調査項目	精神的健和			< mo ing #m	-				
ind		熱性けいれ ん	インフルエ ンザによる 小児企会 感染症罹 悪率(症例 数/十葉 県5歳未満 10万人)			細菌性髓 膜炎 膜炎	帯状疱疹	クラミジア	4. 数整
研究方法	データ収集方法	質問票 (保護者)	施設調査	自記式質問票	念 記	施設調査	施設調査	京	ナイド イーター
中	年光デナイン	横腳	横腕	横断	横断	横断	横断	横断	横断
	分析対象 者数	10,391	(45施設)	1,702	1,630	(153施 設)	48,388 (患者数) (2006年 宮城県人 ロ: 1,148,220	10,440	1.340(母 数人口は 約4万人)
黎 奉	年齡	9-0	小児	画1-3	29歲以下	小児	全年齡	飛	47年 -5 -5 -5 -5 -5 -5 -5 -5 -5 -5
	14	川崎市内 の公立・ 私立保育 園児	チャー の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	北海道内 6市町の 高校生(7 校)	無	全国 153 7 の小児科 施設	宮城県内 の皮膚科 クリニック (46施設) を受験し た患者	宮の学大なな鳴金子、草母と、 東京大名:一番なり、 大谷女内、 短寒門学内、 短寒学生	本 本 本 出 本 来 ま の に を を を の に の の の の の の の の の の の の の
サンプリング方法 (全数・無名を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(事色	全数(回 坂奉 100%)	全数 (45 施設)	その色 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)		全 数 (46) (46) (46) (46) (46) (47) (48) (全 整 (18)
調査実施地域			并 票	北海道	때 산대		宮城県		忙 概
周期		1	1	1	1	1	Ĭ.	1	ı
調査実施時期		2001	2003- 2005	1999– 2000	2007	2009– 2010	1997– 2006	2004- 2006	2008- 2013
調査実施主体		<u></u>	1	1			1		
體		川崎市保育園における熟性けいれんの調査-特に有病率と治療の現況に	、インフルエンザ菌に よる小児全身懸染 症罹患状況	高校生のクラミジア 懸染症に関する認 譲 性行動,避妊の 実態の分析を中心	(低用量経口避妊薬 - (OC)は若者の性 感染症を拡大させ でいるか	Childhood bacterial — meningitis trends in Japan from 2009 to 2010	Epidemiology of hepoex zoster and the preservation to varietie in Japan: A 10-year survey of 48,388 herpes zoster cases in Myazaki prefecture	Population-based study asymptomatic infection with Chlandria trachomatis among female and male students	The impact of he impact of he impact of he impact allent he impact allent on the incidence of communication of communication of communication of he impact and presumococeal pneumococeal pneumococean p
データの 種類		原著論文	原著論文	原著論文	編 編	原著論文	兩審論文	兩審論	
カテゴリー		感染症							
ž		_∞	o	01	Ε	12	13	4-	<u>ت</u>

	¥		:ī	SI	01	-El -i	(0)	+1	m ì	1
羅	出典·URL	Morimoto K, et al. The burden and etiology of community or set proneumonia in the aging Japanese population: multicenter multicenter PLOS One. 2015; 10(3): e0122247.	https://www.nid.go. p/niid/ja/idwr.html	http://www.syndrom io surveillance.com/sy ndromic/index.html	http://www.gakkoho ken.ip/	http://www.pref.aich i.ip/eiseiken/kansen. html	http://www.pref.niig ata.lg.ip/kenko/1356 831943289.html	https://ganioho.jp/r eg_stat/statistics/st at/index.html	金谷正明ほか: 小児 保健研究64(1): 104-115, 2005.	Nakano T. et al. Tracking overweight and obesity in Japanes children: a six years longitudinal study. J Med Invest. 2010; 57(1-2): 114-23.
	その 他			-	-	-	-	-		
DB	D 保健		_						-	
	GBD	(1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ing.		е В П		γγ 1 15-		-
結果の概要		市中肺炎発症率(/1,000人);(15-24歳)?,6(95%G);5,1-11,	2010年年報報データ 全数把握多条条据 ・結核、0億27人、1-4歳189人、5-9歳138人、10-14歳120人、 15-19歳28人、1-4歳18人、5-9歳11人、10-14歳1人、15-19歳7人、 ・網管性赤海: 1-4歳5人、5-9歳11人、10-14歳1人、15-19歳7人、 人、10-14歳20人、15-19歳20人、1-4歳64人、5-9歳464 、第年アス・14歳2人、5-9歳2人、10-14歳1人、15-19歳30人、 ・編年アス・14歳2人、5-8歳2人、10-14歳1人、15-19歳3人、 (※その他の全数把握対象疾患」(国省するデータあり)。	・ ・ 水来、入降・教急車搬送・OTC・学校欠席者(保育園含む)・ ・ 能者施設・検査情報のサーベイランス に を は を に に に に に に に に に に に に に	※年月日ことの一般公開データあり	2017年第324、2017年第324、2017年第324、2017年第324、3017年第324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年324、3017年3	中度20年第728 - 1 類極条症 届出たし - 2類極条症 酷枝 新潟市7名、三条1名 - 3類競製症 届出なし - 4類感染症 レジオネラ症 1件(70歳以上男性)	2010年全国推計値 年齢階級別階悪数 全部位(上皮内がん) 含金2) ・0-4歳748人(男子417)、女子331人)、5-9歳469人(男子258 人、女子171人、10-14歳23人(男子278人、女子243人)、15- 19歳808人(男子46人、女子431人)、20-24歳1974人(男子 637人、女子1337人)	2000年開聯本 - 部港四 10.1% - 施山乙太七口一戶配攤 19.3%	罷満(2001-2007年コポート人) ・6歳男子(1926)、女子3.9696 ・7歳男子61296、女子3.8096 ・8歳男子61296、女子3.3796 ・9歳男子61296、女子2.8996 ・10歳男子62096、女子2.4096 ・11歳男子55096、女子2.4096
	社会的健 康			感染症の「症状」	学校欠席					
調査項目	精神的健 康									
	身体的健 康	市 中 野 交	感染症、病 原体情報			級 禁 前	級 中	がん、がん 検診受診 率、喫煙率	照	撰記, IEWI,
研究方法	チデータ収 集方法	セルト トイト ター	(保健所)	世 第	本 第 田 国	届出集計 (保健所)	届出集計 (保健所)	田 第	茶	9 ト ク ク ア
臣	研究デザ イン	横腕	1	1	1	1	1	1	横断	遊
	分析対象 者数	1.772(母 数人口は 1.880000 : 日本全 体)	1	1	1	ı	1	1	57,300 (耐ベ人 数)	22,827
松繁			全年	全年齡	乳幼児、 児童生徒 (学校管理下)	全年齡	全年齡	全年齢	1/1/5	(小中線 (小中線 生)
114 HK	対象者	15歳以上 の成人 	全国民(感染症)	(図録 を と と と と と と と と と と と と と と と と と と	金の砂油を設定を設定を表現である。	课 (學 (學	课 第 (報	がん患者		徳島県の 全小学校 (232校) と中学校 (91校)
サンプリ ング方法 (全数・無 作数・オ	9億)	層化抽出 (無作為 記述なし)	설 첫	登録施設	登録施設 (2017年 事点:全 国の学校 の約6割、 保育圏約	全数	全数	全数	金数(後 影 485- 95%)	全 数
調査実施 地域		画	鱼	承	म	愛知県	新潟県	年	大分市	海島県
周期		1	生	超	報	随時(週 報)	随時(週報)	哲	事	
調査実施時期		2011– 2013	-1881-	2010-	-8008-	-6661 -		2016-(全 国がん登 録)	1991– 2002	2007
調香寒海上本		1	毎年 金子 (国力 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別 (別	国 中 市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日 吳 本 韓 学 協 教 余		新 及 外	国立がん 研究セン ター	大 形 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 等	1
調產名		The burden and etiology of community—onset preumonia in the aging Japanese population: a multicenter prospective study	齾染症発生動向調 査	症候群 サーベイランス	学校等久席者・歴 染症情報システム	麻しん患者調査事業	新潟県感染症 サーベイランス委員会	全国・都道府県が ん登録	過去12年間の学童 (小5)探血調査の結 果について	Tracking overweight and obesity in Japanese children; a six years longitudinal study
データの 種類		原著論文		イータ スータ (チース イプレス・ 無悪登録		データ ベース (サーベ イランス・ 疾患登録・ 等)	イータ スータ (サーズ イランス・ 疾患 登録	データ ペース (サーベ イランス・ 疾患登録 等)	原 奉 論 文	原著論文
カテゴリー								新生物	内分泌·栄養·代謝疾患	
ટ્ટ		16	17	81	19	20	21	22	23	24

	1	ı	ı	ı	Ι		ı	Г	1	1
	产					(HBC Study)				
布		ll. els of Idren ough miol. 8-82.	onh.cf	1):65-	FIまか: で62	org/m rch/ind s	/www.med.ya ni.ac.jp/medic chcohort/stu mary/koshu html	kurume pint/ko	igraine unior tudents r. Brain (8):	osis in city in an. J 303;
	出典・NRL	Kouda K, et al. Trends in levels of cholesterol in Japanese children from 1993 through 2001. J Epidemiol. 2004: 14(3): 78-82.	http://www.acma.or ip/isikai/schoolh.cf m	坂井明子(まか:学校 保健研究45(1);65-75, 2003.	荒木田美香子ほか: 小児保健研究62 (6):667-679, 2003.	http://rccmd.org/m odules/research/ind ex.php?content_id=4		https://www.kurume = u.ac.jp/site/joint/ko sodate.html	Ando N, et al. Prevalence and features of migraine in Japanese junior high school students aged 12–15 yr. Brain 2020, 2007; 29(8):	Itoh T, et al. Prevalence of multiple sclerosis in Asahikawa, a city in northern Japan. J Neurol Sci. 2003: 214(1-2): 7-9.
		Koud Tren- chole Japa from 2001	ip/isi	坂井明子 保健研究 75, 2003	(6) (2003	http:/ odule: ex.phr	https://manas ine/bir dy/sur Projec	https == u.ac.j soda:	Ando Prev featu in Ja high aged Dev.	Itoh Prev multi Asah north Neur 214(
DB	母子 その保健 他		-			-	-	-		
	GBD 4	-		-	-				-	-
結果の概要		MBN 2.26 kg·m(3男子284 kg·m(3 kg-7) - 2000年データ: 男子4.0% (17/480) 女子2.1% (10/469) - 2001年データ: 男子4.0% (21/522) 女子2.1% (10/469)	平成26年度 - 小男女弁リッカシンドローム(正規軍): (小1) 1596 (、(小2) 1896、(小3)33796、(小4)3296、(小5)8496、(小6)8596。(中 11448。(中2)10896、(中3)6796 (※男女別・学年別データ公養あり)	李胜性攻擊(1,387-4,94) 李男77%(387-4,94) 不表出性攻擊(1,66意): 男児9.1%(46.7508)、女児8.9%(44 - 484) 攻擊(中間関係を操作): 男児7.7%(39.7508)、女児 7.1%(35.7494)	1年次2.08%、2年次3.08%、3年次4.096 1年次2.08%、2年次3.08%、3年次4.096 1月1年2011%。2年34.99%、3年38.29% - 安子1年42.98%、2年4.12%、3年4.89% - 野女日重慶前(2年4.12%、3年4.13% - 男子1年14.29%、2年11.59%、3年11.15%				- 通学時間内に頭痛あり: 59.896 - 調整の症状変勢 72.896 - 頭痛での受診経験あり: 746 - iCHO-1診断基準での偏頭痛あり: 4.896 (男子3.3%女子 6.596)	多発性硬化症有病率(/100,000人) -0-14歳0 -15-24歳469(2/42,671)(男子1人、女性1人)
	社会的健康			攻撃性		発達	在 田 四 連	生活習慣		
調査項目	精神的健 和康				精神健康 (GHQ12)	<u>\$</u>	描うり (Birleson自 已式描うり 評価尺度)	おいて		
ind		1, コレス 1一ル値	恒恒		舞(5)			單		凾
	少 本 所 所	BM ¬⊤	目 (東)	tm/	n¥.		確診データー	time	[偏頭痛 (ICHD-II)	多 完
研究方法	データ収集方法	身 定核 本 東 東 後	学 が イーク を 重診	自記式貸 問票 式貨	質問票 (本人·保護者)	兩 基	強を で で で が に が に に が に に に に に に に に に に に	自記式質 開票 可	自記式 開票 式質	ナルセ データ ー・フ
臣	母的デザ イン	横断	横断	横	類	縦断(4年間)	縦断 (データ連 結可能)	横	横	横
	分析対象者数		1,803	1,002	194	,200 	田生数: 4年間約 4年間約 250名	22,414 (中学生 13280人、 高校生 9134人)		(37症例)
対象者		1 概 0.	小小一中3 1,8		中1(中3 79 まで適 琴)			中1- 高 (4 13 13 91 91	12-15歳 6,4	
拔	n 在	-0		孙 (数	数(8 中 (8 う)	松市内 0-4歳1出生児	1 0-5歳(項		景春 12-1 0 0 0	57 字 4 全 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年
リ法無を			小 体 (45校)、 (45校)、 (24校)	公校	- 中 校	浜の	型 (母女子 馬斯 (母女子) (本 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)		慶か 田田 日子 (14枚 (14枚)	施 旭川市内 の住民 (2002年 人口 363,526 人)
サンプリ ングカ法 (全数・無 作為・や	9 (事	・ 一	全数	か の (無 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	層化計 (不敬な 本世の: 神神の: 様存が!!	対象施設 でのリケ ルート	44 청	から (おり) (おり) (おり) (おり) (日) (日)	44/16 数 (14/16 (14/16	金数 (4施)
調査実施地域		翻 田	秋田市	 徳島県、 和歌山県	警 部 部	浜松市	中府中	囲	春 日 中 日 中	旭川市
周期			中				中			
調香実施時期		- 2001 2001	1987- 角	2002	2002	2007-	-888 -	2016	2004	2002
調査実施調主体		磐田市教 19 育委員会 20	新田市医 部余	8	20 20	子どもの 200 こころの 200 発達研究 センター	上灣大學 198	米米	×	×
			海葵區	る3.9 本 中 本 宗	名	生 生 子 ご 発 七	ナ(年 (長期 (長期	I≺ ¾L	graine Inior 12-	oity in
調本名		Trends in levels of cholesterol in Japanese children from 1993 through 2001	秋田市肥満調査	小学生における3タイプの攻撃性が抑うつと学校生活事 受心と学校生活事 受感情に及ぼす影響	中学生の精神的健 康状態とその要因 に関する検討・第 調査・ 調査・	浜松母と子の出生 コホート研究	甲州プロジェクト(甲) 州市母子保健長期 総断調査)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Prevalence and features of migraine in Japanese junior high school students aged 12–15 yr	Prevalence of multiple sclerosis in Asahikawa, a city in northern Japan
*—90 種類		原格 Chro Chro Chro Chro Chro Chro 200	疫学調査 秋日	海 大 大 大 大 大 大 大 大 大	大編 を	疫学調査 法	及 中 一 一 一 一 一 一 一 一	接続 一般	原著論文 Pre	原著論文 Pre mu Asse
カテゴリー デ		歱	松	精神疾患原	医	点	<u> </u>	模	神経系	
الر الر		25	56	27 精	58	58	08	31	32	33
-										

		a . 雅 剝			ody s	見 査	1	
	¥	Iwate KENpoku COhort Study (湘 年興北岩 英二木一 下班兇)	Chronic Heart Failure Analysis and Registry in the Tohoku District		Internatio nal Study of Asthma and Allergies in in Childhood	強ុ大學是		
羅	出典·URL	Ohsawa M, et al. Cardiovascular risk factors in the Japanese northeastern rural population. Int J Cardiol. 2009.	http://tohoku.cardio vascular- medicine.jp/	島内泰宏ほか: 小児 保健研究64(2) ; 322-327, 2005.	Lai CK, et al. Global variation in the prevalence and severity of asthma symptoms: phase three of the three of the Asthma and Allergies in Childhood (ISAAC). Childhood (ISAAC).	Tanaka K, et al. U-between body mass index and the mervalence of whereach and sattna, but not eczema or riminoorojunotrakvikis; the ryukyus child health study, ul. 845ma 2011; 48(8); 804-10.	森田一三:学校保健 研究53(5);446- 455, 2012.	凝田湖県本が・日本 公衆衛生雑誌50 2003: 80-4936.
	もも田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	20 2	Ne Ka	祖昳 28	Z S S S Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z	8 As h t h b v p ii b s h a	株臣 5	談 谷 C 0 8
DB	母子			1			-	-
	GBD	-	-		<u></u>	-		_
結果の概要		18-20歳 (1846)人 女性10人) - BM-205 男性28-6。女性139-6 - BM-205 男性28-6。女性139-6 - 福原病 19-2 女性0-6 - 高血圧: 男性0-6。女性0-86 - 龍質異常: 男性22, 19-6。女性3-89-6	※データな脚なし	· 索管安陽為10-65年 303%(男子10-50%,女子7,33%) · 索管交陽應見級在率(處近作用で陽影作が見られた児 童):2001年5,45%(男子6,57%,女子4,33%) ※気管支陽息は増加傾向	·噪島現在第-13-14歳 0094 1995年調査8-496, 2002年調査 10906, 6-7歳18-296(2002年調査) ・喘息既任医:13-14歳 1496(1956年調査12.096, 2002年調査 19.996, 6-7歳23.096(2002年調査)	77.11年、泰龍(過去12か月) - 編集: 108% - 編集: 108% - 編集: 108% - 編集: 108% - 編集: 108% - 編集: 108%	・	自衛佐夫 (32296)、市33 (32296)、市3(41896)、中1(20296)、高3 (32296)、南3(15.996)、小3(43196)、中1(32.996)、高3 (35196) (15196)、中1(15.96)、小3(17.996)、中1(14.996)、高3 (22.896)、中1(14.996)、中3(13.096)、中1(14.996)、高3 (15.996)、中3(13.096)、中1(14.996)、高3(13.096) 中加:國史(17.96)、中3(13.096)、中1(16.096)、高3(13.096) 由1 画为介含智健 (10.796) (10.796) (13.996)、高3(35.996)
	社会的健康					受動吸煙 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性	大学 (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一)	園 動 みん な 歯 歯
調査項目	精神的健 康							
	身体的健康	高血圧・ 無 無 強 部 強 部 。		気管 高 を支端	岭 指	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本	陸
研究方法	ザ データ収 集方法	を を 一 一	施設調査(登録研究) 2名)	SAAC方式質問票 式質問票 (保護者 回答)	資 (((((((((((((((((((質した を を ま、 で で の の の の の の の の の の の の の の の の の	質問票 (本人・保護者)	御御では、大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・
₽	単光がナイン	横腕		横肥	横断	横脚	横	横断
	分析対象 者数	26,472	10,000 (登錄予 定: CHART- 2)	9,514(199 5), 8,737(199 8), 8,064(200 1)	2,958(6- 7歲)、 6,986 (13-14 歲)	24,399	4,919	高斯·纳
対象者	年齡	18歳以上	20歳以上	Jv1-3	14歳	6-15號	小1-中3	全年代
	14	治		小学校 (40校)	6-7歳、 13-14歳 の子ども (97か国 で実施)	第全学校 校本日本 の に の の の の の の の の の の の の の	小學校 (57校)、 中學校 (58校)	
サンプリ ング方法 (全数・無 作為・そ	9億	全数 (参加率 24.5%)	登録施設 (CHART- 2:21基幹 病院)		無作為 田(华校) 田(全	無作為抽 出(学校)	爾化斯爾 (保和斯田 昭東小・ - 市校)
調査実施地域		- 北平県 北地域 東	東北地方	香 三 湯 地 区	面面 表 宗 宗 宗	· · · · · ·	年	中台 中
周期	_		1	3年	1		1	
調査実施時期		2002– 2004	2006- (CHART- 2)	1995; 1998; 2001	2002	2004-	2007	2000
調査実施主体			東北心不全協議会		T.			中台市
調查名		Cardiovascular risk factors in the Japanese northeastern rural population	東北慢性心不全登隊	香川県西讃地区小 学生児童の気管支 喘息有症率調査 1995年,1998 年2001年の比較検 討	Global variation in the prevalence and severity of astima symptoms; phase international Study of Astima and Allergies in Childhood (ISAAC)	U-shaped association between body mass index and the prevalence of wheeze and asthma, but not eczema or rinnoconjunctivitis: the ryukyus child health study	全国の小・中学校児童生徒における歯の健康に関する生活習慣の現状	市民成人障害者 最近における魔科 保健の現状る魔科 「仙市市魔科保健 実際調査」結果
データの 種類		原著論文	ゲータ ペース (サース カブンス・ 株恵 登録	原著論文	原著論文	原著論文	原善論文	
カテゴリー		循環器		呼吸器			本	
ž		34	35	36	37	88	39	40

	Ι	武権	引揮						
	¥		福岡小児 健康調査	e-Stat				ı	
華	出典·URL	Tanaka K, et al. Dental caries and allergic disorders in Japanese children: He Ryukyus Child Health Study, J Asthma. 2008: 45(9): 795-9.	Tanaka K, Miyake Y. Association between breastfeeding and dental caries in Japanese children. J Lapidemiol. 2012. 22(1): 72–7.	http://www.mhlw.go. ip/toukei/list/62_ 17.html	http://www.iskd.jp/	坂口けさみほか:母 性衛生46(2):284- 291, 2005.	Kitamura M, et al. Relationship between premenstrual symptoms and dysmenorrhea in Japanese high school students. Arch Womens Manes Arch Womens M.	Imai E. et al. Prevalence of chronic kidney disease in the Japanese general population. Clin Exp Nebrvol. 2009; 13(6): 621-30.	http://www.isdt.or.jp /overview.confirm.h tml
	やも				-				-
08	格力			_		-			
	GBD	-	-	At 1			-	- 2	- 松小
結果の概要		- う随あり82.1%	·予蘭本/1207%(425/2056) ·定期的な蘭科祿修受除13.9%(124/880)	※二次利用申請有 中原26年調査 ・乳菌・環以上8歳末満では予園を持つ者の割合が40%前後 ・乳菌・環以上8歳末満では4~一割程度の者が現 園ま上は永久園に万國(譲少剤向) ・永久歯・5歳以上・10歳未満ではな処置歯または未処置の予歯を 持つ者の割合は10%を下まわる	、2006年書者数:16223人(男子8385人、女子6938人) -2016年書者数:16273人(男子8675人、女子6937人) -3歳未満の別合:全体の64.1% (※年齢別・性別患者数・罹患率データあり)	・19歳以下の原失禁発生頻度5.896(7/121)	·月格函维症3.2%	20代男体 - 高血圧 - 20代式性 - 高血圧 (> 140/90 mmHg) 5.196、糖原療 (HbA1c < 6.0%) 0.296 - 高血圧 (> 140/90 mmHg) 0.796	7016年間春 第人 第人 16 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17
	社会的健 康			極 みがき 個 (重)					
調查項目	精神的健 康								
	身体的健康	田歯、アレルギー疾患			高高	原 大 大 大 大 大	月経前症 候群、月経 困難症	· 爾白聚、 自日、 海 東京 本	港
研究方法		資 歯 子 問 科 一 悪 型 タ	類 女 で デ	四	施設調査	自記式質問票式質	自記式 問票 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可	類 々 で で で が に が に が に に に に に に に に に に に に に	施設調査
臣	母 か イン	横	横	横	横	横	横	横	横
	分析対象 者数	21,792	2,056	6,278 (2016年 調査)	1	1,926	1,296	574,024	324,986 (慢性透 析患者: 2015年調 査)
※	年齡	6-15歳	盤	插 概 以	小児	10-70ft	15–19	20歳以上	全年
	対象帯	那全学校校校市立に申校 覇公校()なり(32 市立の中に、12 学業会を表示。 会会を表示。 会会を表示。	加 の3 職 で の3 職 で (全7 (全7 条 開 用	全帯 国・ 市 市 市	文の	健康な女性	公立高校 (2校)の 女子生徒	11 超大 単記 単記 単記 単記 単名 を 単記 単名 の 単の 単の 単の 単の 単の 単の 単の は が は が は が は が は が は な は な は な は な は な	透析患者
サンプリ ング方法 (全数・無	96	全数 (回	全数 (回 答奉 25.5%)	層化無作 為抽出	関連施設 に協力依 頼(計 1444施設 (回収率 76.8%): 2015-16 年調査)		その他 (無作為 記述なし):	その他 (無作為 記述なし)	全数 (4,321/ 4,380宿 設)
調査実施地域		課 表	福岡市	本	₩ ₩	記載なし	仙台市 市	囲	መ 선
開		1	ı	6年ごと	2 世 2	ı	1	ı	中
調査実施時期		2004– 2005	2006– 2007	1957–	1970-	2003	2010	2005	1968- -
調香実施 主体		1	1	事 生 生	五 本 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子	ı	1	1	日 医本学 遊 会
調查名		Dental caries and allergic disorders in Japanese children: the Ryukyus Child Health Study	Association between breastfeeding and dental caries in Japanese children	歯科疾患実態調査	川崎鴉全国調査		Relationship between premenstrual symptoms and dysmenorrhea in Japanese high school students	Prevalence of chronic kidney disease in the Japanese general population	わが国の優性透析療法の現況
データの 種類		原著論文	原審課文		疫学調査	原著論文	原 著 論 文	原著論文	液 学調査
カテゴリー					筋骨格系統合組織	尿路性器			
ટ્ટ		41	42	43	4	45	46	47	84

						1		T .	ı	1	I	1
華	出典・URL メモ	http://www.jspn.jp/	http://plaza.uminac. ip/_isur/outline/pla n.html	http://www.isog.or.i p/activity/report.ht ml	Nameda T, et al. Risk factors of Risk factors of Risk factors of clampsia other than hypertension: pregnancy-induced antithrombin antithrombin gain. Hypertens gain. Hypertens 31(2), 288-7;	Morioka I, et al. Collture-proven neonatal sepsis in Japanese neonatal care units in 2006 care units in 2006 2008. Neonatalology.	http://www.jsms.gr.j p/contents04-01- 04.html	http://www.mhlw.go. ip.stf/houdou/0000 118192.html	http://www.jsog.or.j p/activity/report.ht ml	http://nporm.umin.i p./	https://www.icbdsri. ip/data.html	http://www.mhlw.go. e-Stat ip/toukei/list/112- 1.html
DB	母子 その 保健 他	-	-	-	-	_	-	-		-	-	-
結果の概要		17世代性腎臓の高者数之事(17.50~19歳) - 200年81人(3.5)、2007年89人(3.9)、2006年82人(3.5)、2009年 年108人(4.7)、2010年91人(4.1)、2011年91人(4.1)	※詳細データは要問合は	各委員会別(生殖・内分泌委員会、婦人科羅殤委員会、周産 期委員会、女性へルスケア委員会、社会保険委員会、備理委 員会) 疫学調査結果などの報告	・子棚発症:11人/17522データ	· 敦血症炎症0.7496(51/6894)(早発型敗血症0.1396、遷発型 敗血症0.6196)	平成26年度 代謝異常等檢查 ·患者製853人	2014年度集計 第生児聴覚検査の結果を把握している1,133市 日町村を対象 土地生数 165,649 精密検査対象者数443人(受修者406人) ・一個性難聴19人 ・面側性難聴76人	2015年報告 • 出產數239.866, 22週以降の死產数1,446、生產数238,420、早 期新生児死亡数388	2014年報告 金勢児数(出生体重1500g以下または在胎32週未満児): 4781例 ・新生児搬送6% (4781例中)、退院時死亡6% (4588例中)、自 宅への返除89% (4308例中)、	201年報告 ·分娩総数:10.116、奇形児総数2.794、出産児総数:113033、 奇形総数5.097(奇形児出産網度2.47%)	・東西の8年編刊 ・東中海事件: 0数11件 1-4歳348件、5-9歳605件、10-14歳 11.70件、18-18歳 19.9件 (場所別・原因別データあり)
	社会的健 康								周 座 村、中 本 法、 予 年 治 、 予 任 治 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、 一 、	新生児の 予後(3歳ま で)		食中毒リ患 率
	精神的健 康											
		小児末期 腎不全	尿路結石	產科·婦人 科疾患	秦	新生児敗 血症	新生児マス スクリーニ ング検査対 象疾患	先天住 聴覚障害	妊娠合併 症、分娩情 報、新生児 情報	妊娠合併 症、分娩情 報、新生児 情報	光 形 不 在 奇	
研究方法	データ収 集方法		施設·個 開查	日本 人 本科 学 会 所 会 会 会 会 会 会 会 会 是 。 是 是 。 是 。 是 。 是 。 是	セプド トプト ター	ナルナー・アー・ター・アー・ター・アー・ター・アー・ター・アー・ター・アー・ター・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	田田無料	四 (本 (本)	施設調査	施設調査	施設調査	国出集計
	t 研究デザイン	横断・縦 断	横	ı	横断	横	 	1	横	着	横	1
	分析対象 者数	1	79,000例 (301階 設)(個人 調本:95 階級の約 2万例)	1	17,522	6,894	1,017,086 (出生数) 1,090,713 (受検者 数):2013 年度	165,649 (後後) 後を集計している 中区日村 における 出生用():2	239,866 (妊娠 22 適以降の 分娩: 2015年)	50,704 (2014年 時点)	110,116 (公務総 数:2014 年)	
★ ※	年齡	· 0-19歳	公 h 全 年 響	. mi	間 東 頭 後 ② ~ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新生児	新生児	新生	金年齢の	重 新生児 (予後3 歳)	新生児 新生児	全年
一 北 単 小	対象者	小児不施	交 女 の 日 参 所 語 報 語 報 語 報 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	產科•婦 人科疾患 患者		調本 中に 医療機関 (5施設) に入院し た外院し た新生児	新生児	新生児	後 登録参加 施設での 分娩	受 田生体車 1500g以 下または 在部32箇 未満の新	受 登録施 の新生」	(4) 中 中 幸
サンプリ ングカ法 (全数・無 布施・A	9年	学会登録 施設(773 施設·診 療料)	関連施設 に協力依 類(計 1210施 設:2015 年調香)			全 大 (本 (本 (本	44 数	金	登録施設 (385施 設:2015 年)	登録施設 (192施 設:2017 年)	登録施設 (約3300)	全 数
調査実施地域		₩	4 年			大 下 原 所 所 所 所 形 の の の の の の の の の の の の の の の	₩ (H	HI 상H	₩	#H	₩	Ш
施周期		1	10年ごと	定期更新	1	.1	中	伸	伸	曲	伸	典
施 調査実施 時期		是 2012- 学 員	2962-	% 2000-	2010	2006- 2008	- 1977-	を	平 2001-	- 祖世 .	1972-	- 966-
調査実施主体			4. 日結会泌学 本石(会) 原征日) 保金 大器(会) 大器(会)	5 日本産婦 人科学会	50		厚生労働 名 母子 保健課				グリアリング・プラリング・プラング とうない 極際ホーニ タリング セングロヤインター 日本女郎	事 生 光
調查名			尿路結石全国疫学調査	日本産婦人科学会委員会報告	Risk factors of eclampsis other than hypertension pregnancy-induced artithrombin deficiency and extraordinary weight gain	Gulture-proven neonatal sepsis in Japanese neonatal care units in 2006– 2008	新生児マス・スク リーニング		周産期登録データペース	周産期母子医療センターネットワーク	先天 異常 データ ベース	食中毒統計調查
データの 種類			及 中 調本	その街	原者論文	水 編 本	パーケ スース イナーズ イランス・ 株 悪 登録	ゲーケ イーケ オートメ キーベルンン・ (華) の (本)	ゲース イーク スーナース カー・バケース ボンジャ・		デース ベーケ スート スープング・ 後一の形形 (単一の形)	政府統 計・資料
カテゴリー				婦人科疾 患	妊娠·分娩	周産期					先天異常	使 中 幸
Š		49	20	51	52	53	54	55	26	57	28	29

	Т			1			m> VH	I :=	
	¥						福岡小児健康調査	Allergic Schoolchi Idren in Kyoto (ASK) study	1
種	出典·URL	年編書子 (本小小男母 (中	大見広規ほか: 小児 保健研究68(4): 412-420, 2004.	楠隆(ほか:日本小児 科学会雑誌108 (11);1358-1365, 2004.	富川盛光ほか: 日本 小児科学会雑誌109 (5): 638-643, 2005.	今并孝成ほか: 日本 小児科学会雑誌109 (9):1117-1122, 2005.	Tanaka K, Miyake Y. Association between prenatal and postnatal tobacco smoke exposure and allergies in young children. J Asthma. 2011; 48(5): 458-63.	Kusunoki T. et al. Changing Prevalence and Severity of Childhood Allergic Diseases in Kyoto, Japan, from 1996 to Jogon, Allergol Int.	Saeki H. et al. Companison of provalence of atopic dermatitis in Japanes e elementary schoolchildren between 2001/2002 between 2001/2008 Dermatol. 2009;
	そも								
DB	GBD 保健	_	-	-	_	_			
結果の概要		・機大の518-94大の大のかのアレルギー様様は ・職長: 0-4歳13.58、5-9歳248や、10-14歳21.99。 ・アトビー性反順炎: 0-4歳15.89、5-9歳21.29。、10-14歳31.09。 ・アレルギー性異炎: 0-4歳28%、5-9歳21.2%、10-14歳31.09。 ・アレルギー性精質炎: 0-4歳28%、5-9歳11.3%、10-14歳19.39。 ・活物症: 0-4歳1.69%、5-9歳12.3%、10-14歳16.79。	(参斯されたことがある。調整的権法あり) アドニー性疾患、30.2%。20.2% ・アトビー性疾患、50.2% ・ディスペミの多な、17.7%。「1.8% ・資物アレルギー・6.9%。3.9% ・プレルギー・6.9%。4.3% ・アレルギー性異炎:1.9%、0.8%	- アトビー性皮膚炎:現在率30%、既往率55% ・曝息・喘喘:現在率128%。既往率27% ・アレルギー性鼻炎:現症率103%、既往率07%	・アレルギー疾患・海区43.7%、津南町33.2% ・シックハウス症候群「疑い」:港区1.7%、津南町0.8%	・食物アレルギー申請率:小学生1396、中学生1396	・職場22,096、職長8.8%、滅後17.2%(過去12か月間の現在 事) ・妊娠中の母親の受煙12,9%、家庭内受助受煙42,4%	1 現在海大多力 ・気管支端(85.0%。アトビー性皮膚炎5.6%。アレルギー性鼻 炎7.14%。アレルギー性粘膜炎55.2%。花粉症隙1.8.0% 筋柱歴 ・気管支端(8.5%。アドレー性皮膚炎1.8.9%。アレルギー性鼻 炎2.8.0%。アレルギー性粘膜炎30.0%。	1742—「佐瓜西」 (2007—2000年) 12.1% "2001—2000年) 12.7%、(2007—2006年) 12.1% 学年別 (2007—2000年) 11.1%。 第711.4%。左子12.3% "2年生(1553人) 14.2%。 第713.7%。左子14.3%。 "3年生(1553人) 14.2%。 第731.7%。左子14.3%。 "4年生(503人) 12.0%, 第731.5%。左子10.0%。 "5年生(503人) 12.0%, 第731.5%。左子10.0%。 "6年生(513人) 12.0%, 第712.7%。左子10.4%。
	社会的健康						受動吸煙		
調査項目	精神的健 康								
	身体的健康	アレルギー 性疾患	アドー性 疾患	アレルギー 性疾患	アレルギー 疾患、シッ クハウス症 候群	はちアレルギー	プレルギー 疾患	アレルギー 疾患 (ISSAC questionnai re)	万ドゲー体皮膚炎
研究方法		(保護者) (保護者)	質問票 (保護者) (保護者)	質問票 (保護者)		質問票 (学校栄 :養土)	質問票 (保護者) (保護者)	質問票 (保護者) (保護者) ((保護者) 7
臣	単光 イン イン	横	横断	横断	横筋	横艇	横断	横節	横
	分析対象 者数	.539	6,667	1,014	4,482	10,190施 設(児童・ 生徒 8,035,306 人)	1,951	13,215	292 (2001- 2002年)、 7367 (2007- 2008年)
対象者		861-0	後の	3號	小1-中3	小中学生	彩	7-15歳	6-12歳
	16	15歳以下の主権。 日本地域 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい はい はい はい	3歲児健診受診児	3歲児健 診受診児	東京 東京	社全栄騰鳳国栄団国難後を10回題接会するを 法学士にの9年十八校協所全校士士	福 の3 記 (全) (全) (本) (本)	京都市内 の小中学 生(30校)	4都道府 県の小学 生
サンプリ ングカ法 (全数・無 作為・チ	9億)	層化無作 為苗田 (世帯)	全数 (回収率 86.2%)		_	全数 (回収率 100%)	全数 (回答率 25.5%)	無作為苗 田(学校)	その者(無布跡 門がなし):
調査実施地域		当	河東 東京	京都市伏見	東京都港区、新潟県津南町	軍	福岡市	点 中	光東光東大東 國際 開 場。 海 場。
周期									
調査実施時期		2002	2002	2001-	2002-	2002	2006-	2006	2002; 2002; 2007– 2008
調査実施主体		斯 斯	1			1		<u> </u>	
調查名		施工機・大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	. 北海道におけるアトビー性疾患に関する疫学調査	3歳児健診よりみた乳幼児アレルギー 疾患の疫学	、学童期におけるシックハウス症候群実態解明の試み	学校給食における 食物アレルギーの 実態	Association between prenatal and postnatal tobacco smoke exposure and allergies in young children	Changing Prevalence and Severity of Childhood Allergic Diseases in Kyoto, Japan, from 1996 to 2006	Comparison of prevalence of attopic dermatitis in Japanese elementary aschoolchildren between 2001/2008 and 2007/2008
データの 種類		原著論文	原著論文	原著論文	原著論文	原 者 論 文	原 書 文		高 書 文
カテゴリー	_	ガンドー							
ž		09	61	62	63	64	65	99	67

	T					I			1					1			
	¥														e-Stat		
布		r al.	2 g six-	pan: Ider are	y ol Int. 7-30.	kyo- cankyo	DI (NO		か:小 (6); 3.				∴ ⊞ 153	∵田本 1044,		pa.go.j /stati s/sou	uu48/
_	JRL	Kurosaka F, et al. Risk factors for wheezing, eczema and	the previous 12 months among six- year-old children in	nimeji oity, Japan; food allergy, older siblings, day-care attendance and	parental allergy history. Allergol Int. 2011; 60(3); 317–30	http://www.tokyo- eiken.go.jp/ki kankyo	oushisetu/		3安仁ほ 3研究65 36, 2006				1弘(ほか) 5生雑誌 05-111,	秀田か 手余器 1042-1	http://www.mhlw.go. ip/toukei/list/32_ 19.html	https://www.npa.go. p/publications/stati stics/safetylife/sou nan.html	ttps://www.npe.go /toukei/koutuu48. ome.htm
	出典·URL	Kurosaka F, et al. Risk factors for wheezing, eczema and	the pre months year-o	food all siblings	parent history 2011: 6	http:// eiken.g	oushisetu/		根路銘安仁ほか:小 児保健研究65(6): 822-826, 2006.				加藤昌弘(まか: 日本 公衆衛生雑誌53 (2);105-111, 2006.	高山直秀ほか: 日本 小児科学会雑誌 111(8): 1042-1044, 2007	http:/// ip/touk 19.html	https://v p/publice stics/saf nan.html	https://w p/toukei/ home.htm
	そも																-
DB	存货					-			-				-	-	-	-	
	GBD	-					di di	H						.0	-		松。
						高状況 オー		ぎん息						97.4%	3-5 <i>h</i>	(35死)	10-14 その他の 以下54
						に悪のり アントル・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	X 智	3.9%, 1					%8	で: 推奨	385.1%	F217人(不明者4	.239件、 + - 行中・そ
		9.9%				アギー形 %、飲物 パーキョ	Z# +£Z						3081	3ヶ月ま	1-25v)	、水難者 19·行力:	:-9歳14 52.6394 瓦車・歩 日本
結果の概要		8.2% 14.4% %女子!				各アレ 数 4.1°	, 将, 注	これ、 一体財産 関格30	170.9% 195.6%	178.0% 195.8%	167.0% 196.1%	192.7% 185.1%]87.7%	≅(生後	受診率 2か月8	ķ162件. うち死者	33件、5 20-24歳 高車・自動) ・交通事 表50,831
辞		過去12か月間での症状あり - 瑞嶋10.4%、男子12.3%女子8.2% - 湿疹14.3%、男子14.2%女子14.4% - 鼻炎結膜炎10.7%、男子11.4%女子9.9%				都内の児童施設に通う子供の各アレルギー疾患のり患状況: ・ぜん息 44%、アトピー性皮膚炎 4.1%、食物アレルギー 5.0%、アキコンニモン・ロ48。アレニギー性鼻 % 150、アレ	9.3.9ペン・ノ・ノ・ノ・イー O.4.9ペンクストー 日本名 T.5.9ペンクアイ 日本経験炎 0.6% Perfect Webを示さます。 I.y. 1.4.4 本文 4.4 年 大 4.4 年 大 7.4 m 8.4 を 1.4 で 1.4	品質でプタインプライン があるコイン アジュー語の できた。 植物の創句: ・実物アレルギー68.1%、アトピー柱皮膚炎 66.9%、 ぜん息 41.%、アレルギーキ島が・結構器 3.05%。	、幼稚園、幼稚園	、 幼稚園	、 幼稚園	麻疹 •3歳児:保育所82.5%、幼稚園92.7% 風疹 •3歳児:保育所72.1%、幼稚園85.1%	23か月齢での予防接種状況 ・三種混合1期:1回92.8%、2回87.7%、3回81.8% ・ポリオ:1回92.4%、2回76.8% ・麻しん:81.3%	全国累積BCGワクチン接種率(生後6ヶ月まで:推奨)97,4%	平成77年度 - 市区町村美施の乳幼児健診受診率: 1-2か月85.196、3-5か 月95.696、6-8か月83.796、9-12か月84.2%	平成28本難の発生状況 -牙供(中地上以下):第生件数102件、水難者217人(うち死 者・行方不明者31人): 者・行方不明者31人(うち死者): 中成28山岳道難の第生状況 -20歳末満の山岳道難201人(うち死者・行方不明者4人)	平成28年 ・年前別員衛者数・4歳以下76,33件、5-9歳14239件、10-14歳 146.23件、15-19歳37,969件、20-24歳22,639件 (※各年時間級の自動車・海車・自転車・歩行中・その他の 状態別・原及別データなどあり) ・原付以上運転者の法令違反・交通事故件数: 15歳以下54 件、16-19歳17,222件、20-24歳50,831件
		での症 ^料 男子12:3 男子14:2 男子14:20:7%、見				設に通りています。	**************************************	# 68.19	766.7% 792.3%	176.4% 194.3%	目) 761.3% 790.2%	f82.5% f72.1%	予防接利:1回92:4%、2[3775	6の乳気 が月83.7	発生状(以下):ジョン(スト):ジョン(18数:4歳300 日野 (180 日本) (180 日本
		か月間 0.4%、 4.3%、 岩膜炎1				児童施 3,4.4% 7+1,7		として アンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	保育別	四四 (知 (知 (知 (知 (知 (知 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元 (元	(1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	:保育別:保育別:保育別	齢での 器合1期 1回92 181.3%	表 表 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	年度 7村実施 %、6-87	水難の 中学生 5不明清 山岳連	4 11負傷者 中、15-1 ド齢階級 ・昼夜別 以上運転 19歳17
		過去12 ・瑞鳴1 ・湿疹1 ・鼻炎				都内の ぜん! なる	アデルが、一世年の世界を表現	語談の ・映数7 44.1%	BCG -1歲児 -3歲児	キッタ ・3歳児 ・3歳児	三種混合(11回目) ・1歳児:保育所61.3%、幼稚園67.0% ・3歳児:保育所90.2%、幼稚園96.1%	************************************	23か月 ・三種派 ・ポリオ・麻しん	全国		平成28 ・子供(者・行才 平成28	平成28 ・年齢別 14,6234 (※各生 状態別 ・原付以 件、16-
	社会的健 康								予防接種率				予防接種率	BCGワクチ ン接種率	予防接種、 (母子保健)、乳幼児健康、乳幼児健康、乳幼児健康、妊婦の間に、 病の間に、	体 石 大 難 難・	交通事故
									水 率				水 母	80g 敬	予訪の健児娠衛相会防門(4)、健の生談が	(本) (本) (本) (本) (本)	以
調査項目	精神的健 康																
hind		 (î				1											
	- 一 - 图	アレルギー 症状 ((ISSAC))				アレルギ 疾患											
#4	データ収集方法	問票(護者)				施設調査			質問票 (保護者)				質問票(保護者)	質問票 (自治体)	市 からのの 他 の 数 数	事故統計	事故統計
研究方法	₽	紅色				組			紅兜				紅売	無世	市か告	in	坤
	単光が	横断				横腕			横融				横	横断	類	1	1
	分析対象 者数	1,116				2,089施 設			918				757	4,194			
本 参															4	編	編
茶	年齡	内 被 引 引				売 20−6歳 31	J . 18	a)	所 0-6歳 園				2.4.6歲	が	全 年 響		女 全年 齢
	対象部	姫路市内 の小学校 に通う6歳 児				都内に在する記	保育所、 公権圏	(英)	全保育所 (13園)、 全幼稚園	(R)			2-4-6歳 児(保護 者)	満1歳に 達した小 児	全 国 民	祖	交通事事
サンプリ ング方法 (全数・無		全数 (回 答奉 99.6%)				全数(回 答奉(65,9%)			全数(回 答率 79.1%)				無作為抽 田(対象 者)	作為抽	数		数
福むと							3						张 無 出 を	田 巣	全 教	<u></u> 숙	<u></u> 会
調査実施 地域		中 報 報 報 量				東京都			種子島				愛知県大 府市	₩ 	₩ (H	年	₩ 4H
周期															中	本	走
調香素的		L							_				1	-		1	伸
海無		2005-				2009			2003				2003-	2006	1999-	2007	1
調査実施主体		,				東京都									章 全 一 一 一	测 然 元	数i 欧
		for zema tivitis	g six- lren in apan:	care	Š.				5万 60子 高1報	- 何 語			6種月 6種完	法のシー金素		難の	交通事故の発生状 消況
調査名		Risk factors for wheezing, eczema and rrhinoconjunctivitis	months among six- year-old children in Himeji City, Japan:	rood allergy, older siblings, day-care attendance and parental allergy	5 >	アレルギー疾患に 関する児童施設調 本(声白報)	通		種子島の保育所・ 幼稚園における予 防接種状況 第1報	-予防接裡率調查-			予防接種の接種月 齢,接種順と接種気 了率	改正結核予防法 2005年施行後の全 国BCGワクチン累 諸接籍率調本	地域保健"健康增進事業報告	山岳遭難・水難の 概況	再故の多
			month year C Himeji	sibling attenc	history	アレル関する	K		種子屋 幼稚園 防接程	-40			予 時 本 不 奉	· 改正第 2005年 国BC(1	世 類 説 説	交况通
データの 種類		原著論文				疫学調査			原著論文				原著醫文	原著論文	政府統 計・資料 料	政府統 計・資料	政 計 · 資料
		些				型型							些	些	121年		財 卓
カテゴリ						ı			予防接種				1		T	掛	
ટ્ટ		89				69			02				17	72	73	74	75

				T	lin.	Le d
	¥				(参考) 「一般なり」 「一なり」 「一なり、 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な	田本田本田本語の と と を が で で で で の の の の の の の の の の の の の
布		cao.go <u>.i</u> inseido x.html#	ipnspor /Tabid aspx	publica		
	出典・URL	http://www8.cao.go, p/shoushi/shinseido /outline/index.html# shuukei	nttps://www.ipnspor t.go.jp/anzen/Tabid /822/Default.aspx	nttp://www.itarda.or ip/materials/publica tions.pho	tites//www.npa.go.jp Co.safe.ylfe/lisats uhtml	野津有司ほか: 华校 保健研究44:130-447, 2006.
		http:/// p/shou: /outline shuukei	https t.go.j /822	http://w .jp/mater tions.php	http://publicies/sa	開
DB	母子 その保健 他		-			
	GBD	-			-	-
結果の概要		平成28年第七、重應事故発生件数 ※(内郊工事故件数 生産的55(5)は、1・6歳1(7)件・1歳25(4)件、2歳48(0)件、3歳 85(0)件、4歳(41(0)件・2歳196(0)件、6歳80(2)件 (※施設種類ごとのデータあり)	平成28年度 •死亡專例:82件、障害事例388件(災害共済給付專例)	かび74年 単本者別交通電放件数(第1当事者:当事者のな かで145 (4ん過失が重に人) - 自動車等・6歳以下1人、7-12歳1人、13-15歳7人、16-19歳 - 1617人、20-2歳45454人 - 1617人、20-24歳1501人 - 1617年 - 12歳1の3人、13-15歳1625人、16- 16173人、18-24歳1301人 - 歩行者・20-24歳1301人 - 歩行者・20-24歳1301人	・・・18歳:220人(総人口21,830人) ・・・18歳:2235人(総人口1,890人) ・・・20~28歳:2,235人(総人口1,890人)	・直近7日間での銀食程取: 毎日男子631%・女子646%、 ・岩ンと食べなかつより男子60%・女子42%。 ・危険なダイエッド・7名期間以上の総島 男子18%・女子 1.1%・女子43%。 1.1%・女子43%。「や中東 男子 1.1%・女子43%。「や中東 男子 1.1%・女子43%。「中中東 男子 1.1%・女子43%。「中中東 男子 1.1%・女子43%。「中中東 男子 1.1%・女子43%。 1.19 月 2.9%・女子13%・女子32%。「今日東 第(17本以上) 以上20日)男子180%・女子13%・女子34%。「多日政第(10上) 成五・181月 7.9%・女子13%・女子24%・「多日政第(10上) 東海島 19月 7.9%・女子23%・「小今上於1.5%、「覚せい ・薬物品 用整態「シンナー」男子2.8%・女子1.5%、「覚せい ・性的行動「性交経験」男子28.5%・「小今上於4)。女子0.4% ・性的行動「性交経験」男子28.5%・女子1.5%、「覚せい ・性的行動「性交経験」男子28.5%・女子1.5%、「覚せい ・性的行動「性交経験」男子28.5%・女子1.5%、「質せい ・性的行動「性交経験」男子28.5%・女子1.5%、「可しき 女子0.4% ・性的行動「性交経験」男子28.5%・女子3.9%、「何も選托し ・芸術権、男子4.1%・女子2.9% ・最か行為(直近12か月):男子18.5%・女子3.9%
	社会的健 康	事故(死亡 事故・治療 に要する期 間が 30 日 以上の重 無な事故)	死亡·障害 等例(华校管理下)	交 記事故	山 砂木 単一 数字 第二 数字	内政小曹 (※米国 (※米国 (NESの) (開) 自動
調査項目	精神的健 康					
I	身体的健 排 康					
研究方法	データ収 集方法	田田 無	世 第 本	事故集計 (警察庁 交通局か らののデー タ提供)	田	名 式 就 就
研	母的 イン イン					横断
	分析対象 者数				21.897 (平成28 年自殺者 数)	11,113
対 参本	年齢者		児童・生 徒(学校 管理下)	全年輪	条件 需 2.2 (2.1 (2.1 (2.1 (2.1 (3.1 (4.1) (
	参布		等等等任徒	全国民 (交通事 数) 通事	奉 整 奉	数) (100 順
サンプリ ングカ法 (全数・無 布施・や	6 割	数数	教	教を	黎	高をのか の
調査実施地域		囲	囲	鱼	画 4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
周期		申	盐	申	中	
調査実施時期		2015-(内 角閣府)	-5002	1993-	第 (HP)	5
調査実施調主体		内閣府 20. 周	ロ本ス ポーツ振 関セン ター	大 総 以		7000
11112 EEC				3幅の2	Mic	お実動青倉
調香名		教育・保育施設等 における事故報告 集計について	学校事故事例検索データベース	交通統計	自殺の状況	日本の高校生にお 行うの後行動の製 機がようの第一日本書 別の図第一日本書 2001年の結果—
データの 種類		政府統 計·資料	イーターメーター ベースーメース ボースーン ボーンスン・		で、資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資本・資	女 無郷 郷 医
カテゴリー		rad IPEC	1-1-7 ○ 七常	1-1 / / 宋碑		· 医 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ž		9/	7.7	78	79	8

	1		1	ΔIP .		1	ο	0	1	
	¥			田本 一田本 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日			Youth Youth Survey Project on Alcohol and			
編		(1):313-	:か:学校 5(6): 305.	:か:学校 (2): 308.	:か: 学校); 426-	学校保健 330-	学校保健 10-22,	学校保健 :1,	:か:日本 :誌52 35,	か: 日本 誌51 007.
	出典·URL	高層要用分,等较3 8年1, 2007, 313-3	川畑徹朗ほか:学校 保健研究46(6); 612-627, 2005.	久保元芳ほか:学校 保健研究50(2): 123-136, 2008.	三好美浩 ほか: 学校 保健研究50; 426- 437, 2009.	笠巻純一:学校保健 研究54(4);330- 339, 2012.	三好美浩:学校保健 研究33(1);10-22, 2010.	三好美浩:学校保健 研究22:7-21, 2011.	坂口早苗ほか:日: 公衆衛生雑誌52 (6);477-485,	嶋根卓也ほか: 日本 公衆衛生雑誌51 (12):997-1007, 2004.
	やも田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	呃 型 28	三 硃 2	父保 2	川麻 &	33 事餘	11 臣 8	歩 02	成公(9)	鳴公じの
DB	海大	-	-	_	-	-	_	-	-	-
	GBD		6				₩.			
結果の概要		(7000年度)	・喫煙経験者:小5男子1796、女子1196一高3男子6496、女子3096 *飲酒経験者:小5男子6496、女子4696一高3男子9396、女子 8896 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	・高校生の初回喫煙経験が小学生だった者の割合: 男子 12899。女子1596 ・高校生の初回吹洒経験が小学生だった者の割合: 男子 31.2%・女子28.3%	- 學煙發發 50.4%,1年以内の喫煙144%(男子32.8%。 18.3%,文子19.4%。11.0%, 於習帳數 75.8%,1年以内の飲酒62.8%(男子76.6%。 高4.7%,太子12%。61.2%) · 栗物經版13%,1年以内の經驗0.9%(男子1.8%。1.2%;文 子0.8%。0.6%)	20億未滿的酒。 -「毎日1男子2.9%。女子1.5% -「毎日多艷摂取」1.2%。0.7%	- 生運喫煙: 学生34596, 就労者58096 - 住境以内暖煙: 学生244,50, 就労者42596 - 生態改選: 学生88596, 就労者93596 - 1・年以内飲酒: 学生88.7%。就労者89.9% ※学生よりも就労者の生涯および1年経験軍は、年齢によらず 明らかいこ高い	· 受煙経験53.9%、1年以内の喫煙25.7%(男子45.0%、 33.3%;艾子47.8%。13.8%) · 飲酒裝賣15%。1年以内の改造30.5%(男子91.7%、 91.0%;艾子91.2%。09.8%) · 薬物経験0.7%、1年以内の総験0.8%(男子1.0%、0.7%;女 子0.4%。0.4%)	・喫煙者(現在): 男性33.2%。女性15.0% ・現在禁煙(過去に喫煙): 男性8.2%、女性3.5%	·有機溶剂乱用経瞭:全体1.9%、1年0.6%、2年0.8%、3年2.1%(男子1.9%、女子0.3%)
	社会的健康	終行動 米米国 38の)賃 自日参	自己数力 一部、 一部(一部(一部) 一部(一) 一部(一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一) 一 一 一 一 一 一	喫煙、飲	吸煙、飲 酒、薬物 素物	飲酒行動	喫煙、飲酒	奥庵、 飲 酒、薬物 物	喫煙行動	薬物使用
	精神的健 社康		一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	<u>장</u>			函		函	<u>i</u>
	身体的健康	tor/	ten/	ŝm/	ĝm/	tm*	stan/	lbm/	itm/	ým/
方法	データ収集方法	西部 河源 河源	自記式 問票 式	自記式質 問票 式	自記 調 調 式 可 式 可 式 可 式 式 が が が が が が が が が が が が	自記式質問票	自記式質 問票 式質	自記式質問票	自記式質 問票	自記式 間票 間票
1 43	デ集		₩ 100		- 1111 1111	ш 🚾		<u></u>	ш <u>ш</u>	
研究方法	母究デザーケン 無	海								
	単党デザイン	(本) (横	横	横断	横脱	横	強勝	横断	横断
	分析対象 研究デザ 者数 イン	2,540 横断 (2002 44)、 (2005年)	5,636 横断		44,629 横断	1,211 横断	1,645 横断	672 横断	1,037 横断	2,049 横断
対象者 研究7	会者 年齢 分析対象 研究デザー 名数 イン	日創集 高1-高3 2.540 複断 高等学 (2002 (25校) 2.472 (2005年)	小5一部3 5.636 被断	及(106 部1-高3 11,113 楼断	日豊高 徳1-高3 44,629 養野 学校の 徒(103	18-24 1,211 横断	校卒業 18-22 1.645 横断の青少	18-22 672 機断	学生(5 大学生 1,037 横断)	学校(3 中1-3 2,049 横断)
聖	対象者 年齢 名数 イン イン	全日制期 高1-高3 2.8.00 横断 立高等学 (2502 校(25校) 年7、 (2005年)	小学校 (24岁) - 1/5- 1/63 (接断 (24岁) - 1/63 (16校) (16校) (16校) (16校) (16校) (16校) (4校)	海校(10g 施1-總3 11,113	全日制高 高1-高3 44.629 横断等学校の 生校(103 校)	大学生 18-24 1,211 横断 (10校)	高校卒業 16-22 1.645 横断 後の青少 年	大学生 18-22 672 横断	大学生(5 大学生 1,037 横断 校)	中学校(3 中1-3 2,049 横断 校)
サンブリ ングカ法 (全数・無 (全数・年	対象者 年齢 名数 イン イン	クラス 全日制票 高 1-高3 2-540 横断 今一抽出 立高等学 (2002 (学校:無校(25校) 年)、 作為記述 (2005年)	編作為由 小学校 1/5-高3 5.636 横断 田(全國 (22校) 1/5-高3 5.636 横断 学校総領 中学校 2000年版 (16校) 4 より) 蘭校(26	職化無作 高校(100 高1-高3 11.113 横断	施化無本 全日智能 施1-施3 44,629 装彫 急出出 等学校の (本画学 年度(103 表際製に 校)	その他 大学生 18-24 1.211 横断 (無作為 (10校) 記述なし)	層化2段 高校卒業 18-22 1,645 機断 無作為抽 後の薄少 出(台機) 年	5 日 日 18-25 19-25 4 日 18-25 19	方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無作為 校) 記述なし)	その他 中学校(3 中1-3 2.049 横断 (無作為 校) 記述なし)
サンプリ 関金実施 ング方法 対象者 地域 体数・権	対象者 年齢 名数 イン イン	全日制期 高1-高3 2.8.00 横断 立高等学 (2502 校(25校) 年7、 (2005年)	小学校 (24岁) - 1/5- 1/63 (接断 (24岁) - 1/63 (16校) (16校) (16校) (16校) (16校) (16校) (4校)	海校(10g 施1-總3 11,113	全日制高 高1-高3 44.629 横断等学校の 生校(103 校)	大学生 18-24 1,211 横断 (10校)	高校卒業 16-22 1.645 横断 後の青少 年	層化2段 大学生 18-22 672 横断 無作為曲 出(合織)	方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無作為 校) 記述なし)	中学校(3 中1-3 2,049 横断 校)
サンプリ 対象者 別を実施 ング方法 対象者 間を実施 (全数・無 ため、 本数・	対象者 年齢 名数 イン イン	- 沖縄県 クラス 全日側県 高1 2540 横断 - 加州 立高等学 (学校・無 校(25校) 2472 (学校・無 校(25校) 2472 なし) なし	- 全国 無体を始付 /v学校 - 1/5-高3 5,636 横断 単化全国 (22校) - 1/5-高3 5,636 横断 単枚総第 中学校 - 2000年版 (16校) - 1/5	- 全国 廉化集作 高校(106 高1-高3 11,113 横断	- 全国 履化集件 全日割断 随1-瓶3 44,629 接断 急拍出 等学校の (会国学 生能(103 技能制度 大変) 大変を関う 女の (表現) 大変を (大変を) (大変を	- 本州5府 その他 大学生 16-24 1,211 横断 県 (無作為 (10校)	- 関東地方 層化2段 高校卒業 18-22 1.645 横断 1衛6県 無作為由後の青少 出(台帳) 年	- 関東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 1衛6県 無作為由 出(台嶼)	- 関東地方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無作為 校) (記述なし)	埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2,049 横断 (無作為 校) 記述なし)
サンプリ 調査実施 ング方法 対象者 時期 調査実施 (上数・維 時期 地域 (上数・ 作為・	対象者 年齢 名数 イン イン	クラス 全日制票 高 1-高3 2-540 横断 今一抽出 立高等学 (2002 (学校:無校(25校) 年)、 作為記述 (2005年)	編作為由 小学校 1/5-高3 5.636 横断 田(全國 (22校) 1/5-高3 5.636 横断 学校総領 中学校 2000年版 (16校) 4 より) 蘭校(26	職化無作 高校(100 高1-高3 11.113 横断	施化無本 全日智能 施1-施3 44,629 装彫 急出出 等学校の (本画学 年度(103 表際製に 校)	その他 大学生 18-24 1.211 横断 (無作為 (10校) 記述なし)	層化2段 高校卒業 18-22 1,645 機断 無作為抽 後の薄少 出(台機) 年	5 日 日 18-25 19-25 4 日 18-25 19	- 関東地方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無作為 校) (記述なし)	その他 中学校(3 中1-3 2.049 横断 (無作為 校) 記述なし)
サンプリ 対象者 調査実施 ング方法 対象者 間を実施 (全数・無 たは、 作為・で	対象者 年齢 名数 イン イン	- 2002: - 沖縄県 万ラス 全日制馬 高1-高3 2-540 横断 2005 (学校: 兼校(3502 (学校: 兼校(3502 (2002 (- 2000 全国 無作為抽 小学校 小小-高3 5,636 模断 (14) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15	- 2001 - 全国 優化無作 高校(106 高1-高3 11,113 横断 今日日	全国 原石権木 仲田憲権 施工権3 44,629 接原	- 2005 - 本州5府 その他 大学生 18-24 1.211 横断 乗 (無作為 (10校)	- 2007 - 関東地方層化2段 高校卒業 18-22 1,645 横断 1部0県 無作為抽 後の青少 出(台幟) 年	- 2007 - 國東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 1#6条曲 1#6條 無作為曲 出(台條)	- 2002 - 関東地方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無体為 校) 記述なし)	- 2002 埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2,049 横断 2003 (無作為 校) 記述なし)
サンプリ 調査実施 ング方法 対象者 時期 調査実施 (上数・維 時期 地域 (上数・ 作為・	対象者 年齢 名数 イン イン	- 2002: - 沖縄県 万ラス 全日制馬 高1-高3 2-540 横断 2005 (学校: 兼校(3502 (学校: 兼校(3502 (2002 (- 2000 全国 無作為抽 小学校 小小-高3 5,636 模断 (14) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15	- 2001 - 全国 優化無作 高校(106 高1-高3 11,113 横断 今日日	全国 原石権木 仲田憲権 施工権3 44,629 接原	- 2005 - 本州5府 その他 大学生 18-24 1.211 横断 乗 (無作為 (10校)	- 2007 - 関東地方層化2段 高校卒業 18-22 1,645 横断 1部0県 無作為抽 後の青少 出(台幟) 年	- 2007 - 國東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 1#6条曲 1#6條 無作為曲 出(台條)	- 2002 - 関東地方 その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無体為 校) 記述なし)	- 2002 埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2,049 横断 2003 (無作為 校) 記述なし)
サンプリ 調査実施 調査実施 河外	対象者 年齢 名数 イン イン	文 沖縄県の高校生に - 2002: - 沖縄県 75万 全日制県 南 - 高3 2540 横断 2540を 2005 (学校: 株 校 5 2002年と0 (学校: 株 校 5 2002年と0 (学校: 株 校 5 2002年) (2002年) (2005年)	青少年のセルフエ - 2000 全国 集作為相 小学校 1/15-所3 5,636 横断 ステームと受煙状 2001 出代全国 (24枚)・ 世校総 中学校 2000年版 (16枚2)・ 上り (14枚)・ 大り (14枚	表が国の青少年に 2001 - 全国 摩化無作 節校(106 高1-高3 11,113 横断 おけちゅう (70-7)	- 全国	文 大学生の政通行動 - 2005 - 本州5府 その他 大学生 18-24 1,211 横断 に影響をおたえる	学校から仕事への - 2007 - 関東地方 層化2段 高校卒業 18-22 1.645 横断 移行調 におする18- 1.645 横断 1.486県 無作為由 後の青少 1.646 横断 産生致 1.848の 1.848 (1.648) 年	佐別年齢集団アル- 2007 - 関東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 バイト機能による大 バイト機能による大 中型における映画・ 砂酒・薬物乱用リス 200 下位乗回差 果の下公乗の発 果	大学生の喫煙行動 - 2002 - 関東地方その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無件為 校) - 1,037 横断 (無件為 校) (記念なし)	埼玉県下中学生に - 2002 埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2.049 横断 おける有機溶剤品 2003 (無作為 校) 用に関する研究 部立なし)
	対象者 年齢 名数 イン イン	7 海縄県 クラス 全日制県 高 7 5.40 横断 7 5.40 横断 7 5.40 横断 7 5.40 横断 7 5.50 を 7 5.40 横断 7 5.40 横断 7 5.40 を 7	原着論文 青少年のセルフェ - 全国 無作為由 小学校 1/5-高3 5,636 横断 ステームと映像数 2001 - 全国 無作為由 小学校 1/5-高3 5,636 横断 環境・別議・物別用行動と 2000年版 (16校)・ より) (16校)・ より) (17年)	- 2001 - 全国 優化無作 高校(106 高1-高3 11,113 横断 今日日	全国 原石権木 仲田憲権 施工権3 44,629 接原	- 2005 - 本州5府 その他 大学生 18-24 1.211 横断 乗 (無作為 (10校)	- 2007 - 関東地方層化2段 高校卒業 18-22 1,645 横断 1部0県 無作為抽 後の青少 出(台幟) 年	- 2007 - 國東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 1#6条曲 1#6條 無作為曲 出(台條)	大学生の喫煙行動 - 2002 - 関東地方その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無件為 校) - 1,037 横断 (無件為 校) (記念なし)	- 2002 埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2,049 横断 2003 (無作為 校) 記述なし)
- AO 調査名 調査実施 調査実施 調査実施 (上教・集 主体 時期 開類 指数 (上教・集 市物域 (本教・集	対象者 年齢 名数 イン イン	文 沖縄県の高校生に - 2002: - 沖縄県 75万 全日制県 南 - 高3 2540 横断 2540を 2005 (学校: 株 校 5 2002年と0 (学校: 株 校 5 2002年と0 (学校: 株 校 5 2002年) (2002年) (2005年)	青少年のセルフエ - 2000 全国 集作為相 小学校 1/15-所3 5,636 横断 ステームと受煙状 2001 出代全国 (24枚)・ 世校総 中学校 2000年版 (16枚2)・ 上り (14枚)・ 大り (14枚	表が国の青少年に 2001 - 全国 摩化無作 節校(106 高1-高3 11,113 横断 おけちゅう (70-7)	- 全国	文 大学生の政通行動 - 2005 - 本州5府 その他 大学生 18-24 1,211 横断 に影響をおたえる	学校から仕事への - 2007 - 関東地方 層化2段 高校卒業 18-22 1.645 横断 移行調 におする18- 1.645 横断 1.486県 無作為由 後の青少 1.646 横断 産生致 1.848の 1.848 (1.648) 年	佐別年齢集団アル- 2007 - 関東地方 層化2段 大学生 18-22 672 横断 バイト機能による大 バイト機能による大 中型における映画・ 砂酒・薬物乱用リス 200 下位乗回差 果の下公乗の発 果	大学生の喫煙行動 - 2002 - 関東地方その他 大学生(5 大学生 1,037 横断 (無件為 校) - 1,037 横断 (無件為 校) (記念なし)	埼玉県下中学生に - 2002 埼玉県 その他 中学校(3 中1-3 2.049 横断 おける有機溶剤品 2003 (無作為 校) 用に関する研究 部立なし)

					l	<u> </u>			
	¥					上記と同 で調査			21
羅	出典·URL	大塚敏子ほか: 日本 公衆衛生雑誌57:5; 366-380, 2010.	https://www.npa.go. p/publications/stati stics/vakuzyuu/inde x.html	http://www.mext.go ip/a.menu/fenfo/h oken/1338864.htm	https://survev.gov- online.go.jp/h17/h17 = xak.ubutsu/index.ht ml	川畑僧朗ほか:学校 保健研究49(5): 335-347, 2007.	久野孝子ほか: 日本公安衛生雑誌49(10):1030-1039,2002.	http://wwwjasefale. orip/ligyo/youth.ht m	http://www.jase.faje. or.ip/jigyo/journal/s eikyoiku journal 201 412.pdf
	か も の				-			-	-
DB	(格)	-	-	_		-	-		
	GBD		股 孙	2 ′ ′ H	U H	1	7	ر پ ۲ پ	
結果の概要			市成2・成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	お酒を飲みたいと思ったことがある (イバ) 男子26394女子274866、(1/6) 男子273965、女子273896 (中1) 男子31694女子22896、(中2) 男子36294女子40594、 (中3) 男子3794女子46896。 (高) 男子53694女子59196、(高2) 男子64394女子59496、(高) 男子53694女子69196、(高2) 男子64394女子59196、(高3) 男子51396女子59196、(1/6) 男子64394女子59386、(1/6) 男子64394女子59386、(1/6) 男子6496女子4896、(1/6) 男子896女子4896、(1/6) 男子1896女子4896、(南2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子12996女子6696、(高2) 男子142996女子6696、(高2) 男子142996女子6696。(高2) 男子142994女子6696	1	・性交経験者は学年ととも1.上昇:中1男子1,6%・女子1,7%・ 高3男子348%・女子388%	・最近 年間の任文系線。 男子80.3%、女子48.2% 「いつも遊妊(重近 年で性交経線あり) 男子50.8%、女子 82.9%、大学20.19、女子68.1%、女子68.1% ・「緒中と遊妊について配合する。」男子70.1%、女子68.1% ・「選集員を自分で入手することができる。男子97.4%、女子 57.1% 男子40.6%、女子64.3%	2011年調査 性支の秘拠あり、高校男子14896女子22.596、大学男子 53.796女子46.096 53.796女子46.096 る」: 高校別子62.7964、大学男子67.396女子76.196 る」: 高校別子62.7964、大学男子67.396女子76.196 女子53.796、大学男子70.796女子74.506 :電車などで身体をさわられた経験(ある」: 中学男子11.796女子 776、高校別子72.09女子74.187。 で、高校別子74.806女子74.806女子74.196女子36.796 ・望まない性的な行為をさせられた経験(ある」: 中学男子1.96女子36.796 ・望まない性的な行為をさせられた経験(ある): 中学男子1.96女子36.796 ・望まない性的な行為をさせられた。大学男子2.196女子36.996	2016年調查 性交頭生の独子25.7%女子10.9% - 清校生の性交「否定的見解」: 高校男子15.8%女子21.8% - 性交経験「なし」: 高校男子83.1%女子86.3%
	社会的健 康	喫煙行動	薬物、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	脳・たばに・ を を を を を を を を を を を が が が が が が が が	薬物に対する認識 る認識	性行動	性に関する 態度	性行動、性 的被害 注	性行動
調査項目	精神的健 康								
	身体的健 康								
研究方法		自記式質問票	犯罪統計	自 記 記 式 説	個別面接	自記式質 問票 式質	自記式 開票 開票 計算	自 記 記 式 式	自 問 悪 関 変
臣	母 が イン	横断		横断	横	横断	横跳	横)	横
	分析対象 者数	747	1	74,950	2,623	4,367	710	7,640 (2011年 (2011年 (4件 (2014年) (2014年) (2578年) 大学生 大学生 (2588名)	6,882(小 华生1050 人、中华 生2640 人、高校 上3192 人:2013 年調査)
松	年齡	<u>+</u> —	全 中 中	//5-高3	15歳以上	巾 梔	18-23歲	中大 李 中 中 中	小1-1-3
- 116	松祭	高校(4 校)	器 事犯 新	等。 等等	15歳以上 の者	中华校(16校)・ 高校(26 校)	大学	中中 (11枚)、 (11枚)、 (11枚) (11枚) (11枚)	小学生、 中学生、) 高校生
サンプリングカボ (全数・無格・・・・	86	その他 (無作為 記述なし)	徴	圏化 動力 を を を を を を を を を を を を を	層化二段 無作為苗 比決 為苗	無作為抽 出(全国 学校総覧 2000年版 より)	その他 (無作為 記述なし)	圖化 (哈爾 (哈爾	その他 (無作為 記述なし)
調本実施		近畿3府 県	年	画	全	<u></u>	殿 印 記	祖 徳 	東京中
周期		1	伸	1		1	1	約6年ごと	3年ごと
調査実施時期		2007-	- - - - -	2012	5006	2001	5000	2011	1981-
調査実施主体	_		额 完 完	文治 神 本本	内閣府		1	日教財本協 本育団性会 児振内教 童興日情	東京 雅 本 中 ・ の の の の の の の の の の の の の
調查名		7 高校生の将来喫煙・ のリスクからみた特 徴の分析 喫煙防 止教育の検討に向	薬物・銃器情勢	同館生徒の瀬等等 「アダイの機器等記 神の整版 の登版	薬物乱用対策に関する世論調査する世論調査	中・高校生の性行動の実態とその関連要因ーセルフェスティームを含む心理社会を対してからなった。	大学生の性に関する際を自己同一を態度と自己同一との関連との関連	「若者の性」白書- 第7回 青少年の性 行動全国調査報告	児童生徒の性に関 する調査報告
データの 種類		原著論文	政府統 計・資料	政府 計·資料 準	政府統計·資料	原著論文	高 書 文	夜 開	夜学調
カテゴリー						性行動			
ટ્ટ		06	91	95	93	94	92	96	97

	Т	Π	1	I		~が廃げ	I			T	$\overline{}$
	¥	機関紙(有料)				「少年の 補導及び 保護の概 況」の再 集計	e-Stat	e-Stat	e-Stat		
羅	出典·URL	http://www.jfpa.or.jp /sp/	https://www.npa.go.j p/publications/stati stics/safetylife/ious ei.html	http://www.npa.go.jp /publications/statist ics/sousa/vear.html	https://www.npa.go.j p/publications/stati stics/safetylife/syo nen.html	https://www.npa.go.j p/publications/stati stics/safetylife/svo nen.html	http://www.moi.go.ip /housei/toukei/touk ei ichiran shonen- kyosei.html		http://www.mext.go. ip/sports/b menu/t oukei/chousa04/tair yoku/1388148.htm	管野貴浩ほか:小児 保健研究72(2);253 - 260, 2013.	春木敏ほか:日本公 衆衛生雑誌52(3); 235-245, 2005.
	やも	-		-		-			-		
DB	被 化 格 位		-		=		-	_	_		-
	GBD			穩		154	馬馬馬	4 +	v4	de é	
特果の概要			り年(14-10年) - 中夜28年検挙人員:31985(人ロ干人当たり44人) 少年検索(18歳以下)の状況 - 平成28年認知件数:131,148件(人ロ干人当たり60件)	北京28年少年で14世間 (3.15年末・五瀬楽場際へ) ・14歳5.084年、13歳6.0874年、13歳6.5874年、17歳5.2214年、18歳 4.885年、19歳1.1974年(18歳6.8874年、17歳5.2214年、18歳 7.85年前91、14月、18年3月、18年3月、18年3月 ・東京28年前第一人員(8.587年、23歳支通院へ) 東京28年前第一人員(8.587年、10歳7024年、11歳857年、12歳 1.5714年、13歳3.734年 (※各年前別・性別・罪種別件数の記載あり)	- 東京28年後来人員 - 薬物制用・漢階剤138、大麻210、麻薬14、シンナー13 - 非行義回(最先後7311 - 北大約(最近80(様害者数918) - いじかしに四260(株害者数918) - 不良行為256.42の - 家庭内暴力2.676	平成28年 ・児童権務当生人員54,227件(身体的虐待11.165、性的虐待 251、境優・招否5628。心理的虐待37.183) ・児童買春検挙件数2,371件(児童買春808、淫行させる行為 257、みだらな住行為等1,305)	(1945年(自770年(自770年)) (1988) (1988) (1988) (1988) (1988) (1988) (1988) (1988) 明明 中央で名の人、(1988) 明子(1986) 女子(1988) 明子(1986) 女子(1988) 明子(1986) 女子(1988) 明子(1980) 女子(1988) 明子(1980) 女子(1988) 明子(1988) 明子(1982) (1988	・ 押尼24年 ・ 小・市・高等学校における最为行為の発生件数は59.457件 ・ (児童生権 1000 人 当たりの発生件数は44件 ・ い・中・海(等学校 2人 6 時間 女 長 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	学 花の4年 現場 優 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 -	本學與某業時上的月前53.9%。2为月前第3.9%。2为月前 4.77%。4.分月解7.1%。5分月解7.1%。6.为月解7.3%。6.为月解7.9% -混合来囊丹. 1为月解52.3%。2.为月解4.5%。3.为月解 4.4分月解20.3%。5.为月解20.3%。6.为月解20.8%。6. -人工来囊坝: 1为月脂8.0%。2.为月脂1.8%。3.为月脂1.8%。4. 4.为月解22.0%。5.为月脂1.8%。3.为月脂1.8%。4.	·朝食を毎日食べる: 男子78.3%、女子70.2% ·朝の食欲「あまりない」: 男子18.5%、女子22.7%
	社会的健 康	性行動	少年犯罪、 犯罪被害	犯罪(刑法 犯、交通犯 罪、その 他)	少年非行	少年非行、 児童虐待、 性的被害	少年 野・少年 で の を を を を の の の の の の の の の の の の の の	職い にない、 にいる、 田、ない、 田、なり、 田、本、 本、 は、 本、 本、 本、 本、 本、 本、 本、 本、 本、 本	*	哺乳状況	朝食摂取 行動
調査項目	精神的健 康										
	身体的健 康										
研究方法	データ収集方法	自記式 間票 運搬	犯罪統計	犯罪統計	犯罪統計	犯罪統計	矯正統計	體) 作 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	調・動・大の運による運に	質問 (間き取 リ)	自記式質問票
进	母究デザ イン	横断	1		1			横断	横節	横	横断
	分析対象 者数	1,263 (2016年)		1	1			ı	64,607 (小学生 13,530, 中学生 8,460, 高 校生 8,911, 專 門·大学	33,642	196
松	年齡	16-49歳	全年齡	全年齢	20歲未滿	20歲未滿	14歳以上	小学生- 高校生	6-79歳	生後6か 月まで	1/15
	黎	荀16∼49 夏の男女		+	_			7. Infr	ф	生月	₹
プ方とり法無そ	长	烘堰	刑法犯	犯罪統計	少年(20 無 計)	少年(20 無未満)	少年(14 歳以上)	国小中羲学等中学別校公学学務校学等校支 政学学務校学等校支 科校校教育校教院校 立、、育高、育特学	小学生-成人	乳児(出 生体重 2500g以 上)	小学5年 生(2校)
サンプリ ング方法 (全数・無 布替・オ	(美)	層化二段 選1 無作為苗 歳0 日	全数 刑法犯	全数 犯罪統計	全数 少年(20 競未満)	全数 少年(20 歳未満)	全数 少年(14歳以上)	数数 国小中籍学等中学別校 国小中籍学等中学別校 人学学教校学等校文 內教教 法政 石江、有高、有特学	- H	その他 乳児(出 無作為 生体重 記述なし) 2500g以 上)	その他 小学5年 (無作為 生(2校) 記述なし)
サン 調査実施 ングン 地域 企数	(単6	烘堰	展			2) 1版		极 国一十 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	小学生-成人	全国 その他 乳児(出 (無作為 生体重 記述なし) 2500g以 上)	その他 小学5年 (無作為 生(2校) 記述なし)
サン 調査実施 ングン 周期 調査実施(全数 地域(全数	(到6)	層化二段 消無作為 無作為 田	全国全	国 4	国 国 会 教	本 本 本 本 本 本 本 本	年 国 全 登	後 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	全国 無作為掛 小祿生 出 (学校- 成人 個人)	全国 その他 乳児(出 (無作為 生体重 記述なし) 2500g以 上)	小学5年 生(2校)
調査実施 調査実施 調査実施時期		2002- 2年ごと 全国 層化二段 海 海 海 海 海 地 海 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩	国 全 数	성 황	선 청	後 後 之 禮	- 毎年 - 全国 - 全数	(HP) 梅年 全国 全教 一部分式 一部 一部 在 一部 在 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	無作為抽 小学生— 出 (学校・成人 個人)	2006- (1972年 全国 その他 乳炉(出 2007 から全12 (無作為 生体重 (無作為 生体重 高売なし)上)	その他 小学5年 (無作為 生(2校) 記述なし)
周期調査実施地域		2002- 2年ごと 全国 層化二段 海 海 海 海 海 地 海 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩 岩	- 毎年 全国 全数 用	(本)	警察庁 1985- 梅年 全国 全数	警察庁 2016- 毎年 全国 全数 (HP)	法務省 2006- 每年 全国 全数	全部科学 (NP) - 毎年 全国 全数 国金 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	- 66年 全国 無作為抽 小学生	(1972年 全国 その他 乳児(出 から全12 回奏節) 部がなし7500k以 上)	- 大阪府北 その他 小学5年 部 (無作為 生(2校) 記述ない)
査実施 調査実施 周期 調査実施 主体 時期 地域 地域		男女の生活と意識 日本家族 2002- 2年こと 全国 層化二段 湯に関する調査 計画協会 研究セン 日本の 世代 日本の 日本の 日本	2004- 毎年 全国 全数 刑 (HP)	2000- 毎年 全国 全数 (HP)	警察庁 1985- 梅年 全国 全数	警察庁 2016- 毎年 全国 全数 (HP)	法務省 2006- 每年 全国 全数	全部科学 (NP) - 毎年 全国 全数 国金 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	スポーツ 1964- 毎年 全国 無作為抽 小学生	明治乳素 2006— (1912年 全国 その他 乳原 出 2007 から全 12 (無作為 生体電 高光がよし、2500k以上)	小学生の朝食摂取 2001 大阪府北 その他 小学5年 所 (指来) 生(2K) 行動の関連製因 高端ない。
調査実施 調査実施 調査実施 主体 時期 調査実施		生活と意識 日本家族 2002- 2年ごと 全国 層化二段 湯 5調査 計画協会 無作為由 用作為由 カッカン カー	犯罪情勢 階級庁 2004- 毎年 全国 全数 形 (HP)	年間の犯罪 警察庁 2000- 毎年 全国 全数 (HP)	少年の補導及び保 警察庁 1985 毎年 全国 全数 健の概況	存統 平成26年における 警察庁 2016- 毎年 全国 全数 り 分乗・ (HP) (HP) (HP) (HP) 特及以帰置の性的 特及以帰還の性的 特取等の状況につ	少年矯正統計調查 法務省 2006- 毎年 全国 全数			楽薬法別によた型、明治乳薬 2006- (1972年 全国 その他 乳児(出 10の発育 解乳量 便性ならびに離する調査 原間に関する調査 成績のに関する調査 成績(第11般)	小学生の朝食摂取 2001 大阪府北 その他 小学5年 所 (指来) 生(2K) 行動の関連製因 高端ない。
- 今の 調査条施 調査実施 調査実施 種類 調査を 種類 調査実施 開期 調査実施 地域		学調査 男女の生活と意識 日本家族 2002- 2年ごと 全国 層化二段 深に関する調査 計画協会 開催的会 研究セン - 2年ごと 全国 層化当由 調	勝戦庁 2004- 毎年 全国 全数 漫	警察庁 2000- 毎年 全国 全数 (HP)	少年の補導及び保 警察庁 1985 毎年 全国 全数 護の概況	平成28年における 警察庁 2016- 毎年 全国 全数 J 少年非庁 (Jan 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	少年矯正統計調查 法務省 2006- 毎年 全国 全数	原本性の問題行文部科学 2002-	スポーツ 1964- 毎年 全国 無作為抽 小学生	明治乳素 2006— (1912年 全国 その他 乳原 出 2007 から全 12 (無作為 生体電 高光がよし、2500k以上)	- 2001 - 大阪府北 その地 小学5年 部 (無作為 生(2校) 記述なし)

		l III					ı		1		1
	¥	富山スタ ディ(出生 コホート)			e-Stat	e-Stat					
編		が: 日本 雑誌 108 -1494,	母性衛生-453,	522-	go/vww.mhlw.go. tookei/fitran/gaiv k-eisei.html	st/83-	w.jpnspor nn/anzen sakekka/ Default.a	w.ipnspor in/anzen sakekka/ Default.a	3: 学校保 5) ;403-	(か:小児 2(1);81-	:か:小児 3(5): 004.
	出典・URL	德村光昭ほか: 日本 小児科学会雑誌 108 2004.	土取洋子:母性衛生 45(4);445-453, 2005.	美甘祥子ほか:母性 衛生53/4:522- 529, 2013.	http://www.m ip/toukei/itira o/k-eisei.html	http://www.mhlw <u>.go.</u> ip/toukei/list/83_ i.html	https://www.jpnspor t_go.jp/anzen/anzen school/tyosakekka/ tabid/534/Defauft.a spx	https://www.jpnspor t.go.jp/anzen/anzen school/tyosakekka/ tabid/534/Default.a spx	石井好二郎:学校保健研究44(5);403-415, 2002.	光岡攝子(まか:小児 保健研究62(1):81-87, 2003.	服部伸一ほか:小児保健研究63(5); 516-523, 2004.
	やも	徳子 ○ 2	□ 4 0	柳 統 10		피개티	<u>로</u> 타이라이	드나이다이	₩ 6 4	¥7 #7 #0	E 办 C
DB	GBD 保健	-	-	-	-	_	_	-	_	_	-
結果の概要		夏文度:3個表1386(男子1386女子26 696),小1時81 199 792 096女子11746,714時71096(男子6 896女子7.196), 時12.796(男子11.396女子14.096)	・母乳育児・温解時51096、1か月48096、3か月41,196、6か月 33.4%、(歳23.9%) ・食物アレルギーの診断: 10.9%	115.0%	1 平成22年開発者 20代女性のやせの者の割合は 20.7% 20代女性のやせの者の割合は 20.7% 21.8% 23.1% 生活習慣病のリスク高める多量飲酒:20代男性6.7%、女性 23.8% 習慣的喫煙:20代男性30.7%、女性6.3%	エスト用申請有 中型7年開発 ・母乳栄養の割合増加傾向(生後1か月 51.3%、生後3か月 54.7%) ・調食を必ず食べる子ともの割合93.3% ・食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたことがある 子ともの割合148%(うち11.2%は医療機関を未受診)	・東京27年度顕著・1/学生1596中学生2896 ・観査の表記・開発1/学生15396中学生233796。「夕食」小学 ・記章の状況・開発1/学生15396中学生33796。「夕食」小学 生22956中学生2650 開放なかなおきられず、午前中身体の調子が悪い」:小学生 15196中学生26796。1/小学生36.596中学生41.796	平成22年度調査 - 朝食文章:(小3)03%、(小5)0.5%、(中2)1.6% - 夕食文章:(小3)0.4%、(小5)0.4%、(中2)1.09。	・低体温(38度未満)の割合:小学生145名(13.3%)、中学生45名(9.9%)、高校生39名(17.1%)	・資事「弱度を食べない!! 98、「偏食が多い!198%、「インスインスインと、自己をして大(利用する!! 99%」「清涼飲料水上(飲む(1日1本以上)!! 149。 ・睡眠:「寝起きが悪い!!12%、「22時以降就襲.1144% ・于レビ視聴:「日2時間以上.128、95、(うち3時間以上49%)	・テレビ視聴時間:「1時間未満」12.4%。「2時間未満」13.8%。 3時間未満」13.3%。「3時間以上」8.8%。 就要時間「9時まで」14.7%。「10時まで」62.5%。「10時以降」 22.8% 報食「時々欠食」5.9% ・請港:「便後・下痢」こなりがち」14.0%。
		· 弱春文度 :3個年278-984 中1時12.796 (男子11.796)、1/4時10950 中1時12.796 (男子11.396女子14,095)	·母乳育児:退院時5 33.4%、1歳23.9% ・食物アレルギーの	↑20-24歳「やせ体型」15.0%		※二次利用申請有 平成27年調査 ・母乳栄養の割合増 54.7%) ・朝を必ず食べる・ ・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	平成22年度調査 ・朝食欠食率: 小学会・孤食の状況: 「朝食 生2.2%中学生6.0% ・「朝なかなか起きら、「朝なかなか起きら15.1%。 ・「イライラする]::ハ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成22年度調査 ・朝食欠食:(小3)0.3 ・夕食欠食:(小3)0.4	·低体温(36度未満) 名(9.9%)、高校生3	・食事:「朝食を食べな」 タント食品を家庭でよく (1日1本以上)1114% ・睡眠:「寝起きが悪い ・テレビ視聴:「1日2時	・テレビ視聴時間:「1時間未満]12,4% 「3時間未満]35,3%、「3時間以上,18.5 2.就獎時間:「9時まで」14,7%、「10時ま 2.8%。 ・調食: 時々欠食」5.9% ・排泄:「便秘・下痢になりがち」14,0%
	社会的健 康	朝食摂取行動	授乳方法	秦 财	栄養摂取 状況、生活 留價、與 陸・飲酒	栄養法、生 活習慣 生	生活習慣、食生活食生活	食事状況		田 新 田	生活習慣
調查項目	精神的健 康										
	身体的健 康				身体状况 (身長·体 重·血压· 血液檢查)	問述、田 圏、(((体)) ((((((((((((((((((((((((((((((((低体温		
研究方法	データ収 集方法	資 (本人本) (本本) (本 (本)	質問票 (保護者)	自記式質 問票 間	査ち量5~ とり慣	G.	質 (本人本) (本人本) (本) (本) (本)	(本) (本) (本人本) (本) (本) (本) (本) (本)	体温测定	質問票 (保護者)	質問票 (保護者)
	年 カン イン	鏡跡	横	横		横断	横)	瀬	横断	横	横
	分析対象 者数	9,426(3 歳時)、 9,472(小 1時)、 8,252(小 4時)、 8,098(中 1時)	700	518	* 918,000	3,871 (2015年)	10,361 (小学生 5,433、中学生 4,928)	4,662 (小 3:1,610 人、小5: 1,592人、 中2: 1,460人)	1,774	468	459
对 黎	年齡	3歲、小1· 4、中1	3號	20-30 (小5、中2	小3、小 5、中2	小4-高3	4-5歳	3-2發
	łΧ	平成元年の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	岡山県下2市2町1村の3歳児健診受児健診受験	間 か い い い か か か か か か か か か か か か か か か	本 国 ・ 単 ・ 単 ・ 単 ・ 単 単 単 単 ・ 単 単 単 は は は は は	全国の6 歳未満児 (2015年 調査)	小5、中2 (保護者、 学級担 任)		小学生か ら高校生 の男子	幼稚園児	公立保育 所(4國)、 公立幼稚 園(5園)
+ 100	9年	全数 (フォ コーアッ 児 率:3歳 児 90.2%、 小1時 90.6%、 小4時 カ4時 中1時	その他 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)	層化無作為抽出	層化無作 為抽出 為抽出	層化 抽出 (学校:無 作為記述 なし)	画化苗田 (学校:無 布参記消 なし)	その他 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)
調査実施地域		富山県	当田田	HI 산H	軍	囲 4	테	囲	北海道、 大阪府、 東東県	高 中 中 中 日 記 記 記 記	账 口 囮
周期		1	ı	ı	毎年	10年ごと	不定期	不定期	1	ı	1
調査実施時期		1992– 2002	2002– 2003	2010	1945–	1985-	-0000-	2002-	2000	2000	2003
調査実施 主体		1			a 省 省	軍生労働 省	日 光 黒 タ 本 一 ト フ ト ー ボ 浜	ロ ト ド ト グ ト グ ト が し が し が し が し が し が し が し が し が し が	1		1
調查名		朝食欠食と小児肥満の関係	乳児の授乳方法と離乳期の栄養に関する調査研究3歳月の母親を対象として	妊娠前の20~30歳 代就労女性の食習 慣、やせに関する知 識、価値観の実態: やせ体型群と普通 体型群の比較	国民健康·栄養調査	乳幼児栄養調査	児童生徒の食事状 況等調査[食生活 実態調査]	児童生徒の食事状 況等調査【食事状 況調查】	Io.	「幼児用疲労症状 調査」からみた幼児 の疲労と日常生活 状況との関連	テレビ視聴時間の 長短が幼児の生活 習慣に及ぼす影響
データの 種類		原著論文	原蕃論文		政府統 計·資料	政府統計・資料	政 を が が 対 が	政府統計·資料	原著論文	原著論文	原著論文
カテゴリー									生活習慣• Well-being		
ટ		108	109	110	111	112	113	114	115	116	117

	T			TuV	ı	1		
	¥			静岡県 「子ども の生活実 態調査」			e-Stat	
羅	出典·URL	佐藤ゆきほか: 小児 保健研究72(6); 868-874, 2013.	後側山公適信か: 日本 後標町全種誌53(7): 471-478, 2006.	中村美脉子ほか:日本公衆衛生雑誌57:10:881-890,2010.	中山直子(まか: 日本 公衆衛生雑誌58/8; 595-605, 2011.	加納亜紀ほか: 日本小児科学会雑誌108 (11):1391-1397, 2004.	http://www.milw.go. ip/to.kei/list/72— 16.html	http://www.mext.go. ip/b menu/toukei/0 01/1351138.htm
	49						-	
DB	GBD 保健	-	-	-	-	-	-	-
機・強・強・	<u> 15</u>	・偏食傾向:「あり」35.4%、「なし」55.5%、「わからない」11.1%		7. 7. 4946 向門 学校に示きたではたしばしばあじる」: 小学生男子 1.1.4945 年 98% 中学生男子 12.1945 子 19.696。高校生男子 7.5.5.9945 子 2.5.5.996、高校生男子 7.7.9545 子 4.3.596 中学生男子 8.7.955 子 2.0.896、高校生男子 7.7.954 子 4.3.596 子 4.3.596 子 4.3.596 子 4.3.596 子 5.5.496 子 1.4.296、高校生男子 8.5.95 子 2.5.596 女子 2.5.506	・子どもの主観的健康:「悪い」小学生3.3%、中学生7.89%。 表生13.9% ・親からみた子どもの健康:「悪い」小学生1.4%、中学生1.4%、 高校生3.0%	・発誘運れ、全体の43% (45/1036)	(※ 次型 利用申請者	- 朝食を食べない、38%(男子35%、女子4.1%) ・女を食べない、10.1%(男子90%、女子0.2%) ・母親しの会話「キったくしない」48%(男子74%、女子25%) ・父親との会話「キったくしない」16.3%(男子74%、女子25%) ・家庭での会勤喫煙あり、27.3%(男子4.7%、女子30.8%) ・得来の結婚「精婚したくない」、57%(男子4.7%、女子6.8%) ・得来の結婚「精婚したくない」、57%(男子4.7%、女子6.8%) ・得来で結婚「香港したくない」、57%(男子4.7%、女子6.8%) 「協みや不安は特付ごない」、15.0%(男子54.1%、女子6.8%)
	社会的健 康	偏食		不 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	well-being	発達(発語 遅れ)	生活習慣、 well-being	生活習慣、 自分の意 識・悩み・ 不安
調查項目	精神的健 康		精神的自 党症状 (CMI)					
	身体的健康		海体的自 线症状 (CMI)					
研究方法	データ収集	質問票 (保護者)	自	質問票 (本人・保護者)	質問票 (本人・ (本人・ (本本)	質問票 (保護者)	適 問 (本人・ (本人・ (本人・ (本人・ (本人・ (本人・ (本人・ (本人・	質問票 (本人·保護者)
臣	研究デザ イン	横断	横断	横	横	横断	横断	横
	分析対象 者数	1,001		2.984(小 学生)、 958(中学 生)、 1.392(高 校生)(小 様生の保 護者987	2,588(小 4年上)、 3,276(中 4年上)、 3,007(高 校生)(保 職者	1,057	1,369(保 陸者用調 至票) 1,088(児 票):2009 年調章	976
对 黎 击	年齡	4歲	<u>+</u>	//2-4-6、 中1、画1 ー	小4、 1、呃 1	穩	8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	恒
	科	4歳児(追 跡調査の 対象者)	公立中学 校 (29校)	大 校 生 信 校小 女 生 信 校(及 及 分 年 () 分 年 () 年 () 年 () 年 () 年 () 年 ()	小手件 (61枚)、 日平年 (33枚)、 (16枚)	面面 一面 の 1 機 に で で で で で で で の り を に で の り に で に で に で に に に で に に に に に に に に に	全線児	全 国の 7 1 年 4 1 年 生
サンプリングカカボ (全数・無信を)	1000年	その他 (無作為 記述なし)	田(学校)田(学校)	層化曲田(小校) (本校) (本校) (本校) (本では) (は) (は)	その他 (金公立 学校)	全数 (回 坂奉 73.4%)	層 化 無 作 為 苗 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	層化二段 無作為抽 出法(侍 民基本合 帳)
調査実施地域		北海道、 東京都、 大阪府、 兵庫県、 岡山県		静岡県	首都國(1 自治体)	岡山市、 倉敷市	囲	囲 4H
開期		1					5年ごと	
調査実施時期		5009		2003	2007	2003	-6661	2014
調査実施主体				東田県			一	文 治 部 本 本
調產名		- 4歳児の生活習慣と 食欲.偏食との関連	と生活習慣に関す と生活習慣に関す る研究	不登校傾向と自覚 症状、生活習慣関 連要員ともの関連 諸四県子ともの生 活実態調査データ を用いた検討	首都圏における児 - 童生徒の Well- Being と保護者の認 識との関連と構造	テレビ・ビデオの長時間視聴が幼児の 言語発達に及ぼす 影響	全 の の の の の の の の の の の の の	家庭や学校におけ る生活や意識等に 関する調査
データの 種類		原著論文	順繼 衛	原著譜文		京 者 章	禁府设 华 举	政府統 計·資料
カテゴリー								
2		118	119	120	121	122	123	124

	Г	ı	1		T	
華	出典・URL メモ	http://www8.cao.goj o/outh/kenkru/wo ideouth8/html/mok uil.html	http://www8.coo.go.j o/xouth/kenkvu/ishi ki/h28/pdf— index.html	thttp://www8.cao.goi //www.ktri //www.ftri/wenkyu/thi f.indox.html	http://www8.cso.goj	http://www8.cao.goj
DB	保健 他 は		-		-	
機能の機能		・家産生活 (不満」:12.3%(18-19歳12.7%、20-22歳12.5%、 23-24歳 11.7%) 23-24歳 11.7%) 23-24歳 12.8% (18-19歳13.0%、20-22歳13.1%、 23-24歳 16.2%) 16.3%、23-24歳201.9%) 16.3%、23-24歳201.9% 16.3%、23-24歳20.9%) 16.4%、23-24歳20.9%)	- ウウル主 方 次表でしていたい。 - 15-14歳: 男子 81996-女子 21.196 - 20-24歳: 男子 31.896-女子 27.596 - 15-19歳: 男子 31.996-女子 31.96 - 15-19歳: 男子 54.296-女子 59.596 - 20-24歳: 男子 54.296-女子 51.196	・ 変験 一等校本に 1/6(月71) 1/10学生 1/19(月71996女子 2017年) 「変験で入しゃべりすること「ない」、「小学生 1/19(月子1996女子 2494)」 「子0.99() 中华生 1/19(月子1096女子 2494)」 「子0.99() 中华生 1/29(月子2096女子 1/386)」 「中华 1/29(月子2096女子 1/386)」 「中华 1/29(月子2096女子 1/386)」 「中华 1/29(月子2096女子 1/396)中华生 1/29(月子2096女子 1/396)中华生 1/29(月子2096女子 1/396)中华生 1/29(月子2096 1/396) 「中华生 1/29(月子2096)」 「本学 1/29(日本学 1/29)。 「本学 1/29)。 「中学 1/29)。	生活習慣 地間はかんをなない14996 ・園みがき作足んとしない0.9996 ・一島から健康状態「悪い5.396 ・この1週間の心の状態「人なって寂しい」16.296 ・学校にいる時間「東くない19.996 ・実庭生活 あたたかい雰囲気ではない19.096 ・実魔生活 あたたかい雰囲気ではない19.096 ・実魔との会話「まったくしない」11.099 最もし向き 最もし向き	1-07 年間の価廉が期(第1.7) 1-07 成 別性 1.66、女性 1.16。 1-18-20歳 別性 1.76。女性 2.09。 2-1-23歳 別性 1.76。女性 2.00。 2-1-23歳 別性 1.59。女性 1.09。 1-1-7.2歳 男性 1.59。女性 15.09。 1-1-7.2歳 男性 1.99。女性 15.09。 1-1-23歳 男性 1.99。女性 15.09。 1-1-23歳 別性 1.99。女性 18.09。 1-1-23歳 別性 1.99。女性 1.99。 1-1-23歳 別性 1.99。女性 1.99。 1-1-23歳 別性 1.99。女性 1.80。 1-1-23歳 別性 1.99。女性 1.80。 1-1-23歳 別性 1.90。女性 1.80。
	社会的健 康	寒度·华枝 第 ※、人生 在	生活の満 足度	www を を を を を を を に に に に に に に に に に に に に	無 保証・ 保証・ 保証・ 保証・ 保証・ 保証・ 保証・ 保証	体 動 動 動 事 事 本 大 大 大
調査項目	精神的健 康	Subs. (State). Address.		TO NOT See PAIL	(1) 使 励 ない コ	an et e vi
1,002	体的健					
	データ収 身集方法 康	国票 式質 国票 工質	自記式 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可		質問 無過 過過 美國 美人 大人 類 中央 人名 人 大人 大人 大人 大人 人 人	國 報 国 国 報 国 国 国 報 国 国 国 国 国 国 国 国 国
研究方法	単名デザイン	横断	横断	通過	横断	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	分析対象 者数	080'1	6,636	1,409(小 华华生743 在人661人学 (保護者 2,487人)	3.192 (保護者 3.197人)	(4,091 (現
対象者	年齡	18-24歳	15-29歳	9-14機	1 3	15-29歳
	女 参		↑ # #	는 시 마 하	中中3年	事少年
サンプリ ングカ法 (全数・無 布施・そ	6 (全	層化二段 無作為出 比 活 出	爾 心 神 神 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	編	羅 無 五 子 本 教 中 の 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	層無出 化性法 三 日本 日本
調査実施地域		在	仲	回 4H	囲 供	ख्य वस
施周期		ま 事 5	1		1	1
t施 調査実施 時期		2002	2016	2013	2011	5002
調査実施主体		内 腰 保	内 翻 在	在 医 医 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图	内 品	内 路
調査名		世界青年意識調査	子供・若者の意識に関する調査	小学生・中学生の 意識に関する調査	親と子の生活物質に図する調酔のできる。	連少年の社会的自 立に関する意識調 合
- データの 種類		政府統 計·資料	政府統 資準	稳在设 整 类	政府統 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	据 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
カテゴリー						
ž		125	126	127	128	129

					e-Stat	十・ 本 が が が や な の の の の の の の の の の の の の	子ども・ 子育て女 援に関す るニーズ	e-Stat
舞	出典·URL	http://www8.cao.goj p/vouth/kenkvu/tei nenrei2/zenbur/ind ex.html	http://www8.cao.goj p/youth/kenkyu/sej katu2/pdf/0-1.html	http://www8ceo.goj	http://www.stat.go.j e p./data/shakai/2016 /index.htm	http://wwwfakushih j joho soshiki.svoush joho joho soshiki.svoush joho soshiki.svoush joho kudomo sikatsiittai yyousakekka html	http://www.city.chof 7 u.tokyo.jp/www/con 7 tents/14026395957 17/index.html	http://www.ipss.go.j e p/site- ad/index_Japanese/ ss-relikatsu- index.html
	かも			-		-	-	
08	GBD 保健	_	,-		-			_
結果の概要	0	・報復 [たいてい食べない)・//学生2.2%、中学生5.4% ・多度 [たいてい人で食べる]・//学生2.2%、中学生6.3% ・ク度 [たいてい人で食べる]・//学生1.7%、中学生6.3% 生1.3.2% 変産生活 薬しくない」・/学生1.3%、中学生3.9% 学校生活 薬しくない」・/学生4.1%、中学生3.9% 個分やした高速ない・/学生5.8%、中学生5.6% (※性別・各学年別データあり)	・学校生活「楽しい」・小学生92.49%、中学生89.29% ・要校生活「楽しい」・小学生92.79%、中学生90.89%、15-17歳 85.59%、18-21歳8.83.9%、22-24歳8.43.9% ・「特に困っていることや嫌なことはない」小学生80.59%、中学 生57.19%	(1894) — 城郡2005年之中(1894) (1894) 。 親和群150人 (1894) — 城郡205人 小学校・中学校時代 - 不多校老院成立上:15-19歲5.496(男性4196女性896)、 20-24歲8.896(男性7195-249786) - 江本港(七小がた47上:15-19数年89786) - 江本港(七小がた47上:15-19数年89786) - 江海、11-19。 - 江海、11-19。 - 江海、11-19。 - 江海、11-19。 - 江海、11-19。 - 江海、12-24歲4.296(男性10.296女性 - 江海、11-19数年2296(男性10.296女性 - 江海、11-19数年2296(男性10.296女性 - 江海、11-19。 - 江海、11-1	※二次利用申請有 ・スマートンか・パンコン使用割合:「10-14歳」男子59.8%女子 ・スマートンか・パンコン使用割合:「10-14歳」男子59.8%女子 88.4%を、「15-19歳」男子86.8%女子87.2%、「20-24歳」男子 ・スマートファン・パンコンなどの使用時間:20-24歳が長い傾 同(6時間以上が約28%)	本任西暦編 (145)20.5% (中2)21.6% (南2)24.0% (市2)24.0% (上型発生限とる」: 「加強を限しる」: (小5)21.7% (中2)21.3% (南2)21.0% (中2)21.0% (中2)2.0%		※一次利用申請有 平成24年顕著 - 通去1年間に必要な医療機関受診ができなかった割合:「20- 26素別 14.3% (388人中) (最多理由「病院や診療所に行く時間 がなかった」 - 過去1年間の健康診断の未受診: [20-24歳]男性26.3%、女 性31.3% (傷多理由「必要があるとは思わない」)
	社会的健康	生活習慣、 家庭・学校 生活、自分 の悩み	学校·家族 関係、人生 観	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	生活時間	祖 () () () () () () () () () () () () ()	生活・健康など	生活困難、 医療機関・ 健康診断 の未受診
調査項目	精神的健力	ALEM ALO	41 mm 44m	Par IIO Ess	N.	西藤のでは	VI K	41 EL 42 O
ilita	身体的健 精康					<u></u>		
#4	データ収 身を集力法 康	数	個別面接	度 (((((((((((((質問票 (本人·家 (本人·家	されて を を を を を を を を を を を を を	質問票 (本人·保護者)	質問票 (本人・家 族)
研究方法	母究デル デーイン 無				ALL STATE			
	は後年分人	(条 横) (本 横) (本 横) (本 横) (本 横) (本 横) (本 (本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	(9- 横断	(A))00 横 横	(条 (類	横脚
пк	本 数 数	2.143(保護者 護者 2.734人)	2,271(9- 14歳)、 1,675 (15-23 歳)	第 3,115 (15-19歳 715-7, 20-24歳 (97族 2,897人)	上 200,000	8.367(原	1	上 11,000
这 令 他	年齡	9-14歳	9-23歳	15-39級	10歳以上	中 705 年 705	0-18競	20歳以上
	女 参	青 少年	青 少年	15-39 の か か の の の の の の の の の の の の の の の の の	乗録 国 受 記 で で で で の の の の の の の の の の の の の の の	から、中 2、 m 2 (m) 2、 m 2 (m) で で 1 (m) で 1 (m) で 1 (m) で 1 (m)		20歳以上 の個人
サンプル ングメンプラ (全数・計計・計量を表す。)	(単)	層化二段 無作為 出 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	層化二段 無作為苗 出法	層 化 単 本 本 が は は は は は は は は は は は は は	層化二段 田 注 計 計	哈哈姆 (回 42.0%) 42.0%)	1	無作為抽 出(国民 生活基礎 調査調査 地区より)
調香実施地域		年	年	画	<u>ﺳ</u> 생	東京都 (魯田区・ 豊島区・ 日野市市・ 日野市市・	各自治体	囲 4H
周期					5年ごと			5年ごと
調査実施時期		2006	- 5000	2015	-976-	2016	2013-	2007-
調査実施主体		万 一	内閣府	在應反	総務省	東京都	各自治体 (府中市など)	国立社会 4 保障·人口問題研究所
調查名		低年齢少年の生活 にと意識に関する調査	青少年の生活と意 職に関する基本調 査	を帯者の生活に関す る調査報告書	社会生活基本調査	予供の生活実際調響 3	子ども・子育て支援 4 に関するニーズ調 (査	生活と支え合いて 関する調査
データの 種類		野 。 資料 。 資料	政府統計·資料	政府統 計·資料	型 資 養	夜学調査	疫学調 查	政府統 計·資料
カテゴリー			•					
ž		130	131	132	133	134	135	136

橅	出典・URL	tttp://www1.odn.ne. pr/wuth-study/	http./www.nive.goj p./kenkyu.houkoku/c ontents/detal/i//98 /	http://www.lodn.ne. ip/youth-study/	ip/youth-study/	http://wwwnive.goj p/kenkyu.houkoku/c nntenta-/detail//10 7/	http://www.nive.go.j p/kenkyu.houkoku/c ontents/detail/i/96 /	tttg://www.nier.goj
DB	GBD 保健 他	-	_	_	-		_	-
結果の概要		- 自分の体型に高しているかけ、全体器とない。男子18.6%を 子28.4%、(あまり満足しない)男子45.4%を48.3% ・最近1年間のダイエント機能(あり), 3男子10.1%女子46.2% ・壁座時間時間清末。男子17.4%女子9.9% ・壁煙経験あり、男子8%女子48.9% ・放落経験あり、男子8%女子48.9% ・放落経験あり、男子8%女子48.9% ・放落経験あり、男子8%女子48.9% ・放流経験あり、男子8%女子48.9% ・放流程能のよりなな子48.9% ・放送は一位が仕他限ではないり男子17.6%女子1.9% 15.5%、「ぜんぜん健康ではない」男子28.6%女子1.9% ・基本1年間、ストレスを感じたこと「よくある」:男子28.6%女子 ・私は価値のある人間だと思う「全然そうではない」男子13.1% 女子21.0%	 平日一日のインターネット利用「6時間以上」: 男子49%女子366ペクターネットが一般ない「とてもそう思う」: 男子90%女子81% 女女5.0% 女女5.0% 女女5.0% 女女5.0% 日子4.0% 女女5.0% 日子4.0% 日子4.0% 日子4.0% 日子5.0% 日子4.0% 日子5.0% 日子4.0% 日子5.0% 日子4.0% 日子5.0% 日子4.13% 		なる時間 (1980年) 1996 ・ 現立は人[変くない」: 男子0.96女子2.196 ・ 寝る前に関みがき[しんい.] 男子6.796女子3.896 ・ 実を目に関みがき[しんい.] 男子6.796女子3.896 ・ 第二は人「一人で] 男子18.396女子18.096。 夜ごはん「一人で」 男子3.796女子3.996	2013年調査 ・	・学校生 港に満た (1/4) 37% (1/5) 98% (1/8) 43% (4/2) 87% (高2) 82% ・今の自分が発きだ「全(思うない」(1/4) 10.5% (1/5) 12.1% (1/6) 11.7% (中2) 21.2% (高2) 21.9%	・
	社会的健 康	本では、タイロン・、原産・飲油・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・食・	インター インター オット利 用、零歴・ 特校 歴・ 時日 古 声 正 一 語 に 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 語 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 記 で 一 に で 一 に で 一 に で 一 に で こ に で こ に で こ に で こ に で こ に で こ に で こ に い に い に い に い に い に い に い に い に い に	個の事、Co、幸福 での、幸福 競	在 出 國 國 國	年 本 を を を を を を を を を を を を を	自己肯 廢	生活習慣、 自己青定 惑
調査項目	殸	χ 7 ×	/ 14 m 41 m m5	\$= ⊃ #K	41	Q137 LL 02	m #5	A) m mix
ilid	体的健 精	K						
#1	データ収 身化 集方法 康	無	自問 記 式	自 間 記 憲 式	自記 選 選 選		(本) (本人・彩 (本)	質問票(本人・本)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
研究方法	デザ	酒 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	海面配	瀬 瀬 田 記	横勝	機断 (本)		商品では、
	分析対象 研 者数 イ	5.5.	,850 横	.342 構	1,576 横	整	17,282 横断	学 学 22校 22校 学校)
松松				 	1,4-6	2、	小4-6、中 17 2、高2	小6、中3 19.7 (小) (A) (A) (A) (A) (A) (A)
			5校生	5校生 1	小学生 1.6校)	小 本 本 本 本 (((((((((((((小学性、 动物体性、 3、 3、 3、 3、 3、 3、 3、 3、 4、 4、 4、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、 5、	六 中 李 子 一
サンプリング オングング 大が 大が 大が 大学 米米 米米 キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キャ・キ	0億)	その他 周 (無作為 記述なし)	そのも に 第一年 で は は な に が は な に が に が に が に が に が に が に が に り に り に り	その他 (無作為 記述なし)	Aの合 (無布線) に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	層様田 大学 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名	その他 (無作為 中 記述なし) 神	全 を を を を を を を を を を を を を
調査実施地域		是 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	10都道府 県	12都道舟。	東 韓 松	通	HH (H)	国 本
異		ı						毎年
調査実施時期		2010	2014	2005	5006	2013	2012	2007-
調査実施主体		国 中國 中國 中國 化二甲基苯甲甲基甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲甲	国年 以 教	国 年 機 機 構 構	国立青少 年教育振 興機構	国 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	国立青 年教育 機構 構	国立教育 沿
調查名		高校生の心と体の 健康に関する調査		高校生の友人関係と生活意識と生活意識	小学生の生活習慣 に関する調査	青少年の体験活動 等に関する実験調 合	子供の生活力に関 する実態調査	金国学力・全国学力・金田学力・金田学力・金田学力・金田学力・金田学
		政府統一。 資料	政府統計·資料	政府 治 資本 教	政府統 計·資料	帝 · · · · · · · · · · ·	政府統計・資料	以 中 · · · · · · · · · ·
デ 種類		极 型 图 型 图 型 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图	极 柱 ・	极 华	長 空	松 市	极祚	長 型
カテゴリー データ 種類		展 44	凌 华				松本	

	¥				乳効児身 体発発可調 香とあわ せて実施
華	出典・URL	nttp://berd.benesse.p/shotouchutou/research/detail1.php?i	http://berd.benesse. ip/shotouchutou/re search/detail1.php?i d=3333	http://bord.benesse pr/isedal/research/ detail.php?d=4949	地科学的交生度原生分, 他科学的交通协会。 他科夫他公司, 日本的人工作的企业的企业。 主义,与中国公司, 是是一个人担切实验与 是是一个人担切实验与 是是一个人担切实验与
	もも	고.크 이 이	되.크 에 이	<u> </u>	[51] 424 m2 4-4 m3 464 m4
DB	GBD 保健	-	-	-	-
機道の機差		・テレビやビデオ視聴/2時間以上 j24.1% (男子24.6%女子 24.9%) ・テレビゲーム「2時間以上 18.0% (男子12.1%女子1.8%) ・昨日は忙しかったか「とても忙しかった」114.8% (男子17.3%女子 子12.3%)	2009年調査 ・額食をとらないで学校に行く:小学生8.4%、中学生15.1%。高 ・類をとらないで学校に行く:小学生8.4%、中学生10.9%。 ・ダイエットのために食べる量を減らず、小学生7.6%、中学生 10.8%(女子17.2%)。高校生年7.7%(女子27.8%) ・携帯電話を「持っている」・小学生28.2%(2004年18.9%)中 学生50.1%(2004年45.3%)、高校生94.8%(2004年92.8%)	平 1925時 (成表 海児、 表表 の	・ 子どもを得しているのではないかと思うこと「ある」(母親): 1歳72%、1歳2%、1歳2%、1歳2%、1歳2%、13%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%、2%
	社会的健 康	生活時間	在 注 習 信	発活	小 どより 廉・ 年
調査項目	精神的健 康				
	身体的健 康				
研究方法	データ収 集方法	自記式質問票	画	質問票(保護者)	質問票 (保護者)
研多	母究デザ イン	横節	横	過過	過
	分析対象 者数	1,851	13,797 (小峰件 3,561名 (18核)、 中峰件 3,917名 (12核)、 高核生 6,319名	4,034 (2015年 調査)	5,352
松	年齡	1/4-6	//석-해2	の歳6か月 6歳	級 9-1
	対象法	小学生	中 中 李 本 中 十 十 十	就學前現 幼児 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子 神子	元
サンプリ ングカル (全数・無 布施・水	9年)	その他 (無作為 記述なし)	圖	その他(無作為別記述なし)	商品 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般
調査実施地域		本 本 本 本 注 三 二	囲	國 塚春	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
周期		1	1	4 に い い は に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	10年に
調査実施時期		2001	2004 : 2009	1995-	1980-
調査実施主体		オッチ	አ * ፦ ተ	メネッシャ 1	日 电子线器 电弧电弧 电弧电弧 电弧电弧 电弧电弧 电弧电弧 电弧电弧 电弧电弧 电弧
調査名		子どもの放課後		幼児の生活アン ケート	幼児健康度調査
- データの 種類		サッキ グ	スネッ サッセ	** ** **	疫学調査
カテゴリー					
*: - 2		144	145	146	147

	关					
華		ug akkoho	/Rcaogoj nuth- sa/net_ ni	v8.cao.goj nuth- sa/h22/g index.htm	benesse. nutou/re ail1.php?i	'berd.benesse. touchutou/re v/detail1.php?i
	出典・URL	ken.jb/	overhit //www8.enego.	http://www8.cao.goj p/vouth/vouth- harm/chousa/h22/g ame- jittai/html/index.htm	http://berd.benesse ip/shotouchutou/re search/detail1.php?i d=3610	http://berd.beness jp/shotouchutou/re search/detail1.ahp/ d=3528
DB	母子 その保健 他	-				
	dBD 体		-	-	-	-
結果の概要			*** おおお8年間別にカインターネット利用:小学生(男子96.5%。女子8.70%)、本学生(男子96.5%。女子8.0%)、高校生(男子子7.70%)、中学生(男子8.53%。女子48.0%)、高校生(男子子7.70%)、中学年(男子7.70%)、中学生(男子7.70%)、中学生(3.8%)。「自分が知らない人や、お店などからッセージやメールが来たことがある」:小学生1.9%。中学生9.9%。高校生21.4% 「インターネッド(写が)とうこと、メッセージ・ジャールが来たことがある」:小学生1.9%。中学生9.9%。高校生21.4% リセリしたことがある」:小学生1.9%。中学生9.9%。高校生21.4% リインターネッド(こがりを)・中学生9.9%。高校生21.4% リインスーネッド(こがりにんで創選に集中できなかった)・簡単不足になったりしたことがある」:小学生6.7% 明本程になったりしたことがある」:小学生6.7%・中学生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生9.1%。年後日1.5%。音校年9.4%を年1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校年9.4%を年1.1%を年1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校生1.1%。高校年1.1%。音校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。高校年1.1%。1.1%		- Phts利用22.5%、携帯電話利用52.7%、PHS・携帯両方利用- 12.6% 1.2%を 1.8%を携帯電話を常にもっていないと不安になる50.4%(/利用音全体)	. 学校がある日の就悪時間「1-2時以降」21.196 (男子20.596 女子20186) ・バンコン(毎日のように使う)9.796 (男子80.396女子10.296) ・インターネットのサイト利用ドラッグなどに関するサイト」 1896、「自殺こついて語り合うサイト」1496。 ・携帯・PH2を使用したいしが被害経験2.596 (男子3.296女子 1.996) ・携帯で知らない人と友達になった経験(よくある・ときどきある) 16.896 (男子3.795女子23.596)
	社会的健 康	プイ クスタック インスタイ	/ イ / イ / イ / イ / 元 田 田	ゲーム利用状況	電子メディ ア 利用	電子メディ ア 利用
調査項目	精神的健 康	メグカルト ルズ (SDD) を参考 (CB) 10項目)				
	身体的健 康	オレア・オー 機能技 (ISAAC調 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
研究方法		日 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西 西	圖 Meb 本 本	個別面接	自記 間 調 式 質	自記式 問票 式
研	車 と イン イン		撤	横断	横脉	横
	分析対象 者数	19.7.19 7.7.4.19 7.7.4.2 7.1.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.2 7.4.	33.284 (保護者 3.541人)	1,359 (保護者 1,387人)	1,357	2,001
黎 布	年齡	(1/1-1) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	10-17歳	10-17歲	画1-2	中 1-3
-114	以 黎 本	小中高信校	声 か	青少年 年	高校生	中 种 种
サンプリ ング方法 (全数・無 作為・や	9億	(4の)の作品の作品の作品の作品の作品の作品を図りませる。 (4年間)の (4年間) (4年	磨 無 出 化 作 法 元 本 段 相	圖 出 出 無 出 は の は の は の に の に の に の に の に の の に に に の に に の に 。 に る に に る に る に 。 に に に に に に に に に に に に に	406 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)
調査実施地域		4 帰 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	₩ ₩	<u>테</u>	東京 秋田県 県	東 京 策 に 東 に ま に ま に ま に に に に に に に
開開		种	伸	ı	1	1
[調査実施 時期		1992-	2009-	2010	2001	2001
調査実施主体		□ 录 本 章 校 校	超	内 陋 币	ベネッセ	4 * *
調査名		別量性体の健康状態 ・ イランス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	かったのインター か・か田田 が・か田田 は様本 機	青少年のゲーム機 等の利用環境実態 調査	電子メディアの中の高校生	中学生とメディアとの接触
データの 種類		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	接。 接 整 整	本 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 ・ 注 を 注 を	ベネッセ	ベネッセ
カテゴリー			調・イド・アンドイン			
ž			149	150	151	52

	T						
	¥	ii	4×	0	2 e-Stat	d of	© m ;=
華	_	http://berd.benesse. ip/lisedai/research/ detail1.php?ld=5208	菱田一帯ほか:学校 保健研究53(6): 509-526, 2012.	http://www.nier.go.i o/shido/shienshrvo u/	http://www.mhlw.go. po.stf.sinigi/2r9832 00000258wp.html	http://www.mext.go. jp./a menu/shotou/s eitoshidou/138869. htm	http://berd.benesse ip/shotouchutou/re search/detail1.php?i d=3345
	出典·URI	http://be ip/jisedai. detail1.ph	菱田一哉ほか: 保健研究53(6) 509-526, 2012	nttp://wv p/shido/s	http://www.mblw jp/stf/shingi/2r9 00000258wp.htm	http://ww ip/a men eitoshido htm	http://be ip/shotou search/dd d=3345
DB	子類 や色	<u>-</u>		_			
٥	GBD 保健		<u>-</u>		_	-	-
線集の概要		2010年顕著 ・子ども専用のゲーム機所有率:3歳36%、4歳10.19%、5歳 18.3%、6歳29.7%、七七世間1.0歳850%、1歳91.0%、2歳 91.1%、3歳81.7%、4歳89.0%、6歳82.23%、6歳22.8% ・スマートンオン利用「ほとんど毎日!・0歳2.8%、1歳8.8%、2歳 13.8%、3歳14.7%、4歳1.8%、5歳8.8%、6歳2.8%、1歳8.8%、2歳	・	しいの体質を しいの体質を しいの体質を 1・今までに1~2回」・1/学校男子26.096女子28.696、中学校男子 1月に2~3回」・1/学校男子26.096女子10.796、中学校男子 1月に2~3回」・1/学校男子11.696女子11.596、中学校男子 ・1週に回以上、1/学校男子11.696女子11.596、中学校男子 ・1週に回以上、1/学校男子11.696女子11.596、中学校男子 ・1の女子71.696、インコン・株常) ・1、今までに1~2回」・1/学校男子3.296女子1.796、中学校男子 ・1月に2~3回」・1/学校男子0.796女子0.696、中学校男子2.696 ・1週に1回以上、1/学校男子1.396女子0.696、中学校男子1.996、中学校男子1.996、中学校男子1.996 ・1週に1回以上、1/学校男子1.396女子0.696、中学校男子1.996、中学校男子1.996、中学校男子1.996	中東京7年4月1日 - 中東722年5月1日 第13次報告) ・子と追権による近亡事例72例(84人)(57.96)、1歳4人 ・・中以外の海神元8例(32人)・0歳30人(57.96)、1歳4人 (779-)、2歳3人(589-)、3歳人(399-)、4歳1人(199-)、5歳 2人(389-)、6歳1人(199-)、742人(389-)、8歳0人、8歳1人 ・199-)、10歳0人、9歳1人(199-)、742人(389-)、8歳2人 (639-)、10歳0人、3歳4人(1259-)、4歳2人(1839-)、5歳2人 (639-)、2歳1の人、3歳4人(1259-)、4歳2人(639-)、5歳2人 (639-)、8歳1人(139-)、-12歳2人(639-)、5歳2人 (639-)、7歳0人、73歳0人	平原24年度1.536件、中学校2.806件、高等学校2.726件、中等教育学校1.556件、中学校2.806件、高等学校2.726件、中等教育学校1.1件、特別支援学校4.1件、高等專門学校2.7件	本枠的場か! 体をしばられた103%。「タバコの火を体に押しつけられた106%。 つけられた106%。 ・ネグレクト:何日もお風呂に入らず同じ下着を着ていた」54%。 ・ネグレクト:何日もお風呂に入らず同じ下着を着ていた」54%。 ・ネグレクト:何日もお風呂に入らず同じ下着を着ていた。 たれる3%。 (※複数の(虐待行為)経験に関して学年・性別ごとのデータあり)
	社会的健 康	メディア利用	œ _ع ير،	روي د د د د د د د د د د د د د د د د د د د	児童虐待	4 なな 4 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	春
調査項目	精神的健 康						
	身体的健 排廉						
	データ収 身 集方法 康	(保護者)	自記	自問 式 式	都道府 ・指定 ・指定 ・間を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	調學 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種	自記式 同票 同
研究方法	単発デザーイン	横断	海	一	Adv = 1 Adv the their filler (7)	横断	横断
	分析対象 者数		2,460	約800(1 (リ) (リ)	72例 (2017年 度)		824
校 黎	年齡	0歳6か月 6歳	ф 1-3	<u> 기</u> 4-中3	御	小 李 本 本 本 本	中1、中3
	対象者	幼児の治療を		中中 神神 中 中	児童虐待	国の校校学信心教校支校直公小、、校嗣、育、按嗣、育、接嗣、育、援宗、門和学中高()を中学特学高門口、学等通除等、別、等将	中中學性(7
サンプリ ングカル (全数・無 作為・本	6 割	その他 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 記述なし)	全数 (1市 カラ・スイ のか・学校 13校・中 学校 (8校)	ቊ 쫭	教	その他 (無作為 記述なし)
調査実施地域		圖	新潟市、 広島市 市	十二(田) 一十二(田) 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	펜 생	em र्भ	自 市 市 市 市
開期		1		中	申		
調査実施時期		2013;	- 5009	2004-	-5005-	2013	2001
調香東本		ベネッセ 2	1	国政所 公	雪 生労働	省 本 本 本 本	ベネッセ
調査名		乳幼児の親子のメディア活用調査	いじめの影響とレジ リエン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いためる多人	子ども虐待による死 亡事倒等の後話結 果等について	体割に係る実態把 機の結果 の結果 (株別は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	チャイルド・アビュー・ スー親による適切で ない扱いの影響ー
データの 種類		ベネッセ		統 統	京 中 一 資 本	存	ベネッセ
カテゴリー			œว _า า		华		
ž		153	154	155	156	157	158

					at	at	at	at		国際の 別に が が で が が が が が が が が が が が が が	
羅	出典・URL	鍋谷照ほか:学校保健研究46(4);372-385, 2004.	http://berd.benesse. ip/shotouchutou/re search/detail1.php?i d=3347	http://berd.benesse. ip/shotouchutou/re search/detail1.php?i d=3528	http://www.mhlw.go. ip/toukei/list/36- 19.html	http://www.mhhu.go_e~Stat ip/cuke/ilst/38~ I html	http://www.mhlw.go_e~Stat	nttp://www.stat.go.j e-Stat	http://www.yobouig aku-chuo.or.jp/	http://www.ipss.go.j 国際的な DO_D DOUNG!/JMD/index.s タベース SD Human Mortality Mortality と整合格 を持たる	arttp://www.env.go.jp /chemi/ceh/index.h tml
DB	GBD 保健 他	-	-	-	-	-		-	and the second	The second secon	-
結果の概要		・男性・身体部位の嫌いな項目「身長」(ワースト) 1286% ・女性:身体部位の嫌いな項目[太もも」(ワースト) 29.44%	・ダイエットの発験: 男子15 09:女子74.4% 自分の体置 (とても・カリと・少し) 太っている」: 男子41.3% 女子61.7% できればやせたい.男子39.6% 女子60.3%	4月ののことが長がり、全然存む「まない」。 〒13.4%)、「あまり好きではない」129.3%(男子22.4%な子 37.5%)、製造の体間「よくある」:おなかが痛くなる1.4%。 周がこる 17.5%。 費 回収まれた」の8.8%。 第度欲がない13.4%。 気力がない 17.8%。 実際がない。 第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、第一次、	作記の3年度 ・人口妊娠中絶体数:13歳未満12件、13歳34件、14歳74件、 15歳619件、16歳1452件、77歳2517件、18歳3747件、19歳 ・人工技術中絶美能等(第7.2 第7.2 第7.2 第7.2 第7.2 第7.2 第7.3 第7.3 第7.3 第7.3 第7.3 第7.3 第7.3 第7.3	平原22年度 - 公理宣传和版件数(児童和版所对応)122.575件:[0-2歲1/4 - 公理宣传和版件数(児童和版所对応)1332件(25.6%)、「7-12歲」 が41,719件(34.0%)	エンス利用価格有 平成20年間毎 ・男幼児の運動機能(首のすわ) おがえり・ひとりすわり・はい にいっかまり立ち・ひとり歩き)・平成12年に比べてやや運ぐ なっている なっている ・選りの関係:生後・6か日来源で約5回 ・離乳の開始:生後・6か日来源で約5回 ・離乳の開光:生後・6か日来源で約5回	※二文利用申請有 2016年度 ・非労働カ人ロ(在学 就業なし)(推定値):「15-19歳」500万 人、「20-24歳」177万人	平成27年度※歳診データ数のみ公開) ・学校保施:管職施診データ488866件、糖原検査データ 482898件、心臓能診データ182890件など	※全国及び都道府県別の生命表を公開	-
	社会的健 康	9 本部 高 議	ダイエット	個み、自己 肯定縣	人口妊娠 中絶、特定 医療費受 給者証所 持者数	事事な事を事事を事事を事る事を事事を事る事を事事を事事を事務をなる。 ない をはる ない はい	運動・ 機能、 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	就業状態		生 泰 表	化学物質 曝露
調查項目	精神的健 康										
	身体的健 康						身体状況		各種健診 結果		
研究方法	Z	自記式 聞票 式質	自記式 可 調 調 計	自記	部 順・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	龍県都 海・県 神・七年 中・七年 中・七年 中・1年 日・1年 日・1年 日・1年 日・1年 日・1年 日・1年 日・1年 日	計選、集 所問題本 海院調本	自記式質 問票 可	施設調査	発した。 タ(人ロー 計) 戦機統 計)	3 質問票、 血液検査
	_	横断	横	横	横断	整	# 	0 横膨	横野	1	縱断(13 年間)
J.,	分析対象 者数	章 ()	1,097	2,118	1	1	7,652 (一般調查) 4,774 (病院調查): 2010年調查	数40,000 事	1	1	100,000
松林		中学生 (平均年 齡13.62 歲)-大学 任(平均 年齡	1	П -3	全年齡	李 本	戦 9-0	(表) (表) (表)	香 全年 計	全年	E 0-13歳
ン松康が	対象者	中恒大	~	0	全国民	₹#	作 全国の乳 幼児 りに	安全人口 (就業状 態は15歳 以上)	受 登録施設 の被検査 者 本	ΨH	设 出生児と ・その両親
サンプリ ング方法 (全数・無 作為・	86		その他 (無作為 記述なし)	その他 (無作為 に記述なし)	全数	全 数	圖	層化二段 無作為抽 出法	登録施設 (全国30 支部33施設)	全	対象 たのリケ ルート
調香実施地域		九州地区	東 埼 田 県 、	東本神宗業等則	一	년 선대	囲 44	М	年	H (H	年
施周期		1	1	1	申	(中) (中)	10年ごと	伸	申	伸	
施 調香実施 時期		2002	2001		- 5000-		- 1990-	1946-	学 1966-	研 明 1947-	2011-
調査実施士体		1	ー ペネット - ペネット	マネッ マッキ マッキ	省 全 金 金 金 金	画	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	総務	4 本 本 中 本 中 4 4	国 光	環境場
調査名		思春期における身 体部位の不満慇と 自己意識	子どものやせ 願望ー/ 見た目を気にする 子どもたちー	中学生の悩み	衛生行政報告例	福祉行政報告例	乳幼児身体発育調査	労働力調査	予防医学事業中央 会データベース	日本版死亡データベース	エコチル・エコチル パイロット調査
データの 種類			ペネッセ	4 ~ 4 × × × × × × × × × × × × × × × × ×	政府統 計·資料	府	型 中 資 料 料	政府統 計·資準	ルート スート スーメ ハート カード		疫学調査
カテゴリー		を恩			その他						_
ž		159	160	161	162	163	164	165	166	167	168

_				1
	¥	(Hokkaid o Study on Environm ent and Children'		
羅	出典·URL	https://www.cehs.h okudai.ac.jp/hokkaid ostudy/	http://www.med.u_ toyama.ac.jp/healpr o/toyamast/toyama stindex.html	http://www.megaba nk.tohoku.ac.ip/tom mo/activities/activit ies02/activities02_ cohort
	か 6 	-	-	
DB	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を			
	GBD			
結果の概要		,	1	1
	社会的健 康	名 職	年 活 習 傳	自閉スペク トラム症、 生活習慣 病など
調查項目	精神的健 康			
	身体的健 康		小児肥満	アレルギー 性疾患
研究方法	データ収 集方法	質問 自 液 液 体 体 体 が	愛 記 職	御問課、 今種 (自) (自) (自) (世) (元) (元) (元) (元) (元)
研	母 分 か	遊	遊	統節
	分析対象 者数	20,000	10,000	22,001 (子ども) 72,351 (家族を 含めた合 計)(2017 年3月30 日現在)
松	年齡	0-11歳以 20,000上	00歳-(中1)	0歳-
	対	出生児と その両親	平成元年度生まれて調査時で調査時に富山県在住の児童	出生児と その家族 (3世代)
サンプリ ングカボ (全数・無 布施・ペ	8 (割	対象施設 (北海道 内37参加 施設での リクルー	数数	を た しこの カー・ イー・ イー・
調査実施地域		测 烘	通 計 画	宮城県
異里			(出生時 から3年 ごとに調 香)	
調査実施時期				2013-
調査実施 主体		光光 神 神 神 神 神 神 神 中 中 カ タ イ タ オ サ 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 日 り り り り り	雪山大学	
調査名		疫学調査 環境と子どもの健 康に関する北海道 スタディ	疫学調查 富山出生コホート研 富山大学 1989	
データの 種類		疫学調査	疫学調査	疫学調
カテゴリー			• • •	
₹ 2		169	170	171

章末資料 I-3 e-stat 政府統計データより作成した図表リスト

- 1. 歯科疾患実態調査(平成28年):厚生労働省医政局歯科保健課
 - 乳歯のう歯 (1~14歳)
 - 乳歯+永久歯のう歯(5~14歳)
 - 永久歯のう歯(5歳以上)
- 2. 全国家庭児童調査(平成21年): 厚生労働省子ども家庭局総務課少子化総合対策室
 - テレビの視聴時間等
 - 不安や悩み
 - しあわせ感
- 3. 21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児):厚生労働省世帯統計室
 - テレビ視聴・コンピュータゲーム
 - 家庭内受動喫煙
 - 食事の状況
 - 診察を受けた病気やけが
 - 子ども本人の不安や悩み
- 4. 21世紀出生児縦断調査(平成22年出生児):厚生労働省世帯統計室
 - 両親の喫煙
 - 診察を受けた病気やけが
- 5. 衛生行政報告例(平成28年):厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室
 - 人工妊娠中絶
- 6. 食中毒統計調査 (平成 28 年): 厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課
 - 食中毒患者数
- 7. 交通事故の発生状況 (平成28年):警察庁交通局
 - 人口 10 万人当たり負傷者数
- 8. 少年矯正統計調査(平成28年):法務省大臣官房司法法制部司法法制課統計室
 - 少年鑑別所及び少年院 新収容者数
- 9. 学校保健統計調查(平成28年度): 文部科学省生涯学習政策局政策課調查統計企画室
 - 疾病・異常被患率
- 10. 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(平成 27 年): 文部科学省初等中等教育局児童生徒課
 - 加害児童生徒数(暴力行為)
 - いじめの認知件数
 - 学年別不登校児童生徒数
 - 自殺した児童生徒

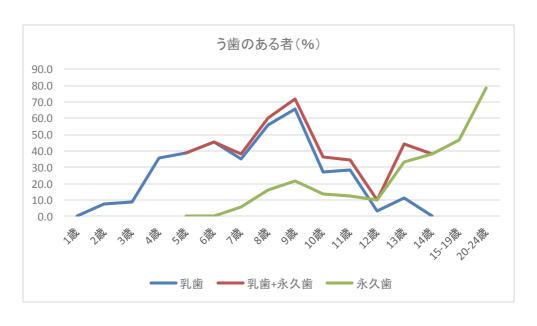
1. 歯科疾患実態調査(平成28年)

● う歯のある者

乳歯 (%)	対象者数(口	う歯のある	処置完了の	処置歯・未処	未処置の者
	腔診査受診)	者	者	置歯を併有	
				する者	
1歳	37	0.00	0.00	0.00	0.00
2 歳	27	7.41	0.00	0.00	7.41
3歳	35	8.57	0.00	0.00	8.57
4 歳	25	36.00	12.00	0.00	24.00
5 歳	41	39.02	19.51	9.76	9.76
6歳	44	45.45	20.45	18.18	6.82
7歳	34	35.29	17.65	17.65	0.00
8歳	43	55.81	39.53	9.30	6.98
9歳	32	65.63	31.25	28.13	6.25
10 歳	22	27.27	18.18	0.00	9.09
11 歳	32	28.13	18.75	6.25	3.13
12 歳	29	3.45	0.00	3.45	0.00
13 歳	18	11.11	11.11	0.00	0.00
14 歳	21	0.00	0.00	0.00	0.00

乳歯+永久歯	対象者数(口	う歯のある	処置完了の	処置歯・未処	未処置の者
(%)	腔診査受診)	者	者	置歯を併有	
				する者	
5 歳	41	39.02	19.51	9.76	9.76
6歳	44	45.45	20.45	18.18	6.82
7歳	34	38.24	20.59	17.65	0.00
8歳	43	60.47	37.21	11.63	11.63
9歳	32	71.88	28.13	40.63	3.13
10 歳	22	36.36	27.27	4.55	4.55
11 歳	32	34.38	21.88	6.25	6.25
12 歳	29	10.34	3.45	3.45	3.45
13 歳	18	44.44	27.78	5.56	11.11
14 歳	21	38.10	9.52	4.76	23.81

永久歯 (%)	対象者数(口	う歯のある	処置完了の	処置歯・未処	未処置の者
	腔診査受診)	者	者	置歯を併有	
				する者	
5 歳	41	0.00	0.00	0.00	0.00
6歳	44	0.00	0.00	0.00	0.00
7歳	34	5.88	5.88	0.00	0.00
8歳	43	16.28	6.98	2.33	6.98
9歳	32	21.88	9.38	6.25	6.25
10 歳	22	13.64	13.64	0.00	0.00
11 歳	32	12.50	6.25	0.00	6.25
12 歳	29	10.34	6.90	0.00	3.45
13 歳	18	33.33	16.67	5.56	11.11
14 歳	21	38.10	9.52	4.76	23.81
15-19 歳	51	47.06	27.45	7.84	11.76
20-24 歳	70	78.57	45.71	28.57	4.29



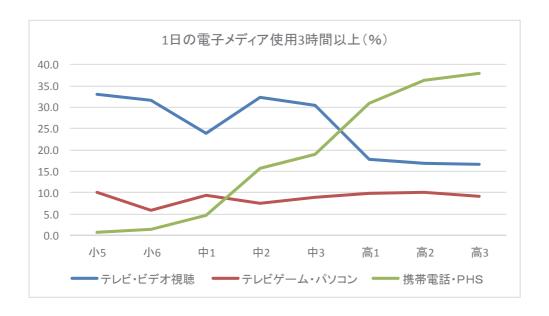
2. 全国家庭児童調査(平成21年)

● 電子メディアの利用状況

テレビ・ビ	対象者数	ほとんど	1時間より	1時間以上	2時間以上	3時間以上
デオ視聴		見ない	少ない	で 2 時間	で 3 時間	
(%)				より少な	より少な	
				V	V	
小 5	160	1.88	8.13	23.13	31.25	33.13
小 6	136	4.41	10.29	25.74	25.00	31.62
中 1	150	5.33	9.33	32.67	26.00	24.00
中 2	133	4.51	11.28	22.56	27.82	32.33
中 3	158	6.33	8.86	29.75	23.42	30.38
高 1	123	10.57	16.26	29.27	21.14	17.89
高 2	160	9.38	13.13	33.13	26.25	16.88
高 3	66	13.64	9.09	34.85	24.24	16.67

テレビゲ	対象者数	ほとんど	1 時間よ	1 時間以	2 時間以	3 時間以	持ってい
ーム・パ		遊ばない	り少ない	上で2時	上で3時	上	ない
ソコン				間より少	間より少		
(%)				ない	ない		
小 5	160	21.88	24.38	23.13	11.88	10.00	6.25
小 6	136	25.00	25.74	23.53	14.71	5.88	1.47
中 1	150	23.33	25.33	22.00	11.33	9.33	6.00
中 2	133	25.56	18.05	24.06	20.30	7.52	2.26
中 3	158	27.22	23.42	25.95	10.13	8.86	3.16
高 1	123	34.96	19.51	20.33	8.13	9.76	1.63
高 2	160	33.75	24.38	18.13	8.13	10.00	2.50
高 3	66	39.39	15.15	13.64	12.12	9.09	9.09

携帯電	対象者数	ほとんど	30 分よ	30 分以	1 時間よ	2 時間以	持ってい
話・PH		使用しな	り少ない	上で1時	り 2 時間	上	ない
S (%)		V		間より少	より少な		
				ない	V		
小 5	160	17.50	8.13	5.00	0.63	0.63	65.63
小 6	136	18.38	12.50	2.94	2.21	1.47	59.56
中 1	150	12.67	14.67	11.33	3.33	4.67	50.67
中 2	133	12.03	9.77	14.29	9.02	15.79	37.59
中 3	158	8.23	18.35	10.76	9.49	18.99	32.91
高 1	123	7.32	21.14	7.32	21.14	30.89	7.32
高 2	160	6.88	9.38	22.50	20.00	36.25	3.75
高 3	66	7.58	13.64	19.70	18.18	37.88	1.52



不安や悩み

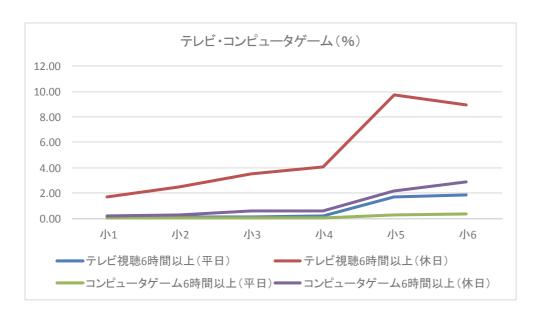
. Fr)	0.11	0.07	0.18	0.00	90.0	0.07	0.11	00.0
その街	0			0		0	0	0
学校生活について	1.14	1.27	1.27	1.71	1.78	2.00	1.53	1.38
自分の家庭の問題について	0.63	0.33	0.48	0.68	0.86	1.11	1.31	1.52
ボーインレ ンド・ガー ルンレンド にりいた	0.23	0.47	0.55	0.89	0.46	0.89	1.02	1.79
自分の性 の問題に ついて	0.28		0.12	0.21	0.17	0.22	0.40	0.41
自分の友 達につい て	1.25	1.27	1.52	1.64	1.27	1.26	1.25	1.79
いじめにつ	1.08	09.0	1.09	0.82	0.86	0.59	0.40	0.83
自分の性格や癖について	1.93	1.87	1.88	1.71	2.47	3.03	2.78	3.17
自分の勉強や進路について	2.10	3.01	4.42	4.78	5.87	5.69	5.85	90'9
自分の顔や体形について	1.42	1.67	1.94	2.73	2.82	2.88	2.50	3.86
自分の健 康につい て	0.97	09.0	0.55	0.68	1.21	1.63	1.70	1.79
対象者数	1760	1496	1650	1463	1738	1353	1760	726
(%)	1/15	1/16	中1	中2	中3	高1	高2	高3

● しあわせ感

3.03	60.6	1.52	7.58	31.82	42.42	99]]]
8.13	6.25	1.25	4.38	38.75	33.75	160	高2
12.20	8.94	2.44	3.25		43.09	123	驷1
10.13	9.49	69.0	4.43		39.87	158	中3
6.02	6.02	0.75	3.01	43.61	37.59	133	中2
5.33	4.00	1.33	2.67	36.00	46.00	150	中1
5.15	4.41		3.68		57.35	136	1/16
5.00	3.75	00'0	2.50	30.00	54.38	160	1/15
わからない	どちらともい えない	まったくしあ わせだと思わ ない	あまりしあ わせだと思わ ない	ややしあわ せだと思う	とてもしあ わせだと思う	対象者数	(%)

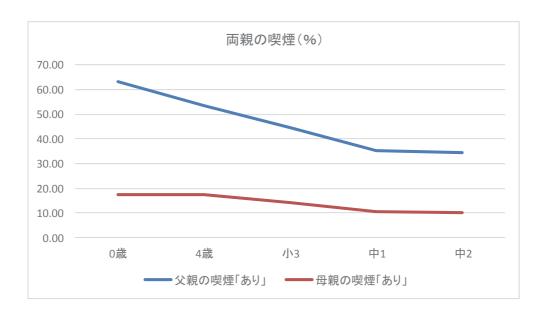
- 3. 21 世紀出生児縦断調査 (平成 13 年出生児) (平成 14~28 年)
- テレビ視聴・コンピュータゲーム

(0/)	対象者数	テレビ視聴	6 時間以上	コンピュータゲ	ーム 6 時間以上
(%)		平日	休日	平日	休日
小1	36785	0.10	1.72	0.01	0.18
小 2	36136	0.10	2.50	0.01	0.29
小 3	35264	0.13	3.48	0.01	0.57
小 4	34124	0.21	4.04	0.01	0.63
小 5	32913	1.70	9.77	0.29	2.20
小 6	32065	1.90	8.95	0.38	2.87



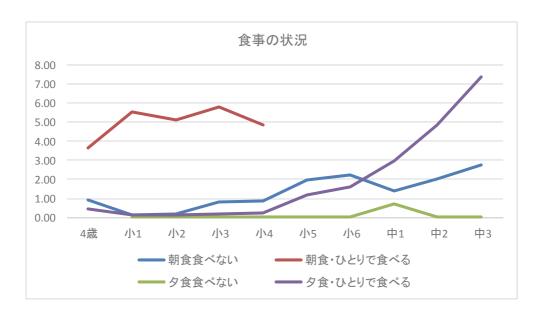
● 家庭内受動喫煙

(%)	対象者数	母親の喫煙「あり」	対象者数	父親の喫煙「あり」	対象者数	家庭内受動 喫煙 「あり」
0歳	46961	17.37	29013	63.19		
4 歳	39514	17.46	20116	53.52		
小 3	34961	14.40	14516	44.73		
中 1	29793	10.62	9546	35.20	30331	25.97
中 2	29022	10.24	9054	34.62	29506	25.66



● 食事の状況

(0/)	対象者数	朝食食べない	朝食・ひとり	夕食食べない	夕食・ひとり
(%)			で食べる		で食べる
4歳	39813	0.94	3.67		0.46
小1	36785	0.15	5.57	0.01	0.12
小 2	36136	0.17	5.13	0.01	0.15
小 3	35264	0.81	5.81	0.02	0.18
小 4	34124	0.89	4.86	0.01	0.25
小 5	32913	1.95		0.03	1.16
小 6	32065	2.24		0.03	1.61
中 1	30331	1.39		0.71	2.95
中 2	29506	2.01		0.03	4.88
中 3	28810	2.78		0.03	7.37



診察を受けた病気やけが

		38	56	20	18	1	10	70	10	7 C	93
川崎涛	1	0.38	0.26	0.20	0.18	0.11	0.0	0.0	0.07	0.04	0.03
流行性耳下腺 炎	1	2.03	4.11	90 . 6	9.85	2. 72	1.93	2. 16	2.08	1.09	0.47
突発性発疹	42.15	_	_	_	_	-	-	_	_	_	-
風しん	0. 28	0.39	0.30	0. 26	0.17	0.10	0.11	0.12	0.10	0.08	0.02
麻疹	1. 26	0. 47	0. 19	0. 21	0.16	0. 12	0. 11	0.09	0.08	0.02	0.03
百日ゼき	0. 20	0.09	0.07								
水痘	13.65	14.92	13.83	12.96	11. 24	4.97	2.30	1.64	1. 20	0.83	0. 47
対象者数	43926	42811	41559	39813	38537	36785	36136	35264	34124	32913	32065
(%)		2歳	3號	4歳	5歳	1/1	1/12	1/13	1/14	1/15	9\[/

インレドエン・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール	ı	13.83	9.52	23. 61	15.34	15.91	18.96		18.	21.35	15.30
かば、困盟炎、扁桃炎、扁り、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一般を一			77.74							48.	43.
中耳炎·外耳炎	14. 03	13.34	14.03	17.69	17.11		7.96		5.16	4. 78	3. 71
結膜炎	6. 53	5.31	5. 10	4.51	4.17	2. 11	1.84	1. 49	1. 27	1. 43	1.32
食物アレルボー	4. 69	2. 44	1.59	1.38	1.41	1.07	0.84	0.84	0.74	0.94	0.77
アトピー性皮膚炎	16.68	15.85	7.26	7.20	7.84	7.02	6.61	6.16	5.69	5.91	5.27
ぜんそく	3.36			7.04	8. 56	7.14	6. 26	6.05	5. 66	5. 42	4.38
アレルギー性鼻炎/結膜炎		4. 19	5. 66	9. 19	13.09	16.74	18.08	19.37		24. 16	
(%)	1號	2歳	3歳	4歳	5歳	11/1	7\1/2	2\/ <i>1</i>	1/14	5\/\	9\fr

					-	0.1	00	00	~	7	
を選		7.09	17.95	26.94	36. 44	40.02	38. 78	36.98	33. 43	32.17	24. 76
けいれん、ひきつけ	4. 42	4. 10	2. 44	1.82	1. 25	0. 68	0. 46	0. 44	0.39	0.33	0. 29
先天性の病気	2. 19	1.39	1.16	1.00	1.04	0.94	0.86	0.89	0.84	0.89	0.82
その他の皮膚炎	14.34	_	_	_	_	_	_	_	_	_	ı
温疹			11. 24	6. 21	6.85	5. 47	4.83	4.82	4. 46	4.90	4.66
伝染性膿痂疹	6.92	7.14	8.90	8. 20	8. 49	4.64	3.03	2.15	1.70	1.18	0.83
腸重積		0.16									
胃腸炎など消 化器系の病 気、下痢、腹 痛、便秘	27. 66	17.95	13.60	16. 47	21.77	16.83	13.58	10.82	11. 57	12. 02	11. 16
(%)	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1/1	1/12	5/l	1/4	31/2	91/

入院	12.55	9.49	6.94	90 '9		3.63	2.65	2. 42	2.01	2.07	1.93
なかった	2. 92	4.97	5. 56	2.00	2. 08	6.64	9. 46	96 . 9 .	13. 48	10.33	14. 47
けが(骨折・や けどを含む)		10.31	8.92	7.11	09 'L	7.86	7.84	7. 55	9.48	11. 68	13.72
打撲、切り傷	7.74	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
その他の病気	8. 57	6.61	7.13	7. 21	9.38	9.35	8. 29	8. 10		8. 22	8, 11
溶連菌感染症	_	_	_	_	_	8. 43	6.03	3.80	3.18	3.04	2.04
咽頭結膜熱 (プール熱)	_		_	_	_	1.86	1.03	0.43	0.40	0.34	0. 22
発達と行動面 の相談	-	-	-	1.87	2. 16	1. 76	1.58	1. 63	1.58	1.80	1.67
(%)	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1/1	1/12	1/13	1/14	7\12	9\[/

● 子ども本人の不安や悩み

(%)	中1	中2	中3
対象者数	30331	29022	28810
特にない	61.02	55. 64	50. 92
親の仲が悪いこと	1. 85	2. 19	2. 30
自分と家族の仲が悪いこと	1. 48	1. 81	2. 00
友達との関係に関すること	7. 88	8. 12	6. 56
いじめに関すること	2. 30	1. 70	1. 01
部活動でのトラブルに関すること	6.86	9. 21	3. 21
恋愛に関すること	4. 02	5. 13	5. 10
性に関すること	0.66	0. 75	0.86
学校や塾の成績に関すること	20. 57	24. 25	28. 05
進路に関すること	11. 88	22. 60	36. 02
親がなにかと干渉してくること	4. 07	4. 83	6. 11
親の期待や要求が高すぎること	4. 86	5. 41	5. 21
何かにつけ兄弟姉妹と比べられること	5. 09	4. 88	4. 57
自分の容姿に関すること	6. 33	8. 44	10. 11
健康(病気)に関すること	3. 93	4. 52	4. 95
その他	1. 49	2. 07	1.94

4. 21世紀出生児縦断調査(平成22年出生児)(平成22~27年)

● 両親の喫煙

(%)	対象者数	母親の喫煙「あり」	対象者数	父親の喫煙「あり」
0 歳	38519	96'9	15589	41.46
4歳	28077	8.13	10216	37.98

● 診察を受けた病気やけが

流行性耳下腺炎	- 6	3 1. 27	- 1.05	- 1.78	- 2.87
腸重積	0. 29	0.13	•	-	
突発性発疹	33.09	_	_		1
風しん	0. 22	0.11	0.07	0.05	0 04
本	0.10	90 .0	0.19	0.02	0 0
水痘	9.15	8.89	7.41	8. 28	3, 63
・	0. 20	0.13	-	Ι	1
対象者数	33356	32380	29582	28161	27785
(%)	1歳	2歳	3歳	4歳	2字

かぜ、咽頭炎、扁桃炎、扁りり、水の、魚の、水の、一の、水の、気の、水の、気を、水の、の、水の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、	.72.	71.			63. 18
中耳炎·外耳炎	18. 75	16.48	13.	16.68	14.53
結膜炎	4. 49	3.89	2.92	3.68	2. 70
食物アレル ギー	5.64	3.57	2. 59	1.95	1.37
アトピー性皮膚炎	3.62	4.35	4.84	5. 44	5.01
ぜんそく	3.42	4.97	5.78	6. 59	6.67
アレルギー性鼻炎/結膜炎	3.09	4.30	5. 78	8.89	10.03
川崎涛	0.52	0. 41	0. 41	0. 26	0. 26
(%)	1	2歳	3歳	4歳	5歳

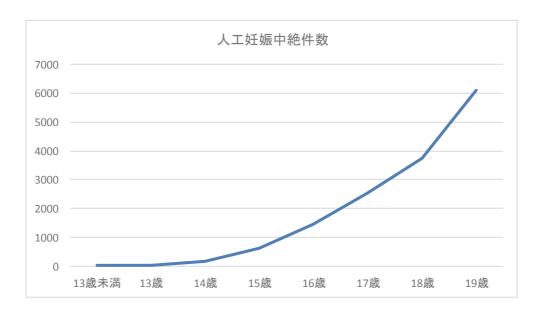
	\mathcal{C}	2	3	_	-
で				16.01	
けいれん、ひきつけ	4.12	4. 47	2. 08	1.55	0.74
先天性の病気	1.91	1.50	1. 44	1.03	0.99
その他の皮膚炎	8.02	_	_	_	1
湿疹	12. 32	11.07	9.67	8. 20	7. 48
伝染性膿痂疹	5.47	6. 48	5. 29	5.27	3.96
胃腸炎など消 化器系の病 気、下痢、腹 痛、便秘など の症状	19.39	19.36	14.89	16. 50	13. 59
インフルエン 気 ボーザー がまれる がまれる はままれる がままま おままま おままま はままま はまままままままままままままままままま	6.01	9. 62	8.36	12. 71	11. 70
(%)	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳

地区	361	10.93	7.61	4.79	4. 27	3.44
なかった	110 86	4. 40	7.57	10. 18	6. 22	8 54
打 切り 傷	, % · X	6.02	1	1	1	ı
けが(骨折・や	147	92. 9	8. 63	7. 46	5.73	5.14
その他の病気	50 NF	14. 12	7.76	8. 51	7.70	10, 52
 	¥ 0 回 ₩	_	-	-	7.43	10.31
咽頭結膜熱	(プール熱)	_	_	_	3.58	96.6
71.	の相談	1.31	1.81	2. 73	2. 93	2 93
	(%)	1歳	2歳	3歳	4歳	2輪

5. 衛生行政報告例(平成 28 年)

● 人口妊娠中絶件数 (年間)

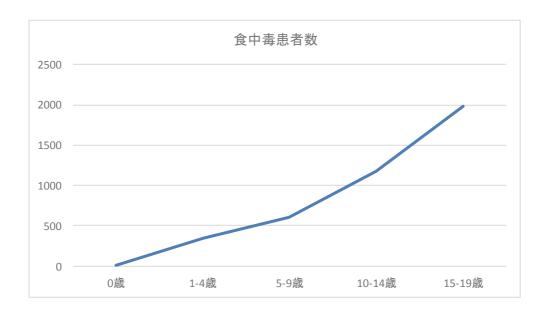
	総数	母体の健康	暴行脅迫
13 歳未満	12	11	1
13 歳	34	33	1
14 歳	174	174	-
15 歳	619	616	3
16 歳	1452	1440	12
17 歳	2517	2515	2
18 歳	3747	3740	7
19 歳	6111	6104	7
20-24 歳	38561	38496	65



6. 食中毒統計調査(平成28年)

● 食中毒患者数(年間)

	合計	男	女	
0歳	11	4	7	
1-4 歳	348	160	188	
5-9 歳	605	307	298	
10-14 歳	1170	674	496	
15-19 歳	1979	1161	818	
20-29 歳	4120	2298	1822	



7. 交通事故の発生状況(平成28年)

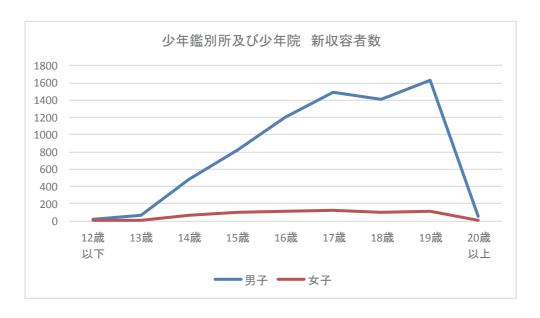
● 人口 10 万人当たり負傷者数

人口 10 万	全状態	自動車乗	自動二輪	原付乗車	自転車乗	歩行中	その他
人当たり		車中	車乗車中	中	用中		
負傷者数							
4歳以下	153.04	118.41	0.06	0.00	13.19	20.73	0.64
5-9 歳	268.67	123.97	0.43	0.00	61.70	81.63	0.94
10-14 歳	261.16	99.80	0.64	0.25	123.09	36.56	0.82
15-19 歳	631.93	205.43	51.83	70.82	273.53	29.49	0.83
20-24 歳	882.02	575.32	74.61	76.78	112.13	42.28	0.90



- 8. 少年矯正統計調査 (平成 28 年)
- 少年鑑別所及び少年院 新収容者数(年間)

	男子	女子
12 歳以下	23	2
13 歳	66	8
14 歳	482	59
15 歳	813	93
16 歳	1206	112
17 歳	1490	125
18 歳	1409	95
19 歳	1625	109
20 歳以上	49	4



9. 学校保健統計調査 (平成 28 年度)

疾病・異常被患率(推定値)

	裸眼視力0.3未満	眼の疾病・異常	難聴	耳疾患	鼻∙副鼻腔	口腔咽喉頭疾患・異常
5歳	0.85	1.87	_	2.83	3.58	1.14
6歳	1.06	5.30	0.67	9.68	14.21	2.16
7歳	2.91	5.05	0.59	6.57	12.56	1.54
8歳	5.73	5.38	0.55	5.96	12.65	1.35
9歳	9.77	5.78	_	5.41	13.35	1.27
10歳	14.11	5.41	0.45	5.18	12.51	1.12
11歳	18.02	5.36	_	3.81	12.19	0.87
12歳	22.59	5.67	0.32	5.53	13.01	0.87
13歳	28.20	4.83	_	4.45	10.68	0.67
14歳	29.26	4.86	0.30	3.48	10.90	0.55
15歳	35.15	3.84	0.26	2.89	10.81	0.43
16歳	38.41	3.24	_	2.14	8.84	0.43
17歳	39.37	3.18	0.27	1.85	8.56	0.40

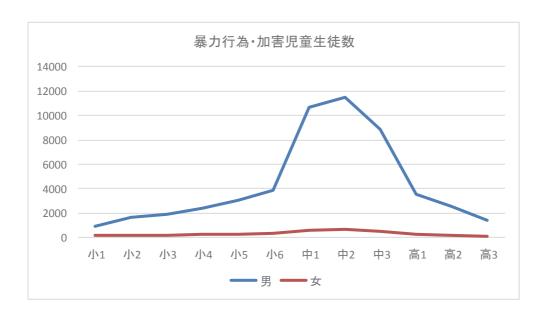
	むし歯(う歯)	歯列•咬合	顎関節	歯垢の状態	歯肉の状態	歯科その他の疾病・異常
5歳	35.64	3.64	0.06	0.60	0.21	1.78
6歳	42.83	2.99	0.08	1.26	0.64	5.54
7歳	50.45	4.54	0.10	2.42	1.31	5.48
8歳	55.54	5.02	0.09	3.31	1.87	5.53
9歳	55.54	5.18	0.15	3.56	2.28	7.33
10歳	48.91	5.18	0.16	4.08	2.76	8.90
11歳	40.00	5.60	0.22	4.23	3.06	7.90
12歳	35.52	5.41	0.37	5.15	4.05	6.07
13歳	36.47	5.40	0.47	5.52	4.57	3.71
14歳	40.37	5.30	0.47	5.55	5.06	2.67
15歳	44.05	4.41	0.62	5.01	4.54	1.18
16歳	49.40	4.42	0.66	5.17	4.75	0.96
17歳	54.26	4.33	0.72	5.23	4.79	0.87

	心電図異常	蛋白検出の者	尿糖検出の者	ぜん息	腎臓疾患	言語障害	その他の疾病・異常
5歳	_	0.65	-	2.30	0.05	0.52	1.37
6歳	2.44	0.48	0.06	3.88	0.15	0.68	2.83
7歳	-	0.47	0.06	3.72	0.14	0.63	2.88
8歳	-	0.50	0.06	3.70	0.20	0.49	2.85
9歳	-	0.68	0.06	3.77	0.18	0.34	3.04
10歳	_	0.92	0.07	3.51	0.18	0.25	3.05
11歳	_	1.46	0.09	3.57	0.20	0.22	3.02
12歳	3.30	2.33	0.12	3.02	0.21	0.09	2.79
13歳	_	2.67	0.11	2.90	0.21	0.08	2.91
14歳	-	2.72	0.14	2.78	0.23	0.08	2.89
15歳	3.39	4.03	0.19	1.96	0.19	0.03	2.69
16歳	_	3.10	0.18	1.89	0.22	0.03	2.50
17歳	_	2.72	0.21	1.88	0.24	0.02	2.32

10. 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(平成27年)

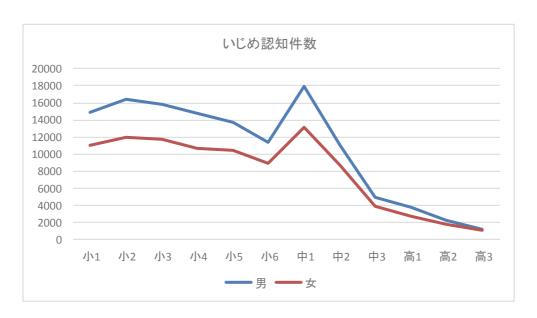
● 加害児童生徒数(暴力行為)

	男	女
小 1	933	152
小 2	1633	167
小 3	1916	176
小 4	2419	243
小 5	3032	270
小 6	3845	302
中 1	10660	553
中 2	11455	697
中 3	8903	490
高 1	3501	274
高 2	2587	162
高 3	1439	110



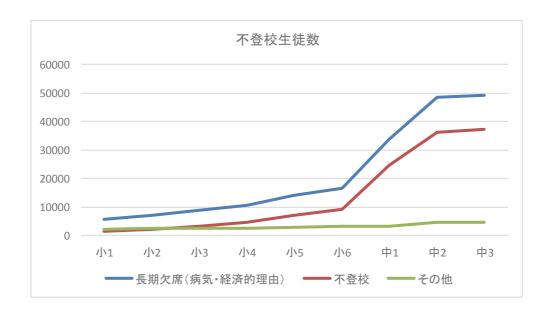
● いじめの認知件数

	男	女
小 1	14834	10982
小2	16432	11910
小 3	15793	11773
小 4	14726	10710
小 5	13775	10456
小 6	11361	8940
中 1	17900	13185
中 2	10967	8670
中 3	4899	3881
高 1	3746	2666
高 2	2207	1782
高 3	1193	1032



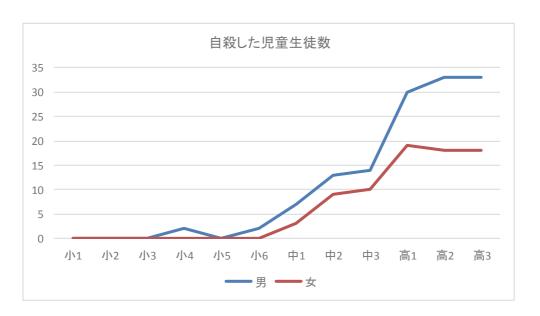
不登校児童生徒数

	長期欠席 (病気・	不登校	その他
	経済的理由)		
小 1	5795	1332	2143
小 2	7188	2099	2367
小 3	8757	3304	2429
小 4	10715	4780	2520
小 5	13982	6977	2921
小 6	16654	9091	3164
中 1	33855	24776	3180
中 2	48609	36249	4446
中 3	49343	37383	4624



自殺した児童生徒数

	男	女
小 1	0	0
小2	0	0
小 3	0	0
小 4	2	0
小 5	0	0
小 6	2	0
中 1	7	3
中 2	13	9
中 3	14	10
高 1	30	19
高 2	33	18
高 3	33	18



章末資料 I-4小児の年齢区分別主な健康課題(サマリー表)

	青年期 (16~20歳頃)	受療の機会 急性上気道感染症 鼻アレルギー インフルエゲ及び肺炎 インフルエンザ及び肺炎 精膜の障害 皮膚炎及び湿疹 歯の病気	自覚症状 鼻がつまる・鼻水が出る 体がだるい 体がだるい 育さやたんが出る 肩こり・腰痛	死亡のリスク 中枢神経系の悪性新生物 白血病 前数 不整脈及び伝導障害	会 障害,ストレス関連障害及び身体表	悩み 学業・受験・進学 家族以外との人間関係 自分の仕事 幸福感・自尊感情の低下	生活習慣・行動 スマホ・ネット依存 久食・孤食 ダイエット 飲酒・喫煙 性行動 交通事故(第1当事者: 自転車/自動車)	死亡のリスク 自殺 交通事故 不慮の溺死及び溺水 不慮の窒息 転倒・転落
		・ 母泰の機歩・ 急性上気道・ 鼻アレルギー・インフルエン・ 間切り・ 間切り・ 財政の・ 放局炎及び・ 財政の・ 財政の	● 自覚症状・ 鼻がつまる・ 体がだるい・ 頭痛・ せきやたんが・ 同じ・ 関痛・ 同じ・ 関痛・	死亡のリスク中枢神経系の自血病請炎不整脈及び6	● 受療の機会・ 神経症性障害、現性障害	悩み学業・受験・進学家族以外との人「自分の仕事幸福感・自尊感情	● 仕活習債・スマホ・ネックを・辺食・辺食・辺食を・ダイエット・ 飲酒・喫煙・ 性行動・ 性行動・ 交通事故()	•
4X /	思春期 (11~15歲頃)	 受療の機会 ・急性上気道感染症 ・鼻アレルギー インフルエンザ及び肺炎 ・眼筋・眼球運動・調節及び屈折の障害 ・ 柱膚炎及び湿疹 ・ 歯の病気 ・ 歯の病気 	自覚症状鼻がつまる・鼻水が出るせきやたんが出る骨折・ねんざ・脱きゅう頭痛	死亡のリスク中枢神経系の悪性新生物白血病インフルエンザ請炎	● 受療の機会・ 神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	 悩み・ 学業・受験・進学・ 家族以外との人間関係・ 家族との人間関係	 生活習慣・行動 電子メディア(テレビ・ゲーム・PC等)の長時 間使用 いじめ・暴力行為 不登校 文食・孤食 19歳,156,424(千点)	
11十.6年米中陸(ノノノ	学童期 (6~10歳頃)	 受療の機会 急性上気道感染症 事性下気道疾患 鼻アレルギー インフルエンザ及び肺炎 皮膚炎及び湿疹 歯の病気 	 自覚症状 鼻がつまる・鼻水が出る せきやたんが出る かゆみ(湿疹・水虫など) 	死亡のリスク中枢神経系の悪性新生物白血病肺炎	受療の機会・ 心理的発達の障害		 生活習慣・行動 電子メディア(テレビ・ゲーム・PC等)の長時 間使用 12歳, 255,723(千点) 	
イスゲー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	乳幼児期 (0~5歳頃)	 ● 受療の機会 ・急性上気道感染症 ・慢性下気道疾患 ・ 皮膚炎及び温疹 ・ 腸管感染症 	 ● 自覚症状 ・ 鼻がつまる・鼻水が出る ・ せきやたんが出る ・ 製がある ・ かゆみ(追移・水虫など) ・ 発疹(じんま疹・できものなど) ・ ゼイゼイする 	 死亡のリスク 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 先天性奇形 発色体異常 SIDS 敗血症 肺炎 	● 受療の機会・ 心理的発達の障害		 成育環境 虐待	 死亡のリスク 不慮の窒息 0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 小米忠
(⊬			身体的健康		** 1	种的健康	拉邻5	5.健康

研究課題Ⅱ

GBD 研究における日本の子どもの主な疾病負担とリスク因子

研究要旨

GBD 研究(Global Burden of Disease Study)の分析ツールを用いて、日本の小児期の疾病負担の現状把握を行った。5歳未満人口では、感染症等(communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases)による疾病負担が、総DALYの3割を占めている一方で、5-14歳人口では、抑うつ、依存症等の精神・行動の障害の疾病負担が大きいことが示された。今後は、より詳細で正確なデータを用いて、日本の小児期の疾病負担を評価できるよう、GBD 研究との連携を進める必要がある。

I 背景

GBD 研究(Global Burden of Disease Study)では、世界各国のあらゆる疾患・けが(injury)・障害、またそれらの原因となり得るリスク因子に関して、調査研究(各国の政府統計や疾病登録、疫学研究等)のデータを収集し、地域別や性別・年齢別に、健康統合指標である DALY (Disability-adjusted Life Years:障害調整生存年)を、病気や障害ごとに算出している。DALY は、YLL(Years of Life Lost:損失生存年)+YLD(Years Lived with Disability:障害生存年数)で計算されるが、この指標を用いることで、死亡年齢や障害度を考慮し、死亡数・死亡率のみでは捉えられない、各疾患・障害の「疾病負担」を、定量的に評価することができる。今回、本研究事業の一環として、この GBD ツール(http://www.healthdata.org/data-tools)を用いて、日本の小児期における疾病負担を、性別・年齢階級別に示した。

Ⅱ 方法

GBD 研究では、死亡や損傷の原因(Cause of death or injury)となる 300 以上の疾患・障害等をいくつかの段階・階層に分けて分類しているが、第一段階(Level 1)では、これらをまず 3 つのグループ(①communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases (CMNNDs); ②non-communicable diseases (NCDs); ③injuries)に分類している。今回の集計では、この GBD cause における Level 1 の 3 分類での、性別・年齢階級別に日本の小児期における DALY を集計した。

また、GBD cause (Level 3) を ICD10 の大分類(22 項目)と紐付けし、性別・年齢階級別に DALY を集計した。GBD cause と ICD10 大分類の対応表を章末の資料に示した(章末資料 II-2)。GBD cause コードのうち、ICD10 の大分類に紐付けできない項目(Sense organ diseases と Endocrine, metabolic, blood, and immune disorders)については、今回の集計からは除外した。

Ⅲ 結果

GBD 研究の Web サイトで公開されている分析ツールでは、各国・地域における各疾病やけがの総 DALY に占める割合を把握することができる(例えば、日本で早産が総 DALY に占める割合は、0.5 歳人口では 6.37%、5.14 歳人口では 1.21%、15.49 歳人口では 0.46%、50.69 歳人口では 0.16%、全人口では 0.24%と表示される(2016 年集計))。

今回はこのツールを用いて、日本において各疾病・けがの原因 (Cause of death or injury) が総 DALY に占める割合を集計した(0-14 歳対象)。表 II-1 に、5 歳未満人口の DALY、表 II-2 に、5-14 歳人口の DALY の集計結果を記載した。また、表 II-3 から 6 には、DALY と人口動態調査における死亡率(人口 10 万人対)、それぞれのランクを示した(2016 年集計)。また章末には、年齢階級別・性別の DALY 集計表およびグラフを示している。なお、各表における「該当件数」は、各分類に属する疾患数を意味し、「Value」は各傷病が総 DALY に占める割合(Percent of total DALYs)を示している(章末資料 II-3)。

図 II-1 から図 II-4 は、GBD の Interactive tool により作成される DALY 及び YLD の分 布図である。面積が大きいほど、疾病負担が重いことを示している。日本の推計において、大きな面積を占めている「Skin」には、アトピー性皮膚炎や湿疹などが含まれる(章末の略語表参照:資料 II-1)。また図 II-5 では傷病 3 分類での年齢階級別 DALY の分布を示した。

表 II-1 日本の 5 歳未満人口における各 Cause の疾病分類別 DALY (%) (2016 年)

Cause of death or injury	該当件数	Value	Lowerbound	Upperbound
Communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases	56	0.30	0.24	0.39
Non-communicable diseases	93	0.56	0.44	0.70
Injuries	17	0.11	0.09	0.15
感染症•寄生虫症	33	0.03	0.02	0.03
新生物	29	0.03	0.03	0.04
血液・造血器疾患および免疫機能障害	2	0.04	0.02	0.06
内分泌・栄養・代謝疾患	5	0.02	0.01	0.02
精神と行動の障害	13	0.02	0.01	0.03
神経系の疾患	9	0.02	0.02	0.03
眼および付属器の疾患	0	0.00	0.00	0.00
耳および乳様突起の疾患	1	0.01	0.01	0.01
循環器系疾患	10	0.02	0.02	0.03
呼吸器系疾患	7	0.08	0.06	0.11
消化器系疾患	15	0.01	0.01	0.02
皮膚・皮下組織疾患	1	0.13	0.09	0.18
筋骨格系•結合組織疾患	5	0.00	0.00	0.00
腎尿路生殖器系疾患	4	0.01	0.00	0.01
妊娠・分娩・産褥	8	0.00	0.00	0.00
周産期疾患	5	0.16	0.13	0.19
先天奇形、変形および染色体異常	1	0.25	0.22	0.30
症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.03	0.02	0.03
損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	0.00	0.00	0.00
傷病および死亡の外因	15	0.11	0.09	0.15
健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	1	0.00	0.00	0.00
特殊目的用コード	1	0.00	0.00	0.00

表 II-2 日本の 5-14 歳人口における各 Cause の疾病分類別 DALY (%) (2016 年)

Cause of death or injury	該当件数	Value	Lowerbound	Upper bound
Communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases	56	0.10	0.07	0.15
Non-communicable diseases	93	0.75	0.57	0.98
Injuries	17	0.10	0.08	0.13
感染症•寄生虫症	33	0.01	0.01	0.01
新生物	29	0.04	0.03	0.05
血液・造血器疾患および免疫機能障害	2	0.03	0.02	0.04
内分泌·栄養·代謝疾患	5	0.00	0.00	0.01
精神と行動の障害	13	0.19	0.14	0.26
神経系の疾患	9	0.08	0.05	0.11
眼および付属器の疾患	0	0.00	0.00	0.00
耳および乳様突起の疾患	1	0.01	0.01	0.01
循環器系疾患	10	0.01	0.01	0.02
呼吸器系疾患	7	0.10	0.08	0.14
消化器系疾患	15	0.02	0.01	0.02
皮膚・皮下組織疾患	1	0.26	0.21	0.31
筋骨格系•結合組織疾患	5	0.04	0.03	0.05
腎尿路生殖器系疾患	4	0.00	0.00	0.00
妊娠・分娩・産褥	8	0.00	0.00	0.00
周産期疾患	5	0.02	0.01	0.04
先天奇形、変形および染色体異常	1	0.04	0.03	0.05
症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.00	0.00	0.00
損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	0.00	0.00	0.00
傷病および死亡の外因	15	0.10	0.08	0.13
健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	1	0.00	0.00	0.00
特殊目的用コード	1	0.00	0.00	0.00

図Ⅱ-1 日本の5歳未満人口における各 Cause の疾病分類別 DALY (2016年)

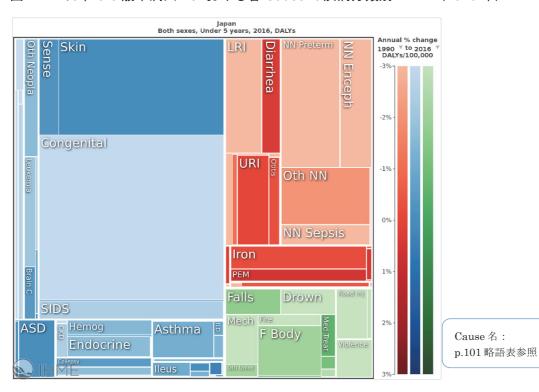
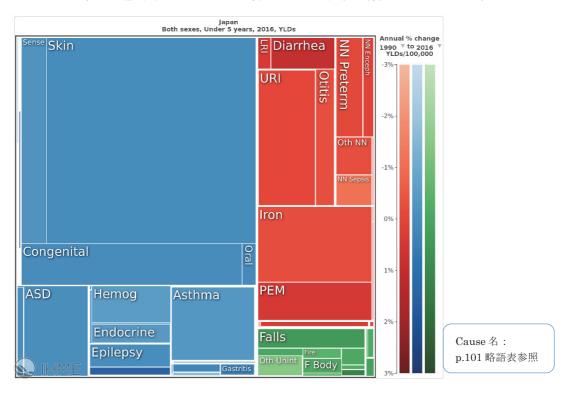
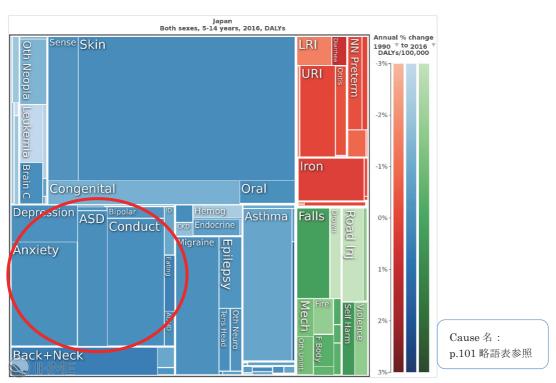


図 II-2 日本の 5 歳未満人口における各 Cause の疾病分類別 YLD (2016 年)

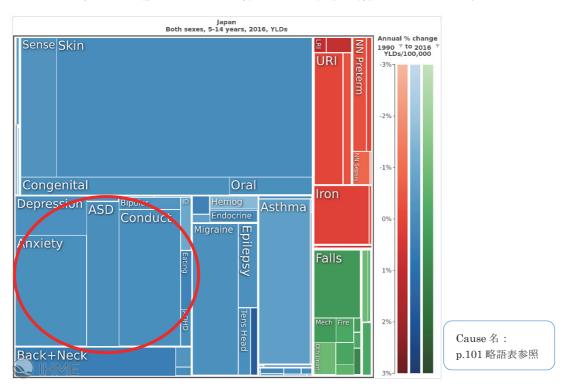


図Ⅱ-3 日本の 5-14 歳人口における各 Cause の疾病分類別 DALY (2016 年)



※赤丸部分: Mental and substance use disorder

図Ⅱ-4 日本の 5-14 歳人口における各 Cause の疾病分類別 YLD (2016 年)



※赤丸部分: Mental and substance use disorder

図Ⅱ-5 日本における年齢階級別 DALY(%) 分布(Level1 分類): 2016

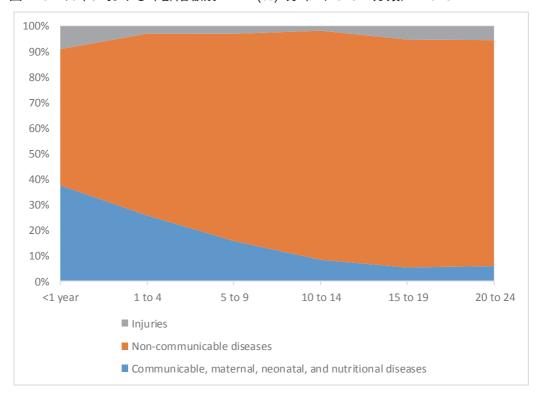
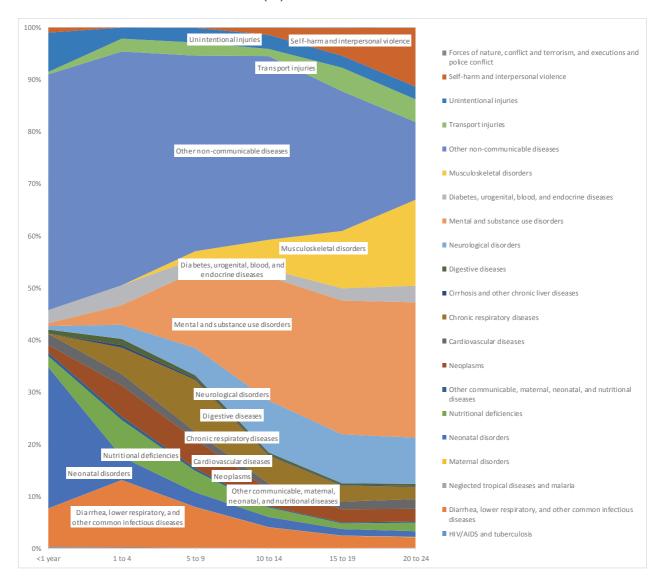


図 II-6 日本における年齢階級別 DALY(%) 分布(Level2 分類): 2016



年齢階級別・各 Cause の DALY (%) および死亡率 (人口 10 万人対) ランク (2016 年)

表Ⅱ-3 5歳未満人口

順位	傷病名(ICD10大分類)	DALY	順位	傷病名(ICD10大分類)	死亡率
1	先天奇形、変形および染色体異常	0.25	1	先天奇形、変形および染色体異常	16.61
2	周産期疾患	0.16	2	周産期疾患	10.62
3	皮膚・皮下組織疾患	0.13	3	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6.88
4	傷病および死亡の外因	0.11	4	傷病および死亡の外因	4.27
5	呼吸器系疾患	0.08	5	呼吸器系疾患	3.88
6	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.04	6	感染症•寄生虫症	2.80
	新生物	0.03	7	循環器系疾患	1.90
8	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.03	8	新生物	1.86
9	感染症•寄生虫症	0.03	9	神経系の疾患	1.78
10	神経系の疾患	0.02	10	消化器系疾患	1.72
11	循環器系疾患	0.02	11	内分泌・栄養・代謝疾患	0.76
12	精神と行動の障害	0.02	12	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.49
13	内分泌•栄養•代謝疾患	0.02		腎尿路生殖器系疾患	0.18
14	消化器系疾患	0.01	14	筋骨格系•結合組織疾患	0.04
15	耳および乳様突起の疾患	0.01	15	皮膚・皮下組織疾患	0.02
16	腎尿路生殖器系疾患	0.01	16	精神と行動の障害	0.00
17	眼および付属器の疾患	0.00	17	眼および付属器の疾患	0.00
18	筋骨格系 · 結合組織疾患	0.00	18	耳および乳様突起の疾患	0.00
19	妊娠・分娩・産褥	0.00	19	妊娠・分娩・産褥	0.00
20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00	20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00

表Ⅱ-4 5-9歳人口

順位	傷病名(ICD10大分類)	DALY	順位	傷病名(ICD10大分類)	死亡率
	皮膚·皮下組織疾患	0.24		新生物	1.89
2	呼吸器系疾患	0.14	2	傷病および死亡の外因	1.70
3	精神と行動の障害	0.14	3	呼吸器系疾患	0.76
4	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.11	4	神経系の疾患	0.71
5	傷病および死亡の外因	0.06	5	先天奇形、変形および染色体異常	0.61
6	神経系の疾患	0.05	6	感染症 · 寄生虫症	0.51
7	新生物	0.05	7	循環器系疾患	0.44
8	先天奇形、変形および染色体異常	0.05	8	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.29
9	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.05	9	消化器系疾患	0.23
10	周産期疾患	0.03	10	腎尿路生殖器系疾患	0.11
11	消化器系疾患	0.02	11	内分泌・栄養・代謝疾患	0.10
12	筋骨格系•結合組織疾患	0.01	12	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.06
13	循環器系疾患	0.01	13	周産期疾患	0.06
14	耳および乳様突起の疾患	0.01	14	筋骨格系•結合組織疾患	0.02
15	感染症•寄生虫症	0.01	15	精神と行動の障害	0.00
16	腎尿路生殖器系疾患	0.00		眼および付属器の疾患	0.00
17	内分泌·栄養·代謝疾患	0.00	17	耳および乳様突起の疾患	0.00
18	妊娠・分娩・産褥	0.00	18	皮膚·皮下組織疾患	0.00
19	眼および付属器の疾患	0.00	19	妊娠・分娩・産褥	0.00
20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00	20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00

表Ⅱ-5 10-14 歳人口

順位	傷病名(ICD10大分類)	DALY	順位	傷病名(ICD10大分類)	死亡率
1	皮膚·皮下組織疾患	0.27	1	傷病および死亡の外因	2.91
2	精神と行動の障害	0.23	2	新生物	1.87
3	神経系の疾患	0.10	3	神経系の疾患	0.64
4	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.09	4	呼吸器系疾患	0.64
5	呼吸器系疾患	0.08	5	循環器系疾患	0.60
6	筋骨格系 · 結合組織疾患	0.05	6	先天奇形、変形および染色体異常	0.49
7	傷病および死亡の外因	0.05	7	消化器系疾患	0.18
8	新生物	0.03	8	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.16
9	先天奇形、変形および染色体異常	0.03	9	感染症·寄生虫症	0.15
10	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.02	10	内分泌・栄養・代謝疾患	0.09
11	周産期疾患	0.02	11	筋骨格系•結合組織疾患	0.09
12	消化器系疾患	0.01	12	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.07
13	循環器系疾患	0.01	13	腎尿路生殖器系疾患	0.07
14	感染症•寄生虫症	0.01	14	精神と行動の障害	0.04
15	耳および乳様突起の疾患	0.01	15	眼および付属器の疾患	0.02
16	内分泌・栄養・代謝疾患	0.01	16	周産期疾患	0.02
17	腎尿路生殖器系疾患	0.00	17	耳および乳様突起の疾患	0.00
18	妊娠・分娩・産褥	0.00	18	皮膚·皮下組織疾患	0.00
19	眼および付属器の疾患	0.00	19	妊娠·分娩·産褥	0.00
20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00	20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00

表Ⅱ-6 15-19 歳人口

順位	傷病名(ICD10大分類)	DALY	順位	傷病名(ICD10大分類)	死亡率
1	精神と行動の障害	0.25	1	傷病および死亡の外因	13.10
2	皮膚・皮下組織疾患	0.21	2	新生物	2.23
3	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.15	3	循環器系疾患	1.09
4	筋骨格系•結合組織疾患	0.11	4	神経系の疾患	0.94
5	神経系の疾患	0.09	5	呼吸器系疾患	0.55
6	傷病および死亡の外因	0.08	6	先天奇形、変形および染色体異常	0.44
7	呼吸器系疾患	0.05	7	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.35
8	新生物	0.02	8	消化器系疾患	0.34
9	先天奇形、変形および染色体異常	0.02	9	感染症·寄生虫症	0.25
10	循環器系疾患	0.01	10	内分泌·栄養·代謝疾患	0.13
- 11	周産期疾患	0.01	- 11	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.12
12	消化器系疾患	0.01	12	腎尿路生殖器系疾患	0.08
13	腎尿路生殖器系疾患	0.01	13	筋骨格系•結合組織疾患	0.02
14	血液・造血器疾患および免疫機能障害	0.01	14	周産期疾患	0.02
15	内分泌・栄養・代謝疾患	0.01	15	精神と行動の障害	0.00
16	感染症 · 寄生虫症	0.00	16	眼および付属器の疾患	0.00
17	耳および乳様突起の疾患	0.00	17	耳および乳様突起の疾患	0.00
18	妊娠・分娩・産褥	0.00	18	皮膚・皮下組織疾患	0.00
19	眼および付属器の疾患	0.00	19	妊娠・分娩・産褥	0.00
20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00	20	損傷、中毒およびその他の外因の影響	0.00

Ⅳ 考察

5 歳未満児では、3 分類での感染症等(Communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases)による疾病負担は、1990年と比較すると減少しているものの(1990年:34%)、2016年の集計においても3割を占めている。年齢とともに感染症に関するDALYが減少する一方で、他の先進国同様、日本においても、思春期以降はメンタルヘルスに関する問題(うつ状態、薬物依存など)が総DALYに占める割合が大きくなり、「精神と行動の障害」が5-14歳人口におけるDALY ランクの第二位となっている(5-14歳人口における抑うつ障害の総DALYに占める割合は2.04%、不安障害は5.76%、行動障害は6.12%(2016年))(図 $II\cdot3\cdot4$ 参照)。

DALYは、mortalityとdisabilityを考慮した疾病負担に関する「推計値」であり、disabilityの重み付けに関する問題など、モデル設計に限界はあるものの、疾病構造の把握や、小児期発症疾患の長期的な影響などを示す上で、一つの重要な指標となり得る。今後の課題として、より詳細で正確なデータを用いて、日本の小児期における疾病負担を評価できるよう、データ収集や分析方法の検討など、GBD研究との連携を進める必要がある。

研究課題Ⅱ 章末資料

章末資料Ⅱ-1 図中の略語表

Anxiety	Anxiety disorders			
ASD	Autistic spectrum disorders			
ADHD	Attention-deficit/hyperactivity disorder			
Back + Neck	Low back and neck pain			
Bipolar	Bipolar disorder			
Brain C	Brain and nervous system cancer			
CKD	Chronic kidney disease			
Conduct	Conduct disorder			
Congenital	Congenital birth defects			
Depression	Depressive disorders			
Diarrhea	Diarrheal diseases			
Drown	Drowning			
Eating	Eating disorders			
Endocrine	Endocrine, metabolic, blood, and immune disorders			
F Body	Foreign body			
Fire	Fire, heat, and hot substances			
Gastritis	Gastritis and duodenitis			
Hemog	Hemoglobinopathies and hemolytic anemias			
Hernia	Inguinal, femoral, and abdominal hernia			
ID	Idiopathic developmental intellectual disability			
ILD	Interstitial lung disease and pulmonary sarcoidosis			
Ileus	Paralytic ileus and intestinal obstruction			
Iron	Iron-deficiency anemia			
LRI	Lower respiratory infections			
Mech	Exposure to mechanical forces			
Med Treat	Adverse effects of medical treatment			
NN Enceph	Neonatal encephalopathy due to birth asphyxia and trauma			
NN Preterm	Neonatal preterm birth complications			
NN Sepsis	Neonatal sepsis and other neonatal infections			
Oral	Oral disorders			
Oth NN	Other neonatal disorders			
Oth Unit	Other unintentional injuries			
Other Neopla	Other neoplasms			
Other Neuro	Other neurological disorders			
Otitis	Otitis media			
PEM	Protein-energy malnutrition			
Road Inj	Road injuries			
Sense	Sense organ diseases			
SIDS	Sudden infant death syndrome			
Skin	Skin and subcutaneous diseases			
Tens Head	Tension-type headache			
URI	Upper respiratory infections			
Violence	Interpersonal violence			

章末資料 II -2 GBD cause コードと ICD10 (大分類) の対応表

Cause of death or injury	GBD⊐ード	ICD10(大分類)
Tuberculosis	A.1.1	感染症•寄生虫症
HIV/AIDS	A.1.2	感染症•寄生虫症
Diarrheal diseases	A.2.1	感染症•寄生虫症
Intestinal infectious diseases	A.2.2	感染症•寄生虫症
Lower respiratory infections	A.2.3	呼吸器系疾患
Upper respiratory infections	A.2.4	呼吸器系疾患
Otitis media	A.2.5	耳および乳様突起の疾患
Meningitis	A.2.6	神経系の疾患
Encephalitis	A.2.7	神経系の疾患
Diphtheria	A.2.8	感染症•寄生虫症
Whooping cough	A.2.9	感染症•寄生虫症
Tetanus	A.2.10	感染症•寄生虫症
Measles	A.2.11	感染症•寄生虫症
Varicella and herpes zoster	A.2.12	感染症•寄生虫症
Malaria	A.3.1	感染症•寄生虫症
Chagas disease	A.3.2	感染症•寄生虫症
Leishmaniasis	A.3.3	感染症•寄生虫症
African trypanosomiasis	A.3.4	感染症•寄生虫症
Schistosomiasis	A.3.5	感染症•寄生虫症
Cysticercosis	A.3.6	感染症•寄生虫症
Cystic echinococcosis	A.3.7	感染症•寄生虫症
Lymphatic filariasis	A.3.8	感染症•寄生虫症
Onchocerciasis	A.3.9	感染症•寄生虫症
Trachoma	A.3.10	感染症•寄生虫症
Dengue	A.3.11	感染症•寄生虫症
Yellow fever	A.3.12	感染症•寄生虫症
Rabies	A.3.12	感染症•寄生虫症
Intestinal nematode infections	A.3.14	感染症•寄生虫症
Food-borne trematodiases	A.3.15	感染症•寄生虫症
Other neglected tropical diseases	A.3.20	感染症•寄生虫症
Maternal hemorrhage	A.4.1	妊娠・分娩・産褥
Maternal sepsis and other maternal infections	A.4.2	妊娠・分娩・産褥
Maternal hypertensive disorders	A.4.3	妊娠・分娩・産褥
Maternal obstructed labor and uterine rupture	A.4.4	妊娠・分娩・産褥
Maternal abortion, miscarriage, and ectopic pregnancy	A.4.5	妊娠・分娩・産褥
Indirect maternal deaths	A.4.6	妊娠・分娩・産褥
Late maternal deaths	A.4.7	妊娠・分娩・産褥
	A.4.9	妊娠・分娩・産褥
Other maternal disorders Neonatal preterm birth complications	A.5.1	妊娠・ガ焼・ <u>産粉</u>
·		
Neonatal encephalopathy due to birth asphyxia and trauma	A.5.2	<u>周産期疾患</u> 周産期疾患
Neonatal sepsis and other neonatal infections	A.5.3	
Hemolytic disease and other neonatal jaundice	A.5.4 A.5.5	周産期疾患 周産期疾患
Other neonatal disorders		
Protein-energy malnutrition	A.6.1	内分泌・栄養・代謝疾患
Iodine deficiency	A.6.2	内分泌・栄養・代謝疾患
Vitamin A deficiency	A.6.3	内分泌・栄養・代謝疾患
Iron-deficiency anemia	A.6.4	血液・造血器疾患および免疫機能障害
Other nutritional deficiencies	A.6.5	内分泌・栄養・代謝疾患

Cause of death or injury	GBD ¬—K	ICD10(大分類)
Sexually transmitted diseases excluding HIV	A.7.1	感染症•寄生虫症
Hepatitis	A.7.2	感染症•寄生虫症
Leprosy	A.3.16	感染症•寄生虫症
Other infectious diseases	A.7.3	感染症•寄生虫症
Esophageal cancer	B.1.4	新生物
Stomach cancer	B.1.5	新生物
Liver cancer	B.1.7	新生物
Larynx cancer	B.1.10	新生物
Tracheal, bronchus, and lung cancer	B.1.11	新生物
Breast cancer	B.1.14	新生物
Cervical cancer	B.1.15	新生物
Uterine cancer	B.1.16	新生物
Prostate cancer	B.1.18	新生物
Colon and rectum cancer	B.1.6	新生物
Lip and oral cavity cancer	B.1.1	新生物
Nasopharynx cancer	B.1.2	新生物
Other pharynx cancer	B.1.3	新生物
Gallbladder and biliary tract cancer	B.1.8	新生物
Pancreatic cancer	B.1.9	新生物
Malignant skin melanoma	B.1.12	新生物
Non-melanoma skin cancer	B.1.13	新生物
Ovarian cancer	B.1.17	新生物
Testicular cancer	B.1.19	新生物
Kidney cancer	B.1.20	新生物
Bladder cancer	B.1.21	新生物
Brain and nervous system cancer	B.1.22	新生物
Thyroid cancer	B.1.23	新生物
Mesothelioma	B.1.24	新生物
Hodgkin lymphoma	B.1.25	新生物
Non-Hodgkin lymphoma	B.1.26	新生物
Multiple myeloma	B.1.27	新生物
Leukemia	B.1.28	新生物
Other neoplasms	B.1.29	新生物
Rheumatic heart disease	B.2.1	循環器系疾患
Ischemic heart disease	B.2.2	循環器系疾患
Cerebrovascular disease	B.2.3	循環器系疾患
Hypertensive heart disease	B.2.4	循環器系疾患
Cardiomyopathy and myocarditis	B.2.5	循環器系疾患
Atrial fibrillation and flutter	B.2.6	循環器系疾患
Aortic aneurysm	B.2.7	循環器系疾患
Peripheral artery disease	B.2.8	循環器系疾患
Endocarditis	B.2.9	循環器系疾患
Other cardiovascular and circulatory diseases	B.2.10	循環器系疾患
Chronic obstructive pulmonary disease	B.3.1	呼吸器系疾患
Pneumoconiosis	B.3.2	呼吸器系疾患
Asthma	B.3.3	呼吸器系疾患
Interstitial lung disease and pulmonary sarcoidosis	B.3.4	呼吸器系疾患
Other chronic respiratory diseases	B.3.5	呼吸器系疾患

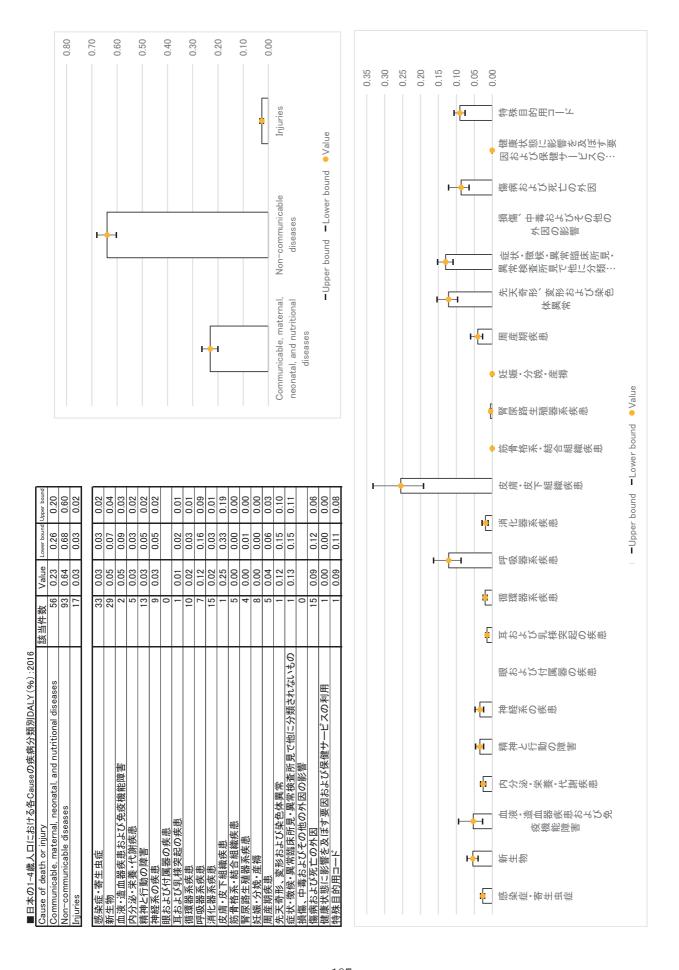
	000- 1	10010/土八本)
Cause of death or injury		ICD10(大分類)
	B.4.1	消化器系疾患
	B.4.2	消化器系疾患
Cirrhosis and other chronic liver diseases due to alcohol use		消化器系疾患
Cirrhosis and other chronic liver diseases due to other causes	B.4.4	消化器系疾患
Peptic ulcer disease	B.5.1	消化器系疾患
Gastritis and duodenitis	B.5.2	消化器系疾患
Appendicitis	B.5.3	消化器系疾患
Paralytic ileus and intestinal obstruction	B.5.4	消化器系疾患
Inguinal, femoral, and abdominal hernia	B.5.5	消化器系疾患
Inflammatory bowel disease	B.5.6	消化器系疾患
Vascular intestinal disorders	B.5.7	消化器系疾患
Gallbladder and biliary diseases	B.5.8	消化器系疾患
Pancreatitis	B.5.9	消化器系疾患
Other digestive diseases	B.5.10	消化器系疾患
Alzheimer disease and other dementias	B.6.1	精神と行動の障害
Parkinson disease	B.6.2	神経系の疾患
Epilepsy	B.6.3	神経系の疾患
Multiple sclerosis	B.6.4	神経系の疾患
Migraine	B.6.6	神経系の疾患
Tension-type headache	B.6.7	神経系の疾患
Motor neuron disease	B.6.5	神経系の疾患
Other neurological disorders	B.6.8	神経系の疾患
Schizophrenia	B.7.1	精神と行動の障害
Alcohol use disorders	B.7.2	精神と行動の障害
Drug use disorders	B.7.3	精神と行動の障害
Depressive disorders	B.7.4	精神と行動の障害
Bipolar disorder	B.7.5	精神と行動の障害
Anxiety disorders	B.7.6	精神と行動の障害
Eating disorders	B.7.7	精神と行動の障害
Autistic spectrum disorders	B.7.8	精神と行動の障害
Attention-deficit/hyperactivity disorder	B.7.9	精神と行動の障害
Conduct disorder	B.7.10	精神と行動の障害
Idiopathic developmental intellectual disability	B.7.11	精神と行動の障害
Other mental and substance use disorders	B.7.12	精神と行動の障害
Diabetes mellitus	B.8.1	内分泌・栄養・代謝疾患
Acute glomerulonephritis	B.8.2	腎尿路生殖器系疾患
Chronic kidney disease	B.8.3	腎尿路生殖器系疾患
	B.8.4	胃尿 <u>的工程的示疾患</u> 腎尿路生殖器系疾患
Urinary diseases and male infertility	B.8.5	胃尿 <u>肾上湿锅汞疾患</u> 腎尿路生殖器系疾患
Gynecological diseases		月 /水 / 日 土 / 世 / 紀 / 六 / 大 / 忠 上 / 世 / 紀 / 六 / 大 / 忠 上 / 上 / 上 / 上 / 上 / 上 / 上 / 上 / 上 / 上
Hemoglobinopathies and hemolytic anemias	B.8.6	
Endocrine, metabolic, blood, and immune disorders	B.8.7	不明
Rheumatoid arthritis	B.9.1	筋骨格系・結合組織疾患
Osteoarthritis	B.9.2	筋骨格系•結合組織疾患
Low back and neck pain	B.9.3	筋骨格系・結合組織疾患
Gout	B.9.4	筋骨格系・結合組織疾患
Other musculoskeletal disorders	B.9.5	筋骨格系•結合組織疾患
Congenital birth defects	B.10.1	大天奇形、変形および染色体異常
Skin and subcutaneous diseases	B.10.2	皮膚・皮下組織疾患
Sense organ diseases	B.10.3	不明
Oral disorders	B.10.4	消化器系疾患

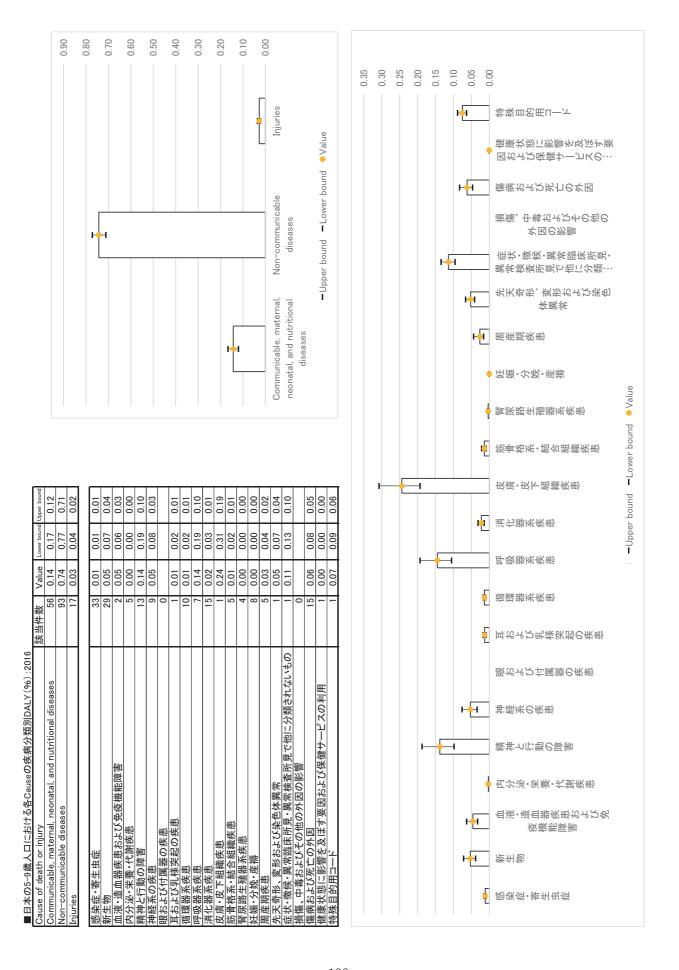
Cause of death or injury	GBD⊐ード	ICD10(大分類)
Sudden infant death syndrome	B.10.5	症状・徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
Road injuries	C.1.1	傷病および死亡の外因
Other transport injuries	C.1.2	特殊目的用コード
Falls	C.2.1	傷病および死亡の外因
Drowning	C.2.2	傷病および死亡の外因
Fire, heat, and hot substances	C.2.3	傷病および死亡の外因
Poisonings	C.2.4	傷病および死亡の外因
Exposure to mechanical forces	C.2.5	傷病および死亡の外因
Adverse effects of medical treatment	C.2.6	傷病および死亡の外因
Animal contact	C.2.7	傷病および死亡の外因
Foreign body	C.2.8	傷病および死亡の外因
Other unintentional injuries	C.2.10	傷病および死亡の外因
Self-harm	C.3.1	傷病および死亡の外因
Interpersonal violence	C.3.2	傷病および死亡の外因
Exposure to forces of nature	C.4.1	傷病および死亡の外因
Maternal deaths aggravated by HIV/AIDS	A.4.8	感染症•寄生虫症
Environmental heat and cold exposure	C.2.9	傷病および死亡の外因
Ebola	A.3.17	感染症•寄生虫症
Executions and police conflict	C.4.2	傷病および死亡の外因
Zika virus	A.3.18	感染症•寄生虫症
Guinea worm disease	A.3.19	感染症•寄生虫症
Conflict and terrorism	C.4.3	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用

(次頁以降)

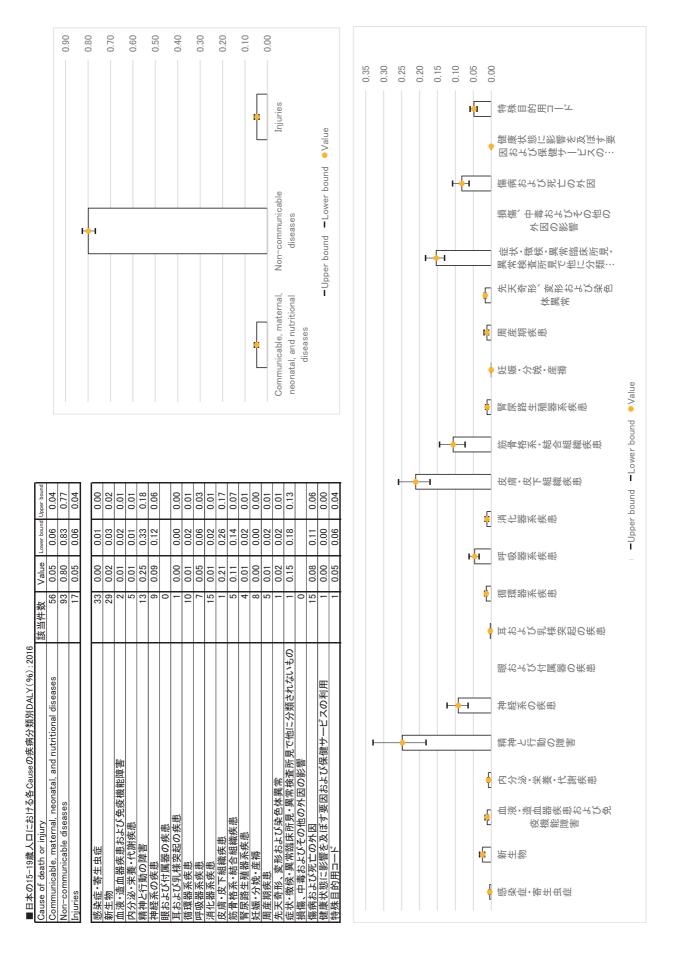
章末資料 II-3 日本の子どもの性別·年齢区分別 DALY 集計表及びグラフ (2016 年データ)

Communicable, maternal, non-communicable Injuries diseases Authoritional and nutritional diseases Authoritional and nutritional diseases Authoritional diseases	● 循環器系疾患■ 呼吸器系疾患● 消化器系疾患● 皮膚・皮下組織疾患
--	--

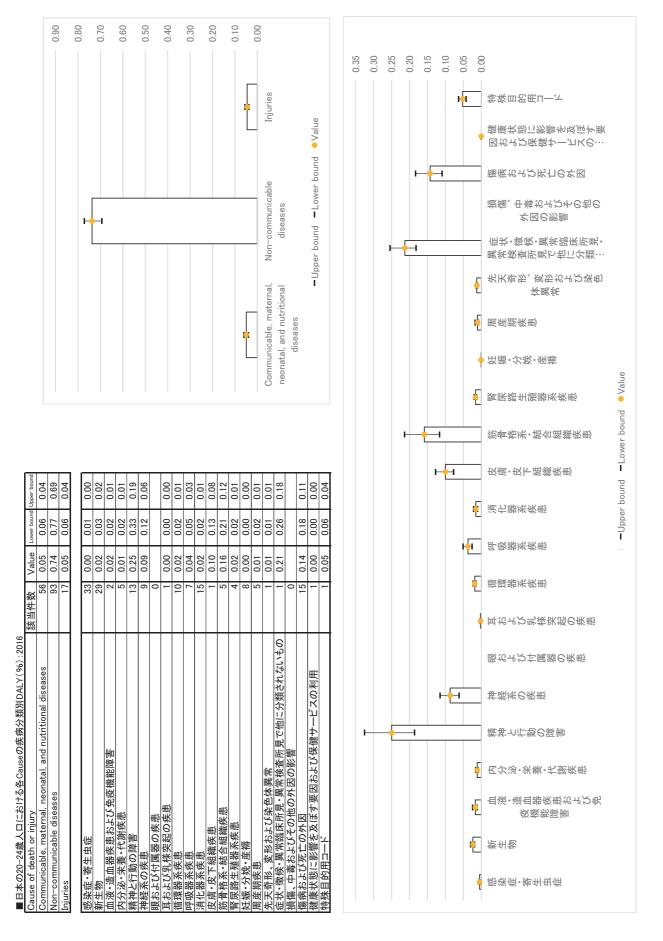




1.00	0.90 0.70 0.70 0.60 0.40 0.40 0.20 Injuries 0.10 0.10 0.10 0.10	日花よび味噌サーゴスの… 10.03 10.05 10
	Communicable, maternal, Non-communicable neonatal, and nutritional diseases diseases -Upper bound -Lower bound	■ 原孫・分娩・産婦 ・女婦・女婦・産婦 ・女子が、変形および染色 ・女子、変後・異常臨床所見・ ・女田の影響 ・女田の影響 ・女田の影響 ・女田のが響 ・女田のが動き、中毒およびその他他の は洗・後後・異常臨床所見・ は洗・後後・異常臨床所見・ は洗・後後・異常臨床所見・ は洗・後後・異常臨床所見・
該当件数 Value Lower bound Upper bound 56 0.08 0.09 0.06 93 0.83 0.85 0.80 17 0.02 0.02 0.01	33 0.01 0.01 0.00 29 0.03 0.04 0.02 2 0.02 0.03 0.04 13 0.23 0.01 0.01 13 0.23 0.31 0.16 9 0.10 0.01 0.07 0 0.01 0.01 0.00 1 0.01 0.02 0.01 1 0.01 0.02 0.01 1 0.02 0.03 0.04 1 0.03 0.00 0.00 1 0.03 0.00 1 0.03 0.00 1 0.00 0.00 0.00 1 0.00 0.00 0.00 1 0.00 0.00	一日 一日 日本の大学 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 日本 一日 日本 日本
Cause of death or injury Communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases Non-communicable diseases Injuries	磁染症・寄生虫症 新生物 血液・造血器疾患および免疫機能障害 内分泌・栄養・代謝疾患 精神と行動の障害 神経系の疾患 阻敌よび付属器の疾患 頂及よび付属器の疾患 所殖器系疾患 呼吸器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 所域器系疾患 損傷、下組織疾患 所處、分娩・産褥 原育 格系・結合組織疾患 所處、分娩・産褥 傷療力、企物の中國の影響 傷病なよび交色体異常 傷病なよび交色他の外因の影響 傷病なよび死亡の外因 傷病なよび死亡の外因 傷病なとが死亡の外因	様生物 「一様生物 血液・造血器疾患および免 内分泌・栄養・代謝疾患 精神と行動の障害 神経系の疾患 はななが、体験・代謝疾患 神経系の疾患



_	111	_



Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			/ Vear			1 +0.4			5 0	-		140 14	-	, IC	10	-	20 to	70.04	
		va	upper	ower	Va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower	val	pper	ower	val lup		ower
Communicable,	maternal, neonatal, and nutritional diseases	0.37553	0.40038	0.33447	0.23060	0.26428	0.19974	0.14358 ().16826 C	12092 0	0 78970.	.09134 0	.06414 0.	04772 0.0	0.0000000000000000000000000000000000000	0.0 68680	0.0 1267	3125 0.0	13997
HIV/AIDS ar	and tuberculosis	0.00198	0.00209	0.00187	0.00128	0.00157	0.00101	0.00063	0.00082 C	.00048 0.	.00036 0.	.00046 0	.00027 0.	00044 0.0	00053 0.0	0.0036 0.0	0.0075 0.0	00091 0.0	00062
_	Tuberculosis	0.00029	0.00032	0.00026	0.00027	0.00034	0.00021	0.00022	0.00029 (.00017 0	.00014 0	.00019 0	.00011 0.	00017 0.0	00024 0.0	0.00 81000	0.0 8800	00045 0.0	00025
	Drug-susceptible tuberculosis	0.00028	0.00031	0.00025	.00027		0.00021	0.00021	0.00028	.00016 0	00014	.00018	.00011	00017 0.0	00023 0.0		0032 0.0	0.0 44 0.0	00024
	Multidrug-resistant tuberculosis without extensive drug resistance	-	0.00001	0.00001	00001	0.00001	0.00000	0.000000	0.00001	00000	0 00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	0.00000	0.001 0.0	00000
	Extensively drug-resistant tuberculosis	-	0.00000	0.00000	_	00000	0.00000	0.00000	00000	00000	50	0	00000	0	00	000	0.0000	0.0	00000
	Latent tuberculosis intection	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	00000	00000	00000	0.00000	00000	0.00000	00000	0.00000	0.00000	0000	0.0000
<u>-</u>	Drug-suscentible HIV/AIDS - Tuberculosis	090000	0.0074	0.00.0	96,000		0.000.0	- 15	0.00034	8000	0.0000	00028	00000	00770	+500	0 500	ν α	00011	0.0005
	Multifrag -resistant HV/ADS - Tubercubois without extensive drug resistance	+	0.00003	0.00001	00001	00002	0.00001	0		0.00000	0.00000	00000	00000	0	+	00	+	00	0.00000
_	Extensively drug-resistant HIV/AIDS - Tuberculosis	-	0.00001	0.0000.0	00000	00001	0.0000.0	-	0	_	0.00000.0	.00000	00000	0	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	0.0000.0
	HIV/AIDS resulting in other diseases	0.00106	0.00132	0.000000	0.00063	0.00085	0.00047	0.00026	0.00036	00019 0	.00013 0	00019 0		00021 0.0	0.0028 0.0	0.0 91000	0.034 0.0	00045 0.0	.00025
Diarrhea, lower re	spiratory, and other common infectious diseases	0.07435	0.08177	0.06665	0.11796	0.13725 (0.10018	0.07326	0.09355 0	.02766 0.	.03814 0	.04973 0	.02952 0.	02266 0.0	0.0879 0.0	01715 0.0	1922 0.0	2588 0.0	.01440
<u></u>	Diarrheal diseases	0.01839	0.02120	0.01583	01715	02052	0.01407	00517	0.00647	00409 0	89	00326	00215 0		171	0.00119 0.0	00110 0.0	0132 0.0	0.00091
= L	Intestinal Intectious diseases Tunboid feuer	0.00003	000000	0.0000	0.00003	0.0000	0.0000	0.00002	0.00004	0 00000	0.0000	00002 0.	00000	0000	00002 0.0	0.0000	0.0	0002 0.0	0.0000
	Paratyphoid fever	0.0000	0.00002	0.0000	0000	00000	000000	-	00000	00000		0000	00000	00000	0000	00000	0.0000	0.0	0000
	Other intestinal infectious diseases		0.00000	0.00001	00001	00000	0	0.0000.0	0.00001 0.	00000	0.00000	00000	0,00000	00000	00000	0.0000	0.00000	0.0 0000	0.00000
<u></u> 1	ower respiratory infections		0.03949	0.03146	03558	0.04425	0.02818	0.01333	0.01693 0.	01035	0.00586 0.	.00752 0.	.00460	00358 0.0	.00448 0.0	00284 0.0	0	00461 0.0	0.00299
_	oper respiratory infections		0.01388	0.00519	03947		0.02516	0.03772	05718	02327	0.02196 0.	.03318 0.	.01431 0.	01319 0.0	0.1987 0.0	0.0 86/00	1050 0.0	1683 0.0	60900
0	Otitis media	0.00151	0.00219	0.00096	ပ	0.01908	0.01072	0.01272	0.01692	.00925 0.	.00539 0	.00759 0	.00376 0.	00276 0.0	0380 0.0	.00188 0.0	00208 0.0	0310 0.0	.00129
<u>~</u> [Meningitis	0.00616	0.00697	0.00523		_	0.00297	-	~	<u>%</u>	4	0	-	2	00047 0.0		00034 0.0	0.045 0.0	00028
1	Pneumococcal meningitis	0.00101	0.00116	0.00084	0.00067	0.00088	0.00051	023	000030	0.00018 0	00012	0.00015 0	60000	0.00007	00000	0.00006 0.0	0.00007	0.08 0.0	0.00006
	Meningenzae type o meninguis	0.0014	0.00 03	0.00	0.00092	0.00	0.0000	0.00024	0.00032	00010	0000	00013	00000	00000	10000	0.000	0.0	0.0 1100	9000
	Other meningitis	0.00067	0.00306	0.00225		0.00193	0.000111	١,-	000055	000030	000000	00027	00015	00013 0.0	00019 0.0	00000	00014 0.0	0.0	00011
<u>س</u>	Encephalitis	0.00248	0.00394	0.00198	100561	0.00930	0.00376	37	0.00376 0.	00162	0.00125 0	00172 0	00094	00104 0.0	00145 0.0	0.008000	00122 0.0	0.0 7910	96000'0
	Diphtheria	0.00001	0.00001	0.00001	00001	0.00002	0.00001	01	0.1	00000	0 00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	00000
 	Whooping cough	0.00071	0.00100	0.00029	0.00038	0.00054	0.00020	0.00004	0.00007	.00002 0	.0000	.00002	00000	00001 0.0	0.0003	0.0000	0002 0.0	0.0 8000	00000
<u>-13</u>	letanus	0.00005	90000.0	0.00004	0000	10000	0.00000	0.0000.0	0.00001	00000	00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	0.0 0.00	0.0 0.00	0000
<u> </u>	Measles	_	0.00033	0.00021	0	200	0.00036	+	Ω	+	· γ	4 -	.00002	00001 0.0	00000	- r	0.00	0.0	00000
VI hattalpal	Varicella and nerpes zoster	0.00040	0.00074	0.00027	0.00000	0.00120	0.00048	0.00003	0.0000	0.00045	0004	0.0000	0.0002/	00027 0.0	00039	0.0000	0.00025 0.0	0.0	0.000
	Malaria	10	0.00000	0.0000		0.00000	000000	0.00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	00000000	0.0 0000	00000
: <u> </u> C	Chagas disease	-	0.00000	0.00000	00000	00	0.0000.0	0	0.00000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	00000
<u> </u>	Leishmaniasis	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	.00000	00000	00000	00000	00000	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	00000
_	Visceral leishmaniasis	-	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	00000.	0 00000	0 00000	00000	00000.	00000	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	.00000
	Cutaneous and mucocutaneous leishmaniasis	-	0.000000	0.0000.0	00000	00000		0.000000	000000	00000	00000	00000	00000	00000	00000	000	0.0000	0.0 0000	00000
<u> </u>	ATRICAL LLYPANOSOMIASIS	0.0000	0.00000	0.0000	00000	00000		00	00000	00000	00000	00000			00000	0.0000	0.000	0.0	00000
olC	Octionical	0.00000	0.00000	0.0000		0.0000	0.00000	000000	0.0000	00000	000000	0.00000	0.00000	00000	0000	0.0000	0.0000	0.00	00000
<u>, C</u>	Cystic echinococcosis	0.00000	0.00000	0.00000	00000	00000		_	000000	00000	0	0	00000	0	00000	0	0.0000	0.0 0000	00000
<u></u>	Lymphatic filariasis	_	0.0000.0	0.0000.0	00000		0.0000.0	000	0.0000.0	000000	0.00000	00000	00000	00000	00000	0.00000	0.0000	0.0 0000	0.0000.0
0	Onchocerciasis	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	00000	0.00000.0	0 00000	00000	00000	00000.	0.00000 0.0	0.00000.	Н	0.0000.0
<u> </u>	rachoma	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	00000		0.0000.0	0	0.00000.0	00000	00000	00000	0 00000	0	00000	0 00	0.0	0 000	0.0000.0
	Dengue	0.00000	0.0000.0	0.00000	00000	0.00000	0.00000	000	0.000000	00000	0 00000	0 00000	00000	00000	00000	0.00000	00000	0 000	00000
<u>~ </u> 0	Yellow Tever	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000	00000	0.00000	00000	00000	00000	00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000
<u> </u>	Intestinal nematode infections	_	0.0000	0.0000	00000	00000	000000	1	00000	00000		00000	00000		00000			200	00000
=	Ascariasis	0.00000	0.00000	0.00000	00000	0.00000	000000	0.00000.0	000000	00000	00000	00000	00000	000	0 0000	000	0.0000	0000	00000
_	Trichuriasis	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	000000	0 00000	00000	00000	00000	00000	00000	0.00000	0000 0.000	0 000	00000
_	Hookworm disease	-	0.00000	0.0000.0	00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000.0	.00000	.00000	0 00000	0 00000	00000.	00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.0000.0
<u> L </u>	Food-borne trematodiases	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00001	0.0000.0	0.00003	0.00006	.00001 0	00003	00000	.00001 0.	00004 0.0	0.008 0.0	0002 0.0	0.0 9000	0.0 9100	00001
<u></u>	eprosy	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	00000	0.00000.0	0.0000.0	0		.00000	00000	00000	0 00000	00000	00000	0.0000	0.0000	0.0 0000	00000
71	Ebola 71/2 virus	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	.00000	00000	00000	0 00000	00000	00000	0.0	0.00000	0000	00000
<u> </u>	Alibea worm disease			0.0000	00000	00000	000000		00000	00000	00000	00000	00000		00000	0.00000	0.00000	0.00000	00000
<u>기</u> C	Other nevlected tropical diseases			0.0000	00000	+	0.0000	+	+	00000	+	+	60000		+	9	+	+	00000
1	ווסן ווספיסים יו כאומיו מוכריים		. 1)	0400	0.00)	,	,		1	,	2			200	,	1000	-

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			<1 year			1 to 4			5 to 9			10 to 14		_	5 to 19		2	20 to 24	
		va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower
All causes	v	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	1.00000	. 00000.1	1.00000	1.00000	1.00000	1.000001	1.00000	00000	1.000001	.00000	00000
Maternal disorders	disorders	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	00000.0	9000000	8000000	0.00004	0.00016	0.00019 0	0.00013	0.00069	0 88000	95000
	Maternal hemorrhage	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	00000.c	0.00001	0.00001	0.00000	0.00002 0	0.00002 0	0.00001	0.00009	.00011 0	90000
	Maternal sepsis and other maternal infections	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	00000.c	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00001	0.00002 0	0.00001	0.00005	0 60000	00003
	Maternal hypertensive disorders	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	00000°C	0.0000.0	0.00001	0.00000	0.00002	0.00003	0.00001	0.00014	.00023 0	80000
	Maternal obstructed labor and uterine rupture	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00001 0	0.00002 0	0.00001	0.00004	000002	0.00002
	Maternal abortion, miscarriage, and ectopic pregnancy	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00001	0.00002	0.00001	0.00003	0.00005 0	0.00003	0.00015	.00022 0	0.00010
	Indirect maternal deaths	0.0000.0	00000'0 00000'0	0.0000.0						Ĺ	0.00001	0.00001	0.00000	0.00001 0	0.00002	0.00001	0.00004	0 90000'0	0.00003
	Late maternal deaths	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0						É	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00001 0	0.0000.0
	Maternal deaths aggravated by HIV/AIDS	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0							0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000.0	0.00000	0.00000.0	0 000000	0.0000.0
	Other maternal disorders	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00003	0.00004	0.00002	0.00005	0.00006	0.00004	0.00018	.00022 0	0.00014
Neonatal disorders	disorders	0.27105	0.29370	0.23928	0.04050	0.05350	0.03057	0.02634 (0.03665 0	0.01860	0.01852	0.02554	0.01343	0.01209 0	0.01649 0	0.00892	0.01053 (.01413 0	.00783
	Neonatal preterm birth complications	0.11072	0.12349	0.09767	0.01563	0.02198	0.01078	0.01460	0.02140 0	0.00972	0.01051	0.01539	0.00719	0.00692 0	0 88600.0	0.00480	0.00616	.00874 0	.00426
	Neonatal encephalopathy due to birth asphyxia and trauma	0.05846	0.06545	0.04920	0.00920	0.01248	0.00677	0.00557	0.00883	0.00332	0.00399	0.00628	0.00247	0.00263 0	0.00412 0	0.00164 (0.00240	.00372 0	.00151
	Neonatal sepsis and other neonatal infections	0.02519	0.04248	0.02057	0.00573	0.01246	0.00235	0.00564 (0.01283 0	0.00227	0.00364	0.00807	0.00144	0.00229 0	0.00520 0	0.00091	0.00174	0 66800	0.00071
	Hemolytic disease and other neonatal jaundice	0.00136	0.00172	0.00106	0.00068	0.00084	0.00053	0.00053	0.000067	0.00039	0.00038	0.00048	0.00029	0.00025 0	0.00032 0	0.00000	0.00023	.00029 0	0.00018
	Other neonatal disorders	0.07532	0.08462	0.06173	0.00926	0.01226	0.00700	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00000.0	0.0000.0
Nutritional	Nutritional deficiencies	0.02127	0.03182	0.01383	0.06445	0.09358	0.04380	0.03866	0.05306	0.02746	0.01769	0.02398	0.01285	0.01049 0	0.01521 0	0.00729	0.01560	0.02205 0	0.01067
	Protein-energy malnutrition	0.00588	0.00588 0.00804 0.00403	0.00403	0.02276	0.02963	0.01709	0.00019 (0.00026 0.00013		6000000	0.00012	0.00006	0.00008	0.00011 0	0.00005	0.00018	0.00024 0	0.00011
	lodine deficiency		0.00010	0.00001	0.00021	0.00033	0.00014	0.00088	0.00112 C	0.00066	0.00140	0.00181	0.00104	0.00127 0	0.00166 0	0.00095	0.00116	0.00151 0	0.00085
	Vitamin A deficiency	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00000.0	0.0000.0
	Iron-deficiency anemia	0.01489	0.02449	0.00822	0.03920	0.06954	0.01977	0.03741	0.05164 0	0.02621	0.01613	0.02228	0.01143	0 60600'0	0.01360 0	0.00599	0.01421 (.02055 0	00949
	Other nutritional deficiencies	0.00047	0.00055	0.00038	0.00228	0.00275	0.00180	0.00019	0.00026 0	0.00013	8000000	0.00010	0.00006	0.00005	0 90000'C	0.00003	0.00006	.00010	00004
Other commun	Other communicable, maternal, neonatal, and nutritional diseases	9/900.0	0.00762	0.00537	0.00622	0.00795	0.00474 (0.00445 (0.00542 0	0.00362	0.00196	0.00239	0.00161	0.00176 0	0.00235 0	0.00133 (0.00230	.00342 0	0.00160
	Sexually transmitted diseases excluding HIV	0.00007	0.00013	0.00003	0.00002	0.00004	0.00001	0.00001	0.00001 0	00000.c	0.00015	0.00021	0.00011	0.00064 0	0.00110 0	Н	0.00122	.00218 0	00065
	Syphilis	0.00007	0.00013 0.00003	0.00003	0.00002	0.00004	0.00001	0.00001	0.00001 0	0.00000.0		0.00004	0.00002	0.00001 0	0.00001 0	0.00001	0.00001	.00002 0	0.00001
	Chlamydial infection	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000.0	0.00002	0.00003	0.00001	0.00010	0.00019 0	0.00005	0.00025 (0.00049 0	0.00011
	Gonococcal infection	0.0000.0	0.00000 0.000000 0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000		0.00003	0.00005	0.00002	0.00017 0	-	0.00009	0.00031	0.00056 0	0.00016
	Trichomoniasis	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00002	0.00004	0.00001	0.00014 0	0.00029 0	0.00005	0.00032	0.00067 0	0.00013
	Genital herpes	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000.0	0.00000.0	0.00000	0.00000.0	0.00002	0.00004	0.00001	0.00006 0	0.00013 0	0.00002	0.00011 (.00023 0	0.00004
	Other sexually transmitted diseases	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000.0	0.00000.0	0.00000	00000.c	0.00002	0.00003	0.00001	0.00016 0	0.00027 0	0.00009	0.00022	0 68000.	.00013
	Hepatitis	0.000056	0.00062	0.00049	0.00038	0.00046	0.00031	0.00023	0.00029 (0.00018	0.00015	0.00019	0.00011	0.00014	0.00018	0.00011 (0.00019 (.00023 0	.00015
	Acute hepatitis A	0.00051	0.00058	0.00045	0.00016	0.00021	0.00013	0.00004 (0.00005 C	-	0.00002	0.00003	0.00001	0.00002 0	0.00003 0	0.00001	0.00002	0 80000	.00001
	Hepatitis B	0.00003	0.00004		ш	ш	Н	0.00004 (.0	\sim	-	0.00007	ш	_	-	-	0.00015 (.00019 0	.00011
	Hepatitis C	0.00002	0.00003	0.00001	0.00004	0.00008	0.00002	0.00001	0.00001 C	0.00001 (0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000.0	000000	0.0000.0
	Acute hepatitis E	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00012	0.00016	0.00009	0.00015	0.00020 C	0.00010	0.00008			0.00004 0	0.00005 0	0.00002	0.00002 (0 80000	0.00001
	Other infectious diseases	0.00614	0.00701	0.00486	0.00582	0.00755	0.00437	0.00422	0.00517 0	0.00341	0.00166	0.00204	0.00135	0.00098	0.00120 0	0.00079	0.00089	0.00110 0	0.00071

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			<1 year			1 to 4			5 to 9			10 to 14			15 to 19		2(20 to 24	
	-	va		lower	va	upper	ower	va	nbber	ower	٧a	nbber	ower	va	nbber	ower	va	upper	ower
Non-comm	Neonasms	0.53458	0.5/253	0.50305	0.63947	0.08098	0.60280	0.74276	0.06947	0.71258	0.82940	0.85083	0.80456	0.79872	0.82513	0.76749 0	00338 0	00000	01856
- Acopiasiis	accuse whitee less has at	40.0	0.0	0.0000	0.00450	0.00000	0.04112	0.0000	0.0004	0.03973	0.0000	0.0400	0.02330	0.0244	0.00	0.000	00000	0 2828	0000
•	Lip and oral cavity cancer	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.000	0.0000	0.000	000030	00043	000029
	Other pharmy cancer	0.00000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000.0	0.00020	0.00020	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	00000	0.00022	0.0000	00000	00000	0000
	Culler pilarylly called	0.00000	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	0.00000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.00000	00000	0.00010	00000	70000	00000	00000
	Stomach cancer	0.00000	0.00000	0.00000		0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00032	0.00041	0.00024 0.	00122 0	00155 0	96000
	Colon and rectum cancer	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00049	0.00065	0.00037 0	.00117 0	00149 0	.00093
	Liver cancer	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00077	0.00103	0.00056	0.00056	0.00074	0.00042	0.00036	0.00046	0.00027 0.	.00045 0.	00057 0	.00035
	Liver cancer due to hepatitis B	0.00000	0.000000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00020	0.00031	0.00012	0.00019	0.00029	0.00012	0.00014	0.00021	0.00009	.00020 0.	00027 0	.00013
•	Liver cancer due to hepatitis C	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00010	0.00014	0.00007	0.00010	0.00014	0.00007	0.00007	0.0000.0	0.00005	.00011	00015 0	.00008
•	Liver cancer due to alcohol use	-	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	.00001 0	00001 0	.00001
•	Cilver cancer due to other causes	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.00047	0.00004	0.000033	0.00000	0.00039	0.000	0.000	0.00021	00000	00013	00018	0000
	Dangreetic cencer	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.00010	0.00014	0.00008	00000	0 86000	00017
	rancreatic cancer	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.000	0.0001	0.0000	000022	00000	0000
•	Tracheal bronchus and lung cancer	+	000000	0.00000	0.00000	000000	000000	000000	000000	0.0000	000000	000000	0.00000	0.00021	0.00028	00016	00049	00063 0	00038
	Malignant skin melanoma	+	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.000000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00014	0.00019	0.00010	00025 0	00032 0	00019
	Non-melanoma skin cancer	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00007	0.00010	0.00006	.00007	0 80000	30000
	Non-melanoma skin cancer (squamous-cell carcinoma)	Н	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00007	0.00010	0.00006	.00007	0 80000	.00005
	Non-melanoma skin cancer (basal-cell carcinoma)	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00000.0	0.00000.0	0 00000	00000	00000
•	Breast cancer	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00010	0.00013	0.00008	.00028 0.	00034 0	.00023
	Cervical cancer	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.0000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00004	0.00005	0.00003 0.	.00018 0.	00022 0	.00014
•	Uterine cancer	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00004	0.00005	0.00003 0.	0 90000	000008	.00005
•	Ovarian cancer	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00045	0.00059	0.00033 0.	.00064 0.	0 6/000	00000
	Prostate cancer	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.00005 0.	.00008	00010 0	90000
•	l esticular cancer	0.00000	0.00000	0.00000		0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00022	0.00028	0.0001 / 0.	000000	000//000	00000
	Nigries caricer	4,000,0	0.0000	0.0000	0.002 0	0.00203	0.00	0.00	0.00	0.000.0	0.00000	000000	0.00020	0.00000	0.00037	0.0002	00010	00000	27000
•	Bladder cancer	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00008	0.000.0	0.00006	00010	00013	.00008
	Thursid cancer	00000	0.0000	0.000	0.00000	0.00000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0073	0.0000	0.00813	0.00420	0.00263	0.00382	0.00203	00012	0027	000.09
	Mesothelioma			0.0000		000000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.000	0.0000	0.000	0.000	0.00012	0.0000	0000	00013	9000
	Hodekin lymphoma	0.0000	0.0000	0.00005	0.00020	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00017	000000	00000	00030	00000
	Non-Hodekin Ivmphoma	0.00120	0.00138	0.00094	0.00301	0.00460	0.00210	0.00307	0.00500	0.00219	0.00233	0.00370	0.00166	0.00209	0.00330	0.00148	00202	00308 0	00151
	Multiple myeloma	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00004	0.00005	0.00003	.00007	0 60000	00000
	Leukemia	0.00417	0.00468	0.00343	0.01778	0.02267	0.01339	0.01433	0.01911	0.01070	0.00990	0.01317	0.00757	0.00673	0.00876	0.00516 0.	.00546 0.	0 88900	.00432
	Acute lymphoid leukemia	0.00109	0.00126	0.00090	0.00751	0.00958	0.00561	0.00841	0.01117	0.00608	0.00542	0.00721	0.00407	0.00326	0.00430	0.00236 0.	.00212 0.	00274 0	.00160
•	Chronic lymphoid leukemia	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00007	0.00000	0.00005 0.	000005	000007	.00004
•	Acute myeloid leukemia	0.00122	0.00136	0.00097	0.00649	0.00853	0.00444	0.00406	0.00554	0.002//	0.00305	0.00411	0.00220	0.00241	0.00320	0.001//	00237	00311 0	.00185
•	Other lenkemia	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.000	0.00025	0.00012 0.	00027	00036 0	07000
	Other neonlasms	0.00160	0.00220	0.00143	0.00378	0.0032	0.00202	0.00180	0.00202	0.00130	0.00143	0.0020	0.00	0.0000	0.00	0.00038	00623	0 06200	0040
Cardiovasc	cular diseases	0.02192		0.01963	0.02001		0.01596	0.01341	0.01620	0.01089	0.01160	0.01390		0.01410	01681	01177	01796 0	02158 0	.01500
	Rheumatic heart disease	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00124	0.00166	0.00088	0.00053	0.00070	0.00038	0.000050	0.00067	0.00037	0.00041	0.00054 (0.00031 0.	.00052 0.	0 00067 0	.00041
	Ischemic heart disease	0.00014	0.00017	0.00012	0.00050	0.000060	0.00041	0.00083	0.00104	9900000	0.00082	0.00102	0.000065	0.00286	0.00356	0.00224 0.	00508	00626 0	.00408
	lechemic etroke	0.0000	0.00414	0.00293	0.00343	0.00433	0.00280	0.00302	0.004/9	0.00294	0.004	0.00000	0.00330	0.00303	0.0040	0.00314	001710	0003910	00430
	Hemorrhagic stroke	0.00351	0.00403	0.00289	0.00290	0.00371	0.00218	0.00262	0.00334	0.00197	0.00267	0.00332	0.00207	0.00237	0.00293	0.00187	00334 0	00404 0	00274
	Hypertensive heart disease	0.00004	0.00004	0.00003		0.00025	0.00013	0.00019	0.00026	0.00014	0.00012	0.00016	0.00000	0.00016	0.00038	0.00008	.00027 0	00026 0	.00017
•	Cardiomyopathy and myocarditis	0.00994	0.01162	0.00825	0.00853		0.00649	0.00384	0.00498	002	0.00310	0.00411	0.00240	0.00301	.00415	00235	00321 0	\rightarrow	.00250
•	Alocholio ocediominosothii	0.00000	0.00083	0.0000	0.00219	0.00409	0.00143	0.00	0.00233	0.00	0.00000	0.000	0.0007	0.00098	00.00	0.0000	000128	0 00000	60000
	Other cardiomyonathy	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.000	0.00024	0.00009	00179	00023	0.00009
	Atrial fibrillation and flutter	0.00000		_	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	000	0.00000	00000	0 00000	00000	+	00000
	Aortic aneurysm	0.00000	0.00000	0.00000										0.00029	0.00038	0.00021 0.	.00047 0	0 09000	.00037
	Peripheral artery disease	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.0000.0	0.00000.0	00000	0 00000	00000
	Endocarditis	0.00115			0.00083	0.00149	0.00049	0.00035	0.00064	0.00021	0.00031	0.0005		0.00052	0.00093	0.00032 0.	0	∞ +	.00045
	Other cardiovascular and circulatory diseases	0.00 / 00	0.00813	0.00539	0.00529	0.00081	0.00389	0.00384	G0G00.0	0.00289	0.00260	0.00344	0.00187	0.00303	0.00387	J.UUZ36 U.	0.00264 0.	U.UU3211 U	0.00217

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			<1 year			1 to 4	H		5 to 9			10 to 14			5 to 19		2	20 to 24	
		va	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower	٧a	upper	ower	va	upper	ower	va	upper	ower
Chronic res	Chronic respiratory diseases	0.0000.0	00000'0 00000'0	0.0000.0	0.04659 0	0.05830 0	0.03685 (0 88860'0	0.11804 0	0.07292	0.05176	0.06432	0.04137	0.02948	0.03601	0.02324	0.02289 0	0.02822 0	0.01826
	Chronic obstructive pulmonary disease	0.0000.0	00000'0 00000'0 00000'0	0.0000.0	0.00110 0	0.00142 0	0.00084	0.00147 0	0.00187 0	0.00110	0.00164	0.00217	0.00120	0.00198	0.00251	0.00152	0.00251	0.00312 0	0.00200
_	Pneumoconiosis	0.0000.0	000000 0000000 0000000	0.0000.0	0.00000	0.00000.0	0.00000	0.00000.0	0.00000 0.00000		0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001 0	0.00001
_	Silicosis	0.0000.0	0000000 00000000 00000000	⊢	0.00000 0.00000	_	0.00000	0.00000.0	0.00000 0.00000		0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000 0.00000		0.00000	0.00000.0	0.0000.0
	Asbestosis	0.0000.0	0.00000 0.00000 0.00000	0.00000	0.00000 0.00000.0		0.00000	0.00000.0	0.00000 0.00000 0.00000.0	00000'		0.0000.0	0.0000.0	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001	0.00001 0	0.00001
	Coal workers pneumoconiosis	0.0000.0	0.00000 0.00000 0.00000	⊢	0.00000 0.00000.0		0.00000	0.00000.0	0.00000 0.00000	00000'	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000 0.00000 0.00000 0.000000	00000'	0000000	╙	0.00000.0	0.0000.0
_	Other pneumoconiosis	0.00000	0000000 00000000 00000000	0.0000.0	0.00000	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00000 0.00000 0.00000	00000'(0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0 0.00000.0 0.00000.0	00000'	000000	_	0 00000'0	0.0000.0
	Asthma	0.0000.0	000000'0 000000'0 000000'0	_	0.03919 0	0.05149 0	0.02927	0.08816 0	0.11304 0.06752 0.04705 0.05968	06752	0.04705		0.03629	0.02627	0.03351	0.01992	0.01913 0	0.02451 0	0.01434
	Interstitial lung disease and pulmonary sarcoidosis 0.00000 0.00000 0.00000	0.0000.0	0.0000.0	╙	0.00245 0	0.00325 0	0.00146	0.00098 0.00131		0.00061	0.000055 0.00073		0.00035 0.00044		0.00057	0.00029	0.00036	0.00045 0	0.00026
	Other chronic respiratory diseases	0.0000.0	0.00000 0.00000 0.00000	╙	0.00385 0.00521	\vdash	0.00278	0.00273 0.00351).00351 C	00204	0.00204 0.00251 0.00331		0.00190	0.00190 0.00078 0.00107 0.00058 0.00089	0.00107	85000.0		0.00119 0	0.00067
Cirrhosis a	Cirrhosis and other chronic liver diseases		0.00009 0.00014 0.00006	ш	0.00398 0	0.00479 0	0.00321	0.00241 0	0.00292 0.00193 0.00160 0.00197	0.00193	0.00160	ш	0.00128 0.00120		0.00140 0.00101		0.00142 0	0.00162 0	0.00123
_	Cirrhosis and other chronic liver diseases due to hepatitis B	0.0000.0	0.00000 0.00000.0 0.00000.0	_	0.00002 0.00003	00003	0.00002	0.00004 0.00005 0.00003 0.00005 0.00007	0.00005	00000	0.00005		0.00004	0.00004 0.00006 0.00009 0.00004 0.00002	60000'	0.00004	⊨	0.00027 0	0.00016
	Cirrhosis and other ohronio liver diseases due to hepatitis C	0.0000.0	000000 0000000 0000000	0.0000.0	0.00006 0.00000.0		0.00004 (0.00011 0	0.00014 0.00008 0.00014 0.00018	80000'	0.00014		0.00011	0.00017	0.00023 0.00012		0.000051	0.00063 0	0.00039
	Cirrhosis and other chronic liver diseases due to alcohol use	0.0000.0	0.00000.0 0.00000.0 0.00000.0	_	0.0000.0 0.0000.0	00000	0.00000	0.00000	0.00000 0.000000 0.00000 0.000000	00000'(0000000		0.0000.0	0.00002	0.00003 0.00001		0.00009	0.00011 0	0.00007
	Cirrhosis and other chronic liver diseases due to other causes 0.00009 0.00014 0.00006	6000000	0.00014	_	0.00389 0	0.00470 0	0.00314 (0.00226 0.00275 0.00179 0.00141	0.00275 C	00179	0.00141	0.00174	0.00112	0.00095 0.00113 0.00078	0.00113		0.00061	0.000077 0	0.00046
Digestive diseases	liseases	0.00769	0.00769 0.00895 0.00578		0.01113 0	0.01429 0	0.00843 (0.00580 0	0.00726 0.00465 0.00362 0.00439	0.00465	0.00362		0.00300	0.00316 0.00378 0.00270	0.00378		0.00395	0.00467 0	0.00340
	Peptic ulcer disease	0.0000.0	0000000 00000000 00000000	╙	0.00025 0.00035	.00035 C	0.00017	0.00024 0.00032 0.00018 0.00019 0.00025 0.00015 0.00025 0.00033 0.00018).00032 C	0.00018	0.00019	0.00025	0.00015	0.00025 (0.00033	0.00018	0.00037	0.000050	0.00027
_	Gastritis and duodenitis	0.00000	0.00000.0 0.00000.0 0.00000.0	Н	0.00280 0	0.00552 0	0.00125 (0.00131 0	0.00204 0.00077		0.00048 0.00075		0.00030	0.00033	0.00054 0.00020	0.00020	0.00051	0.00081 0	0.00031
_	Appendicitis	0.00000	0.00000 0.00000 0.00000	ш	0.00030 0.00046	.00046 C	0.00021	0.000000) 08000'(0.00044	0.00079	0.00106	0.00055	0.00080 0.00044 0.00079 0.00106 0.00055 0.00053 0.00074 0.00036 0.00039	0.00074	0.00036		0.00053 0	0.00028
	Paralytic ileus and intestinal obstruction	0.00769	0.00769 0.00895 0.00578		0.00200	0.00273 0	0.00136	0.00079 0	0.00112 0.00055 0.00045 0.00064	300000	0.00045		0.00032	0.00038 0.00057		0.00026 0.00047	H	0.00067 0	0.00034
_	Inguinal, femoral, and abdominal hernia	0.0000.0	0.00000 0.00000 0.00000		0.00294 0.00441	_	0.00179 (0.00155 0.00250 0.00086 0.00068 0.00114	0.00250 (98000'0	89000'0		0.00038	0.00038 0.00052 0.00083 0.00030 0.00070	0.00083	0.0000.0		0.00104 0	0.00043
	Inflammatory bowel disease	0.0000.0	000000 000000 0000000	_	0.00016 0.00029		0.000010	0.00018 0	0.00024 0.00013 0.00032	0.00013		0.00042	0.00023	0.00047	0.00062	0.00062 0.00035 0.00063		0.00082 0	0.00048
	Vascular intestinal disorders	0.00000	0.00000.0 0.00000.0 0.00000.0	Н	0.00042 0.00058	.00058 C	0.00027	0.00010	0.00014 0.00006 0.00005 0.00006	90000'0	0.00005	9000000	0.00003	0.00003 0.00009 0.00012 0.00006 0.00009	.00012	90000'0		0.00011 0	0.00006
_	Gallbladder and biliary diseases	0.0000.0	00000:0 000000:0 00000:0	0.0000.0	0.00006 0.000008	00008	0.00004	0.00006 0.00008 0.00004 0.00009 0.00012) 80000'(00000.	6000000	0.00012	9000000	0.00006 0.00010 0.00013 0.00008 0.00018	0.00013	80000'0		0.00023 0	0.00014
	Pancreatitis	0.0000.0	0000000 00000000 00000000	_	0.00011 0	0.00017 0	0.00007	0.00012 0	0.00018 0.00008 0.00013 0.00019	80000'	0.00013	0.00019	6000000	0.00014 (0.00022	0.00009 0.00025		0.00041 0	0.00017
	Other digestive diseases	0.0000.0	0000000 00000000 00000000	╙	0.00209 0	0.00271 0	0.00146	0.00086 0.00107 0.00066 0.00045 0.00057	0.00107	99000'	0.00045		0.00035	0.00035 0.00035 0.00044 0.00027	0.00044		0.00036	0.00045 0	0.00028
Neurologica	Neurological disorders	0.00673	0.00673 0.00759 0.00556	-	0.02477 0	0.03362 0	0.01782 (0.04913 0	0.06545 0.03605 0.09577	03605		0.12256	0.07060	0.09077	0.11474 0.06891		0.08522 C	0.10682 0	0.06540
_	Alzheimer disease and other dementias	0.0000.0	0.0000.0 0.0000.0 0.0000.0		0.00000	0.00000 0.00000.0	000000	0 0000000	0.00000 0.00000 0.00000	00000'	0000000	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0 0.00000.0 0.00000.0	00000'	000000	_	0 00000'0	0.0000.0
	Parkinson disease	0.00000	000000 000000 0000000	ш	0.00000	0.00000.0	0.00000	0.00000	0.00000 0.00000	000000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00000.0	0.00000 0.00000		0.00000	0.00001 0	0.0000.0
	Epilepsy	0.00158	0.00158 0.00198 0.00125	-	0.01395 0	0.02019 0	0.00938	0.01768 0.02607 0.01145 0.01163 0.01677	0.02607 (0.01145	0.01163	-	0.00765	0.00777 (0.01078 0.00554		0.00654 C	0.00872 0	0.00488
	Multiple sclerosis	0.0000.0	000000 0000000 0000000	0.0000.0	0.00000	0.00000.0	0.00000	0.00006 0.00009 0.00004 0.00014 0.00020) 60000'(00000.	0.00014		6000000	0.00022	0.00030 0.00016		0.00046	0 6500000	0.00036
	Motor neuron disease	0.00107	0.00107 0.00121 0.00092	-	0.00092 0.00116		0.00072	0.00046 0.00057 0.00035 0.00028 0.00035) 00057 C	00035	0.00028	0.00035	0.00022	0.00026 0.00031	0.00031	0.00021	0.00023	0.00027 0	0.00019
	Migraine	0.0000.0	0.00000 0.000000 0.000000	0.0000.0	0.00000	0.00000	0.00000 0.02127		0.03065 0.01329 0.06991 0.09504	0.01329	0.06991		0.04780	0.06817	0.08989 0.04695		0.06538	0.08617 0	0.04595
	Tension-type headache	0.00000	0.00000.0 0.00000.0 0.00000.0	0.0000.0	0.00000 0.00000.0		0.00000 0.00280		0.00471 0	0.00149	0.00149 0.00819	0.01201	0.00542	0.00979	0.01345 0.00698	0.00698	0.00915 C	0.01311 0	0.00621
_	Other neurological disorders	0.00408	0.00408 0.00461 0.00324	_	0.00990 0.01277	.01277 C	0.00737	0.00737 0.00687 0.00929 0.00486 0.00563 0.00756 0.00404 0.00456 0.00581 0.00348 0.00346	0.00929 (0.00486	0.00563	0.00756	0.00404	0.00456 (.00581 (0.00348		0.00422 0	0.00273

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

	<1 vear	ar		1 to 4		5 40 5			10 to 14		•	5 to 19	_	20 to 3	4
	0	r lower	va	upper lo	ower		lower	va	npper	lower	va	2	ower va		lower
Mental and substance use disorders	\dashv	\perp	0.03429 0	0.04435 0.0	0.02560 0.13	3768 0.16970	0.11033	0.22780	0.27029	0.18660	0.24787	0.28624 0.2	0.20680 0.24990	990 0.28469	9 0.21284
Schizophrenia	0.00000 0.00000.0	000000000	0.00000.0	0.0 00000.	0.00	0000 0.0000	0.00000	0.00053	0.00089	0.00027	0.00338	0.00518 0.0	0202 0.012	250 0.017	9 0.00804
Alcohol use disorders		ш	0.00001 0	.00001 0.0	00000 00000	0000 0.0000	0.00001	0.00068	0.00113	0.00036	0.00485	0.00681 0.0	0326 0.010	38 0.014	5 0.00705
Drug use disorders		\Box	0.0000.0	0.0 00000.	0000 0000	0000 0.0000	0.00000	0.00055	0.00088	0.00031	0.02106	2	1595 0.036	523 0.045	6 0.02817
Opioid use disorders	_	\rightarrow	0.00000	0.00000.	0000 0000	0000 0.0000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00433	0.00609 0.0	0292 0.017	778 0.024	9 0.01227
Cocaine use disorders	_	-	0.00000	0.0 00000.	0000 0000	0000 0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00460	0.00654 0.0	0295 0.00	132 0.0060	0.00293
Amphetamine use disorders		-	_	-	-	_	0 0	_	0.00022	0.000006	4 +	_	_ <	_	-
Oannabls use disorders	+	4	0.00000	0.00000	0.00000		0.0000	0.00034	0.00002	0.000	0.0030	0.00460	0.00183 0.00348	348 0.00480	0.00238
Uther drug use disorders	0.0000 0.00000	-	0.00000	00000	00000 0.0000	0000 0000	0.00000	0.00008	0.0000	0.00004	0.00558	0.00/6/ 0.0	103/8 0.006	0.008	0.004/4
Meior described disorder	-	0.00000	0.00008	- 0	つ -	0463 0.0072	7 0.0027			0.02032	0.00020	0.00000	149 4 0.00	0.100	0.00349
Dysthymia	_	+	0.00003	0.0003	000	03/4 0.0062	6 0.00 90	0.02393	0.03963	0.01020	0.03623	0.07/32 0.0	0547 0.07	387 0.039	9 0.03626
Bipolar disorder	+	+	0 00000	0.000000	0.00	00000 000000	00000	0.00908	0.0382	0.00562	0.00002	0.07956 0.0	1270 0.017	760 00253	9 0.01157
Anxiety disorders	-	+	0.00349 0	00492 0.0	7239 0.0	+-	2 0.03214	0.06739	0.08518	0.05195	0.04890	06103	3859 0.035	580 0.044	0 0.02809
Eating disorders	-	_	0.00000	0.00000 0.0	0.00000 0.0000	0.0013	16 0.00040	0	0.01054	0.00490	0.01366	0.01934 0.0	0.00921 0.013	378 0.0195	4 0.00948
Anorexia nervosa	0.0000 0.0000	00 0.00000	0.00000	0.00000.	0000 0000	0.0012	7 0.00034	0.00353	0.00498	0.00243	0.00610	0.00864 0.0	00409 0.005	571 0.0080	0.00380
Bulimia nervosa	0.00000 0.00000	00 0.00000	0.00000	0.00000	00000 0.00	00007 0.0001	3 0.00003	0.00377	0.00666	0.00200	0.00756	0.01296 0.0	00406 0.008	308 0.013	2 0.00459
Autistic spectrum disorders Autism	0.00333 0.00783	_	0.03007	02506 0.0	1162 0.0	02468 0.030	3 0.03 4	0.02946	0.03390	0.02332	0.01 090	0.02333 0.0	0.015	367 0.019	6 0.01233
Asperger syndrome and other autistic spectrum disorders	-	╀-	0.01233 0	01707 0	00865 0.01	1569 0.0203	7 0.01193	0.01125	0.01421	0.00892	0.00714	00917 0.0	0557 0.005	573 0.007;	8 0.00440
Attention-deficit/hyperactivity disorder	-	-	0.00039	00026 0	0	00344 0.0046	5 0.002	0.00301	0.00408	0.00210	0.00146	00203 00	00100 0.000	0.001	0.00056
Conduct disorder	0.0000.0	⊢	0.00000	0.00000 0.0	00000	97 0	6 0.02689	0.07352	0.10377	0.04900	0.03938	0.05503 0.0	12763 0.0053	534 0.007	6 0.00379
Idiopathic developmental intellectual disability	0.00001 0.0000	02 0.00000	0.00028 0	.00106 0.0	0.004 0.00	.00408 0.0070	0.00148	0.00418	0.00694	0.00181	0.00298	0.00501 0.0	00127 0.002	278 0.004	4 0.00138
Other mental and substance use disorders		0000000 00	0.00000 0.	00000	00000 00000	0000 0.0000	0.00	0.00161	0.00222	0.00114	0.00703	0.00930 0.0	0517 0.013	394 0.018	6 0.01059
Diabetes, urogenital, blood, and endocrine diseases	0.02538	\dashv	0.03494 0.	.04624 0.0	2690 0.03	282 0.	3 0.	0.01423	0.01669	0.01210	0.02269	.02666	0	3068 0.036	4 0.02600
Diabetes mellitus	-	_	0.00026 0	.00032 0.0	0020 0.00	0110 0.0016	0.00073	0.00351	0.00505	0.00230	0.00627	0.00849 0.0	00446 0.009	993 0.0134	7 0.00723
Acute glomerulonephritis		2	0.00020 0.	.00025 0.0	0.00	0.000	0.00015	0.00013	0.00016	0.00010	0.00008	0.00010 0.0	00006 0.000	0.000	0.00005
Chronic Kidney disease Chronic kidney disease due to dishates malifing	0.00336 0.0037	17 0.00295	0.002/3 0	0.00339 0.0	0.002	0218 0.0028	9 0.00164	0.00191	0.00246	0.00145	0.00219	0.002/6 0.0	001/3 0.003	30 / 0.003	8 0.00247
Chronic kidney disease due to hypertension	0.0001	- 0	0.00012	0.0 20000	0.00	0000 0000	3 0 00001	0.0003	0.00022	0.00000	0.00055	0.0000	0003 0.000	0000 700	1 0.00005
Chronic kidney disease due to glomerulonephritis	0.00105	-	0.00078 0.	00110 0.0	0021 0.0005	0023 0.0008	0.00030	0.00046	0.00073	0.00026	0.0000.0	0.00092	0036 0.000	083 0.001;	4 0.00052
Chronic kidney disease due to other causes	_	╄	0.00182 0	.00231 0.0	0.0134 0.00	0	1	+	0.00174	0.00094	-	0.00176 0.0	00095 0.001	164 0.002	5 0.00118
Urinary diseases and male infertility	0.00247 0.00270	70 0.00224	0.00152 0.	00184 0	.00126 0.00	0.00083 0.0010	0.00065	0.00062	0.00079	0.00048	0.00064	0.00085 0.0	.00049 0.000	0.001	3 0.00068
Interstitial nephritis and urinary tract infections	Н	Н	0.00104 0	.00126 0.0	0.04 0.00	.00043 0.0005	8 0.00032	0.00033	0.00045	0.00023	0.00033	0.00046 0.0	00023 0.000	041 0.000	0.00030
Urolithiasis	-	_	0.00005 0	0.0	က	0	0.00012	0.00011	0.00014	0.00000	0.00012	00016	6000	0.000	8 0.00015
Benign prostatic hyperplasia	-	+	0.00000	00 0	00000	0.0000 0.0000	0 0		0.00000	0.00000	0.00000	00000	0000	0000	0.00000
Male Intertility	0.00000 0.00000	0.00000	0.00000	0.0000	0.000	0.000	0.00000	0.00000	0.0000	0.00000	0.00004	0.00008	0000 0000	0.000	5 0.00001
Gynecological diseases	20	+	0.000043	0.0 00000	000 0000	0000 0 0000	0.0000	0.0000	0.00023	0.000	0.000.0	0.00020 0.0	0665 0.000	193 0.000	7 0.00937
Uterine fibroids	+	⊢	0.00000	0.0 00000.	0.000	00000 0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00012	0.00020 0.0	0007 0.000	00007	2 0.00016
Polycystic ovarian syndrome	0.00000 0.0000.0	Н	0.00000	0.0 00000.	0000	00000 0.0000	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.0000.0	0.00028	0.00053 0.0	00012 0.000	0.001	0 0.00025
Female infertility	_	\rightarrow	0.00000.0	0	0	0	0		0.0000.0	0.00000	0.00001	_	00	0.000	3 0.00000
Endometriosis	-	-	0.00000	000000	00000 0.00	00000 0.0000	<u>ن</u> و	_	0.00000	0.0000.0	0.00058	0.00088 0.0	0.00036 0.001	122 0.001	0.00084
Genital prolapse	_	_	0.00000		0000	0000 0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.000000	0.00002	0.00004 0.0	00001 0.000	012 0.0002	2 0.00005
Other gynacological diseases		000000	0.00000	0.0000000000000000000000000000000000000	00000		0.0000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00700.0	0.009/0	0.0068	284 0.0097	9 0.004/9
Hemoglobinopathies and hemolytic anemias	+	+	0.01369 0				0.0000	0.00320	0.0000	0.00081	0.00030	00317	0154	733 0.0033	9 0.00169
Thalassemias	-	က	0.00133 0	.00162 0.0	0110 0.00	0.0012	7 0.00080	0.00000	0.00168	0.00061	0.00053	0.00101 0.0	00038 0.000	049 0.000	3 0.00035
Thalassemias trait	0.00440 0.0074	-	0.01020 0	.01909 0.0	0.00	0.0076	9 0.00376	0.00214	0.00298	0.00151	0.00121	0.00192 0.0	00076 0.001	134 0.0020	0.00087
Sickle cell disorders	-	-	0.00002 0	003 0.	00001 0.00	0.00003 0.00002	Ö,		0.00007	0.00003	0.00007	0.00012 0.0	0.00005 0.000	010 0.000	0.00007
Sickle cell trait	4 4	-	0.000075 0	.00138 0.0	0035 0.00	0036 0.0005	0.00024	0.00013	0.00020	0.00008	0.00008	0.00012 0.0	00004 0.000	0000 0 000	3 0.00005
GBPD deficiency	0.0000 0.0000	-	70000	000	_ c	0	0.0000	0	0.00004	0.0000	0.00002	0.00004	00002 0.0000	0.000	0.00002
Other hemodohinonathies and hemolytic anemias	_	87 0.00000	+	0.00000	0.0000	0.00000 0.0000	ο α	+	0.0000	0.00000	200	00000	0.0000	0.000	4 0 00000
Endocrine metabolic blood and immine disorders	0.00033	_	0.00187	0.00237	1335 0.00	1025 0.001	0.0003	0.00040	0.00003	0.00033	0.00020	00313 00	0.00017 0.00030	0.000	0.0002
The same and the same department of the same same same same same same same sam	0.0	4	4		2	040	2	+	2	2	1	0	2	0	

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			<1 Vear			to 4			5 0		ļ	0 to 14		15	19	_	20 to 24	
		va	upper	ower	Va	upper	ower	Va		ower	×	upper	ower	an lev		er va	upper	ower
Musculosk.	Musculoskeletal disorders	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	000	00000	00000	0.01375 0	0.02035 0.	.00857 0.	6	0.07324 0	.03899 0.	0.10628 0.1	0.13583 0.0805	057 0.1588	1 0.19820	0.12411
	Rheumatoid arthritis	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	00000	00000	00000	\dashv	Н	_	~	00215	.00100		0	40 0.	0	0.00186
	Osteoarthritis	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0 00000	00000	0	00	0.00000.0	0.00000.0	.00000	.00000.	0.0 00000	00000 0.0000	0000 0.0000	0.00000	0.0000.0
	Low back and neck pain	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	_	00000	-	0.01256 0	_	_		26		07680 0.1	_		-	0.08666
	Low back pain	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	0.00000 0.	00000	0.01144 0	0.01798 0.	0.00648 0.	7	0.06150 0.	.02949 0.07	128 0	.09617 0.04922	0	0 0.14302	0.07673
	Neck pain	0.0000.0	-	0.0000.0		.00000	00000	0.00112 0	3	00067	0.00374 0.	.00531 0.	00250	0.00552 0.0	0	2	0.	0.00642
	Gout	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	00000	00000	00000	_	000	00000	0	00000	00000	003 0.	_	02 0.	9 0.000	0.00013
	Other musculoskeletal disorders	0.00000	_	0.0000.0		0 00000	00000	8	O,	00048	0.00447 0.	0	00245 0	02745 0.0	04066 0.010	651 0.04095	5 0.05798	0.02714
Other non-	Other non-communicable diseases	0.45281	4	0.42310	0.40947 0	47245 C	_	4	-	-	∞	_	.28533 0	25875 0.3	1244 0.21;	315 0.1434	2 0.17949	0.11367
	Congenital birth defects	0.38365	_	0.35501	0.12177 0.	.15375 0	.09675 0	0.05194 0	0.06646 0.	0.04019 0.	-	0.03463 0.	02265 0	.01686 0.0	02038 0.01	401 0.0123	1 0.01486	0.01032
	Neural tube defects	0.00453	_	0.00344		00	.00283	92	0.00503 0.	-	(0)	0.00334 0.	.00201 0.0	00173 0.0	0217 0.00	135 0.00146	6 0.00179	0.00115
	Congenital heart anomalies	0.14623	0.20360	0.11888	0.05016 0	.07148 0	03296	0.01613 0	0.02634 0.	00946	0.00852 0	0.01353 0.	00200	.00470 0.0	.00739 0.002	284 0.00390	0.00610	0.00250
	Orofacial clefts	0.00056	_	0.00033		00040 C	.00023	24	.00030	19	12	00019	00012 0	0.001000	0012 0.000	007 0.0000	8 0.00010	0.00006
	Down syndrome	0.01450	0.02946	0.00874	0.00654 0	.01322 C	.00401 0	∞	-	-	0.00122 0.	.00160 0.	0 66000	0.0 68000.	0124 0.000	073 0.0007	6 0.00107	0.00062
	Turner syndrome	0.00004	0.00007	0.00001	0.00016 0	0.00033 0.	0.00005	0.00017 0	0.00034 0.	0.00006	0.00012 0.	.00022 0.	00004 0	.00011 0.0	.00019 0.00006	0000.0 900	9 0.00016	0.00005
	Klinefelter syndrome	_		0.00001	0.00007 0	.00012 0	00004	0.00007 0.	.00013 0.	00004 0	-	.00009 0.	00003 0	.00003 0.0	0000 0.000	002 0.0001	0 0.00018	0.00005
	Other chromosomal abnormalities		0.14355	0.06486	0.02422 0.	.03198 0	.01620	0.01000 0.	01218 0	00794	0.00458 0	0.00542 0.	00375 0	.00277 0.0	00334 0.002	219 0.0011	0 0.00133	0.00081
	Congenital musculoskeletal and limb anomalies	0.01067	0.01278	0.00738	0.00356 0	00428 C	.00269 0	0.00289 0	.00348 0.	00237 0.	00216 0	.00261 0	.00177 0.0	00145 0.0	0173 0.00	120 0.0011	7 0.00140	0.00096
	Urogenital congenital anomalies	0.01392	0.02028	0.00825	0.00250 0.	.00307 0.	00191	0.00197 0	0.00244 0.	00153	0.00092 0	0.00116 0.	00070 0	.00044 0.0	00057 0.0003	033 0.0002	8 0.00037	0.00021
	Digestive congenital anomalies	0.01924	0.02605	0.01240	0.00467 0	00635 0	.00327 (0.00170 0	.00206 0.	00138 0.	00106 0	.00127 0	.00084 0.0	0.0 65000	0079 0.00	052 0.0005	3 0.00064	0.00043
	Other congenital birth defects	0.06368	0.07639	0.05162	0.02576 0.	.03349 0.	0.1961	0.01268 0	0.01665 0.	0.00932 0.	0.00681 0.	.00883 0.	00502 0	0.00400 0.0	.00515 0.00306	306 0.00285	5 0.00368	0.00219
	Skin and subcutaneous diseases	0.01038	0.01446	0.00689	0.25493 0.	33197	0.19106 0	0.24379 0	╙	0.19344 0.	0.26964 0	(0	0.22084 0.3	21088 0.2	25839 0.170	042 0.09988	8 0.12736	0.07665
	Dermatitis	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.16085 0.	.24427 0	.10655 0	0.12972 0	0.19781 0.	08726	0.05764 0.	08845 0	03864 0	.02677 0.0	04035 0.01	769 0.0170	7 0.02550	0.01112
	Psoriasis	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00658 0.	00865 0	00486	0.01371 0	0.01717 0.	01065 0	0.01132 0.	01393 0	00902 0	0.0 775 0.0	00945 0.0061	618 0.0071	3 0.00870	0.00576
	Cellulitis	0.00028	0.00048	0.00019	0.00084 0	00118 0	0 09000'	0 9/000'	.00106 0.	00054 0	00022 0	0 1 1 0 0 0	00038 0.0	0.0 14000	00022 0.000	029 0.0003	4 0.00047	0.00024
	Pyoderma	0.00106	0.00206	0.00074	0.000068 0	0.00122 0	0.00044 0	0.00031 0	0.00051 0.	0.00019 0.	0.00014 0	0.00024 0	0.00008 0.0	0.00011 0.0	.00018 0.00006	006 0.0001	2 0.00021	0.00007
	Scabies	0.00034	2500000	0.00018	0.00219 0	.00331 0.	00130	0.00222 0	Н	0.00131 0.	Н	0.00250 0		0.00114 0.0	.00186 0.0006	063 0.00088	8 0.00143	0.00049
	Fungal skin diseases	0.00076	0.00163	0.00029	0.00520 0	.01030 C	.00217 (0.00549 0	0.01095 0.	00228	0.00364 0	0.00761 0.	.00150 0.0	00253 0.0	.00544 0.000	.00099 0.0021	4 0.00436	0.00089
	Viral skin diseases	0.0000.0	ш	0.0000.0	0.03303 0	.04209 0	02379	0.05593 0	.07031 0.	04156 0.	02957 0	.03841 0	0	0 /	1787 0.00	977 0.0088	3 0.01179	0.00620
	Acne vulgaris	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	00000.	00000	0.00949 0.	01241	0.00698 0.	0.15048 0	0.18737 0	.11599 0.	.14883 0.1	.18565 0.11	436 0.0545	7 0.07197	0.03999
	Alopecia areata	0.00000	0.00000	0.0000.0	0.00081 0	.00108 0.	00058	0.00087 0	.00112 0.	00062 0.	0.00074 0.	0 86000	.00054 0.0	.00091 0.0	.00121 0.000	.00066 0.0013	4 0.00183	0.00095
	Pruritus		0.000030	0.00007	0.00159 0.	002	00082	ш	0.00268 0.	99000	Н	0168	Н	0.00066 0.0	.00125 0.000	031 0.00068	8 0.00128	0.00033
	Urticaria	-	0.00956	0.00397	0.03696 0.	.05158 0.	02443	0.01953 0.	.02878 0.	01265	29	0.01229 0.	00566	0.00466 0.0	00678 0.0029	295 0.0037	1 0.00546	0.00223
	Decubitus ulcer	0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00057 0	.00084 0	0.00039	0.00036 0	.00054 0.	00024 0.	.00024 0	.00035 0	.00016 0.0	0.0018 0.0	0026 0.000	012 0.0001	7 0.00025	0.00012
	Other skin and subcutaneous diseases	0.00139	0.00241	0.00075	0.00563 0.	00600	.00315 0	0.00399 0	0.00644 0.	.00223 0.	0.00424 0	0.00719 0	.00228 0.0	00337 0.0	00571 0.00	180 0.0029	0 0.00511	0.00145
	Sense organ diseases	0.00229	0.00351	0.00143	0.02930 0	.03757 C	.02245 (0.04240 0	.05309 0.	03383 0	03230 0	.04004	.02584 0.0	0.0344 0.0	2908 0.01	843 0.0214	3 0.02772	0.01644
	Glaucoma	0.0000.0	-	_	0	0.00000.0	00000	_	0	0.00000.0	0	0.00000	0 00000	0	00000 0.0000	0000 0.00000	0.00000	0.0000.0
	Cataract	0.00000	-	0.0000.0		00000	00000	0	0	╛		0.00000.0	00000	0.0 00000.	0	00	2 0.00004	0.00001
	Macular degeneration		0	0.0000.0	00000	00000	00000	_	000000	00000	00000	0	0 00000	0000	0	00	0.00	0.00000
	Refraction and accommodation disorders		-	0.00096	0.01876 0.	.02581 0	01323	0.02800 0.	03802 0	02006 0	01982	0.02741 0.	01414 0.	01308 0.0	1 790 0.009	917 0.0110	5 0.01582	0.00758
	Age-related and other hearing loss	0.00023		6	337	.00537 C	4	-	-	-	-	21	36	2	741	6	_	0.00436
	Other vision loss	0.00043	0.00074	-	00128	00189	00081	-	0.0	00094	9	00155	000070	89	.00129 0.0005	_	0	0.00056
	Other sense organ diseases	0.00000	_	0.00000	0.08600	00800	00411	4.	0	00339	4	7997	00294	25	\rightarrow	4	<u>ن</u> (0.00249
	Oral disorders	0.00000	0	0.0000.0	00347 0	.00621 0.	00164	0.01374 0	0.01993 0.	00918	0.00811 0	0.01181 0.	00537	0.00757 0.0	1083 0.00494	494 0.00980	0 0.01436	0.00643
	Caries of deciduous teeth	0.0000.0	-	0.0000.0	00347		.00164 (0.00407 0	.00750 0.	0 /	00012	.00032 0	.00002 0.0	0.0 00000	0000 0.000	0.000	00000	0.00000
	Caries of permanent teeth	0.00000	-	0.0000.0	0.00000.0	00000	00000	0.00166 0	.00323 0.	00076 0.	.00267 0.	.00495 0	.00120 0.0	00210 0.0	0384 0.0009	096 0.0025	0 0.00463	0.00115
	Periodontal diseases	_	0.0000.0	0.0000.0	0.00000	00000	00000	00000	.00000	00000	0 00000	00000	.00000.	00031 0.0	0072 0.000	010 0.0007	8 0.00174	0.00028
	Edentulism and severe tooth loss			0.0000.0	0.00000	00000	00000	0.00000.0	0.00000.0	00000	0.00000.0	00000	00000	0.00000	0000 0.000	000 0.0012	6 0.00177	0.00083
	Other oral disorders	0.0000.0	_	0.00000	0.00000	0 00000	00000	0.00801 0.	.01073 0.	00577 0.	.00532 0.	.00717 0	00379 0.	00516 0.0	0712 0.00	361 0.0052	6 0.00730	0.00361
	Sudden infant death syndrome	0.05650	0.06562	0.04646	0.12993 C	.15294 (.10901).11366 _U	.13403 0.	09557 0.	09373 0	.11285 U	.07834 0.	15356 0.1	8281 0.130	070 0.2131	8 0.25503	0.1824/

Proportion of DALYs for a particular cause relative to DALYs for all causes (Japan, 2016)

			<1 year			to 4			5 to 9			10 to 14		_	5 to 19		. ,	20 to 24	
		va	npper	ower	val L	npper	ower	val	upper	ower	val	upper	ower	va	nbber	ower	va	upper	ower
Injuries		0.08989	0.11450	0.08106	0.02617 0.	03278 0.	02035 0	02738 0	03547 (0.02137	0.01617	0.02011	0.01318	0.04685 (0.05919	0.03736	0.04562	0.05610	0.03693
Transport injuries	injuries	ш	0.00529	0.00417	0.02250 0.	02856 0.	01723 0	0.02362 0	0.03097 (0.01799 (0.01328	0.01664	0.01073	0.04377 (0.05551	0.03457	0.04202	0.05161	0.03393
	Road injuries	╙	0.00472	0.00367	0.01474 0.	01896 0.	.01060 0.	.01301 0	0.01763 0	0.00951	9080000	0.00403	0.00237	0.00334 (0.00432	0.00252	0.00382	0.00480	0.00270
	Pedestrian road injuries	0.00062	0.00072	0.00040	0.00117 0.	.00158 0.	.00076 0.	.00498 0	0.00669 (0.00357	0.00470	0.00598	0.00362	0.00509 (0.00647	0.00380	0.00293	0.00368	0.00219
	Cyclist road injuries		0.0000.0	0.0000.0	0.00043 0.	.00054 0.	0.00031	0.00074 0	0.00102 0	0.00054 (0.00172	0.00220	0.00134	0.01752 (0.02334 (0.01194	0.01195	0.01533	0.00798
	Motorcyclist road injuries	0.00024	0.00028	0.00015	0.00595 0.	00838 0.	.00420 0.	.00460 0	0.00656	0.00329 (0.00351	0.00477	0.00268	0.01752 (0.02576	0.01308	0.02297	0.03192	0.01754
	Motor vehicle road injuries		0.00369	0.00287	0.00021 0.	00028 0.	00014 0	.00029 C	00038	J.00022	0.00029	0.00039	0.00022	0.00029 (0.00039	0.00022	0.00035	0.00046	0.00026
	Other road injuries	0.00007	0.00012	0.00004	0.00367 0.	.00465 0.	0.00290 0.	0.00376 0	0.00490 (0.00294	0.00289	0.00383	0.00220	0.00308	0.00388	0.00245	0.00360	0.00455	0.00295
	Other transport injuries		0.00065	0.00048	0.09024 0.	Н	9	0.07483 0	0.08830 (0.06287	0.05711	0.06978	0.04642	0.04810	0.05945	0.03907	0.05192	0.06365	0.04251
Unintention	Unintentional injuries	0.07526	0.09672	0.06731	0.01952 0.	02493 0.	.01587 0.	.02644 0	0.03303 (0.02090	0.02579	0.03228	0.02035	0.02203	0.02745	0.01764	0.02341	0.02930	0.01864
	Falls	ш	0.00627	0.00403	0.02020 0.	02538 0.	.01559 0.	.01343 0	0.01767 (0.01006	0.00580	0.00762	0.00435	0.00504 (0.00652	0.00380	0.00540	0.00685	0.00421
	Drowning	0.00443	0.00484	0.00392	0.00975 0.	01276 0.	0.00779 0.	0 06/00	0.01011 0	0.00626	0.00503	0.00671	0.00377	0.00371	0.00524	0.00265	0.00380	0.00539	0.00272
	Fire, heat, and hot substances	0.00243	0.00300	0.00215	0.00154 0.	00209 0.	.00119 0.	.00216 0	00276	0.00167	0.00176	0.00224	0.00136	0.00187 (0.00240	0.00153	0.00243	0.00313	0.00204
	Poisonings	0.00044	0.00058	0.00035	0.00687 0.	00946 0.	.00544 0.	00583 0	0.00788	0.00445	0.00525	0.00725	0.00375	0.00511	0.00733	99800'0	0.00617	0.00852	0.00452
	Exposure to mechanical forces	0.02034	0.03136	0.01671	0.00042 0.	00052 0.	0.00028 0.	.00037 0	0.00048	0.00028	0.00032	0.00042	0.00024	0.00031	0.00040	0.00024	0.00029	0.00041	0.00022
	Unintentional firearm injuries	0.00045	0.00053	0.00024	0.00293 0.	00493 0.	00210 0	00078	0.00118	0.00059	0.00051	0.0000.0	0.00038	0.00021	0.00029	0.00016	0.00021	0.00029	0.00015
	Unintentional suffocation	0.01868	0.02973	0.01495	0.00352 0.	00483 0.	.00272 0.	.00468 0	0.00648	0.00349 (0.00442	0.00630	60800.0	0.00458 (0.00661	0.00325	0.00567	0.00785	0.00413
	Other exposure to mechanical forces	Н	0.00170	0.00104	0.00526 0.	00687 0.	00338 0	0.00240 0	0.00329 (0.00160	0.00128	0.00173	0.00087	0.00084 (0.00108	0.00055	0.00081	0.00103	0.00057
	Adverse effects of medical treatment	0.00501	0.00620	0.00286	0.00107 0.	00144 0.	0.00080 0.	.00171 0	0.00227 0	0.00128	0.00149	0.00197	0.00109	0.00115 (0.00152	0.00085	0.00108	0.00146	0.00078
	Animal contact	4	0.00046	0.00028	0.00055 0.	00077 0.	0.00038 0.	.00106 0	_	0.00075 (0.00096	0.00130	0.00068	0.00072 (0.00094 (0.00054	0.00065	0.00086	0.00048
		_	0.00017	0.00009	0.00052 0.	00071 0.	0 088000	0 99000.	0.00096 (0.00046	0.00053	\perp	0.00035	0.00043 (0.00068	0.00026	0.00043	0.00071	0.00027
	Non-venomous animal contact		0.00031	0.00017	0.01874 0.	02848 0.	0.01380 0.	.00717 C	Ш	25	0.00440	ш	0.00338	0.00307	0.00395	0.00236	0.00331	0.00412	0.00266
	Foreign body	9	0.05348	0.02906	0.01602 0.	02617 0.	01125 0	.00393 0	0.00569 (0.00279 (0.00201	0.00266	0.00152	0.00136 (0.00178 (0.00101	0.00172	0.00220	0.00133
	Pulmonary aspiration and foreign body in airway	0.03417	0.05284	0.02824	0.00056 0.	00115 0.	.00020 0.	.00061 0	0.00125 0	0.00023	0.00042	0.00077	0.00018	0.00029 (0.00054 (0.00013	0.00030	0.00054	0.00014
	Foreign body in eyes		0.00022	0.00003	0.00216 0.	00298 0.	00155 0	.00262 0	0.00383 (0.00176	0.00197	0.00291		0.00142 (0.00205	9600000	0.00129	0.00186	0.00087
	Foreign body in other body part	89000'0	0.00087	0.00048	0.00536 0.	.00752 0.	0.00368 0.	0 09900	0.00940 0	0.00440 (0.00515	0.00739	0.00345	0.00403 (0.00578	0.00278	0.00413	0.00575	0.00297
	exposure	0.00118	0.00154	0.00060	0.00193 0.	.00251 0.	0.00119 0.	0.00130 0	0.00171	0.00095	0.00117	0.00158	0.00086	0.00126	0.00164 (68000'0	0.00137	0.00186	0.00100
	Other unintentional injuries		0.00184	0.00109	0.01331 0.	02135 0.	.00924 0.	.01068 0	0.01464 0	0.00829 (0.01946	0.02483	0.01494	0.05753 (0.07438	0.04323	0.11513	0.14609	0.08951
Self-harm	Self-harm and interpersonal violence	0.00977	0.01563	0.00738	0.00000	00000	0 00000	0 00000	00000') 00000°C	0.01271	0.01730	0.00859	0.05142 (0.06854 (0.03709	0.10870	0.13907	0.08340
	Self-harm	-	0.0000.0	0.0000.0	0	.00000	0.00000.0	0.00000.0	0.00000.	0.00000.0	0.00013	0.00017	0.00010	0.00023 (0.00015	0.00039	0.00072	0.00026
	Self-harm by firearm	0.00000	0.0000.0	0.00000	0.00000	00000	0.00000.0	0.00000.0	000000	0.00000	0.01257	0.01713	0.00849	0.05119 (0.06826	0.03683	0.10831	0.13862	0.08274
	Self-harm by other specified means	0	0.0000.0	0.0000.0	0.01331 0.	02135 0.	00924 0	.01068 0	0.01464 C	0.00829 (0.00676	0.00854	0.00549	0.00611 (0.00758 (0.00497	0.00644	0.00820	0.00522
	Interpersonal violence	0.00977	0.01563	0.00738	0.00032 0.	00058 0.	.00017 0.	.00026 0	0.00038	0.00018 (0.00000	0.00028	0.00014	0.00017 (0.00029	0.00012	0.00024	0.00045	0.00016
	Physical violence by firearm	0.00023	0.00039	0.00000	0.00082 0.	00168 0.	0.00048 0.	0.00067 0	0.00110	0.00044	0.00046	0.0000.0	0.00032	0.00052 (0.00079	0.00038	0.00078	0.00133	0.00058
	Physical violence by sharp object	0.00039	0.00073	0.00021	0.01182 0.	01912 0.	.00810 0.	.00752 0	0.01111	0.00542 (0.00317	0.00449	0.00238	0.00221	0.00308	0.00168	0.00256	0.00364	0.00199
			0.0000.0	0.0000.0	5 0.	00049 0.	.00024 0.	0.00223 0	0.00297 0	0.00160	Ш	ш	ш		0.00442	0.00228	0.00285	0.00422	0.00191
	S	0.00915	0.01465	0.00699	0.00021 0.	.00026 0.	0.00016 0.	.00077 0	0.00144 C	0.00033 (0.00098	0.00190	0.00032	0.00109 (0.00206	0.00035	0.00051	0.00115	0.00014
Forces of nature,		ш	0.00004	0.00004	0.00000	.00001 0.	0.00000.0	0.00054 0	0.00118	0.00012	0.00082	0.00172	0.00019	0.00098	0.00192	0.00027	0.00043	0.00102	0.00007
	Exposure to forces of nature	ш	0.0000.0	0.0000.0	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш	ш		
	Conflict and terrorism		0.0000.0	0.00000	_	0.00000 0.	0.00000	0.0000.0	0.00000	0	0.0000.0	0.0000.0	00	0.00000		0.0000.0	0.0000.0	0.0000.0	0.00000
	Executions and police conflict	0.00004	0.00004	0.00004	0.00020 0.	0.00025 0.	0.00016 0.	0.00023 0	0.00029	0.00017	0.00016	0.00021	0.00012	0.00011	0.00015	0.00008	6000000	0.00013	0.0000.0

研究課題Ⅲ

小児期生活習慣の長期疾病インパクト推測モデル

研究要旨

本研究では、小児肥満を例に、その有病率を下げることによって、将来の疾病負担の 軽減にもたらす効果を予測し、小児期の介入がもたらすインパクトの評価を試みた。モ デルによる推計では、小児肥満の減少により、成人以後の2型糖尿病のリスクや疾病負 担を減少させる可能性が示唆された。小児期における介入がもたらすインパクトを評 価・提示するうえで、将来の長期的な効果を予測する推計モデルを用いた分析は、有効 な手段となり得ると考えられる。

I 背景

社会保障費の増加と財政負担が問題となっている現状においては、子どもの健康課題に 関する新たな予防的介入や健診制度を導入する正当性や根拠が求められる。そのため、本研 究では、小児期発症疾患の長期的疾病インパクトの推測モデル用いて、成人期以降の疾病負 担に及ぼす影響を示すことを目的とした。

本研究では、小児期の肥満に注目した。子ども・青少年の過体重は、成人期の2型糖尿病や若年死亡のリスクを高めることが指摘されており(Reilly JJ 2011, Simmonds 2015)、先進諸国共通の公衆衛生上の課題となっている。日本では、小児肥満の有病率は約11%と報告されており、学齢期の児童で増加傾向にあると言われている(MECSST 2015)。本研究では、各データソースやシステマティック・レビューのデータを用いて、この小児肥満が、成人期以後の2型糖尿病の有病率及び疾病負担に及ぼす影響を推計モデルにより試算した。

Ⅱ 方法

使用したデータソース

- · 厚労省人口動熊統計(死亡率·疾患別死亡率)
- ・ 国立人口・社会保障研究所の将来人口推計、将来簡易生命表 (2060 年までの年齢別・ 男女別人口数、期待寿命)
- 厚労省国民健康・栄養調査(糖尿病の有病率)
- 文科省学校保健統計(小児肥満の有病率)
- 内閣府 GDP 統計(一人当たり GDP)
 - ・ 先行研究の系統的レビュー (小児肥満の成人期以後の肥満・各生活習慣病への OR、 肥満の各生活習慣病への OR、各疾患の年齢別発症率、転帰)
- ・ GBD レポート (各疾患の Disease weight)

小児肥満有病率 X%減少後の成人期糖尿病有病率の試算

Prevalence $_{T2DM}$ ' = Proportion $_{CO}$ * (1 - x%) * PA *(Population * Prevalence $_{T2DM}$) / (Population * Proportion $_{CO}$) + [(1- Proportion $_{CO}$) + Proportion $_{CO}$ * x%] * (1-PA) *(Population * Prevalence $_{T2DM}$) / [Population * (1-Proportion $_{CO}$)]

*PA= Predictive Accuracy, 小児肥満が罹患した子どもにおいて、成人期以後糖尿病に発展した割合

Ⅲ 結果

表III-1 に、小児期肥満の有病率 (14 歳時点) が 10%及び 20%減少した場合の、44-49 歳における 2 型糖尿病の有病率の試算 (2060 年時点) を、性別・年代別にまとめた。また DALY を用いた疾病負担への影響に関しては、小児肥満が 10%及び 20%減少した場合にはそれぞれ、男性では 5,103.01 DALYs (95% CI: 4870.79 – 5,340.74 DALYs) 及び 10,495.70 DALYs (95% CI: 10,197.65 – 10,729.26 DALYs)、女性では 2,689.06 DALYs (95% CI: 2,666.77 – 2,754.10 DALYs) 及び 5,378.13 DALYs (95% CI: 5,289.35 – 5,483.03 DALYs) の疾病負担を、通常のシナリオと比較して回避できると推計される。

表皿-1 The impact of reduction of childhood obesity on the prevalence of T2DM in adulthood

		Reduced prevalence of	
		T2DM in adulthood	95% CI
Male, reducing 10% of CO	70+	2.77%	2.39-3.10%
	60-69	2.69%	2.39-3.07%
	50-59	1.77%	1.48-1.93%
	40-49	0.81%	0.68-0.92%
Female, reducing 10% of CO	70+	1.71%	1.41-1.88%
	60-69	1.61%	1.40-1.81%
	50-59	0.86%	0.73-0.98%
	40-49	0.39%	0.31-0.47%
Male, reducing 20% of CO	70+	5.52%	5.20-5.83%
	60-69	5.31%	5.06-5.64%
	50-59	3.54%	3.41-3.82%
	40-49	1.63%	1.51-1.74%
Female, reducing 20% of CO	70+	3.40%	3.21-3.62%
	60-69	3.20%	3.05-3.39%
	50-59	1.72%	1.59- $1.82%$
	40-49	0.77%	0.70-0.85%

Ⅳ 考察

本研究では、小児肥満を例に、その有病率を下げることによって、将来の疾病負担の軽減にもたらす効果を予測し、小児期の介入がもたらすインパクトの評価を試みた。

小児期の保健指導や介入の評価は、その評価方法やアウトカムの種類・評価期間などの問題から、既存の指標で示すことが難しく、子どもを対象とした予防的介入の効果を示すことは非常に不利な状況にある。そのため、情報量が限られている既存のデータソースを用いていることから、実際の疫学調査と比べて不確実性などの限界はあるものの、将来の長期的な効果を予測する推計モデルを用いた分析は、有効な手段と言える。

現在、生活習慣に主に関連する疾患に関する医療費が、入院・入院外ともに全体の約3割を占めると報告されている(厚生労働省資料)。その生活習慣病の予防にも寄与できるという証明は、小児期の健康支援に関する重要な根拠となり得る。

今後は、小児肥満やその他の疾患に関して、より詳細で適切なデータソースの収集、推計 モデルの構築及び分析を行い、子ども・青少年を対象とした介入の効果や、小児医療の採算 性などの評価を検討したい。

参考文献

- Llewellyn A, Simmonds M, Owen CG, Woolacott N. Childhood obesity as a predictor of morbidity in adulthood: a systematic review and meta-analysis. Obes Rev. 2016;17(1): 56-67.
- Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Summary report of School Health Statistics 2015. Available at: www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2016/03/28/1365988_0 1.pdf
- 3. Reilly JJ, Kelly J. Long-term impact of overweight and obesity in childhood and adolescence on morbidity and premature mortality in adulthood. International Journal of Obesity. 2011; 35: 891-898.
- 4. Simmonds M, Burch J, Llewellyn A, Griffiths C, Yang H, Owen C, et al. The use of measures of obesity in childhood for predicting obesity and the development of obesity-related diseases in adulthood: a systematic review and meta-analysis. Health Technology Assessment. 2015; 19: 43.

研究課題IV

小児保健・医療領域における積極的予防に関する系統的レビュー -学校における子どもの健康課題に関する介入の有効性-

研究要旨

Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library の 2 つのデータベースを用いて、学校で実施されている小児期の健康課題に関する介入研究の系統的レビューを検索・収集し、オーバービュー・レビューを行った。メタ分析の実施等により、学校で実施されている介入プログラムの効果が報告されていたテーマは、たばこ(喫煙開始の抑制)、薬物使用、望まない妊娠、男女間の暴力・虐待(知識・態度の向上)、うつ、むし歯、手洗いの促進、学校給食(発展途上国)、問題行動、自尊心であった。いずれのテーマに関しても、効果の持続性・継続性の評価が課題となっていた。また効果が確認されていないテーマについても、介入研究自体の少なさ、サンプルサイズの小ささが問題となっていることから、今後の研究結果が重要である。

I 背景

GBD 研究の 2015 年における分析では、1990 年から 2015 年の間に、世界の小児・思春期人口の疾病負担は 4.3%増加したと報告されている。この背景のひとつとして考えられているのが、先進諸国における自殺や自傷行為、薬物依存といった、思春期のメンタルヘルスに関する問題の影響である。医療技術の進歩や急性疾患の減少により、5歳以下の子どもの死亡率が減っている一方で、より年長の小児や思春期の子どもたちの病気やけが(injury)については、これまであまり関心が向けられてこなかったことが問題点として指摘されている(GBD study 2015)。

このような、従来の小児保健・医療提供体制では対象とされてこなかった、学童期・思春期の子どもに対しても、積極的な予防介入を行うことで、彼らの健全な成長・発達をサポートできる可能性がある。本研究では、子どもの健康課題に関する予防的介入プログラムに関するエビデンスを包括的に収集し、その概要及び有効性を整理することを目的に、オーバービュー・レビューを行った。

本オーバービュー・レビューにおいては、学校を単位(School-based)として行われている介入プログラムに関する系統的レビューを対象とした。学校以外にも、地域や医療機関で実施されている介入プログラムに関する研究もあるが、対象となる系統的レビューの範囲が膨大になるため、まずは学校単位で実施された介入研究に関して整理した。一般人口の学童期・思春期の子どもに対しては、学校を通してのアプローチが最も容易で効率的であり、研究実施のしやすさや、また機会の公平性の観点からも、その効果が期待される。

また、本研究においては、Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library の 2 つのデータベースを用いて、対象となる系統的レビューの検索を行った。この 2 つのデータベースは、それぞれ保健医療と教育分野において、系統的レビューに特化した データベースとして、その方法論の厳格さや質の高さが広く認識されている (Moseley 2009 など)。

Ⅱ 方法

Ⅱ-1 検索及びスクリーニング

- 研究デザイン:オーバービュー・レビュー
- 使用するデータベース: Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library
- 検索及びレビューの選択:

Cochrane Database of Systematic Reviews に関しては、表IV-1 の検索式を用いて検索を行った。また Campbell Library に関しては、検索時点(2017 年 11 月)で出版されていた全てのレビュー(138 件)を対象にスクリーニングを行った。スクリーニング及び採用するレビューの選択は、2名の研究者が独立して行い、判断が異なったものについては、第三者に意見を求めて解決した。

表IV-1 Cochrane Database of Systematic Reviews の検索結果(2017/11/10)

ID	Search	Hits
#1	MeSH descriptor: [Infant] explode all trees	15472
#2	infant*:ti,ab,kw	1030
#3	MeSH descriptor: [Child] explode all trees	247
#4	child*:ti,ab,kw	2082
#5	MeSH descriptor: [Adolescent] explode all trees	92849
#6	adolescent*:ti,ab,kw	556
#7	MeSH descriptor: [Young Adult] explode all trees	273
#8	young*:ti,ab,kw	595
#9	MeSH descriptor: [Students] this term only	2141
#10	student*:ti,ab,kw	262
#11	student*:ti,ab,kw	262
#12	#1 or #2 or #3 or #4 or #5 or #6 or #7 or #8 or #9 or #10 or #11	2874
#13	MeSH descriptor: [Schools] explode all trees	2468
#14	school*:ti,ab,kw	220
#15	center*:ti,ab,kw	115

#16	education*:ti,ab,kw	515
#17	kinder*:ti,ab,kw	282
#18	preschool*:ti,ab,kw	325
#19	program*:ti,ab,kw	836
#20	training*:ti,ab,kw	425
#21	#13 or #14 or #15 or #16 or #17 or #18 or #19 or #20	1809
#22	#12 and #21	992

Ⅱ-2 レビューの包含基準

· Population:

小児(3歳から20歳前後)

· Intervention:

学校で実施された (school-based の) あらゆる介入

※研究によっては、家庭や地域での介入も同時に行っているものもあるが、本レビューでは、学校での介入が、プログラムの中心となっているものを対象とする。

· Comparison:

介入の不実施、または普段から実施されているプログラムの実施

· Outcome:

健康課題(身体的・精神的・社会的)

· レビューに含まれる研究デザイン:

RCTs (対象者が、介入/コントロール群にランダムに割り付けられた研究: Individual RCTs, Cluster-RCTs, Quasi-RCTs)

・ 除外するレビュー:

ハイリスク児を対象としたもの、介入が子ども以外の対象者のみに行われているもの (親・教員など)、School-settingでの RCTs を含まないもの

※RCT と観察研究の両方を含むもの、あるいは school-setting の研究と学校以外で行われた研究の両方を含む系統的レビューに関しても本レビューで採用し、school-setting で行われた RCT の結果のみを抽出した。

Ⅱ-3 結果の記述

本研究に含めた系統的レビューは、介入のテーマやアウトカムの内容ごとにグループに 分け、結果をまとめた。結果は、メタ分析の結果を中心に記載した。また、介入プログラム の種類は、下記のように整理した。

介入プログラムの種類:

- School/ Classroom-based educational program
- Counselling/ Mentoring/ Therapy
- Activity/ Exercise
- Peer led interventions
- School rules/policies
- Subsidy/ Supply of specific goods
- Multicomponent interventions
- Other interventions (e.g. Incentive-based programs)

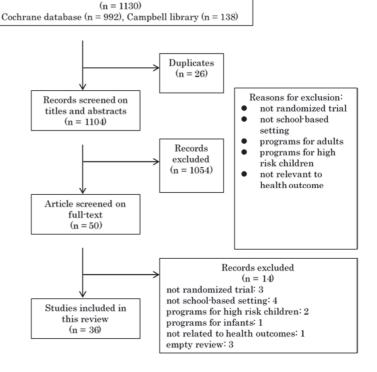
Ⅲ 結果

Ⅲ-1 スクリーニング結果

Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library のデータベースを用いて、本研究に関連する系統的レビューの検索を行った結果、1,130件(Cochrane Database of Systematic Reviews が 992件、Campbell Library が 138件、重複 26件)が該当した。研究のタイトルとアブストラクトでのスクリーニングを行った結果、1,054件が除外された。除外の理由は、School-setting で行われた RCT が含まれていないもの、教員や保護者を対象に介入が行われていたもの、ハイリスク児(肥満児、被虐待児、慢性疾患患者など)を対象としたもの、アカデミックスキルなど、健康課題以外をアウトカムにしたものであった。残った 50件の論文に関してフルテキスト・スクリーニングを行った結果、最終的に 36件の系統的レビューが本オーバービュー・レビューに含まれた。フルテキスト・スクリーニングの結果除外された研究を表IV-2にまとめた。

Records identified from initial searches

☑IV-1 Flow literature



表IV-2 除外文献リスト

ID	レビュータイトル	除外理由
Lopez 2016	Brief educational strategies for improving contraception	school-settingでの
	use in young people	RCTなし
Carney 2016	Brief school-based interventions and behavioural	ハイリスク
	outcomes for substance-using adolescents	(substance-using
		adolescents)
Duperrex	Education of children and adolescents for the prevention	RCTなし
2009	of dog bite injuries	
Marinho 2015	Fluoride gels for preventing dental caries in children and	多くの研究で、クリ
	adolescents	ニックでの介入
Mytton 2006	School-based secondary prevention programmes for	ハイリスク
	preventing violence	(secondary
		prevention program)
Thomas 2011	Mentoring adolescents to prevent drug and alcohol use	community-based
		interventions
Fisher 2008	Cognitive-behavioural interventions for preventing youth	empty review
	gang involvement for children and young people (7-16)	
Fisher 2008	Opportunities provision for preventing youth gang	empty review
	involvement for children and young people (7-16)	
Carson 2012	Interventions for tobacco use prevention in Indigenous	community-based
	youth	interventions
Kristjansson	Food supplementation for improving the physical and	対象者に乳児を多く
2015	psychosocial health of socio-economically disadvantaged	含む(×school-
	children aged three months to five years	setting)
Brown 2014	Centre-based day care for children younger than five	RCTなし
	years of age in low- and middle-income countries	
Wolfenden	Strategies to improve the implementation of healthy eating,	アウトカム : childcare
2016	physical activity and obesity prevention policies, practices	serviceの向上
	or programmes within childcare services	
Higginson	Preventive interventions to reduce youth gang violence in	empty review
2015	low- and middle-income countries	
Berg 2012	Interventions to reduce the prevalence of female genital	RCTなし
	mutilation/cutting in African countries	

Ⅲ-2 採用された研究の概要

プログラムのテーマは、①たばこ、②アルコール、③薬物使用、④リプロダクティブ・ヘルス、⑤暴力・虐待、⑥肥満、⑦摂食障害、⑧身体活動、⑨事故・けが、⑩うつ、⑪いじめ、⑫むし歯、⑬健康全般、⑭(問題)行動、⑮自尊心・自己効力感、に分けられた。各研究の詳細は、章末の Characteristics of included studies に記載した。また、メタ分析の結果、有効性が示された介入プログラムの一覧を表 \mathbb{N} -3 にまとめた。

表IV-3 有効性が確認されたメタ分析結果の一覧

テーマ	介入の種類	メタ分析結果	ID
	School/ Classroom-based education;	• onset of smoking (≥12 months): OR 0.88 [0.81, 0.96],	Thomas
smoking	Peer led interventions;	$P < 0.01, I^2 = 17\% (56 \text{ RCTs})$	2013
	Multicomponent interventions	※1年未満でのアセスメントでは効果なし	
drug 1100	School/ Classroom-based education		Faggiano
drug use			2014
		0.035, I ² = 79% (6 RCTs, n = 26910, moderate quality) **Multiple interventions (combination of educational and	
	Sahaal -basad aduantianal program:	contraceptive-promoting interventions)	
sexual	School -based educational program; Peer led interventions;	 Unintended pregnancy (12 - 36 months follow-up): 	Oringanje
health	Multicomponent interventions	RR 0.66 [0.50, 0.87], P < 0.01, $I^2 = 3\%$ (4 individually	2016
		RCTs, n = 1905, Moderate quality)	
		Knowledge of relationship violence (higher score =	
	School/ Classroom-based education	better knowledge): SMD 0.44 [0.28, 0.60], P < 0.01, I^2 =	Fellmeth
		52% (10 RCTs, n = 6206, moderate quality)	2013
	School/ Classroom-based educational program;	Teen Dating Violence Knowledge: Effect size 0.36	
		[0.13, 0.59], (6 RCTs, n = 4,966)	Rue 2014
		• Teen Dating Violence Attitudes: Effect size 0.12	INUE ZUIT
violence		[0.06, 0.18], (7 RCTs, n = 5,035)	
		Protective behaviours (self-protective events	
		measured using a stranger simulation:介入直後): OR	
	School/ Classroom-based education	5.71 [1.98, 16.51], P < 0.01, I ² = 27% (2 RCTs, n = 102,	Walsh
	School/ Classroom-pased education	moderate quality) • Questionnaire based knowledge (介入直後): SMD 0.61	2015
		[0.45, 0.78], P $<$ 0.01, I ² = 84% (18 RCTs, n = 4657,	
		[0.45, 0.76], P \ 0.01, I = 64% (16 RGTs, II = 4657, moderate quality)	
		※school-settings以外の結果も含む(大半はschool-	
		settings)	
		Diagnosis of depression (up to 12 months): RD (risk	
	T.	depression) -0.03 [-0.05 , -0.01], P = 0.01, I ² = 47% (32)	Hetrick
depression	ITherany	RCTs, n = 5965, moderate quality)	2016
		Depression symptoms (self-rated) (up to 12 months):	
		SMD -0.21 [-0.27 , -0.15], P < 0.01, I ² = 57% (70 RCTs,	
		n = 13,829, low quality)	
		• caries on the surfaces of permanent teeth (near to 3	
	Supply of fluoride mouth rinses (primarily supervised use in school setting)	year): Prevented Fraction 0.27 [0.23, 0.30], P < 0.01, I ²	
caries		= 42% (35 RCTs, n = 15305, moderate quality)	Marinho
		caries on the permanent teeth (near to 3 year):	2016
		Prevented Fraction 0.23 [0.18, 0.29], $P < 0.01$, $I^2 = 54\%$	
		(13 RCTs, n = 5105, moderate quality)	
		(1)High income countries • Episodes of diarrhoea: RR 0.70 [0.58, 0.85], P < 0.01,	
	School/ Classroom-based educational program;	$I^2 = 79\%$ (9 RCTs, n = 4664, high quality)	Ejemot-
	Hand washing promotion	②Low- or middle- income countries	Nwadiaro
health		• Episodes of diarrhoea: RR 0.66 [0.43, 0.99], P = 0.04,	2015
i i odici i		$I^2 = 78\%$ (2 RCTs, n = 45380, low quality)	
		*Developing country	
	Supply of specific goods	• Weight gain kg: MD 0.39 [0.11, 0.67], P < 0.01, I ² =	Kristjanss
	(School feeding)	41% (3 RCTs, n = 1462)	on 2007
	Sahaal/ Classroom-based advestional are grane	※non-RCTsの結果も含む	
	School/ Classroom-based educational program; Peer led interventions	aggressive and disruptive behaviour: overall random	Wilson
	(Social information processing programs)	effects mean was .21 (effect sizes range: -0.58 to	2006
	(223.27 Information processing programs)	1.48) (p < 0.01) (Q72=199, p < 0.01)	
	Mindfulness-based interventions	※RCTs以外の研究結果も含む(36/61studies)	
		• Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges'g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12.10 (P = 0.21), (10	
		RCTs)	Maynard
behaviors		Socioemotional outcomes: overall mean effect	2017
		(Hedges'g) 0.22 [0.14, 0.30], $P < 0.01$, $I^2 = 14\%$, (28)	
		RCTs)	
	School/ Classroom-based educational program (self-control improvement programs)	self-control (teacher-report): weighted effect size	
		0.26, z-test 2.63 (P < 0.01) (5 school- setting RCTs)	
		delinquency and problem behaviors (teacher-report):	Piquero
		weighted effect size 0.28, z-test 3.69 (P $<$ 0.01) (13	2010
		school- setting RCTs)	
		W.Companie and its interestina	
	School/ Classroom-based educational program;	**Comprehensive intervention	E
self-esteem	Exercise program;	• Self-esteem (short-term follow-up): SMD 0.51 [0.15, $\frac{1}{2}$	Ekeland
	Multicomponent interventions (Exercise as a part of a comprehensive intervention)	0.88], $P < 0.01$, $I^2 = 21\%$ (4 RCTs, $n = 161$)	2004
i .	(Exercise as a part of a comprehensive intervention)	1	1

Ⅲ-3 テーマごとのプログラムの内容及び効果

● たばこ、アルコール、薬物に関する介入研究

プログラムの内容

たばこに関するレビューが 2 件、アルコール 2 件、薬物使用が 1 件、該当した。介入の対象は、5 歳から 18 歳までの児童・生徒であった。介入プログラムの種類としては、School/Classroom-based educational program が主で、プログラムの実施者は、教員や研究者、心理学の専門家やソーシャル・ワーカーなどであった。喫煙の防止に関する介入研究は数が多く、Thomas et al. (2013)のレビューでは、134 件ものトライアルが含まれていた。たばこに関するレビューのもう一つは、学校での Health Policy の設定(教員も含めた構内での禁煙など)を介入としていた(Coppo 2014)。介入の期間は、1 時間のセッションのみ実施しているものから、3 年を超える長期間のものまで、研究によって大きな幅があった。

プログラムの効果

たばこ及び薬物使用の研究において、Combined social competence and social influence approach の有効性が報告されていた。これは、「Social competence」と「Social influence approach」を組み合わせた介入プログラムで、Social competence approach は、パーソナルスキルやソーシャルスキルが低いことが、危険行動のリスクを高めるという考え方のもと、個人間やメディアの影響から身を守るための問題解決能力や意思決定、認知能力を養い、セルフコントロールや自尊心を高めることを目的とした集団介入プログラムである。またもう一方の Social influence approach は、リスク行動に関する友達からのプレッシャーや危険な状況への対処方法、直接・非直接的なリスク行動への誘いを断る効果的な方法など、具体的なスキルを教えることを目的としたプログラムである(Thomas 2013)。

Thomas et al. (2013) による喫煙防止を目的としたレビューでは、Combined social competence and social influences approach による介入は、介入から 1 年以上経過した時点での非喫煙率に効果的であったと報告されている(OR 0.88 [0.81, 0.96], P < 0.01, I^2 = 17%: 56 RCTs)。また Faggiano et al. (2014) による薬物使用に関する研究では、マリファナ使用を防止する効果が報告されていた(RR 0.83 [0.69, 0.99], P = 0.035, I^2 = 79%: 6 RCTs, n = 26910, moderate quality)。

● リプロダクティブ・ヘルスに関する介入研究 プログラムの内容

リプロダクティブ・ヘルスに関する研究としては、HIV 感染に関するレビューが 2 件、性感染症が 1 件、避妊に関するものが 3 件、該当した。介入の対象は、9 歳から 24 歳までの子ども・青少年であった。介入プログラムの種類としては、School -based educational program や Peer led interventions が主であり、プログラムの実施者は、教員やピアリーダー、保健師や健康指導員 (health educator) などであった。レビューのうち一つは、Incentive-

based programmes(放課後も学校内で過ごすことを促進するプログラム)を介入としていた(Mason-Jones 2016)。介入の期間は、1 セッションのみ実施しているものから、 $3\cdot 4$ 年を超える長期間のものまで、研究によって大きな幅があった。

プログラムの効果

研究間の異質性の高さから、メタ分析を行っているものは少なく、全体的に、学校での性教育に関して、明確な有効性を示すレビューも少なかった。一方で、Oringanje et al. (2016) が行った分析では、Multiple interventions(性に関する教育活動と避妊の促進)が、望まない妊娠を減らす効果があると報告している(12 - 36 months follow-up: RR 0.66 [0.50, 0.87], P < 0.01, $I^2 = 3\%$:4 individually RCTs, n = 1905, Moderate quality)。Oringanje et al. (2016)のレビューでも、介入プログラムの多様性により(HIV/STD education, community services, counselling, skills-building, contraceptive distribution など)、どのプログラムが実際に有効かは判断できないとしている。

● 暴力、虐待に関する介入研究

プログラムの内容

暴力・虐待に関する研究としては、デート DV (dating violence) に関するレビューが 2 件、性的虐待に関するものが 1 件、該当した。介入の対象は、12 歳から 25 歳までの子ども・青少年であった。デート DV に関する 2 件のレビューに含まれた介入研究は、すべてアメリカ合衆国で行われていた(計 61 studies)。介入プログラムの種類は、School -based educational program や Peer led interventions で、プログラムの実施者は、教員や養護教諭(school nurse)、ピアリーダー、カウンセラーなどの学外の専門家であった。介入の期間は、1セッションのみの実施から、1年を超える(60 週)プログラムもあった。

プログラムの効果

3件のレビューすべてで、コントロール群に比べて、介入群の対象者の性暴力や性的虐待に関する知識が有意に向上していたと報告されていた。一方で、実際の暴力行為・被害の頻度や、効果の持続性に関しては、今後の研究が必要であると指摘されていた。

● 肥満、摂食障害、身体活動に関する介入研究

プログラムの内容

肥満、摂食障害、身体活動に関するレビューが、それぞれ1件ずつ該当した。介入の対象は、3歳から20歳までの子ども・青少年であった。介入プログラムの種類としては、食事や身体活動、ボディイメージに関するSchool/Classroom-based educationや、その他にも、運動設備・器具の購入や、身体活動の時間を増やす、学校給食の改善など、多様な介入プログラムが報告されていた。プログラムの実施者は、教員や研究者で、摂食障害に関しては精

神科医や心理学者も含まれていた。介入の期間は、1日のみのものから、6年間に及ぶ長期間のものまで、研究によって大きな幅があった。

プログラムの効果

肥満(Waters 2011)や身体活動(Dobbins 2013)に関するレビューでは、介入の有効性を報告する研究は見られるものの、レビューに含まれた介入プログラムの内容が非常に多義にわたることなどから、どのプログラムが有効かを判断することは難しいとしている。また、摂食障害に関するレビューでは、介入の有害性は報告されていないものの、メタ分析の結果、BMI や食事行動など、いずれのアウトカムについても有意な効果は認められなかったと報告している(Pratt 2002)。

● 事故・けがに関する介入研究

プログラムの内容

事故・けがに関する研究としては、ヘルメット使用に関するレビューが1件、交通事故が1件、事故・けが全般に関するものが2件、該当した。介入の対象は、5歳から19歳までの子ども・青少年であった。介入プログラムの種類としては、School-based educational program が主で、プログラムの実施者は、教員や事故予防の専門家などであった。ヘルメット使用に関するレビューでは、介入としてヘルメットの配布や助成を行っている研究もあった(Owen 2011)。介入の期間は、1セッションのみ実施しているものから、6か月を超えるものもあった。

プログラムの効果

事故・けがに関しては、レビューに含まれた RCTs の数が少なく、すべてのレビューにおいて、介入の効果に関するエビデンスの不足が指摘されていた。Duperrex et al.

(2002) は、交差点の渡り方といった Behaviour や Knowledge の向上は報告されている ものの、接触事故やけがの発生頻度、また長期的な効果に関しては情報が不十分であると 指摘している。

● うつ、いじめに関する介入研究

プログラムの内容

うつに関するレビューが 1 件、いじめが 1 件該当した。うつに関するレビューに含まれた研究の対象者は、8 歳から 24 歳までの子ども・青少年で、認知行動療法や対人関係療法(Interpersonal psychotherapy)を介入プログラムとして行っていた。プログラムの実施者は、教員や心理学者、ソーシャル・ワーカーなどであった。介入の実施期間は、数週間から 3 年であった。いじめに関するレビューに含まれた研究の対象者は、7 歳から 19 歳ま

での子ども・青少年で、介入内容は、教員による School -based educational program や Peer led interventions であった。

プログラムの効果

うつに関するレビューでは、メタ分析の結果、介入の効果が示されていた(Diagnosis of depression (up to 12 months): RD (risk depression) -0.03 [-0.05, -0.01], P = 0.01, I2 = 47%: 32 RCTs, n = 5965, moderate quality)(Hetrick 2016)。しかし、どの年齢の対象者に、どのプログラムが有効かを判断するには情報が不十分であり、適切なコントロール群の設定、医療者による評価や長期的な follow-up、有害事象に関する検討が、今後の研究に求められると指摘されていた。一方で、いじめに関しては、ほとんどの介入研究で、介入プログラムの効果が個別に報告されているものの、メタ分析では有意な結果は示されず、効果的なプログラム開発が必要であると報告されていた(Farrington 2009)。

● むし歯に関する介入研究

プログラムの内容

むし歯に関する研究としては、むし歯予防の行動介入(behavioural interventions)のレビューが 1 件、フッ化物洗口剤の配布・使用に関するレビューが 1 件、該当した。介入の対象は、4 歳から 14 歳までの児童・生徒で、介入の実施期間は、3 か月から 3 年までであった。

プログラムの効果

むし歯予防の行動(教育)介入に関しては、異質性が高くメタ分析は実施できず、現時点では、小学校における介入の有効性を検証できないと結論づけていた(Cooper 2013)。一方、フッ化物洗口剤に関しては、定期的な使用が子どもの永久歯のむし歯予防に大きな効果があると報告していた(caries on the permanent teeth (near to 3 year):Prevented Fraction 0.23 [0.18, 0.29], P < 0.01, $I^2 = 54\%$: 13 RCTs, n = 5105, moderate quality)(Marinho 2016)。

● 健康・well-being に関する介入研究

プログラムの内容

子どもの健康課題(全般)をアウトカムとして設定していたレビューが5件あった。介入プログラムの内容はそれぞれ異なり、手洗い促進のための教育介入(アウトカムは下痢予防)、学校給食の実施、放課後のクラブ活動の提供、始業時間の繰り下げ、WHOの Health Promoting School framework(1990年代以降WHOにより提案されてきた、世界的なschool-settingの健康教育・保健活動の枠組み)であった。介入の実施期間は、短いもので

数週間(学校給食と始業時間の変更)、長いもので 6 年間(Health Promoting School)であった。介入の対象者は、幼児(手洗い促進)から 18 歳までの児童・生徒であった。

プログラムの効果

手洗い促進の教育介入については、先進諸国の保育施設(child day-care centers)での介入がdiarrhoea episodes を減らす効果があると報告されており(Ejemot-Nwadiaro 2015)、学校給食に関しては、発展途上国のとくに貧困家庭の子どもに対して、効果が示されていた(Weight gain kg: MD 0.39 [0.11, 0.67], P < 0.01, I^2 = 41%: 3 RCTs, n = 1462)(Kristjansson 2007)。放課後に、宿題のサポートやクラブ活動を提供する介入プログラムでは、宿題の実施率や体験活動への参加の向上には効果があるが、social and emotional outcomes といった健康課題に関する効果は報告されていなかった(Zief 2006)。学校の始業時間を遅らせるという介入研究では、1 Cluster-RCT(n = 37)が生徒の睡眠時間や集中力の向上に有意な効果があると報告していたが、結果の一般化可能性を議論するにはエビデンスが不足している(Marx 2017)。WHO の Health Promoting School framework に関しては、アウトカムのトピック別に分析を行っており BMI、身体活動、果物野菜の摂取、喫煙、いじめの被害といった、いくつかの項目に関しては、その有効性が確認されたと報告している(Langford 2014)。

● 行動上の問題に関する介入研究

プログラムの内容

行動上の問題に関する研究としては、攻撃的行動に関するレビューが 1 件、認知・行動・ 社会性/情動の機能(socioemotional functioning)に関するものが 1 件、セルフコントロ ールに関するものが 2 件、該当した。介入の対象は、3 歳から 16 歳までの児童・生徒であ った。介入プログラムの種類は、School -based educational program や Peer led interventions が主で、プログラムの実施者は、教員や研究者・専門家であった。マインド フルネスの技法や、ロールプレイなど特定の教材を用いた教育プログラムも行われていた。 介入の期間は、数週間から、3 年間を通したプログラムもあった。

プログラムの効果

問題解決能力を養う介入プログラムでは、児童・生徒の攻撃的行動の減少に(Wilson 2006)、セルフコントロールのスキルを養うプログラムでは、セルフコントロールの向上や問題行動の減少に(Piquero 2010)、またマインドフルネスを取り入れた介入では、認知や社会性/情動に関するアウトカムに(Maynard 2017)、それぞれ効果的であると報告されていた。いずれの研究も、介入直後(Piquero 2010; Maynard 2017)や1年以内(Wilson 2006)のアウトカム評価のため、長期的な効果については今後の研究が必要である。一方

で、プレスクールで実施された自己制御(self-regulation)に関する介入プログラムでは、その有効性は示されていなかった(Baron 2017)。

● 自尊心・自己効力感に関する介入研究

プログラムの内容

自尊心に関するレビューが 1 件、自尊心及び自己効力に関するレビューが 1 件、該当した。介入の対象は、3 歳から 20 歳前後の子ども・青少年であった。介入プログラムの種類は、School -based educational program や Peer led interventions で、プログラムの実施者は、教員やその他の大人(親など)であった。プログラムの内容は、エクササイズと、もうひとつは、Young Empowerment Programs(YEPs: 若者が安全で積極的かつ建設的な活動に従事することで、意思決定やリーダーシップを養うことを目的とするプログラム)の効果を評価していた。介入の期間は、4 週間から 2 年間であった。

プログラムの効果

エクササイズを取り入れた教育プログラムでは、子どもの自尊心に対する有効性が示されていた(Self-esteem (short-term follow-up): SMD 0.51 [0.15, 0.88], P < 0.01, I2 = 21%: 4 RCTs, n = 161)。ただし、エクササイズのみのプログラムの効果については、研究間の異質性が高くメタ分析での検証は行われていなかった(Ekeland 2004)。一方、YEPs に関しては、quasi-experimental study も含め、有効性を示す研究はなかったと報告されていた(Morton 2011)。

IV 考察

今回のオーバービュー・レビューにおいて、メタ分析の実施等により、学校で実施されている介入プログラムの効果が報告されていたテーマは、たばこ(喫煙開始の抑制)、薬物使用、望まない妊娠、男女間の暴力・虐待(知識・態度の向上)、うつ、むし歯、手洗い促進、学校給食(発展途上国)、問題行動、自尊心、であった。反対に、効果が認められなかったテーマは、飲酒、性感染症予防、肥満、摂食障害、身体活動の増加、事故・けが、いじめ、自己効力感などであった。いずれのテーマに関しても、効果の持続性・継続性が課題となっており、長期的なフォローアップ調査の必要性が指摘されていた。また効果が確認されていないテーマについては、介入研究自体の少なさ、サンプルサイズの小ささが問題となっていることから、今後の研究結果が重要となる。

本研究の限界と今後の課題

本研究では、文献収集で利用したデータベースは、Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library の 2 種類のみであり、また対象とした介入プログラムも、学校で実施されたものに限定した。そのため、今後は Cochrane Database of Systematic

Reviews 及び Campbell Library 以外のデータベースを用いて、また地域や家庭、クリニックなど、学校以外で実施されている子どもの健康課題に関する介入研究に関する系統的レビューについても、文献検索・収集を行い、政策提言の観点から、小児保健・医療分野における、学童期・思春期の子どもに対する積極的予防介入プログラムに関して、より包括的なエビデンスの整理を行いたい。

GBD 研究の 2015 年の分析では、とくに先進諸国の小児・思春期の問題に関して、自傷行為、個人間の暴力、非感染性疾患(精神疾患、薬物依存、がん、先天異常、ヘモグロビン異常症など)が、損失生存年数 (YLL) の増加に、より影響を与えていると報告されている。このうちメンタルの問題に関して、あらゆる精神疾患の半分が 14 歳までに、また 4 分の 3 は 20 代半ばまでに始まること、もし適切な治療を受けなければ、その症状が、自傷行為や子どもの発達や就学、長期的な成功や経済活動に影響を与える可能性が高いため、SDGs のターゲットにもなっているメンタルヘルスに関する問題に関しては、大人だけでなく、小児・思春期の子どもたちのメンタルヘルスや薬物依存、自傷行為にも注意が向けられる必要があると指摘している (GBD study group 2015)。

日本においても、感染症に対する予防接種などに関しては、集団としての予防的介入の重要性が広く認識されているのに比べ、いじめや自傷行為、自殺など、学童・思春期のメンタルへルスの問題などに関しては、個人あるいは個別の家族・学校の問題として捉えられ、保健医療政策の観点からの取組みが十分になされてきたとは言えない。疾病構造の変化とともに、小児保健・医療提供のあり方も転換期にあると言え、予防的視点に立った、保健指導や介入方法の重要性が広く認識される必要がある。

Rue et al. (2014) が指摘するように、学校現場で時間やリソースを使ってプログラムを実施することをサポートするためには、効果的なプログラム内容の開発やその評価・修正が必要である。ほとんどのシステマティック・レビューに含まれていた介入研究は、その大半がアメリカ合衆国で実施されていた。一方で、日本でのトライアルに関する報告はなく (Excluded studies のリストに記載された研究はあったが、「not in English」の理由で除外されていた (Piquero 2010))、今後の研究が期待される。

参考文献

採用文献

- 1. Baron A, et al. (2017) The Tools of the Mind curriculum for improving self-regulation in early childhood. Campbellcollaboration.org
- 2. Cooper Anna, M., et al. (2013) Primary school-based behavioural interventions for preventing caries. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 3. Coppo, A., et al. (2014) School policies for preventing smoking among young people. Food and Drug Toxicology Research Centre, National Institute of Nutrition, Hyderabad, India. Cochrane Database of Systematic Reviews

- 4. Dobbins, M., et al. (2013) School-based physical activity programs for promoting physical activity and fitness in children and adolescents aged 6 to 18. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 5. Duperrex, O., et al. (2002) Safety education of pedestrians for injury prevention. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 6. Ejemot-Nwadiaro Regina, I., et al. (2015) Hand washing promotion for preventing diarrhoea. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 7. Ekeland, E., et al. (2004) Exercise to improve self-esteem in children and young people. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 8. Faggiano, F., et al. (2014) Universal school-based prevention for illicit drug use. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 9. Farrington D, M. T. (2009) School-based programs to reduce bullying and victimization. Campbellcollaboration.org
- 10. Fellmeth Gracia, L. T., et al. (2013) Educational and skills-based interventions for preventing relationship and dating violence in adolescents and young adults. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 11. Foxcroft David, R. and A. Tsertsvadze (2011) Universal multi-component prevention programs for alcohol misuse in young people. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 12. Foxcroft David, R. and A. Tsertsvadze. (2011) Universal school-based prevention programs for alcohol misuse in young people. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 13. Hetrick Sarah, E., et al. (2016) Cognitive behavioural therapy (CBT), third-wave CBT and interpersonal therapy (IPT) based interventions for preventing depression in children and adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 14. Kristjansson, B., et al. (2007) School feeding for improving the physical and psychosocial health of disadvantaged students. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 15. Langford, R., et al. (2014) The WHO Health Promoting School framework for improving the health and well-being of students and their academic achievement. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 16. Lopez Laureen, M., et al. (2016) School-based interventions for improving contraceptive use in adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 17. Marinho Valeria, C. C., et al. (2016) Fluoride mouthrinses for preventing dental caries in children and adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews

- 18. Marx, R., et al. (2017) Later school start times for supporting the education, health, and well-being of high school students. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 19. Mason-Jones Amanda, J., et al. (2016) School-based interventions for preventing HIV, sexually transmitted infections, and pregnancy in adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 20. Maynard BR, et al. (2017) Mindfulness-based interventions for improving cognition, academic achievement, behavior and socio-emotional functioning of primary and secondary students. Campbellcollaboration.org
- 21. Morton M, P. M. (2011) Youth empowerment programs for improving self-efficacy and self-esteem of adolescents. Campbellcollaboration.org
- 22. Oringanje, C., et al. (2016) Interventions for preventing unintended pregnancies among adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 23. Orton, E., et al. (2016) School-based education programmes for the prevention of unintentional injuries in children and young people. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 24. Owen, R., et al. (2011) Non-legislative interventions for the promotion of cycle helmet wearing by children. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 25. Piquero AR, et al. (2010) Self-control interventions for children under 10 for improving self-control and delinquency and problem behaviors. Campbellcollaboration.org
- 26. Pratt Belinda, M. and S. Woolfenden (2002) Interventions for preventing eating disorders in children and adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 27. Roberts Ian, G. and I. Kwan (2001) School-based driver education for the prevention of traffic crashes. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 28. Rue L, et al. (2014) School-based interventions to reduce dating and sexual violence. Campbellcollaboration.org
- 29. Scher LS., et al. (2006) Interventions intended to reduce pregnancy-related outcomes among adolescents. Campbellcollaboration.org
- 30. Thomas Roger, E., et al. (2013) School-based programmes for preventing smoking. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 31. Underhill, K., et al. (2008) Abstinence-plus programs for HIV infection prevention in high-income countries. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 32. Underhill, K., et al. (2007). Abstinence only programs for HIV infection prevention in high-income countries. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 33. Walsh, K., et al. (2015) School-based education programmes for the prevention of child sexual abuse. Cochrane Database of Systematic Reviews

- 34. Waters, E., et al. (2011) Interventions for preventing obesity in children. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 35. Wilson SJ., Mark Lipsey. (2006) The effects of school-based social information processing interventions on aggressive behavior, part I: universal programs. Campbellcollaboration.org
- 36. Zief SG., et al. (2006) Impacts of after-school programs on student outcomes. Campbellcollaboration.org

除外文献

- 1. Rigmor C. Berg, E. D. (2012) Interventions to reduce the prevalence of female genital mutilation/cutting in African countries. Campbellcollaboration.org
- 2. Brown Taylor, W., et al. (2014) Centre-based day care for children younger than five years of age in low- and middle-income countries. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 3. Carney, T., et al. (2016) Brief school-based interventions and behavioural outcomes for substance-using adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 4. Carson Kristin, V., et al. (2012) Interventions for tobacco use prevention in Indigenous youth. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 5. Duperrex, O., et al. (2009) Education of children and adolescents for the prevention of dog bite injuries. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 6. Fisher H., et al. (2008) Cognitive-behavioural interventions for preventing youth gang involvement for children and young people (7-16). Cochrane Database of Systematic Reviews
- 7. Fisher H., et al. (2008) Opportunities provision for preventing youth gang involvement for children and young people (7-16). Cochrane Database of Systematic Reviews
- 8. Higginson A., et al. (2015) Preventive interventions to reduce youth gang violence in low- and middle-income countries. Campbellcollaboration.org
- 9. Kristjansson E., et al. (2015) Food supplementation for improving the physical and psychosocial health of socio-economically disadvantaged children aged three months to five years. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 10. Lopez Laureen, M., et al. (2016) Brief educational strategies for improving contraception use in young people. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 11. Marinho Valeria, C. C., et al. (2015) Fluoride gels for preventing dental caries in children and adolescents. Cochrane Database of Systematic Reviews

- 12. Mytton Julie, A., et al. (2006) School-based secondary prevention programmes for preventing violence. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 13. Thomas Roger, E., et al. (2011) Mentoring adolescents to prevent drug and alcohol use. Cochrane Database of Systematic Reviews
- 14. Wolfenden, L., et al. (2016) Strategies to improve the implementation of healthy eating, physical activity and obesity prevention policies, practices or programmes within childcare services. Cochrane Database of Systematic Reviews

その他

- The Global Burden of Disease Child and Adolescent Health Collaboration. Child and Adolescent Health From 1990 to 2015 Findings From the Global Burden of Diseases, Injuries, and Risk Factors 2015 Study. JAMA Pediatr. 2017; 171(6): 573-592.
- · Moseley AM, Elkins MR, Herbert RD, Maher CG, Sherrington C. Cochrane reviews used more rigorous methods than non-Cochrane reviews: survey of systematic reviews in physiotherapy. J Clin Epidemiol. 2009; 62: 1021–1030.

研究課題IV 章末資料

各介入研究の詳細表(Characteristics of included studies)

No.1

ID	Baron 2017	
Review name	The Tools of the Mind curriculum for improving self- regulation in early childhood	
Theme (health outcome)	self-regulation	
Intervention	Tools activity (literacy, mathematics, or play scenarios) • Provider: teacher • Duration: 1 – 3 years	
Participants (age)	preschool children (3 - 5 years)	
Country	• USA	
Number of school-setting RCTs (participants)	6 Cluster-RCTs (n = 8,174)	
Follow-up duration	not described	
Results	 メタ分析:有意差なし Task-based self-regulation: Effect size 0.072 [-0.149, 0.293], P = 0.418, self-regulation (τ2 = .03) (5 RCTs, n =) Reported self-regulation: Effect size 0.121 [-0.387, 0.628], P = 0.415, self-regulation (τ2 = .03) (5 RCTs, n =) 結論: サンプルサイズの小ささが、有意差なしの結果につながっているかもしれないが、現段階では、Tools の self-regulation に対する効果は示されていない。 	
Notes	• Campbell review	

No.2

ID	Cooper 2013
----	-------------

Review name	Primary school-based behavioural interventions for
	preventing caries
Theme (health outcome)	caries
Intervention	School/ Classroom-based education (Behavioural intervention) Provider: teacher Duration: 3 months -
Participants (age)	Children in primary school (4 - 12 years)
Country	Italy, Tehran, UK, Brazil
Number of school-setting RCTs (participants)	4 RCTs (n = 2,302)
Follow-up duration	1 - 2 years
Results	 メタ分析:実施なし (caries のアウトカムの報告は1 RCT のみ (15 か月後)、Plaque indices は 3 RCTs で報告されていたものの、異質性高い) 結論:現時点では、小学校における介入の効果を検証できず。
Notes	

ID	Coppo 2014
Review name	School policies for preventing smoking among young
	people
Theme (health outcome)	smoking
Intervention	Health Policies in School (regulations on smoking were
	made)
	• Provider:
	• Duration: 1 year
Participants (age)	Children and adolescents who attended primary or high
	school
	(13 – 15 years)

Country	China
Number of school-setting RCTs (participants)	1 Cluster-RCT (n = 1,807)
Follow-up duration	1 year
Results	 メタ分析:実施なし(Included study:有意差なし) 結論:(教員等も含め)校内での喫煙禁止等に関する School tobacco policies を設定することの効果に関し ては、横断研究の結果を含め、エビデンスは提示され ていない。
Notes	• 1 included study is high risk of bias.

ID	Dobbins 2013
Review name	School-based physical activity programs for promoting physical activity and fitness in children and adolescents aged 6 to 18
Theme (health outcome)	physical activity and fitness
Intervention	School rules/policies (increase time spent by students being physically active) Provider: teacher, research staff Duration: 12 weeks - 6 years
Participants (age)	Children and adolescents attending school (6 - 18 years)
Country	US (24), Australia (5), Belgium (3), China (2), and Greece (1), Canada (1), India (1)
Number of school-setting RCTs (participants)	44 RCTs (n = 36,593)
Follow-up duration	介入直後介入から4年後
Results	メタ分析:実施なし(介入内容の多様性により) 結論:運動量やテレビ視聴時間、VO2maxに関する効果を報告する研究はあるが、エビデンスレベル (GRADE) は低く、今後の研究必要。
Notes	

ID	Duperrex 2002
Review name	Safety education of pedestrians for injury prevention
Theme (health outcome)	injury
Intervention	School -based educational program Provider: teacher Duration:
Participants (age)	Pedestrians (5 - 13 years)
Country	US, Australia, UK, Canada
Number of school-setting RCTs (participants)	4 RCTs (n > 824)
Follow-up duration	Immediately after intervention – 6 months
Results	 メタ分析:実施なし 結論: (交差点を渡るときなどの) Behaviour や Knowledge の向上は報告されているものの、(自転車との接触等)事故やけがの防止、長期的な効果に関しては情報が不十分。
Notes	・レビュー本文には School-setting 以外(community)の 研究、大人を対象とした研究も含む(15 studies included)

ID	Ejemot-Nwadiaro 2015
Review name	Hand washing promotion for preventing diarrhoea
Theme (health outcome)	Health (diarrhoea)
Intervention	School/ Classroom-based educational program: Hand washing promotion Provider: teacher, child-care provider Duration: 2 months – 3 years

Participants (age)	Children (Child day-care centres or schools)
	(<3 – 10 years)
Country	LMICs: China, Egypt, Kenya
	HICs: Australia, Denmark, Netherlands, USA, Canada
Number of school-setting	19 DOT: (n = \$4,000)
RCTs (participants)	12 RCTs (n = 54,006)
Follow-up duration	2 months – 1 year
Results	● メタ分析:
	High income countries
	· Episodes of diarrhoea: RR 0.70 [0.58, 0.85], P <
	0.01 , $I^2 = 79\%$ (9 RCTs, $n = 4,664$, high quality)
	Low- or middle- income countries
	· Episodes of diarrhoea: RR 0.66 [0.43, 0.99], P =
	0.04 , $I^2 = 78\%$ (2 RCTs, $n = 45,380$, low quality)
	● 結論:先進諸国の child day-care centres での手洗い
	の促進は diarrhoea episodes を減らす効果が示された
	が、手洗い習慣の長期的な継続を促進する方法に関し
	ては、今後検討が必要。
Notes	・レビュー本文には大人を対象とした研究(10)も含む(22
	studies included)

ID	Ekeland 2004
Review name	Exercise to improve self-esteem in children and young
	people
Theme (health outcome)	self-esteem
Intervention	School/ Classroom-based educational program, Exercise
	program, Multicomponent interventions (Exercise as a
	part of a comprehensive intervention)
	Provider: teacher
	● Duration: 4 – 20 weeks
Participants (age)	Children
	(3 – 19.8 years)

Country	USA (18), Canada, Nigeria, Australia
Number of school-setting RCTs (participants)	23 RCTs (n = 1,821)
Follow-up duration	at the end of the interventions
Results	● メタ分析: Comprehensive intervention vs no treatment · Self-esteem (short-term follow-up): SMD 0.51 [0.15, 0.88], P < 0.01, I² = 21% (4 RCTs, n = 161) ※Exercise only vs no treatment のメタ分析結果は異質性 高 ● 結論:子どもの self-esteem に対するエクササイズの 短期的な効果は見られたが、各研究のサンプルサイズ は小さく(24 − 288 人)、well-designed の研究が必要。
Notes	• "The participants varied widely, including healthy children; children with learning disabilities and/or emotional disturbances; young offenders; children with low self-image and children with deficits in gross motor skills."

ID	Faggiano 2014
Review name	Universal school based prevention for illicit drug use (Review)
Theme (health outcome)	drug use
Intervention	School/ Classroom-based education Provider: Teacher, Project Staff Duration: 1 hour- over 1 year
Participants (age)	Primary and Secondary school students (6 - 17 years)
Country	USA(41), Australia (2), UK(2), China(1)
Number of school-setting RCTs (participants)	51 RCTs (n = 127,146)

Follow-up duration	介入直後-介入から 10 年後
Results	● メタ分析:
	(Social Competence vs Usual Curricula)
	· Marijuana use < 12 months: RR 0.90 [0.81,
	1.01], $P = 0.73$, $I^2 = 0.0\%$ (4 RCTs, $n = 9,456$,
	moderate quality)
	Any drug use < 12 months: RR 0.27 [0.14, 0.51],
	$P < 0.001$, $I^2 = 0.0\%$ (2 RCTs, $n = 2.512$,
	moderate quality)
	(Social Influence vs Usual Curricula)
	· Marijuana use < 12 months: RR 0.88 [0.72,
	1.07], $P = 0.20$, $I^2 = 57\%$ (3 RCTs, $n = 10,716$,
	moderate quality)
	(Combined versus Usual curricula)
	• Marijuana use ≥12 months: RR 0.83 [0.69, 0.99],
	$P = 0.035$, $I^2 = 79\%$ (6 RCTs, $n = 26,910$,
	moderate quality)
	· Hard drug use \geq 12 months: RR 0.86 [0.39, 1.90],
	$P = 0.72$, $I^2 = 70\%$ (2 RCTs, $n = 1,066$, high
	quality)
	● 結論:平均的に、social competence アプローチと
	social influence アプローチを組み合わせたプログラム
	が、効果量は小さいが、一貫して薬物使用の防止に統
	計的に有意な結果を示した。social competence アプロ
	ーチも、特定のアウトカムに関しては有意差が見られ
	た。
Notes	

ID	Farrington 2009
	School-based programs to reduce bullying and victimization
Theme (health outcome)	bullying and victimization

Intervention	School/ Classroom-based educational program, Peer led
	interventions
	Provider: teacher, peer instructors
	• Duration: analysis (240 days or less vs 270 days or
	more)
Participants (age)	students
	(7 - 19 years)
Country	Australia(3), Italy, Canada, England, USA(6),
	Netherlands, Finland, Korea, South Africa, Germany
Number of school-setting	17 RCTs (about n =19,500)
RCTs (participants)	. 1. 1 6 1
Follow-up duration	immediately after the program – two years
Results	メタ分析:
	· (prevent) Bullying: Weighted mean OR 1.10
	[0.97, 1.26], Q = 15.83: P = ns (14 RCTs, n
	=15,777)
	· (prevent) Victimization: Weighted mean OR
	1.17 [1.00, 1.37], $Q = 17.94$: $P = 0.056$ (11 RCTs,
	n = 15,448
	結論:
	・ これまでのところ、ほとんどの研究で anti-
	bullying programs を支持する研究結果が示され
	ているが、効果が検証されたプログラム要素で構
	成される、新たないじめ防止プログラムの開発が
	求められる。
Notes	• Campbell review
	・レビュー本文には RCT 以外の研究も含む(44 studies
	included)

ID	Fellmeth 2013
Review name	Educational and skills-based interventions for
	preventing relationship and dating violence in
	adolescents and young adults

Theme (health outcome)	dating violence
Intervention	 School/ Classroom-based education Provider: teacher, counsellor, researcher, graduate psychology students Duration: a single, 50-minute session - 18 sessions delivered over four months
Participants (age)	Adolescents and young adults (12 - 25 years)
Country	すべて USA
Number of school-setting RCTs (participants)	35 RCTs (2 Quasi-RCT) (n = 15,455)
Follow-up duration	介入直後一介入後1年以上
Results	 ▶ メタ分析: ・ Episodes of relationship violence: RR 0.77 [0.53, 1.13], P = 0.19, I² = 57% (8 RCTs, n = 3,405, moderate quality) ・ Attitudes towards relationship violence (higher score = less accepting of dating violence): SMD 0.08 [-0.06, 0.22], P = 0.28, I² = 48% (22 RCTs, n = 5,256, moderate quality) ・ Behaviour towards relationship violence (higher score = more positive behaviour): SMD -0.07 [-0.31, 0.16], P = 0.54, I² = 0.0% (4 RCTs, n = 887, moderate quality) ・ Knowledge of relationship violence (higher score = better knowledge): SMD 0.44 [0.28, 0.60], P < 0.01, I² = 52% (10 RCTs, n = 6,206, moderate quality) ・ 結論: 男女間の暴力行為の頻度やスキルに関する介入の効果は認められず。知識に関してはわずかだが介入の効果が示された。
Notes	・レビューは school-setting 以外(community)のトライアルも含む(38 studies included)

ID	Foxcroft 2011
Review name	Universal multi-component prevention programs for alcohol misuse in young people
Theme (health outcome)	alcohol misuse
Intervention	Multicomponent interventions: delivered in multiple settings, (e.g. in both school and family settings) Provider: teacher, psychologist, social worker Duration: 2 months - 11 years
Participants (age)	Young people attending school (7 - 18 years)
Country	US (17), Netherlands, Australia, India
Number of school-setting RCTs (participants)	20 RCTs (15 Cluster-RCT) (n =)
Follow-up duration	6 months – 11 years
Results	 メタ分析:実施不可(研究間の異質性高い) 結論:12(/20)トライアルが介入の有効性を報告。 multiple components が single components の介入プログラムよりも有効かは、今後の検討必要。
Notes	

ID	Foxcroft 2011
Review name	Universal school-based prevention programs for alcohol misuse in young people
Theme (health outcome)	alcohol misuse
Intervention	School/Classroom-based education Provider: teacher, psychologist, social worker Duration: a single 50-minute session - 3 years
Participants (age)	Young people attending school (5 - 18 years)

Country	US and Canada(大半), Austria, Belgium, Greece, Italy, Spain, Sweden, Netherlands, Norway, Germany, Australia, India , Swaziland
Number of school-setting RCTs (participants)	53 RCTs (46 Cluster-RCT) (n =)
Follow-up duration	1 month – 12 years
Results	 メタ分析:実施不可(研究間の異質性高い) 結論:酩酊や飲みすぎ防止への効果を報告する研究は見られるが、全体的に、飲酒に関する介入の効果は研究によって結果が異なる。一般化された社会心理学的・発達学的防止プログラムの検討が必要。
Notes	

ID	Hetrick 2016
Review name	Cognitive behavioural therapy (CBT), third-wave CBT and interpersonal therapy (IPT) based interventions for preventing depression in children and adolescents
Theme (health outcome)	depression
Intervention	Therapy Provider: psychologists, teachers, social workers など Duration: several weeks – 3 years
Participants (age)	young people who did not currently meet diagnostic criteria for depression (8 - 24 years)
Country	US (42), Australia, UK, Canada, New Zealand, China, Chile, Germany, Iran, Mexico, Netherlands, Iceland, Mauritius, Nigeria, Norway, South Korea
Number of school-setting RCTs (participants)	67 RCTs (college or university 含む)
Follow-up duration	Post intervention – 3 years
Results	● メタ分析: ※school-settings 以外の結果も含む(大半は school-settings)

· Diagnosis of depression (up to 12 months): RD
(risk depression) -0.03 [-0.05 , -0.01], P = 0.01, I ²
= 47% (32 RCTs, n = 5,965, moderate quality)
Depression symptoms (self-rated) (up to 12
months): SMD -0.21 [-0.27, -0.15], $P < 0.01$, $I^2 =$
57% (70 RCTs, n = 13,829, low quality)
● 結論:全体的にうつ病の予防プログラムの有効性は示
されたが、どの年齢の対象者に、どのプログラムが有
効かを判断するには情報が不十分。適切なコントロー
ル群の設定、医療者による評価や長期的な follow-up、
有害事象に関する検討が、今後の研究に求められる。
・レビュー本文には School-setting 以外:clinical settings
(4), community settings (3), mixed settings (4)の研究も含
む(83 studies included)

ID	Kristjansson 2007
Review name	School feeding for improving the physical and psychosocial health of disadvantaged students
Theme (health outcome)	physical and psychosocial health
Intervention	Supply of specific goods: School feeding Provider: teacher, health worker, NGO Duration: several weeks – 24 months
Participants (age)	Children and adolescents who attended primary or high school $(7-14~{ m years})$
Country	UK, China, Peru, Jamaica, Kenya
Number of school-setting RCTs (participants)	7 RCTs (n = 8,776)
Follow-up duration	-
Results	● メタ分析: (Developing country)

	· Weight gain kg: MD 0.39 [0.11, 0.67], P < 0.01,
	$I^2 = 41\%$ (3 RCTs, n = 1,462)
	● 結論:貧困家庭の子どもを対象とした feeding
	program は効果があるかもしれないが、効果を検証す
	るには、より適切にデザインされた研究が必要。
Notes	・対象者: disadvantaged students

ID	Langford 2014
Review name	The WHO Health Promoting School framework for improving the health and well-being of students and their academic achievement
Theme (health outcome)	health and well-being
Intervention	School rules/policies (WHO Health Promoting Schools (HPS) framework: addresses the whole school environment ※以下の3要素を必ず含む:①input to the curriculum②changes to the school's ethos or environment ③engagement with families or communities) Provider: teacher Duration: 8 weeks – 6 years
Participants (age)	children and young people attending schools or colleges $(5-18~{ m years})$
Country	 high-income countries: USA (27), Canada, Finland, UK, Belgium, The Netherlands, Norway, Switzerland, France, Germany, Spain, and Denmark, Spain, Australia (10), New Zealand), China, Mexico, India, Egypt, Tanzania
Number of school-setting RCTs (participants)	67 RCTs (1,443 schools or districts)
Follow-up duration	immediately post intervention - 24 months and over
Results	メタ分析:トピック別のメタ分析のみ結論:

	・ 介入の効果が報告されていたトピック:body
	mass index (BMI), physical activity, physical
	fitness, fruit and vegetable intake, tobacco use,
	and being bullied
	介入の効果が示されていなかったトピック:
	fat intake, alcohol use, drug use, mental health,
	violence and bullying others(研究の数自体が少
	ない)
	・ 介入の効果が示されていないトピックや、他のア
	ウトカムに関して、well-designed research が必
	要。
Notes	

ID	Lopez 2016
Review name	School-based interventions for improving contraceptive
	use in adolescents
Theme (health outcome)	contraceptive use
Intervention	School/ Classroom-based educational program
	• Provider: teacher, experienced health educator,
	trained facilitators
	• Duration: usual sex education + 1 lesson - 2 school
	years
Participants (age)	middle or high school students
	(10 - 19 years)
Country	US (6), UK (3), Mexico, South Africa
Number of school-setting	11 RCTs (10 Cluster-RCT) (sample sizes from 816 to
RCTs (participants)	10,954)
Follow-up duration	4 months – 54 months
Results	● メタ分析:実施不可(研究間の異質性高い)
	● 結論:多くの研究が STI/HIV や妊娠を予防するため
	に、コンドーム使用に注目し、介入の効果を報告して
	いたが、全体的にエビデンスレベルは「低」。

Notes	
-------	--

ID	Marinho 2016
Review name	Fluoride mouth rinses for preventing dental caries in
	children and adolescents
Theme (health outcome)	dental caries
Intervention	Supply of fluoride mouth rinses (primarily supervised use
	in school setting)
	Provider: teacher
	● Duration: 1.6 years − 3 years
Participants (age)	children and adolescents
	(5 - 14 years)
Country	USA (13), UK, Sweden, Denmark, Canada, New Zealand,
	Brazil, Finland, Netherlands, South Africa, Chile, Puerto
	Rico
Number of school-setting	of DCM (15 010)
RCTs (participants)	37 RCTs (n = 15,813)
Follow-up duration	2-3 years
Results	● メタ分析:
	· caries on the surfaces of permanent teeth (near
	to 3 year): Prevented Fraction 0.27 [0.23, 0.30],
	$P < 0.01$, $I^2 = 42\%$ (35 RCTs, $n = 15,305$,
	moderate quality)
	· caries on the permanent teeth (near to 3 year):
	Prevented Fraction 0.23 [0.18, 0.29], $P < 0.01$, I^2
	= 54% (13 RCTs, n = 5,105, moderate quality)
	· Unacceptability of treatment as measured by
	leaving study early: RR 1.33 [0.62, 2.83], P =
	$0.46, I^2 = 79\% $ (4 RCTs, n = 1,700,very low)
	● 結論:学校におけるフッ化物洗口剤の定期的使用の指
	導は、永久歯のむし歯予防に大きな効果。

Notes	• 11 trials acknowledged assistance from fluoride mouth
	rinse manufacturers.

Marx 2017
Later school start times for supporting the education, health, and well-being of high school students
health and well-being
School rules/policies (later school start times) • Provider: • Duration: 2 weeks
high school or secondary school students (1 included study: middle school students)
Israel
1 Cluster-RCT (n = 37)
(after intervention)
 メタ分析:実施なし(1 included study:睡眠時間や集中力の向上に関して有意な効果が示された) 結論: later school start times の有効性を議論するにはエビデンスが不足している。
・レビュー本文には RCT 以外の研究(10)も含む(11 studies included)

ID	Mason-Jones 2016
	School-based interventions for preventing HIV, sexually transmitted infections, and pregnancy in adolescents
Theme (health outcome)	sexually transmitted infections
Intervention	School/ Classroom-based educational program (6), Incentive-based programmes (2) Provider: teachers, peer educators

(9 - 22 years) Country sub-Saharan Africa (Malawi, South Africa, Tanzania, Zimbabwe, and Kenya) (5), Europe (England and Scotland) (2), Latin America (Chile) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration 2 - 3 years Pollow-up duration 2 - 3 years Pollow-up duration Approximate (educational programs) HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) Ashà: '学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		• Duration: 6 days – 3 years
Sub-Saharan Africa (Malawi, South Africa, Tanzania, Zimbabwe, and Kenya) (5), Europe (England and Scotland) (2), Latin America (Chile) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration Results	Participants (age)	children and adolescents
Zimbabwe, and Kenya) (5), Europe (England and Scotland) (2), Latin America (Chile) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration 2 − 3 years Results • メタ分析: (educational programs) · HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) · Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) · HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) · Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) • 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		(9 - 22 years)
Scotland)(2),Latin America(Chile) Number of school-setting RCTs (participants) 8 Cluster-RCTs (n = 55,157) 9 Cluster-RCTs (n =	Country	sub-Saharan Africa (Malawi, South Africa, Tanzania,
Number of school-setting RCTs (participants) 8 Cluster-RCTs (n = 55,157) 7 J years 8 Cluster-RCTs (n = 55,157) 8 J years 8 Cluster-RCTs (n = 55,157) 9 C		Zimbabwe, and Kenya) (5), Europe (England and
RCTs (participants) 8 Cluster RCTs (n = 55,157) 2 - 3 years • メタ分析: (educational programs) • HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) • Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) • HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) • Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) • 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		Scotland) (2), Latin America (Chile)
● メタ分析: (educational programs) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。	Number of school-setting RCTs (participants)	8 Cluster-RCTs (n = 55,157)
(educational programs) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。	Follow-up duration	2-3 years
・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。	Results	● メタ分析:
years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 14,163, low quality) · Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) · HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) · Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) • 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		(educational programs)
(3 RCTs, n = 14,163, low quality) Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) Ata : 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		· HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3
・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ● 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		years): RR 1.03 [0.80, 1.32], P = 0.83, I ² = 0.0%
years): RR 0.99 [0.85, 1.16], P = 0.93, I² = 0.0% (3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		(3 RCTs, $n = 14,163$, low quality)
(3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality) (incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		· Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3
(incentive-based programmes to promote school attendance) ・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		years): RR 0.99 [0.85, 1.16], $P = 0.93$, $I^2 = 0.0\%$
 attendance) HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。 		(3 RCTs, n = 8,280, moderate1 quality)
・ HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3 years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		(incentive-based programmes to promote school
years): RR 1.23 [0.51, 2.96], P = 0.65, I² = 28% RCTs, n = 3,805, low quality) ・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ・ 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		attendance)
RCTs, n = 3,805, low quality) • Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) • 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		· HIV prevalence (Follow-up: 18 months to 3
・ Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3 years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ● 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		years): RR 1.23 [0.51, 2.96], $P = 0.65$, $I^2 = 28\%$ (2
years): RR 0.76 [0.58, 0.99], P = 0.04, I² = 0% (2 RCTs, n = 4,200, low quality) ● 結論: 学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		RCTs, $n = 3,805$, low quality)
RCTs, n = 4,200, low quality) ● 結論:学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		· Pregnant at end of trial (Follow-up: mean 3
● 結論:学校における教育的指導の、思春期の児童・生徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		years): RR 0.76 [0.58, 0.99], $P = 0.04$, $I^2 = 0\%$ (2)
徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果については、エビデンスが不足している。		RCTs, $n = 4,200$, low quality)
は、エビデンスが不足している。		● 結論:学校における教育的指導の、思春期の児童・生
		徒のリプロダクティブ・ヘルスに対する効果について
Notes		は、エビデンスが不足している。
1000	Notes	

ID Maynard 2017	
-----------------	--

academic achievement, behavior and socio-emotional functioning of primary and secondary students Theme (health outcome) Cognition, behavior and socio-emotional functioning Mindfulness-based interventions Provider: teacher, trained instructor, researcher Duration: 4 – 28 weeks Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test Psychf: ※RCTs 以外の研究結果も含む Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect		
functioning of primary and secondary students Cognition, behavior and socio-emotional functioning Intervention Mindfulness-based interventions Provider: teacher, trained instructor, researcher Duration: 4 – 28 weeks Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration Results Aphr: ※RCTs 以外の研究結果も含む Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =)	Review name	Mindfulness-based interventions for improving cognition,
Theme (health outcome) Intervention Mindfulness-based interventions Provider: teacher, trained instructor, researcher Duration: 4 − 28 weeks Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration Results A phr: ※RCTs 以外の研究結果も含む Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ★論論:		academic achievement, behavior and socio-emotional
Intervention Mindfulness-based interventions Provider: teacher, trained instructor, researcher Duration: 4 − 28 weeks Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test Participants Follow-up duration at post-test Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ### ### ### ### ### ### ### ### ### #		functioning of primary and secondary students
● Provider: teacher, trained instructor, researcher ● Duration: 4 – 28 weeks Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test ● メタ分析:※RCTs 以外の研究結果も含む ・ Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) ・ Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) ・ Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ● 結論:	Theme (health outcome)	cognition, behavior and socio-emotional functioning
Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration Results	Intervention	Mindfulness-based interventions
Participants (age) Pre-school, primary and secondary school students (mean age: 12.6 years) USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test Psy分析:※RCTs以外の研究結果も含む Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges'g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges'g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges'g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) 結論:		Provider: teacher, trained instructor, researcher
(mean age: 12.6 years) Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test ● メタ分析:※RCTs以外の研究結果も含む ・ Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) ・ Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) ・ Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ・ 結論:		● Duration: 4 – 28 weeks
Country USA, India(1), Spain(1), Belgium(1) Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test ● メタ分析:※RCTs以外の研究結果も含む ・ Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) ・ Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) ・ Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ・ 結論:	Participants (age)	Pre-school, primary and secondary school students
Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration at post-test		(mean age: 12.6 years)
### Second Comparison of Comparison of Proceedings of Comparison of Processing Security o	Country	USA, India(1), Spain(1), Belgium(1)
● メタ分析: ※RCTs 以外の研究結果も含む ・ Cognitive outcomes: overall mean effect		25 RCTs (n = 2,862)
 Cognitive outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) 結論: 	Follow-up duration	at post-test
(Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], P = 0.01, Q = 12 (P = 0.21), (10 RCTs, n =) · Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) · Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =)	Results	● メタ分析:※RCTs 以外の研究結果も含む
(P = 0.21), (10 RCTs, n =) · Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) · Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ◆ 結論:		· Cognitive outcomes: overall mean effect
 Behavioral outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) 結論: 		(Hedges' g) 0.25 [0.06, 0.43], $P = 0.01$, $Q = 12.10$
(Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], P = 0.08, I² = 48 (13 RCTs, n =) · Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ◆ 結論:		(P = 0.21), $(10 RCTs, n =)$
(13 RCTs, n =) · Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ◆ 結論:		· Behavioral outcomes: overall mean effect
 Socioemotional outcomes: overall mean effect (Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) 結論: 		(Hedges' g) 0.14 [-0.02, 0.30], $P = 0.08$, $I^2 = 48\%$,
(Hedges' g) 0.22 [0.14, 0.30], P < 0.01, I² = 14 (28 RCTs, n =) ● 結論:		(13 RCTs, n =)
(28 RCTs, n =) ● 結論:		· Socioemotional outcomes: overall mean effect
● 結論:		(Hedges' g) $0.22 [0.14, 0.30]$, $P < 0.01$, $I^2 = 14\%$,
		(28 RCTs, n =)
・ school-based mindfulness interventions は、		● 結論:
		・ school-based mindfulness interventions は、
		cognitive と socioemotional outcomes に関して有
効性が示された。Academic と behavioral		効性が示された。Academicと behavioral
outcomes に関しては有効性が示されなかった。		outcomes に関しては有効性が示されなかった。
Notes • Campbell review	Notes	· Campbell review
・レビュー本文には RCTs 以外の研究も含む(61 studi		・レビュー本文には RCTs 以外の研究も含む(61 studies
included)		included)

ID	Morton 2011
----	-------------

Review name	Youth empowerment programs for improving self- efficacy and self-esteem of adolescents
Theme (health outcome)	self-efficacy and self-esteem
Intervention	School/ Classroom-based educational program: Youth empowerment programs (YEPs) Provider: adults, youth Duration: 4 - 24 months
Participants (age)	adolescents (13 - 21 years)
Country	USA, Jordan
Number of school-setting RCTs (participants)	2 RCTs (about n =167)
Follow-up duration	4 months
Results	 メタ分析: Self-efficacy (4 month follow-up): SMD 0.19 [-0.12, 0.49], P = 0.23, I² = 0% (2 RCTs, n = 166) 結論: YEPs (安全で積極的かつ建設的な活動に従事することで、若者の意思決定やリーダーシップを養うことを目的とする)の若者の self-efficacy and self-esteem に関する有効性を示す研究はなく (quasi-experimental studies も含め)、今後の研究が必要である。
Notes	・Campbell review ・レビュー本文には RCT 以外の研究も含む(3 studies included)

ID	Oringanje 2016
	Interventions for preventing unintended pregnancies among adolescents
Theme (health outcome)	unintended pregnancies

Intervention	School -based educational program, Peer led
111001 (01101011	interventions, Multicomponent interventions:
	Provider: teacher, peer leaders, health educator
	 Duration: several weeks – 24 months
Dantinin anta (a.m.)	
Participants (age)	Children and adolescents who attended primary or high
	school
_	(9 – 24 years)
Country	USA (41), England (2), Scotland (2), Canada (1), Italy (1),
	Mexico (2)
Number of school-setting	53 RCTs (n = 105,368) (※school- setting 以外の研究も含
RCTs (participants)	む: "Most of the studies were conducted in schools")
Follow-up duration	3 months – over 12 months
Results	● メタ分析:※school- setting 以外の結果も含む
	(10-19 歳)
	Multiple interventions (combination of educational and
	contraceptive-promoting interventions)
	· Unintended pregnancy (12 - 36 months follow-
	up): RR 0.66 [0.50, 0.87], $P < 0.01$, $I^2 = 3\%$ (4
	individually RCTs, n = 1,905, Moderate quality)
	Educational interventions
	· initiation of sexual intercourse (12-24 months
	follow-up): RR 0.95 [0.71, 1.27], P = 0.72, I ² =
	09% (2 Cluster-RCTs, n = 672, Low quality)
	· Use of birth control methods (condom use in last
	sex) (5 - 24 months follow-up): RR 1.18 [1.06,
	1.32], $P < 0.01$, $I^2 = 0.0\%$ (2Cluster-RCTs, $n =$
	1,431, Moderate quality)
	Contraceptive- promoting interventions
	· Unintended pregnancy (6 months - 12 months
	follow-up): RR 1.01 [0.81, 1.26], P = 0.96, I ² =
	0.0% (2 individually RCTs, n = 3,440, Moderate
	quality)
	· Use of birth control methods (hormonal
	contraceptives) (6 months - 12 months follow-

	up): RR 2.22 [1.07, 4.62], $P = 0.03$, $I^2 = 86\%$ (2)
	individually RCTs, n = 3,091, High quality)
	· Sexually Transmitted Diseases (hormonal
	contraceptives) (6 months - 12 months follow-
	up): RR 0.92 [0.75, 1.13], P = 0.40, I ² = 0.0% (2
	individually RCTs, n = 3,440, High quality)
	● 結論: combination of educational and contraceptive-
	promoting interventions が望まない妊娠を減らす効果
	が示されたが、研究間の多様性により、どのプログラ
	ムが実際に有効かは判断できない。
Notes	・school-setting 以外の研究(included hospitals or family
	planning health agencies, neighbourhoods/communities
	and clubs)も含まれる(※リクルート場所や介入の実施場
	所が多様で、特定が難しい)(53 studies included)

ID	Orton 2016
Review name	School-based education programmes for the prevention of unintentional injuries in children and young people
Theme (health outcome)	unintentional injuries
Intervention	 School/ Classroom-based educational program Provider: teachers, professionals with an injury prevention role, peer educators Duration: 1 – 50 sessions (over 6 months)
Participants (age)	children and adolescents (4 - 18 years)
Country	US (12), China, Australia, Canada, Netherlands, UK, Israel, Greece, Brazil
Number of school-setting RCTs (participants)	13 RCTs (n = 42,211)
Follow-up duration	immediately post intervention -2 years
Results	● メタ分析: ※RCTs のみでのメタ分析実施なし

	· Self -reported medically or non-medically
	attended unintentional injuries (12 -24 months
	follow-up): RR 0.73 [0.49, 1.08], P = 0.11, I ² =
	63% (2 RCTs and 1 CBA) n = 12,977, low
	quality)
	● 結論: school-based の教育プログラムの事故・けが
	(交通・水の事故、やけどなど) に関する効果は、エ
	ビデンスが不十分である。
Notes	・本文では RCTs 以外の研究も含まれる(27 studies
	included)

ID	Owen 2011
Review name	Non-legislative interventions for the promotion of cycle helmet wearing by children (Review)
Theme (health outcome)	helmet use
Intervention	School/ Classroom-based education, Subsidised helmets, Multicomponent interventions (non-legislative interventions)
Participants (age)	Children and adolescents (5 - 13 years)
Country	USA, Canada, Australia
Number of school-setting RCTs (participants)	3 Cluster-RCTs (about n = 5,400)
Follow-up duration	1 month - two years
Results	 ▶ メタ分析: school-setting の RCTs のみでの実施なし ※non-RCTs を含めた school-setting 研究のメタ分析結果 ・ Observed helmet wearing: OR 1.73 [1.03, 2.91], P = 0.04, I² = 71% (8 studies, n = 2,621) ● 結論: school-based の介入プログラムに関して、 RCTs による効果は報告されていない。
Notes	・本文では School-setting 以外、RCTs 以外のトライアル も含まれる(29 studies included)

No.25

10.29	
ID	Piquero 2010
Review name	Self-control interventions for children under 10 for improving self-control and delinquency and problem behaviors
Theme (health outcome)	self-control and delinquency and problem behaviors
Intervention	School/ Classroom-based educational program: self- control improvement programs (1) skills for emotional understanding and communication; (2) friendship skills; (3) self-control skills; (4) social problem solving skills Provider: teacher Duration: mean 7.09 weeks
Participants (age)	children ages 10 and under (3 – 10 years)
Country	USA (大半)
Number of school-setting RCTs (participants)	27 RCTs (n =)
Follow-up duration	at post-test
Results	 メタ分析: self-control improvement programs self-control (teacher-report): weighted effect size 0.26, z-test 2.63 (P < 0.01) (5 school- setting RCTs) delinquency and problem behaviors (teacher-report): weighted effect size 0.28, z-test 3.69 (P < 0.01) (13 school- setting RCTs) 結論: self-control improvement programs は、10 歳までの子どもの self-control や delinquency、

	された。長期的な効果について今後の研究が必
	要。
Notes	· Campbell review
	・レビュー本文には school-setting 以外の研究も含む(34
	studies included)※どの included studies が school-
	setting かは記載なし(original article の参照必要)。
	・excluded study list には日本での研究もあり("not in
	English のためレビューからは除外)。

No.26	
ID	Pratt 2002
Review name	Interventions for preventing eating disorders in children and adolescents
Theme (health outcome)	eating disorder
Intervention	 School/ Classroom-based education Provider: usual teacher, psychiatrist, psychologist, multidisciplinary team Duration: 1 day- over 12-weeks
Participants (age)	children and adolescents from general population samples (10 - 20 years)
Country	Italy, USA, Australia などの先進国
Number of school-setting RCTs (participants)	9 RCTs (8 Cluster) (n = 2,597)
Follow-up duration	3 months - one year
Results	 ▶ メタ分析: Body Mass Index: MD -0.10 [-0.45, 0.25], P=0.57, I²=0% (4 RCTs, n = 1,235) Eating Attitudes Test: SMD 0.01 [-0.13, 0.15], P=0.85, I²=54% (4 RCTs, n = 792) 結論:介入の有害な影響は報告されていないが、摂食障害に対する介入の効果は認められず。

Notes	・本文では School-setting 以外の RCTs (Community(1),
	Hospital(1))も含まれる(12 studies included)
	・Cluster RCT の ICCs について、要検討

ID	Roberts 2001
Review name	School-based driver education for the prevention of
	traffic crashes
Theme (health outcome)	traffic crashes
Intervention	School -based educational program
	• Provider:
	● Duration: 22 – 72 hours sessions
Participants (age)	Young people who had not yet obtained a drivers licence
	(15 - 19 years)
Country	US, Australia, UK
Number of school-setting	3 RCTs (n = 17,965)
RCTs (participants)	0 11018 (II – 17,000)
Follow-up duration	18 months – 4 years
Results	● メタ分析:実施なし
	● 結論: school-based の運転教習プログラムの、交通
	事故の減少に関する効果は、エビデンスが不十分。
Notes	

ID	Rue 2014
Review name	School-based interventions to reduce dating and sexual violence
Theme (health outcome)	dating and sexual violence
Intervention	School/Classroom-based educational program, Peer led interventions Provider: teacher, community professionals, external (research) staff, peers

	• Duration: 3 days – 60 weeks
Participants (age)	Students in middle or high schools
	(12 - 18 years)
Country	USA
Number of school-setting RCTs (participants)	11 RCTs (about n = 10,259)
Follow-up duration	not described
Results	● メタ分析:
	Immediate Post-test
	· Teen Dating Violence Knowledge: Effect size
	0.36 [0.13, 0.59], (6 RCTs, n = 4,966)
	· Teen Dating Violence Attitudes: Effect size 0.12
	[0.06, 0.18], (7 RCTs, n = 5,035)
	Rape Myth Awareness: Effect size -0.46 [-0.78, -
	0.15], $(2 RCTs, n = 895)$
	※Follow-Up でのアセスメントではいずれも有意差なし
	● 結論:
	・ 介入プログラムの post-test では、10 代の生徒た
	ちの知識や態度の向上に関する有効性が示された
	が、各学校で時間やリソースを使ってプログラム
	を実施することをサポートするためには、より修
	正されたプログラムが必要。
Notes	· Campbell review
	・レビュー本文には RCT 以外の研究も含む(23 studies
	included)

ID	Scher 2006
	Interventions intended to reduce pregnancy-related outcomes among adolescents
Theme (health outcome)	pregnancy-related outcomes
	School/ Classroom-based educational program, Peer led interventions

● Provider: teacher, peer instructors ● Duration: 1 hour − 150 hours Participants (age) exclusively or primarily middle and high school-age youth (11 · 18 years) Country USA, Canada, UK Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration 6 − 48 months Results ● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論: ・ 介入プログラムの4種類((1) one-time	
Participants (age) exclusively or primarily middle and high school-age youth (11 - 18 years) Country	
youth (11 - 18 years) Country USA, Canada, UK Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration 6 - 48 months ● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
Country USA, Canada, UK Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration の メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
Country USA, Canada, UK Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration 6 - 48 months Results ● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
Number of school-setting RCTs (participants) Follow-up duration G - 48 months ● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
RCTs (participants) 20 RCTs (about n = 27,000) Follow-up duration 6 - 48 months ● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
● メタ分析: ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
 ※school-setting 以外の研究も含む(大半は school-settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregna のアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ◆ 結論: 	
settings) ・ Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregnaのアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ・ 結論:	
 Sexual Experience, Pregnancy Risk, Pregna のアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) 結論: 	
のアウトカムいずれも有意差なし(異質性高) ● 結論:	
	ıcy
・ 介入プログラムの 4 種類 ((1) one-time	
· ·	
consultations; (2) sex education programs w	th
an abstinence focus (and no contraceptive fo	us);
(3) sex education programs with a contracep	ion
component; and (4) multi-component youth	
development programs)いずれに関しても-	環
した有効性は確認できず。	
Notes · Campbell review	
・レビュー本文には school-setting 以外の研究も含む	
("Most of the interventions included in this review	rere
school-based") (31 studies included)	

ID	Thomas 2013
Review name	School-based programmes for preventing smoking
Theme (health outcome)	smoking
Intervention	School/ Classroom-based education, Peer led
	interventions, Multicomponent interventions

	Provider: teacher, research staff, peers
	• Duration: 1 hour - 36 classes spread over 3 years
Participants (age)	Children and adolescents in school settings
	(5 - 18 years)
Country	25 か国
Number of school-setting RCTs (participants)	134 RCTs (133 Cluster-RCTs) (n = 428,293)
Follow-up duration	6 months - 12 years
Results	● メタ分析:
	・ onset of smoking (介入から 1 年以上経過): OR
	$0.88 [0.81, 0.96], P < 0.01, I^2 = 17\% (56 RCTs)$
	※1 年未満でのアセスメントでは効果なし
	● 結論: combined social competence and social
	influences interventions の介入が最も効果的。
Notes	

ID	Underhill 2008
Review name	Abstinence-plus programs for HIV infection prevention in high-income countries
Theme (health outcome)	HIV infection
Intervention	School-based educational program, Peer led interventions (Abstinence-plus programs: aim to prevent, stop, or decrease sexual activity + to promote condom use and other safer-sexstrategies) Provider: teacher, peer leaders, health educator, guest speakers Duration: 10.5 hours: median
Participants (age)	People in high-income countries (11.5 – 19.25 years: Mean ages)
Country	US (9), Canada
Number of school-setting RCTs (participants)	10 RCTs (n = 21,471)

Follow-up duration	Median: 12 months
Results	● メタ分析:実施不可(missing data and variation in
	program designs のため)
	● 結論:多くの研究が、abstinence-plus programs は先
	進国の若者の HIV 関連のリスク行動を減らす効果があ
	ると報告しているが、biological measures を用いた評
	価や、有害事象・性行為の回数に関する研究等が今後
	は必要。
Notes	・レビュー本文には School-setting 以外(community,
	clinic)の研究も含む(37 studies included)

ID	Underhill 2007
Review name	Abstinence-only programs for HIV infection prevention in high-income countries
Theme (health outcome)	HIV infection
Intervention	School -based educational program, Peer led interventions (Abstinence-only programs: to prevent, stop, or decrease sexual activity) Provider: teacher, peer leaders, health educator, public health nurses Duration: 1 session – 4 years
Participants (age)	People in high-income countries (12.5 – 19.25 years: Mean ages)
Country	US
Number of school-setting RCTs (participants)	10 RCTs (7 programs) (n = 14,283)
Follow-up duration	6 weeks – 65 months (Median: 17 months)
Results	 メタ分析:実施不可 (missing data and variation in program designs のため) 結論: Abstinence-only programs の有効性を示す研究は見られないが、結果は US に限定されるかもしれ
	·

	ない。abstinence-only と abstinence-plus program を 比較する研究も必要。
Notes	・レビュー本文には School-setting 以外(community (2), family(1))の研究も含む(13 studies included)

ID	Walsh 2015
Review name	School-based education programmes for the prevention of child sexual abuse
Theme (health outcome)	sexual abuse
Intervention	School/ Classroom-based education Provider: teacher, counsellor, school nurse など Duration: 1 回×45 minute session – 8 回×20 minute sessions
Participants (age)	Children or Adolescents attending primary (elementary) or secondary (high) schools (5 - 18 years)
Country	United States (16), Canada (3), China (1), Germany (1), Spain (1), Taiwan (1), and Turkey (1)
Number of school-setting RCTs (participants)	24 (7 RCT, 11 Cluster RCT, 6 Quasi RCTs) (n = 5,802)
Follow-up duration	介入直後-6か月後
Results	 ▶ メタ分析: Protective behaviours (self-protective events measured using a stranger simulation:介入直後): OR 5.71 [1.98, 16.51], P < 0.01, I² = 27% (2 RCTs, n = 102, moderate quality) Questionnaire based knowledge (介入直後): SMD 0.61 [0.45, 0.78], P < 0.01, I² = 84% (18 RCTs, n = 4,657, moderate quality) Vignette-based knowledge (介入直後): SMD 0.45 [0.24, 0.65], P < 0.01, I² = 71% (11 RCTs, n = 1,688, moderate quality)

Notes	要。 Cluster RCT の ICCs について、要検討
	に関しては、より長期的なフォローアップ調査が必
	れる(プログラムの種類に関わらず)。効果の継続性
	● 結論:自己防衛行動や知識に関して介入の効果が見ら
	0.0% (3 RCTs, n = 1,788, moderate quality)
	completion) : OR 3.56 [1.13, 11.24], $P = 0.03$, $I^2 = 0.03$
	abuse made during or after programme
	· Disclosures (of past or current child sexual
	quality)
	$0.29, I^2 = 0.0\%$ (3 RCTs, n = 795, moderate
	questionnaires) : SMD -0.08 [-0.22, 0.07], P =
	· Harm (measured using anxiety or fear

ID	Waters 2011
Review name	Interventions for preventing obesity in children
Theme (health outcome)	obesity
Intervention	School/ Classroom-based education, subsidised purchasing equipment, change the school environment,
	Multicomponent interventions
	Provider: teacher, research staff
	Duration: a minimum duration of 12weeks
Participants (age)	Children and adolescents
	(3 - 18 years)
Country	USA, Canada, UK, France, Germany, Netherlands,
	Belgium, Sweden, Italy, Spain, Australia/New Zealand,
	Brazil, Chile, Mexico, Thailand
Number of school-setting	約 35 RCTs (介入内容が多様で、school-based の定義が
RCTs (participants)	難しい)
Follow-up duration	介入直後—2 年以上
Results	● メタ分析: school-based の RCTs のみでの実施なし

	※RCTs 以外、School-setting 以外のトライアルも含めた
	メタ分析結果
	· Change in BMI/zBMI from baseline to post-
	intervention: SMD -0.15 [-0.21, -0.09], $P < 0.01$,
	$I^2 = 79\%$ (37 studies, $n = 27,946$)
	◆ 結論:年齢グループ別では、特に6-12歳の子どもに対
	して介入プログラムが効果的。介入内容が非常に多様
	であり、どのプログラム内容が最も効果的かについて
	は、今後検討が必要。
Notes	・本文では School-setting 以外(community・home な
	ど)、RCTs 以外のトライアルも含まれる(55 studies
	included)

ID	Wilson 2006				
Review name	The effects of school-based social information process interventions on aggressive behavior, part I: universe programs				
Theme (health outcome)	aggressive behavior				
Intervention	 School/ Classroom-based educational program, Peer led interventions Provider: teacher, peers, researchers, service professional provider Duration: few weeks - 1 school year 				
Participants (age)	school-aged children (4 - 16 years)				
Country	USA, Italy, Canada,				
Number of school-setting RCTs (participants)	32 RCTs (26 Cluster-RCT) (sample size: < 50 - >500)				
Follow-up duration	Immediate post-intervention – 36 weeks				
Results	メタ分析:Social information processing programs:				

 (2) interpretation of cues, (3) selecting or clarifying a goal, (4) generating or accessing possible responses, (5) choosing a response, (6) and behavioral enactment aggressive and disruptive behaviour: overal 					
(4) generating or accessing possible responses,(5) choosing a response,(6) and behavioral enactment					
(5) choosing a response, (6) and behavioral enactment					
(6) and behavioral enactment					
· aggressive and disruptive behaviour: overal					
random effects mean was .21 (effect sizes ra	random effects mean was .21 (effect sizes range:				
-0.58 to 1.48) (p < 0.01) (Q ₇₂ =199, p < 0.01)					
※non-RCTs の結果も含む(Regression Model for Eff	ect				
Size Moderators で Non-random assignment vs. all o	ther				
の結果は有意差なし)					
● 結論: Social information processing programs (s	• 結論: Social information processing programs (social				
problem solving programs)は児童生徒の攻撃的・	暴力				
的行為の減少に効果的。結果の異質性が高いこと	j>				
ら、プログラム内容や対象者の属性に応じた有効・	生の				
違いについて検討が必要。					
Notes • Campbell review					
・レビュー本文には RCT 以外の研究も含む(73 stud	es				
included)					
• " Fifteen percent of the programs were delivered in	L				
special					
education settings"					

ID	Zief 2006			
Review name	Impacts of after-school programs on student outcomes			
Theme (health outcome)	student outcomes			
Intervention	After-school programs (homework assistance, club activity, dance program, computer games, etc.) Provider: teacher, external (research) staff Duration: 5 – 9 months			
Participants (age)	youth enrolled in regular public or private K–12 schools (10 - 15 years)			
Country	USA			

Number of school-setting RCTs (participants)	4 RCT (n = 1,302)				
Follow-up duration	Immediate end of intervention				
Results	● メタ分析: health outcome に関しては実施なし				
	● 結論:				
	・ social and emotional outcomes に関しては、すべ				
	ての included studies で有効な結果が示されてい				
	なかった。(homework の実施、体験活動への参				
	加等には効果あり。)				
Notes	• Campbell review				
	・レビュー本文には school-setting 以外(community				
	centre(1)) の研究も含む(5 studies included)				
	• "The search was limited to interventions implemented				
	in North America."				

まとめと今後の課題

今年度の研究のまとめ

本研究において、健診制度や保健指導といった、小児期の健康課題に対する予防的介入方法やその評価のあり方を検討するために、今年度は、子どもの年齢別の身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)な健康課題の把握、及び、各健康課題に応じた保健指導や予防的介入方法に関する科学的根拠の整理を中心に作業を進めた。

GBD 研究及び母子保健・医療情報データベースのデータソースを用いて、子どもの健康課題に関する有病率を示す調査データの収集を行うとともに、人口動態調査や患者調査といった政府統計データ、小児慢性特定疾患登録、レセプトデータを用いて、主な疾患の有病率に関する集計を行った。今後はとくに、"psychosocial"な子どもの健康課題に関して、より多くのデータ収集や情報の整理が必要である。また、GBD 研究の分析ツールを用いて、日本の小児期の疾病負担の現状把握を行った。GBD 研究では主に、mortality と disability を考慮した DALY という指標を用いて世界各国の疾病負担を推計しており、他の先進国同様、日本においても、思春期のメンタルヘルスに関する問題が、総 DALY に占める割合が大きいことが示されていた。今後はより正確なデータを用いて日本における小児の疾病負担を評価できるよう、GBD 研究との連携を進めることが望まれる。

また、既存データを用いた推計モデルによる試算では、小児肥満の減少により、成人以後の2型糖尿病のリスクや疾病負担を減少させる可能性が示唆された。将来の長期的な効果を予測する推計モデルを用いた分析は、情報量が限られている既存のデータソースを用いることから、不確実性などの限界はあるものの、小児期における介入がもたらすインパクトを評価・提示するうえで、今後も有効な手段となり得ると考えられる。さらに、国外で行われている子どもを対象とした予防的介入プログラムの方法や効果を把握するため、Cochrane Database of Systematic Reviews 及び Campbell Library の二つのデータベースを用いて、学校で実施されている小児期の健康課題に関する介入研究のオーバービュー・レビューを行った。推計モデルに用いるより正確なデータや、効果的な予防的介入方法を把握するために、子どもの健康課題に関するシステマティック・レビューや介入研究の整理は、今後もアップデートが必要である。

来年度以降の課題

本研究事業で得られた情報を基盤にして、今後は、子どもの各年齢に応じた健診制度や保健指導といった予防的介入の内容を、具体的に検討していくことが求められる。その際には、福祉や教育を含めた主要関係者との連携を図り、多職種が連携して、Biopsychosocial な視点から、子どもの健全な成長・発達を切れ目なくかつ包括的に支援する、小児保健医療提供体制の構築に向けて、検討・提言を行うことが目指される。

事業担当者からの報告

一子どもの身体的・精神的・社会的(biopsychosocial) な健康課題に関する調査研究・取り組みの紹介 一

報告I

学校母集団における「抑うつ気分」、「希死念慮」を有する児童生徒の頻度と QOL、出来事体験の比較検討

事業担当者:永光 信一郎 [久留米大学小児科]

報告要旨

【目的】子どもの身体的・精神的・社会的な健康課題の中で精神的な健康課題の疾病負担がどの程度を占めているか把握することは、成人期に引き続く慢性疾患を予防するうえで重要である。しかし、精神的な健康課題・疾病のすべての患者が医療機関に繋がるとも限らず、その実数や実態を正確に把握すること難しい。学校集団の中で精神的健康課題に関する症状を子ども達がどの程度有しているか、またその生徒たちのQOLや出来事経験の比較を行い、今後の精神的健康課題の克服や支援に役立てることを目的として、過去の調査研究データを二次利用して、解析を行った。

【方法】平成 28 年度子ども子育て支援推進調査支援事業(対象 22,419 名;中学 1 年 ~高校 3 年)と、小児心身症スケール QTA30 作成時の研究事業(対象 5,138 名;小学 4 年~高校 1 年)のデータを活用した。不健康感を抱く児童生徒の割合を学年毎に算出し、いじめや成績との関連を調査した。"気分が落ち込む"、"生きていてもしかたがない"の 2 項目において、両項目を認めるもの、両項目とも認めないもの、それ以外にわけて、自尊感情を含め QOL や出来事(いじめ等)の割合の比較を行った。

【結果】各学年に2.1~2.4%の頻度で健康だとまったく感じていない生徒が存在していた。いじめの悩みがあるとその率は9.8%と高くなるが、成績の悩みの有無は健康感に影響は与えていなかった。"気分が落ち込む"、"生きていてもしかたがない"の2項目とも認める場合は、就寝時刻も遅くなり、自尊感情をはじめとするすべてのQOLが低下していた。いじめ体験や友人とのトラブル、学校での恥ずかしい思いなども高率に認めた。

【考察】我が国では子どもの心の問題に対する診療体制や、受診への accessibility が十分整っていないことから、精神症状や精神疾患を有するものの医療機関受診まで至らず Global Burden of Disease Study に十分反映されていない可能性もある。精神と行動の 障害は日本の $5\sim14$ 歳人口における DALY の 2 位に位置付けられているが今後、その 割合が増えて来る可能性がある。いじめ等の社会的因子への十分な対応を整え、精神的 健康課題に取り組んでいくことが必要である。

I 背景・目的

我が国の小児医療提供体制は大きく変容しつつある。小児救急医療体制の整備、急性疾患治療の進歩、ワクチンの発展と普及により急性疾患や小児感染症疾患は激減した一方、在宅医療、慢性疾患のケアや、発達障害などの行動・認知の問題や、メンタルヘルスの問題が増え、注目を浴びるようになっていた。子どもを身体的・精神的・社会的いわゆるbiopsychosocial な視点で支えていく事が必要である。Psychosocial な健康課題を抱える児童生徒の実数や医療コストを正確に算出することにはいくつかの障壁がある。子どもにおける不定愁訴(繰り返す腹痛、頭痛等)は、一般の健康な児童生徒にも認めることが多く、身体疾患や精神疾患との線引きができない場合も少なくない。Silber1)は学校での大規模横断研究で5%の子どもに腹痛を20%の子に頭痛を認め、日常生活を送りながらも身体精神症状を伴うことあり、医療的ケアが必要な程度であるか、精神疾患のレベルであるのか判断することが難しい場合もある。しかし、成人期の精神疾患の75%は思春期に発症していると言われ、さらには成人のDALYで最も比率が高いのは精神疾患である。小児期の疾病負担を算出し、今後、小児医療のどの分野に多くの医療資源を投入していくか検討することは重要である。今回、分担研究者が所有するデータを二次利用して、精神的健康課題の因子となりうる症状をどのくらいの子どもが有しているか、背景因子は何であるかを検討した。

Ⅱ 方法・実施内容

1. データソース

二次利用したデータソースは、1) 平成 28 年度子ども子育て支援推進調査支援事業で調査した 22,417名のデータ 20 と、2) 平成 24年に小児心身症スケール開発のため調査した 5,138名のデータ 30 を利用した。

2. 対象者数

各々の調査対象学年と生徒数は、子ども子育て事業が中学 1 年 (4,352 名)、中学 2 年 (4,474 名)、中学 3 年 (4,386 名)、高校 1 年 (3,675 名)、高校 2 年 (3,107 名)、高校 3 年 (2,390 名)で、小児心身症スケールが、小学 4 年生 (648 名)、小学 5 年生 (757 名)、小学 6 年生 (693 名)、中学 1 年生 (1,022 名)、中学 2 年生 (867 名)、中学 3 年 生 (921 名)、高校 1 年生 (230 名)。

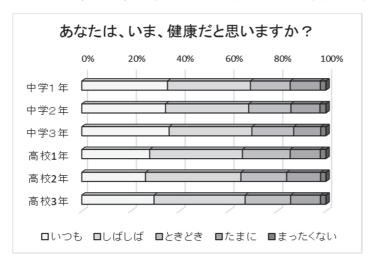
3. 設問項目

① 子ども子育て支援推進調査は思春期の保健課題に関する設問 28 項目で構成されている。"あなたは、いま、健康だとおもいますか?"の設問に対する回答(いつもしばしば ときどき たまに まったくない)の率を算出した (結果 1)。"いじめの悩みの有無"と"成績の悩みの有無"をクロス集計の項目として使用した (結果 2)。

- ② 小児心身症スケール開発のため調査質問票(QTA30)は30項目の心身の症状、学校や友人、家族機能を問う設問からなっている。"気分が落ち込みますか?""生きていてしかたがないと思いますか?"の設問を選択して、各々"いいえ"、"ときどき"、"はい"の回答の率を算出した(結果3)。さらに両設問が"いいえ"の群、両設問が"はい"の群、それ以外の群の3群間での下記項目の比較を行った。
 - a. 就寝時間(就寝時刻は午後 10 時前、午後 $10\sim11$ 時、午後 11 時 ~0 時、午前 0 時 ~1 時、午前 1 時 ~2 時、午前 2 時以降) (結果 4)
 - b. 出来事の体験率 (いじめ体験、いじめられ体験、先生・友人・クラブでのトラブル体験、恥ずかしい思いの体験) (結果 5)
 - c. QOL (KidKINDL) (身体的健康、情緒的健康、自尊感情、家族との関係、友人との関係、学校生活、トータルスコア) (結果 6)

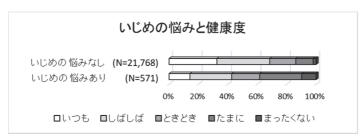
Ⅲ 結果

1. "あなたは、いま、健康だと思いますか?"に対する回答

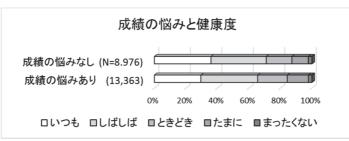


全学年において 2.1%~2.4%の生 徒が健康で"まったくない"と回 答。高校生において"いつも"と 回答する率は中学生に比べ低い。

2. いじめの悩み、または成績の悩みの有無での健康感の比較

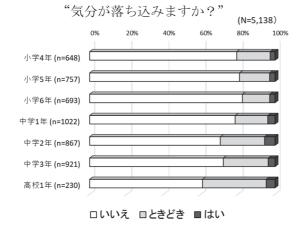


いじめの悩みを持つ生徒が 571(1.8%)存在し健康で"まった くない"と回答した生徒は9.8% であった。



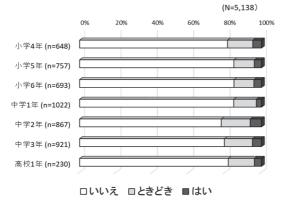
成績の悩みを持つ生徒は13,363 人(59.6%)いたが、成績の悩み のない生徒と健康度は変わらな かった。

3. "気分が落ち込みますか?" "生きていてしかたがないと思いますか?" に対する回答



学年が上がるにつれて気分のおちこみをとき どき訴える率が高くなっていた。"はい"と答 えた率は中学 2年でもっとも高かった(5.7%) 小学 6年(2.9%)、中学 1年(3.9%)、 中学 3年(3.7%)、高校 1年(4.8%)。

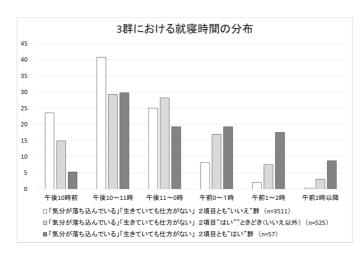
"生きていてしかたがないと思いますか?"



"はい"と答えた率は中学 2 年でもっとも高 かった (6.2%)

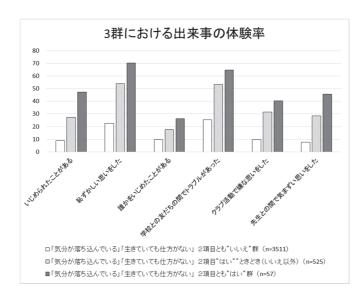
小学 6 年 (4.2%)、中学 1 年 (2.8%)、中学 3 年 (5.0%)、高校 1 年 (3.9%)。

4. 3 群間における就寝時間の違い



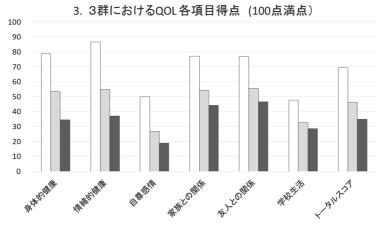
"気分が落ち込みますか?""生きていてしかたがないと思いますか?"両設問で"はい"と答えた群での就寝時間が遅くなる傾向を認めた。

5. 3 群間における出来事体験率の違い



"気分が落ち込みますか?" "生きていてしかたがないと思いますか?" 両設問で"はい"と答えた群での各出来事の体験率が高くなっていた。

6. 3 群間における QOL の違い



"気分が落ち込みますか?" "生きていてしかたがないと 思いますか?"両設問で"はい" と答えた群でのQOLが低くな っていた。

- □「気分が落ち込んでいる」「生きていても仕方がない」2項目とも"いいえ"群 (n=3511)
- □「気分が落ち込んでいる」「生きていても仕方がない」 2項目"はい""ときどき(いいえ以外) (n=525)
- ■「気分が落ち込んでいる」「生きていても仕方がない」2項目とも"はい"群 (n=57)

Ⅳ 結論・今後の課題

両調査事業の二次利用の結果から、およそ不健康と常日頃感じている生徒は $2.0\sim2.4\%$ 、気分が落ち込むと感じる児童生徒は $2.6\sim5.7\%$ 、生きていてもしかたがないと感じる児童生徒は $2.8\sim6,2\%$ であった。いじめの悩みなどのリスク因子が加わると不健康感は、9.8%まで上昇していた。環境要因や社会的要因の作用よって精神疾患等に関連した前駆症状などの

率は大きく変動するものと思われる。これら 5%前後の児童生徒に精神的健康課題を発症する vulnerability がある可能性も推測される。さらに落ち込みや生きていてもしかたがないなどの negative な感情が増えれば増えるほど、QOL とくに自尊感情は低下し、精神疾患にしばしば付随する睡眠の問題(就寝時間の遅延)も出現していた。背景にいじめや、恥ずかしい思い、友人、先生とのトラブルを抱えていることも negative な感情をもつリスク要因になると思われた。児童思春期の精神疾患の有病率の報告は、知的障害 1%~3%(Leonard and When 2002)、注意欠如多動性障害 5.3%(Polanczyk et al. 2007)、反抗挑戦性障害 3.3%(Canino et al. 2010)、素行障害 5%(Costello et al. 2005)、Substance Use 9.5%(SAMHSA 2013)、Depression $0.6\%\sim1.7\%$ 、(Birmaher et al. 1996)、不安障害 $3.1\%\sim18\%$ (Essau and Gabbidon 2013)、強迫性障害 0.25%,(Heyman et al. 2001)、統合失調症 0.04% (Driver at al. 2013)、摂食障害(やせ/過食) 0.3/0.9% (Swanson et al. 2011)、チック障害 $1.6\%\sim3.0\%$ (Knight at al. 2012)、排泄障害 5-10% (Soderstrom et al. 2004)睡眠障害 5-10%であった。今後、母集団でのスクリーニング検査における negative な感情と、上記種々の精神疾患との間に連結があるのか、さらには成人期の DALY の 1 位となる精神疾患への連結にも関係があるのか検討は、医療資源の投入を考慮するうえで重要と思われる。

文献

- 1. Silber TJ. Somatization disorders: diagnosis, treatment, and prognosis. Pediatr Rev. 2011;32:56-63.
- 2. 永光信一郎, 秋山千枝子, 阿部啓次郎, 他. 思春期及び成人期, 更年期以降の母性保健 に関する保健指導のあり方についての調査・研究(妊娠期・分娩期・産褥期・授乳期以 降を除く). 厚生労働省児童福祉問題調査研究事業 小児科学会会員および保護者への アンケート調査. 研究代表者 五十嵐 隆. 平成 26 年度厚生労働省児童福祉問題調査 研究事業報告書.
- 3. 石井隆大, 永光信一郎, 櫻井 利恵子, 他.小児心身症評価スケール(Questionnaire for triage and assessment with 30 items) 日本小児科学会雑誌 2017;121:1000-1008.

報告Ⅱ

東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査における児の出生時の カルテ情報の転記からわかる有病率についての中間解析

事業担当者:目時 弘仁「東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室]

報告要旨

宮城県を中心に実施されている三世代コホート調査では、三世代の遺伝継承性に基づく遺伝要因・環境要因を考慮した調査により個別化予防・医療の実現に向けた基盤作りに貢献することなどを目的に調査を実施している。今回は、三世代コホート調査での児の出生時のカルテ情報の転記状況について、有病率の中間解析を試みた。先天性疾患のいくつかについては、先行報告に近い結果が得られた。 先天性心疾患や二分脊椎・潜在性二分脊椎など、リサーチコーディネータがカルテからの転記に迷う項目については、その他欄を補うことで、先行報告に結果が近づいた。代表性の高いコホートのデータを用いることで、単なる有病率のみならず、ゲノムを含め、原因検索や要因分析を行いうる可能性が高まった。一方で、一部、転記ミスと考えられる値があり、今後カルテに戻り確認作業を並行して行う必要が考えられた。

I 背景・目的

三世代コホート調査は、今後増加が懸念される疾患、社会的要請の強い疾患を重点疾患として健康調査を実施して、住民への支援を行うこと、三世代の遺伝継承性に基づく遺伝要因・環境要因を考慮した調査を行い、個別化予防・医療の実現に向けた基盤作りに貢献すること、収集後の試料・情報は、バイオバンクとして研究機関へ提供し、個別化予防・医療を実現するための研究基盤を構築することを目的に実施されている調査である。

Ⅱ 方法・実施内容

三世代コホート調査の対象地域は、宮城県全域・岩手県の調査指定地域で、対象者は 20,000 人の妊婦・胎児および児(子ども)の父親・祖父母・その他の家族の家族、計 70,000 人としている。登録場所は産科施設または地域支援センターで、妊娠が判明し診療所・病院を受診した宮城県・岩手県在住の妊婦とその胎児をリクルートしている。登録期間は 2013 年 7 月から 2017 年 3 月である。

妊娠判明後、母子手帳が発行される前に事前説明を同意の取得が行われ、妊娠 12-14 週をめどに母体血採血・尿検査ならびに妊婦に対する質問票調査が行われる。妊娠 23-25 週をめどに2 回目の母体血採血・尿検査の施行と質問票調査が行われる。計 14 回の妊婦健診に合わせ、血圧測定、尿蛋白測定などのデータをカルテから転記している。

分娩時には臍帯血の採取を行うとともに、分娩記録からカルテ転記を行い、産後1か月健診時は 母体血ならびに尿検査を行い、併せて質問票調査と1か月健診のカルテ記録から転記を行ってい る。

追跡調査では、調査票の郵送などを活用し、また、母子健康手帳の記載内容を転記して、子どもの成長・発達について把握している。乳幼児健診データについても市町村との連携で転記・収集している。さらに、子ども及び同胞は4~5歳時、10歳時、16歳時に詳細二次調査を行い、父母、祖父母についてもその際を目安にベースライン調査と同様の採血検査・尿検査・生理学的検査を実施している。

皿 結果

2017年3月31日現在、妊婦22,493人が参加し、胎児としての参加は23,714人であった。流死産や同意撤回、里帰りなどで出生の確認が取れていない児を除く出生が確認された児は22,699人となっている。児の同胞の参加は9,462人、児の父親の参加は8,823人、児の祖父母の参加は父方祖父、父方祖母、母方祖父、母方祖母それぞれ、794人、1,337人、1,657人、4,270人であった。曾祖父母の参加は83人で、その他の拡大家族は1,467人であった。

三世代コホート調査参加者成人の分布を図1に示す。三世代コホート調査の参加者は広く宮城県の全域にわたっており、また、宮城県内の人口分布に相当し、各市域で多く参加していた。

平成28年の宮城県の出生数は17,570人で、同年の妊婦の参加人数は8,278人であったことから、平成28年は宮城県の妊婦の47.1%程度が参加したと見込まれている。また、出生体重は宮城県の衛生統計年報(人口動態統計)の結果と同等であり、コホート研究としては偏りが少なく、代表性の高い結果であると考えられた。

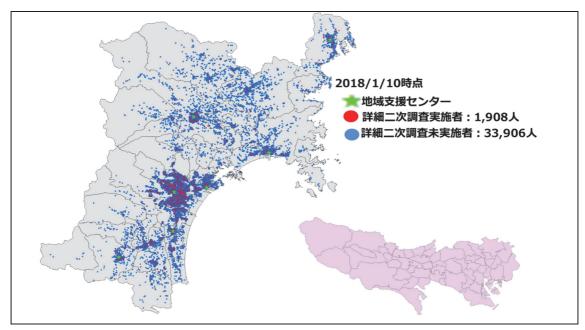


図1:三世代コホート調査参加者成人の分布

出生時のカルテ情報からの転記結果について表 1 に示す。連続量のカルテ転記では、体重・身長・頭囲・胸囲の最小値・最大値について、数例に桁の誤入力と思われる入力が認められ、現在、カルテに戻り確認作業準備中である。

	N	Mean±SD	Median(IQR)	最小値	最大値					
性別	21629	男児 51.779	%(n=11,198),女児 48.	.18% (n=10,4	21),					
	21029		不明 0.05%(n=10)							
新生児仮死	17103	なし!	97.43%(n=16,664), あり	2.57%(439)						
蘇生術施行	17325		なし 91.24%, あり 8.7	76%						
入院	21630	なし 86.59%,	NICU 6.55%, GCU 1.19	9%, 小児科	5.67%					
臍帯巻絡	17513		なし 66.70%, あり 33.	30%						
胎盤梗塞	13334		なし 89.03%, あり 10.	97%						
胎盤石灰化	13488		なし 84.92%, あり 15.	08%						
胎盤凝血付着	6396		なし 96.09%, あり 3.9	91%						
新生児黄疸治療	16362		なし 87.07%, あり 12.	93%						
出生時異常	21633	診察記載なし」	13.58% , 異常なし 66.1	0%, 異常あり	20.33%					
分娩時週数	21627	38.64 ± 1.83								
出生時体重	21624	3001.99 ± 459.29	3024(2762-3286)	24	5560					
出生体重<2500g	21624		10.31%							
出生体重<1500g	21624		1.059%							
出生時身長	21553	49.29 ± 7.73	49.5(48.0-51.0)	4	495					
出生時頭囲	21553	33.36 ± 3.81	33.5(32.5-34.2)	4	352					
出生時胸囲	21501	31.80 ± 4.83	32.0(31.0-33.0)	2.6	358					
Ap 1 分值	20174	8.20 ± 0.93	8(8-9)	0	10					
Ap 5 分值	19835	9.02 ± 0.74	9(9-9)	0	10					
臍帯血 pH	16877	7.31 ± 0.08	7.31(7.27-7.36)	6.12	9.33					
臍帯血 pO2	15720	22.7 ± 9.18	21.0(16.7-27.0)	5.0	98.0					
臍帯血 pCO2	11313	44.91 ± 10.85	45(38.2-51.4)	5.0	99.0					
臍帯血 HCO3	11428	21.95 ± 6.85	22.4(19.6-24.5)	-24.1	266					
臍帯血 BE	11821	-3.06 ± 3.00	-2.9(-51)	-10	19.3					

表1:出生時のカルテ情報からの転記結果

(すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

在胎週数や出生体重の分布については図2に示す通り、ほぼ先行報告通りであり、表1で示された少数例の誤入力について今後検討を進めていく必要があるが、おおむね妥当な結果であり、全体を歪めるものではないことが分かる。

次に、出生時のカルテからの転記について、先天性疾患についてまとめたのが表2になる。先天性心疾患など先行報告などで紹介されている数値に比較して著しく低い頻度しか報告できていない項目もある。一方で、図3に示すように、その他に病名などが手書き入力されているもののうち、明らかに先天性心疾患である病名を細分類すると疾患頻度は 0.7%に上昇し、先行文献の頻度に近づいた。二分脊椎に関しても、その他の背部異常に自由記載された「仙骨部のくぼみ」などの記載をまとめると 0.06%になり、先行文献の頻度を超えることから、二分脊椎疑い例も含めて拾い上げになっていること考えられた。

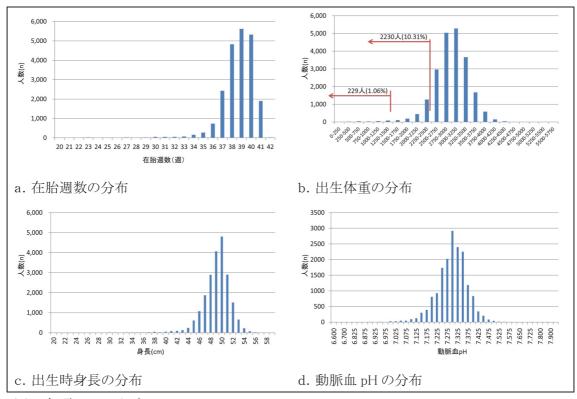


図2:各項目のヒストグラム

(すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

	頻度	先行報告
出生時異常 (n=21633)	診察記載なし 13.58%, 異常なし 66.10%, 異常あり 20.33%	
口蓋裂	0.09% (n=19)	1/500
口唇裂	0.08% (n=18)	
口唇口蓋裂	0.06% (n=12)	
多指症	0.09% (n=19)	1-2/1000
先天性心疾患	0.24% (n=53)	1/100
不整脈	0.08% (n=18)	
その他の胸部異常	1.69% (n=366)	
鼠径ヘルニア	0.07% (n=16)	1-5/100
停留精巣・非触知精巣	0.57% (n=64) (男児で計算)	3/100
多趾症	0.37% (n=8)	1-2/2000
血管腫	0.12% (n=25)	1.7%
二分脊椎	0.03% (n=6)	6/10000
その他の背部異常	0.11%(n=24)	
Down 症候群,	0.09% (n=19)	1/1000,
trisomy 18,		1/7200,
trisomy 13		1/11100

表2:出生時のカルテからの先天性疾患についての転記情報 (すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

		先行文献
先天性心疾患	0.24% (n=53)	
その他に分類され、 先天性心疾患だったもの	0.46% (n=100)	
小計	0.70% (n=153)	1/100
その他に分類され、心雑音の記載	0.33% (n=72)	

		先行文献
二分脊椎	0.03% (n=6)	
その他の背部異常	0.11%(n=24)	
小計	0.14% (n=30)	6/10000
その他の背部異常のうち 仙骨部などのくぼみの指摘	0.06% (n=12)	

図3:データの確認で制度が改善した例

(すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

	N	Mean±SD	Median(IQR)	最小值	最大値
体重	21952	4109.11 ± 597.13	4120(3756-4490)	37	7380
身長	21665	53.43 ± 10.84	53.2(52.0-54.8)	5.2	565
頭囲	21043	36.69 ± 6.48	36.5(35.8-37.0)	3.5	387
胸囲	17900	35.89 ± 4.99	36.0(34.5-37.0)	3.0	356
聴覚検査	20096	異常なし:90.51%	n=18189), 要再検 1.0	08%(n=217),	未記載 8.41%(n=1690)
児の栄養	21473	完全母郛	L:55.78%(n=11978), }	昆合栄養:40).6%(n=8717),
プレジオ食	41473		完全ミルク:3.6	6%(n=778)	

表3:一か月健診時のカルテ転記データ

(すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

	頻度	スクリーニング検査陽性率 の先行報告	疾患頻度の 先行報告
フェニルケトン尿症	0.025%(n=5)	0.045%	1:6 万
メープルシロップ尿症	0.0049%(n=1)	0.032%	1:120 万
ガラクトース血症	0.66%(n=134)	0.04%	1:90 万
クレチン症	0.71%(n=144)	0.67%	1/3000-5000
先天性副腎過形成症	0.82%(n=166)	0.81%	1/18,000-19,000
その他	0.79%(n=161)	_	-
タンデムマスの合計	0.82%(n=167)	0.71%	0.07%

表4: 先天性マススクリーニング検査結果の転記状況と先行報告との比較

(すべてのデータはクリーニング途中の tentative なデータ)

表3は一か月健診時のカルテ転記データを示している。一ヶ月健診時のカルテ転記では、平均体重が4109.11gであった。出産時のデータ同様に体重の最小値、ならびに身長・頭囲・胸囲の最小値・最大値について、桁の誤入力と思われる入力が認められており、現在、カルテに戻り確認作業を行う準備中である。

先天性マススクリーニング検査結果を転記した状況については表 4 に示している。ガラクトース血症以外の項目については先行報告におけるスクリーニング検査の陽性率に近い結果が出ている。なお、ガラクトース血症については、先行結果と大きく異なっているので、正しい値が入力されているか、変数名に間違いがないか再確認は必要であろうと考えられた。

Ⅳ 結論・今後の課題

宮城県全域にわたって声がけを行ったコホート調査で、出生時ならびに一カ月健診時のカルテ転記データを確認した。先天性疾患のいくつかについては、先行報告に近い結果が得られた。 先天性心疾患や二分脊椎・潜在性二分脊椎など、リサーチコーディネータがカルテからの転記に迷う項目については、その他欄を補うことで、先行報告に近い結果が得られた。コホートのデータを用いることで、単なる有病率のみならず、ゲノムを含め、原因検索や要因分析を行いうる可能性が高まった。一方で、一部、転記ミスと考えられる値があり、今後カルテに戻り確認作業を並行して行う必要が考えられた。

報告Ⅲ

妊娠・育児期の母体環境と生活習慣が児の予後・次世代に与える影響に関する研究

事業担当者:小橋 元 [獨協医科大学医学部公衆衛生学講座]

報告要旨

女性の母性保護は、単に妊娠合併症や産後母児の疾病予防だけがゴールではない。女性が母親となり、次世代を担う子育てが出来ること、すなわち「子供が心身共に健全に育つ」ことまでを視野に検討する必要がある。しかしながら、その根拠となる有効なエビデンスにはまだ乏しい現状にある。そこで本研究においては、以下の複数の研究を組み合わせることで、子どもの健全な発育を阻害する「母親(親)と子どもの危険要因」を明らかにする。これらの危険要因が明らかになれば、①子供の将来の健康のために妊娠期・育児期に母親(親)が配慮すべき環境・生活習慣が具体的に明らかになる、②妊娠期・育児期における「母子関係についてのハイリスク者」を抽出でき、早期の介入が可能となる。

I 背景・目的

平成 27 年国立社会保障・人口問題研究所の調査では、結婚前後の就業継続率は 73%、うち第1子出産後の就業継続者は 38.3%と近年上昇傾向で、一方、不妊を心配する夫婦は 35%、不妊検査や治療を受ける夫婦も 6 組に1 組と上昇している 1¹。母性とは、妊娠期に関わる生物学的特質という狭義の概念のみならず、どの年代にも存在する次世代を育てる社会的役割までを含む広義の概念で考えられている。また母子保健法第 2 条では、母性はすべての児童が健やかに生まれかつ育てられる基盤であるとされる。従って女性の母性保護は、単に妊娠合併症や産後母児の疾病予防だけがゴールではない。女性が母親となり、次世代を担う子育てが出来ること、すなわち「子供が心身共に健全に育つ」ことまでを視野に検討する必要がある。

近年、幼児期の肥満が将来の健康に関連するとの報告がされており²⁾、小児肥満の予防への取り組みが始まっている。小児肥満の予防には、母親と子どもの栄養や身体活動や歯の健康などの広範な取り組みが求められるが、まだまだ根拠となる有効なエビデンスに乏しい現状である。

また、育児女性における職場環境に対するストレス認知が児童への身体的虐待につながるとの報告 $^{3)}$ 、妊娠期から 1 歳 6 か月までの母親の精神的健康の変化が児童虐待リスクに関連するとの報告 $^{4)}$ など、母子関係の悪化に関するリスク要因は、妊娠期に加えて育児期にも存在することが示唆される $^{5)}$ 。

しかし、現状では、妊娠、育児女性のストレス、ソーシャルサポートや、子どもの健全な成長の評価が難しいことなどから、妊娠期から育児期の母親と、乳幼児期から学童期までを 縦断的に繋いで評価した研究が少なく、今後の大きな課題となっている。

そこで本研究においては、以下の複数の研究を組み合わせることで、子どもの健全な発育を阻害する「母親(親)と子どもの危険要因」を明らかにする。これらの危険要因が明らかになれば、①子供の将来の健康のために妊娠期・育児期に母親(親)が配慮すべき環境・生活習慣が具体的に明らかになる、②妊娠期・育児期における「母子関係についてのハイリスク者」を抽出でき、早期の介入が可能となる。

Ⅱ 方法・実施内容

以下の4つの研究を計画している。

(1) 自治体革新的コホート研究 (MICS)

獨協医科大学は栃木県壬生町と「壬生町健康寿命延伸事業に関する合意」を取り交わし、公衆衛生学講座が従来「壬生町における食塩摂取量推定研究」「壬生町における介護予防の重点課題に関する研究」を実施してきた。また公衆衛生学講座、同時に茨城県健康プラザの研究事業として、平成元年生まれの対象者を30年近くフォローアップする茨城県小児研究(IBACHIL)にも関与してきた。これらの成果を踏まえて、壬生町においては、2018年度から「妊娠・育児期の母体環境・生活習慣と児の予後および次世代への影響に関する研究」「女性の健康と妊娠・育児期の生活習慣・疾病との関連についての研究」を開始する予定である。

一方、獨協医科大学小児科学講座は、従来栃木県那須塩原市および太田原市において、乳 幼児健診から学校健診までを繋ぐ縦断的研究を公衆衛生学講座の協力のもとに展開してお り、主に児の肥満と疾病の関連を中心とした多数の成果が得られている。

現在、公衆衛生学講座と小児科学講座は共同で、「妊娠・育児期の母体環境・生活習慣と児の予後および次世代への影響に関する研究」「女性の健康と妊娠・育児期の生活習慣・疾病との関連についての研究」を、栃木県壬生町、那須塩原市、大田原氏、日光市、栃木市、宇都宮市、那須町などを中心に 2019 年度から開始すべく準備を進めている。

(2) 産院多目的コホート研究 (MOM)

産科医院をフィールドとして妊産婦のダイナミック・コホートを行い、産科的要因、新生児要因はもちろん、妊娠・育児中の就労環境、妊娠・育児中のストレスやソーシャルサポートなどを調査する。そして、産後うつ、児童虐待、発達障害、小児肥満などをアウトカムとしたネスティド・ケース・コントロール研究によりそれらの危険要因を明らかにする。埼玉木野産婦人科(出生した児を2歳までフォローしている)で2018年度に開始する。栃木、埼玉、茨城、北海道での多施設共同研究に展開予定である。

(3) 周產期健康観察研究(OSAN)

産科病院・医院をフィールドとして妊産婦のダイナミック・分子コホートを行う。DNA解析用の血液、ナトリウムおよび産科ストレスマーカー解析用の尿の採取を行い、臍帯動脈ドップラーやパルスオキシメータ、身体活動計などのデータ、産科的要因、新生児要因、妊娠・育児中の就労環境、妊娠・育児中のストレスやソーシャルサポートなどを共同解析する。アウトカムとしては、妊娠高血圧症候群、切迫早産、弛緩出血、SFD児、産後うつなどを想定している。獨協医科大学、筑波大学、神戸大学およびそれらの関連病院にてリクルートを開始した。2018年度にはさらに施設を加えて多施設共同研究に展開する予定である。

Ⅲ 結論・今後の課題

現在の母子保健をめぐる課題は、①産婦人科と小児科・母子保健のフィールドとの間にハードルがあり、妊娠前・妊娠中・育児中の母親の要因と児の要因とを統合的に解析することは難しい。②就学前(母子保健)と就学後(学校保健)との間にハードルがあり、母子保健法による子の健診結果が学校保健に引き継がれない(データベース統一化の動きはある)。 ③出産後の母親の健康状態については、長期間のフォローアップがされていない(産後1か月健診での産後うつ調査が導入されたものの、その後の母の健康状態は不明である)。 世代を繋ぐ健康づくりの実現のためには、上記の課題をクリアした研究エビデンスの創出が必要である。今後、上記研究を遂行して成果を発信したい。

文献

- 1) 国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本調査」(平成 27 年) http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/doukou15_gaiyo.asp
- 2) Umer A, Kelley GA, Cottrell LE, Giacobbi P Jr, Innes KE, Lilly CL. Childhood obesity and adult cardiovascular disease risk factors: a systematic review with meta-analysis. BMC Public Health. 2017 Aug 29;17(1):683.
- 3) 小山嘉紀 他. 共働き世代の両親の育児・仕事関連 DH に対する認知と育児行動の関係. 厚生の指標 60:32-41、2013。
- 4) 小銭寿子. 妊娠期から3歳児健診まで精神的健康調査票を用いた健康状態の変化. 厚生の指標 60:12-16、2013。
- 5) Doom JR, Gunnar MR, Clark CJ. Maternal relationship during adolescence predicts cardiovascular disease risk in adulthood. Health Psychol. 2016 Apr;35(4):376-86.

報告IV

地域における母子保健情報のさらなる利活用に向けて ~和歌山県御坊市の事例~

事業担当者:鈴木 孝太 [愛知医科大学医学部 衛生学講座]

報告要旨

2014年から和歌山県御坊市と和歌山県立医科大学、そして山梨大学(2016年からは愛知医科大学)の共同研究として、地域の母子保健情報の電子化を進めてきたが、今年度は、これらの母子保健情報のさらなる利活用、特に子どもの健康課題を縦断的に記述、抽出するための仕組みづくりに向けて、既存の学校保健情報との連結を目的に、市の保健師と現状と今後の方向性について打ち合わせを実施した。

その結果、学校健診データについては電子化が進んでいない学校も多く、今後、どのような枠組みで電子化を進めていくかが大きな課題と考えられた。また児童、生徒の生活習慣調査に関しては、現在実施している文部科学省の調査などの既存データを活用していく仕組みづくりを進めていく予定である。母子保健情報と学校保健情報を連結したデータベースを構築することで、子どもの健康課題を抽出し、各関係機関の協力のもと、世代を超えて問題を解決できる地域の枠組みを構築していく予定である。

I 背景·目的

近年、子どもの発育や発達に関するメカニズムを明らかにする「Developmental Origins of Health and Diseases(DOHaD)説」がよく知られるようになり、胎児期や出生後早期の環境が、将来の健康状態のために重要であると考えられている。そのため、出生コホート研究を実施して国内では、エコチル調査などの大規模な出生コホート研究が実施されているが、一方で、妊娠届出時に始まる、既存の母子保健情報を用いた調査、研究は少ない。また、これらの山梨大学医学部社会医学講座は、山梨県甲州市(旧塩山市)と共同で、妊娠届出時から中学生に至るまで、地域の母子保健情報、また学校保健情報を中心として、母親や児童、生徒に対するアンケートを実施し、母子保健縦断調査「甲州プロジェクト」を約30年にわたり実施している。しかしながら、このようにして母子保健情報と学校保健情報を連結し、子どもの健康課題を記述し抽出している自治体は少ない。

そこで、地域の母子保健情報を電子化し、さらに小中学校における身体測定などの既存データと連結し、子どもの健康課題を縦断的に記述、抽出するための仕組みを構築することを目的とした。

Ⅱ 方法・実施内容

和歌山県御坊市は和歌山県中部に位置し、人口は約24,000人、出生数は200人弱の和歌山県紀中・日高地域の中核都市である。産業としては、野菜や花卉などの農業と漁業の、第一次産業が中心である。

2014年11月、御坊市と、和歌山県立医科大学、山梨大学(2016年からは愛知医科大学)の共同研究として、「乳幼児健診データを用いた母子保健における地域差の縦断的検討」が、ファイザーヘルスリサーチ振興財団による、国内共同研究助成に採択された。同年12月より、まず、妊娠届出時から乳幼児健診に至るまでの母子保健に関する電子化事業の打ち合わせを開始し、1月から山梨大学が御坊市に事業委託する形で、過去(2004年~2009年)の母子保健情報の入力作業を開始(~3月末)。入力した母子保健情報は、妊娠届出時から3歳児健診時までを1枚のシートに記入する「和歌山県母子健康カード」の内容と、御坊保健所が管内市町を対象に実施している、妊娠届出時、4ヶ月児健診時、1歳6ヶ月児健診時、3歳児健診時の喫煙状況に関するアンケート、さらに市内の幼稚園で実施している5歳児健診における生活習慣アンケートの内容である。その後、市役所のクラウド化に合わせ、2015年からは母子保健情報を市のシステム上に入力することが可能となり、母子保健情報をデータベース上に蓄積している。

今年度は、これら母子保健情報をどのように分析して地域に還元していくか、また、学校 保健情報との連結について、市の保健師と打ち合わせを実施し、今後の方向性を検討した。

Ⅲ 結論・今後の課題

御坊市内の小中学校における学校健診データは、一部電子化されているものの、小規模校を中心に電子化されていない学校も多く存在していることが明らかになった。そのため、学校に対してできるだけ負担をかけずに、現在電子化されていないデータを電子化する体制を構築する必要があり、来年度、関係者と協議し、実行可能性を探っていくこととなった。

また、児童、生徒の生活習慣に関する調査については、新たに実施することは、学校への 負担が大きくなると考え、現在、御坊市内の小中学校においても文部科学省が実施している、 全国学力学習状況調査、全国体力・運動能力運動習慣等調査のデータについて、特に生活習 慣に関する調査項目を利用可能かどうか、今後教育委員会と検討を進めていくことになっ た。

今後は、市と教育委員会、学校のみならず、医師会や保健所などとともに、今回目標としている母子保健、学校保健に関するデータベースを構築することをきっかけに、そのデータベースを基盤として子どもの健康課題を抽出し、各関係機関が協力し、世代を超えて問題を解決できる地域の枠組みを構築していく予定である。

報告V

市町村の子ども子育て支援ニーズ調査における子どもの健康課題の把握

事業担当者:大澤 絵里 [国立保健医療科学院 国際協力研究部]

報告要旨

本研究事業では、子ども子育て支援新制度の実施に向け、市町村が実施した子育て支援のニーズ調査において、子どもの健康課題に関連したどのような情報やデータがあるのかを整理し、紹介する。特定の3自治体のホームページより、子ども子育て支援ニーズ調査を検索し、検索されたニーズ調査結果から、子どもの健康課題に関連した情報やデータを抽出し、整理した。

市町村において、子ども子育て支援新制度の計画立案のために実施されたニーズ調査の結果から、子どもやその保護者の日常生活、主に睡眠や食事、テレビやスマートフォンなど利用、ひきこもりの状況などの日常的な環境から、子どもの健康課題を把握することが可能な情報が存在した。今後は、計画立案時の調査に終わらずに、どれだけの自治体が、子どもの健康や生活の評価を継続的に実施しているのかをモニタリングし、実際に自治体の現場でそれらを評価する上で、どんな課題があるのかを把握していく必要がある。

I 背景·目的

平成 24 年 8 月に子ども子育て関連 3 法が成立し、子ども子育て支援新制度が開始された。この制度の趣旨は、認定こども園、幼稚保育所を通じた施設型給付や小規模保育等を通じた地域型保育給付、認定こども園制度の改善、地域の実情に応じた子ども・育て支援充実の 3 点であるが、市町村は、地域のニーズに基づき子ども子育て支援計画の策定、給付・事業の実施が責務とされている。この法律の成立をもって、多くの市町村において子ども子育て支援のニーズ調査が実施され、その後、子ども子育て支援計画が策定された。本研究事業において、子ども子育て支援のニーズ調査において、子どもの健康課題に関連したどのような情報やデータがあるのかを整理し、紹介する。

Ⅱ 方法

市町村のホームページより、子ども子育て支援ニーズ調査を検索し、検索されたニーズ調査から、子どもの健康課題に関連した情報やデータを抽出し、整理した。今回は、系統的に全市町村を調査することができなかったため、特定の3自治体のみ事例として取り上げた。

Ⅲ 結論・今後の課題

本調査でとりあげた3自治体は、A自治体(人口約90万人、年間出生数約7、000)、B自治体(人口約43万人、年間出生数約8、000人)、C自治体(人口約12万人、年間出生数約800人)であった。3自治体のニーズ調査実施内容を表1に示す。すべての自治体で、平成25年8月~12月の間に子ども子育て支援事業計画のニーズ調査を実施していた。就学前児童、就学児童をもつ保護者に対する調査を実施しているが、A自治体においては小学生以上の子ども自身を対象とした調査も実施している。B自治体では、ニーズ調査の中に若者支援も含め、18才以上40歳未満の男女を対象に生活状況の調査も実施していた。

子どもの健康課題に関連した質問項目は、本調査が子育て支援策に対するニーズ調査であることから、病児保育、病後児保育のニーズ把握のために、3 自治体共通して、「過去 1 年間の子どもの病気やケガの際の対応」に関する質問は含まれていた。A 自治体では、「子どもが成長するうえでの大切なこと」、「現在の子育てで足りないと感じていること」を質問しており、その中で友達や家族との関わり、体を動かして遊ぶ環境整備など、保護者が大切ととらえている健康(健全)な子どもや子育て環境の課題が把握できた。

子どもの生活について、A自治体は子ども自身に調査を実施、B自治体は保護者への調査を通して質問をしていた。子どもの健康課題と関連した質問項目として、就寝・起床時間、朝食・夕食について、外遊びについて、テレビ、ゲーム、パソコン、スマートフォン(携帯)の使用時間について、問いていた。B自治体の若者対象とした調査の質問には、自宅への引きこもりについて含まれていた。

表 2 は、各自治体における子どもの健康課題に関連した質問項目の回答結果である。子どもが病気やケガをした際の対応は、どの自治体の調査でも、母親、父親、親戚・知人で子どもの世話をしている人が多いことがわかる。また、就学前児童においても、数は少ないが、子どもだけで留守番をさせたとの回答もあった。平日の就寝時間について、年代を細かくわけて分析をしている A 自治体の結果を見てみると、小学生低学年では、21 時台が最も多く(49.2%)、小学生高学年では、22 時台(38.8%)、中高生にあると 23 時台(36.6%)、24時台(32.9%)であった。テレビや DVD、ゲーム、パソコンなどの利用時間については、B 自治体の結果をみてみると、どの年代も 1 日 1 時間以上 3 時間未満との回答が最も多かった。B 自治体は、18 歳以上 40 歳未満の人に対しても、若者支援として調査を実施していたが、約 5%の人がひきこもりの傾向があることがうかがえた。

本調査では、平成27年度の子ども子育て支援新制度開始にともない、市町村において計画立案のために実施された子ども子育て支援に対するニーズ調査について、3自治体を対象に、その結果を整理した。そこからは、子どもやその保護者の日常生活、主に睡眠や食事、テレビやスマートフォンなどの利用、ひきこもりの状況など、日常の生活環境から、子どもの健康課題を把握することが可能な情報が存在した。子ども子育て支援新制度開始により、子ども(出生前の子どもも含む)への福祉および保健サービスの計画が統合され、子どもの健康へのアプローチを、子ども子育て支援という大きな傘の下での展開している自治体も

増えている。幼稚園・保育園の需要供給に大きな焦点があたる子ども子育て支援計画の中で、 子どもの健康課題への確実なアプローチが必要となる。

今後は、計画立案時の調査に終わらずに、どれだけの自治体が、子どもの健康や生活の評価を継続的に実施しているのかをモニタリングし、実際に自治体の現場でそれらを評価する上で、どんな課題があるのかを把握していく必要がある。

文献

- ・ 内閣府. 子ども子育て新制度. http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/index.html
- ・ 一般財団法人日本開発構想研究所. 平成 27 年度 地方版子ども・子育て会議の取組(市町村子ども・子育て支援事業計画)事例調査報告書. 平成 27 年 10 月

衠
ズ調査
Ñ
- 子育てニ-
ν
-Kim
4
がも
-7
η-
7
鋷
业
Ë
₩
40
,;_
3自治体の特徴と子?
表1
πK

	A自治体	B自治体	C自治体
人口(約)	約90万人	約43万人	約12万人
年間出生数(約)	約7,000人	約8,000人	約800人
二一ズ調査実施時期	平成25年8月~9月	平成25年11月~12月	平成25年10月
二一ズ調査対象者	① 歳~5歳(平成25年4月1日現在)の児童の保護者 各在齢1000 人ずつ 計6000 人	① 就学前児童の保護者 5,000人	① 就学前児童の保護者3,000人
	1 十二 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 就学前児童の保護者 3,000人	② 小学校児童の保護者 2,000人
	各年齢 1,000 人ずつ 計 4,000 人		
	③ 保育サービス利用者 3,130 人	③ 小学生の保護者3,000人	③ 妊婦さん
	④ 児童育成手当受給世帯 (一人親家庭) 4,699 人	④ 中学・高校生の保護者3,000人	
	⑤ 小学校に通う児童 2,933 人	⑤ 18歳以上40歳未満の男女3,000人	
	(低学年5校1,573人、高学年5校1,360人)		
	⑥ 12~17歳(平成25年4月1日現在)の子ども		
	各年齢 1,000 人ずつ計 6,000 人		
有効回収数(回収率)	① 3,685 (61.4%)	① 2,160 (42.1%)	① 1,831 (61.0%)
	② 1,855 (46.4%)	② 1,453 (48.4%)	② 977 (48.9%)
	③ 2,062 (65.9%)	③ 1,373 (45.8%)	3 206
	4 1,792 (38.1%)	(4) 1,086 (36.2%)	
	(f) 2,872 (97.9%)	(5) 832 (27.7%)	
	(B) 1,439 (24.0%)		
	(保護者への調査 ①, ②より)	(保護者への調査 ①~④より)	(保護者への調査 ①, ②より)
	・子どもが病気やケガで学校を休んだり、通常の教育・保育事業・	・子どもの病気の際の対応	・子どもの病気の際の対応
	学童クラブなどが利用できなかったときの対処方法	・子育てに関して、日常悩んでいること、気にな	
	・子どもが成長するうえで、(保護者が)大切だと思っていること	ること	
(児童の健康課題に関連した)	・子育てするうえで不足していると感じていること	・子どもの就寝・起床時間について	
ニーズ調査の内容	(子どもへの調査 ⑤, ⑥より)	・子どもと家族との日常の会話について	
	・朝食・夕食について	・パソコン・携帯・ゲームの使用時間について	
	・就寝・起床時間について	・学校でのいじめや暴力行為について	
	・外遊びの時間について	(18歳以上40歳未満の男女への調査 ⑤より)	
	・テレビ、ゲーム、スマートフォンの使用時間について	・自宅のひきこもりについて	

1 からがら ボーン かけきょうし	A目治体		B自治体		0 自治体	
ナともの病気(ケカ)の際の対応	く就学前児童>	·	〈就学前児童〉		<就学前児童>	
	母親が休んだ	63.2%	母親が休んだ	63.6%	母親が休んだ	58.5%
	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	31.8%	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	43.4%	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	37.4%
	父親が休んだ	30.8%	就労していない父親または母親がみた	32.9%	就労していない父親または母親がみた	31.9%
	就労していない父親または母親がみた	29.9%	父親が休んだ	17.6%	父親が休んだ	13.7%
	病児・病後児の保育サービスを利用した	11.8%	病児・病後児の保育サービスを利用した	5.2%	ベビーシッターを利用した	0.7%
	ベビーシッターを利用した	4.1%	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	%6.0	子どもだけで留守番をさせた	0.7%
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.7%	子育て支援事業を利用した	0.5%	病児・病後児の保育サービスを利用した仕方なく	0.3%
	子育て支援事業を利用した	%1.0	ベビーシッターを利用した	0.1%	子育て支援事業を利用した	
	そのも	3.4%	そのも	0.7%	そのも	2.8%
	<就学前児童>		<就学前児童>			
	は光一 アンガーシ細 サケ 中部 がみ ヤ	47 60%	1 一点 はいけい 一番 日本	A7 2%	5.7 对外联份	82.08
	27. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 17. 1	0,0.74	ノウスペリクチンが中	S	ソンチにはは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これ	0.00
	は親かれることは、これに、これには、	40.5%	いない父親または特別かれた。	41.4%	(同居者を官む) 親族・知人にみてもった。	24.8%
	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	%0:/	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	28.9%	就労していない父親または母親かみた	21.0%
	父親が休んだ	10.7%	父親が休んだ	9.2%	子どもだけで留守番をさせた	11.7%
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8.7%	子どもだけで留守番をさせた	5.2%	父親が休んだ	6.1%
	ベビーシッターを利用した	1.7%	病児・病後児の保育サービスを利用した仕方なく	2.8%	病児・病後児の保育サービスを利用した	0.0%
	病児・病後児の保育サービスを利用した	0.7%	子育て支援事業を利用した	1.6%	子育て支援事業を利用した	
	子育て支援事業を利用した	%0.0	ベビーシッターを利用した	1.4%	ベビーシッターを利用した	0.2%
	そのも	3.6%	そのも	4.5%	そのも	3.7%
子どもが成長する上で(保護者が)大	/ 就学前児童 >					
切だと思っていること						
	家族とのふれあい	79.9%				
	たくさんの友達との関わり	78.8%				
	いろいろナチャランジャを	44.1%				
	・ フ・ハー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31.2%				
	日 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2, 10, 0				
	国際の中での遊り本類	30.8%				
	地域の見守り	11.5%				
	自由でのんびりする時間	8.9%				
	〈就学児童〉					
	コス間ライ楽エのフェンイ	83 3%				
	いくのの文庫にの選ぶつかりを乗り	% C. C. C				
	・ 1 と 1 と 1 と 1 と 1 と 1 と 1 と 1 と 1 と 1	0,00				
	いのいのハナケフノンかの飯水	9,00				
	好きなことを思い切りやる時間	31.9%				
	目然の中での遊び体験	23.4%				
	地域の見守り	10.8%				
	自由でのんびりする時間	8.7%				

体 8 自治体 6 日治体		を動かして遊ぶ環境 55.5%	せる時間	きる環境	支えあい	無い生活	ごず時間	める機会	促す取組	た食生活	子どもが自由に遊ぶ時間 15.2%					子どもが自由に遊ぶ時間 26.5%	親の自分の時間 25.4%			第二十二	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	109 項目 47 年17	大 大 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 デ ・	た関生活	<就学前児童>	<田井>	7時台 54.6%	6時台 27.8%	8時台 12.9%	<四类>	7時台 37.0%	8時合 25.3%	9時台 5.2%	<す本小>	() () () () () () () () () (
V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	子育てする上で不足していると感じて いること	子どもが思い切り体を動かして遊ぶ環境	親が目	子どもが安全に生活で		子どもにとって危険の	子どもた	子どもたちが自分たちのことを自分で決	- 	子どもにとって充実し	+ 7 + 2	<就学児童>	子どもが思い切り体を動かして遊ぶ環境	子どもたちが自分たちのことを自分で決める機会	- デント	· 子子		子どもが安全	0 4 2 4	ら 総 争 イ) イ 二 井 だ 下	1100	7924	1 + 1 P	ナともにとってが美し											

0自治体																																														
			42.5%	3	ر ا ا ی	12.3%		%6./ %				46.2%	36.00%	0.00	13.2%		20 502	0% 6.02	25.5%	18.7%	13.3%	 %			52.4%	0, 1, 10	%/:17	20.0%		35.4%	27.9€	10.1%	2		15.1%	8 7 7	30.7%	9.5%	7.0%			47.6%	40 1%		7.4%	
B自治体	1 1 1	<休田>	7時台	77 +800	口由 2	949	7 110	包含6	\ ! ! !	く出画士>	<田井>	号铅9	두 체		如虫c	< □ ★ >	~ 1		8時台	9時令	↑ 101	和生9	< 就学前児童 >	<田井>	21時台	1 h 1 2 2	2.2.kh	19時~20時台	<	21時台	与知66	10年~10日	1944~2044		新・田田 LT H IN END U	10年11月次回去9日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	9時間以上10時間未満	11時間以上12時間未滿	8時間以上9時間未満	<小学生>	<日本>	21時台	27時分	7 to 7 to 7	19時~20時台	
									1	± ✓																														 		49.2%			12.4%	
A自治体																																									<日片>	21時台	2.2 日本	7 +100	20時合	
																																								<小学生低学年>						
																							就寝時間																							

0.自治体																																			
		44.7%	27.2%	20.2%			49.6%	26.1%	18.3%													43.0%	27.3%	19.0%		37.8%	35.2%	11.0%	10.3%		33.3%	28.5%	21.6%	8.3%	
B自治体	<休日前>	22時台 4	21時台 2	23時台 2			9時間以上10時間未満 4	8時間以上9時間未滿 2												, E ,				22時台 1	<休日前>	24時台 3	23時台 3		22時台 1	<平均睡眠時間>					
												,					,0	,	<中画年>			9	,	9		,	,	9							
		33.3%	29.3%	14.1%								38.8%	23.9%	19.5%		32.1%	29.1%	13.4%				36.6%	32.9%	14.7%		33.5%	32.2%	11.5%	11.1%						
A自治体	<休日前>	22時台	21時台	23時台							<田井>	22時台	23時台	21時台	<休日前>	22時台	23時台	21時台		E N	\	23時合	24時台	22時台	<年日世>	23時台	24時台	25時台	22時台						
										<小学生高学年>									<中画年>																

0.自治体																																		
8自治体			9		9		9	9		~	9 4			9	9	9					9	9	9	9		9	9	9		9	9	9	9	9
A自治体		!		食べないことがある 11.0%	食べない 0.5%	〈朝食〉	家族みんなで食べることが多い 35.2%	一人で食べることが多い 15.1%	// 电 以 //	10000円円の大人の大人の一日日の大人の一日日の大人の一日日の大人の一日日の大人の一日の大人の一日の大人の一日の大人の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の			<夕食>	家族みんなで食べることが多い 47.4%	家族の誰かと食べることが多い 43.7%	一人で食べることが多い 3.2%		^	〈朝食〉	毎日食べる 87.7%	ほぼ毎日食べる 7.1%	週に3・4日食べる 1.7%	ど食べない	まったく食べない 0.8%	<朝食>	ことが多い	家族の誰かと食べることが多い 53.6%	一人で食べることが多い 16.9%	<夕食>	毎日食べる 93.7%	ほぼ毎日食べる 4.1%		ほとんど食べない 0.5%	
	(全) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4																1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	< 本本 思 本 本 、																

C自治体																										
												59.9%	11.5%		56.40%	25.9%	13.6%			25.6%	19.0%	16.3%		2.2%	1.3%	1.2%
B自治体											<就学前児童>	時間以上3時間未満			1時間以下3時間主流		3時間以上5時間未満	〈中高生〉				3時間以上5時間未満	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、10隊以上40隊不高のガタイ 普段は家にいるが、用事のときだけ外出する	普段は家にいるが、コンビニなどには出かける	(法事や結婚式など) 付き合いのために時々外出する ちゃく けってい
	42.5% 45.9% 6.0%			61.9%	30.0%	3.2%		88.9%	7.5%	0.6%				V					24.5%	20.2%	18.6%	11.7%	4.4%	/		
A自治体	<夕食> 家族みんなで食べることが多い 家族の誰かと食べることが多い 一人で食べることが多い	〈中高生〉	<朝食>	家で家族と食べる	家で一人で食べる学校(職場)へ行く途中に何か買って食べる	食入ない	く 食を >	家で家族と食べる	家で一人で食べる	学校(職場)の帰り道に何か買って食べる食べるの帰り道に何か買って食べる食べない								<中高生>	30%		2時間	3時間				
											テレビ, DVD, ゲーム, パソコン, スマートフォン (株帯) の1日使用時間												1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日本のならものにしてい		

平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

子どもの身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)な健康課題に関する調査研究 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究代表者:五十嵐 隆

研究の背景・目的:

子どもの健康課題を、成長段階に応じて、切れ目なく包括的にサポートすることが可能となる支援・健診制度を構築するため、本研究事業では、子どもの身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)な健康課題の疫学的特徴を年齢別に把握し、各健康課題に応じた保健指導や予防的介入方法に関する科学的根拠をまとめた。

研究の実施内容と今後の課題:

(1) 研究課題 I: 政府統計等を用いた年齢別疾病その他構造について -主な健康課題の有病率の算出-

GBD研究及び母子保健・医療情報データベース等を用いて、子どもの健康課題に関する調査データの収集を行うとともに、人口動態調査や患者調査といった政府統計データ、小児慢性特定疾患登録、レセプトデータを用いて、主な疾患の有病率及び医療費に関する集計を行った。今後はとくに、"psychosocial"な子どもの健康課題に関して、多領域でのデータ収集や情報の整理が必要であることが明らかとなった。

(2) 研究課題Ⅱ: GBD研究 (Global Burden of Disease Study) における日本の子 どもの主な疾病負担とリスク因子

GBD研究の分析ツールを用いて、日本の小児期の疾病負担の現状把握を行った。 GBD研究では、mortalityとdisabilityを考慮したDALYという指標を用いて世界各国・地域の疾病負担を推計しており、他の先進国同様、日本においても思春期のメンタルへルスに関する問題が、総DALYに占める割合が大きいことが示されていた。今後はより詳細なデータを用いて日本における小児期の疾病負担を評価できるようGBD研究との連携を進めることが望まれる。

(3) 研究課題Ⅲ:小児期生活習慣の長期疾病インパクト推測モデル

既存データを用いた推計モデルによる試算では、小児肥満の減少により、成人以後の2型糖尿病のリスクや疾病負担を減少させる可能性が示唆された。将来の長期的な効果を予測する推計モデルを用いた分析は、不確実性などの限界はあるものの、小児期における介入がもたらすインパクトを評価・提示するうえで有効な手段であると考えられ、今後焦点を当てるリスク因子の特定とデータ収集を進める必要がある。

(4) 研究課題Ⅳ:小児保健・医療領域における積極的予防に関する系統的レビュー —学校における子どもの健康課題に関する介入の有効性—

世界各国で行われている子どもを対象とした予防的介入プログラムの方法や効果を把握するため、学校で実施されている小児期の健康課題に関する介入研究を対象にオーバービュー・レビューを行った。介入プログラムのテーマや効果の傾向を把握するため、子どもの健康課題に関するシステマティック・レビューや介入研究の整理は今後もアップデートが必要である。